

令和5年度
牧之原市健康と食についてのアンケート
調査結果報告書

令和6年3月
牧之原市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の対象	1
3.	調査期間	1
4.	調査方法	1
5.	有効回答件数	1
6.	数値等に係る基本的な考え方	1
II	就学前児童保護者の調査結果	2
1.	回答者について	2
2.	子どもの食生活について	5
3.	子どもの起床時間・就寝時間	10
4.	子どもの歯について	14
5.	子どもの1日の過ごし方	15
6.	家庭での性教育について	19
7.	子ども子育て環境	22
III	中学2年生の調査結果	32
1.	回答者について	32
2.	食事について	35
3.	起床時間・就寝時間	38
4.	歯や口腔について	40
5.	自分自身の考えについて	42
6.	心の悩みについて	48
7.	性について	51
8.	たばこについて	55
9.	アルコールについて	57
IV	18歳以上の調査結果	59
1.	回答者について	59
2.	食生活（食育も含む）について	62
3.	運動について	100
4.	身体の状態・心の健康について	105
5.	日常生活、健康意識などについて	124

VI 調査票	179
1. 就学前児童保護者	179
2. 中学2年生生徒	185
3. 18歳以上	193

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市内の子どもや成人の健康状況や食に関する意識を把握し、「第4次牧之原市健康増進計画及び第4次牧之原市食育推進計画及び第2次のち支える牧之原市自殺対策計画(令和7年度～令和11年度)」の策定に向けた基礎資料として実施するものです。

2. 調査の対象

- ・就学前児童保護者……………600名
- ・中学2年生生徒……………352名
- ・18歳～64歳の市民……………1,400名

3. 調査期間

令和5年10月24日から令和5年11月15日まで

4. 調査方法

- ・就学前児童保護者、中学2年生生徒……………インターネット回答
- ・18歳～64歳の市民……………郵送配布、郵送回収またはインターネット回答

5. 有効回答件数

- ・就学前児童保護者……………347件
- ・中学2年生生徒……………139件
- ・18歳～64歳の市民……………685件（内、郵送：442件・インターネット回答：243件）

6. 数値等に係る基本的な考え方

- (1) 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) クロス集計の場合、無回答が含まれないため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。
- (4) 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを太字・斜体で強調しています。(無回答・その他・特になし等を除く)
- (5) グラフ中の選択肢で回答がなかった場合、見やすさを優先して(0.0%)表記を省略しています。

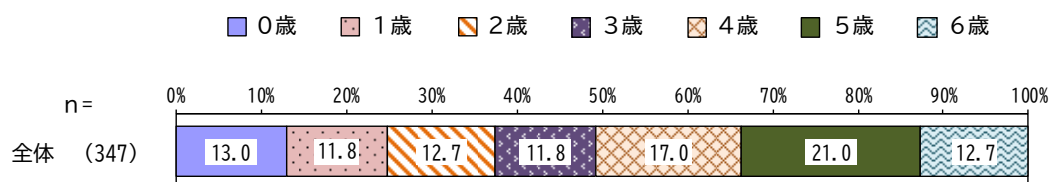
Ⅱ 就学前児童保護者の調査結果

1. 回答者について

(1) 子どもの年齢

問1 あて名のお子さんの年齢をお伺いします。

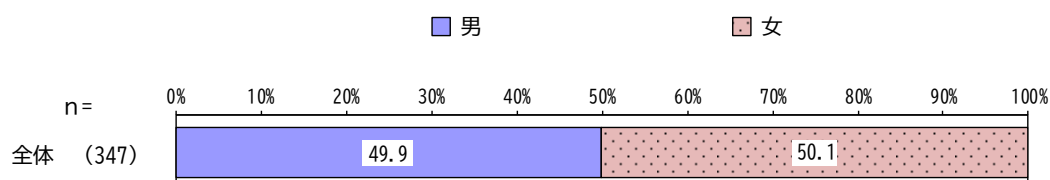
子どもの年齢について、「5歳」が21.0%と2割を超えて最も高く、次いで「4歳」(17.0%)、「0歳」(13.0%)が続いています。



(2) 性別

問2 あて名のお子さんの性別をお伺いします。

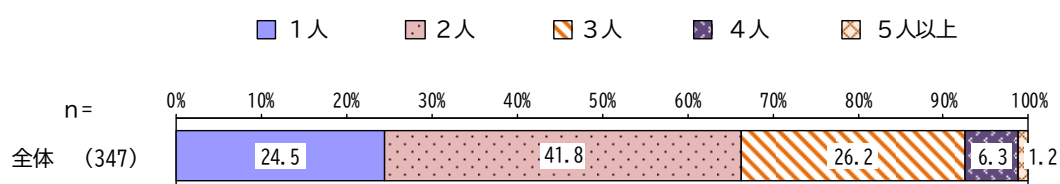
子どもの性別について、「男」が49.9%、「女」が50.1%と5割前後を占めており、ほぼ同じ割合になっています。



(3) 子どもの人数

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。

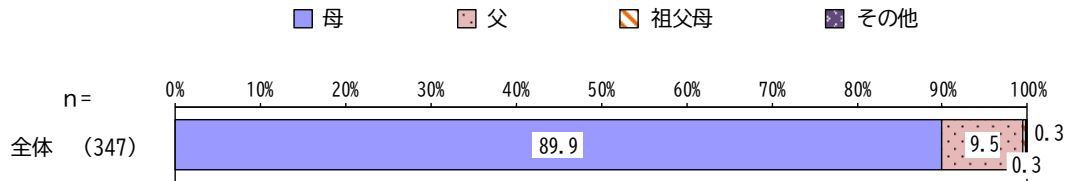
子どもの人数について、「2人」が41.8%と4割を超えて最も高く、次いで「3人」(26.2%)、「1人」(24.5%)が2割半ば前後で続いています。



(4) 調査の回答者

問4 あなたと、あて名のお子さんの関係をお伺いします。

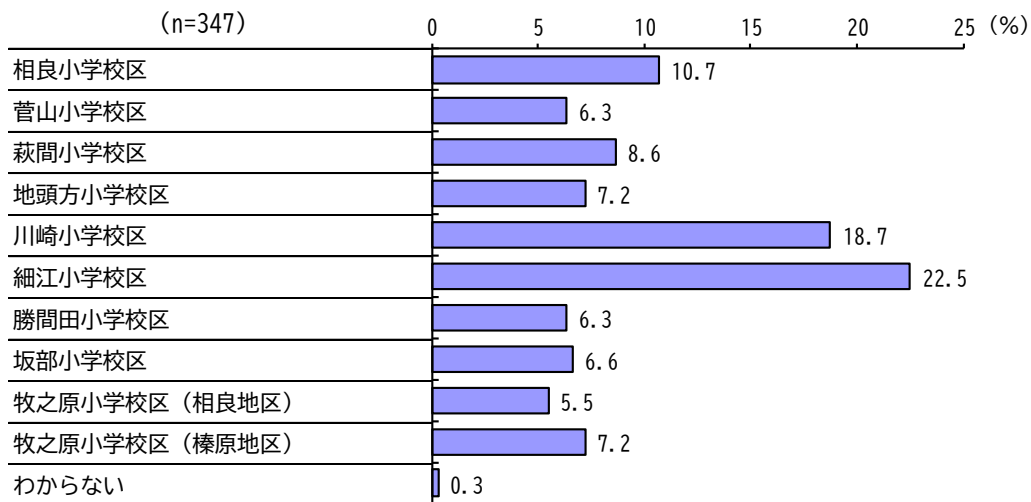
調査の回答者について、「母」が89.9%と9割を占めており、次いで「父」(9.5%)が1割近くで続いています。



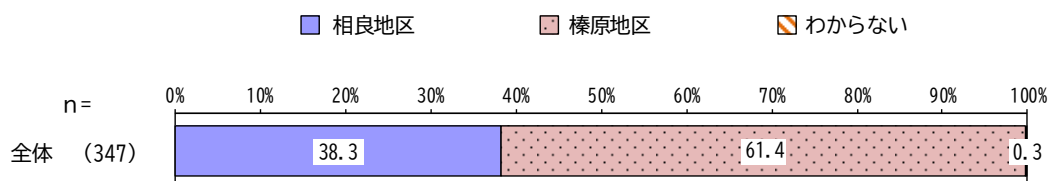
(5) 居住地区

問4 あなたと、あて名のお子さんの関係をお伺いします。

住んでいる小学校区について、「細江小学校区」が22.5%と2割を超えて最も高く、次いで「川崎小学校区」(18.7%)、「相良小学校区」(10.7%)が1割台で続いています。



小学校区を2区分にした居住地区は、「相良地区」が38.3%、「榛原地区」が61.4%となっています。

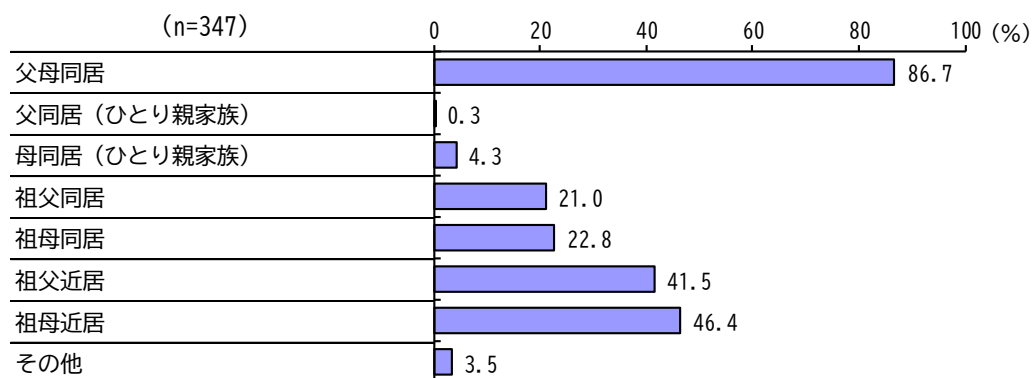


II 就学前児童保護者の調査結果

(6) 同居・近居の状況

問6 お子さんからみた関係で、あて名のお子さんと同居・近居(概ね31分以内程度に行き来できる範囲)の状況について、あてはまる番号に○を付けてください。【複数回答】

同居・近居の状況について、「父母同居」が86.7%と8割半ばを超えて最も高く、次いで「祖母近居」(46.4%)や「祖父近居」(41.5%)が4割台、「祖母同居」(22.8%)や「祖父同居」(21.0%)が2割台が続いています。

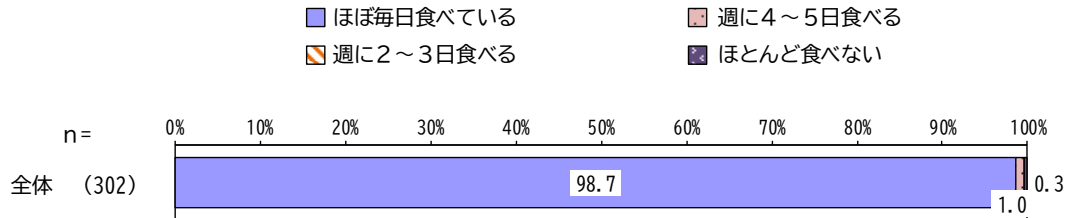


2. 子どもの食生活について

(1) 朝食摂取の状況

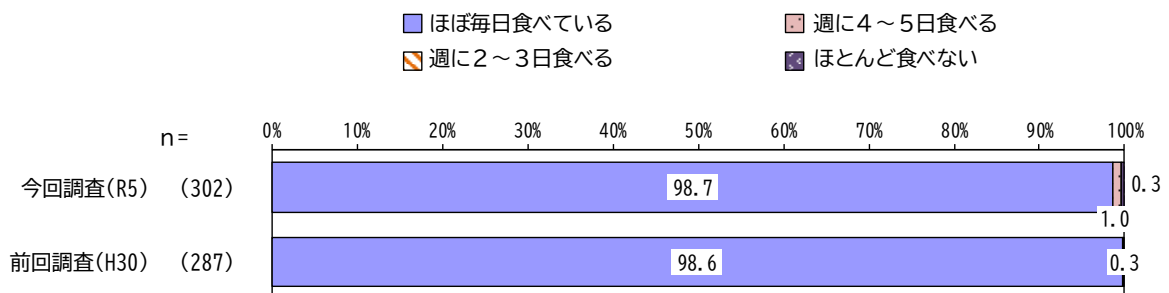
問7 お子さんは、朝食を毎日食べますか。【1歳以上の子ども】

1歳以上の子どもの朝食について、「ほぼ毎日食べている」が98.7%とほぼ全体を占めており、「週に4～5日食べる」が1.0%、「ほとんど食べない」が0.3%となっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、全体的にほぼ変化はなく、「ほぼ毎日食べている」が大部分を占めています。

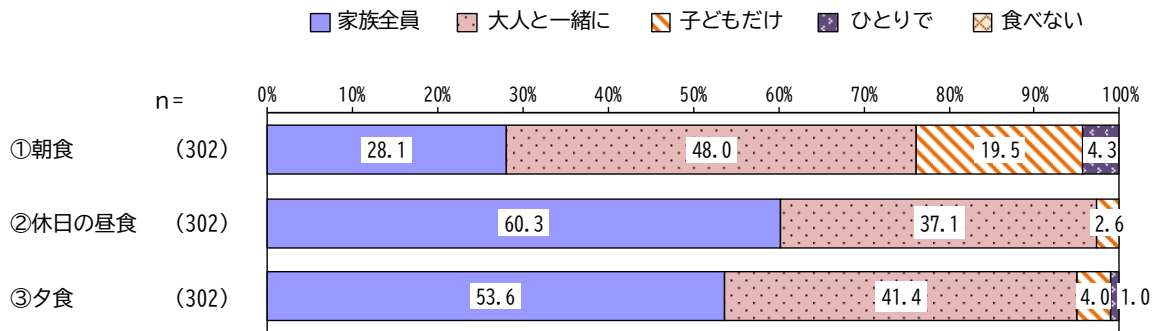


II 就学前児童保護者の調査結果

(2) 共食の状況

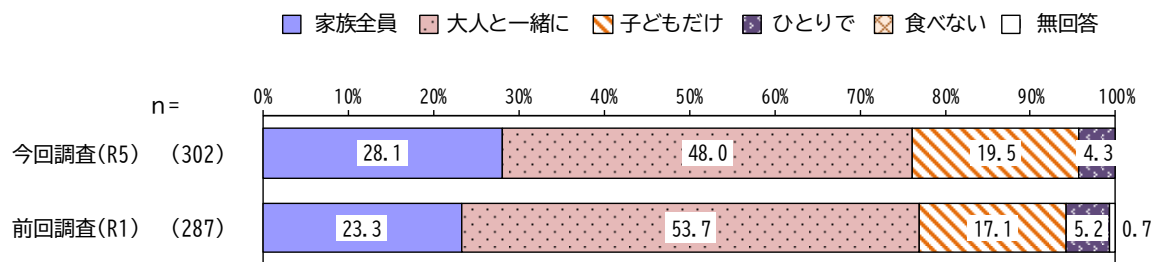
問8 おさんは普段、食事をだれと一緒に食べますか。②昼食については、休日についてお答えください。【1歳以上の子ども】

1歳以上の子どもの共食状況について、「家族全員」は、②休日の昼食(60.3%)と③夕食(53.6%)で5割を超えて最も高くなっていますが、①朝食では28.1%と3割を切っています。また、①朝食は「子どもだけ」と「ひとりで」の割合が、②休日の昼食・③夕食よりも高く、特に「子どもだけ」は19.5%と2割近くを占めています。一方、「食べない」という回答はいずれもありませんでした。



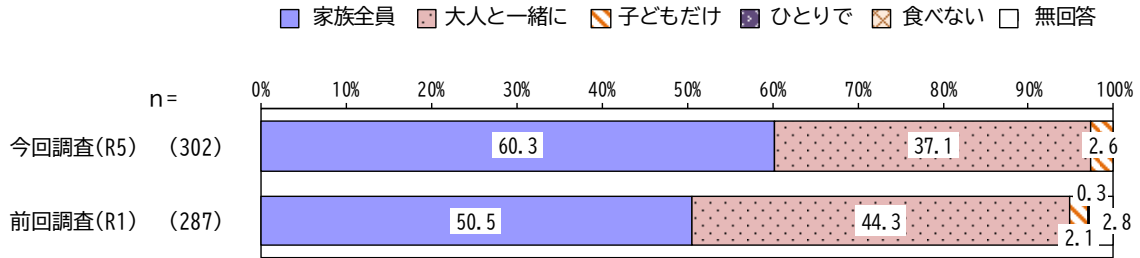
【前回比較】①朝食

前回調査と比較すると、「家族全員」の割合は平成30年度から4.8ポイント上がっていますが、「大人と一緒に」は5.7ポイント下がっており、大人の誰かと共食している割合はいずれも7割半ばを超えてあまり変化ありません。



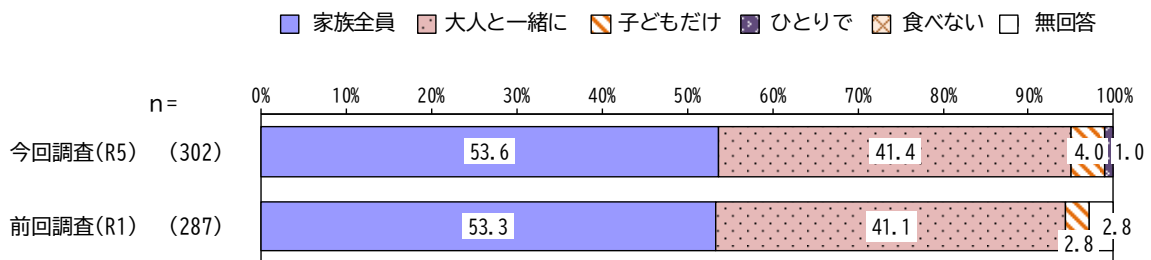
【前回比較】②休日の昼食

前回調査と比較すると、「家族全員」の割合は平成 30 年度から 9.8 ポイント上がっていますが、「大人と一緒に」は 7.2 ポイント下がっており、大人の誰かと共食している割合はいずれも 9 割半ば前後とあまり差はありません。



【前回比較】③夕食

前回調査と比較すると、「家族全員」と「大人と一緒に」の割合はともに平成 30 年度とほぼ変化なく、大人の誰かと共食している割合はいずれも 9 割半ばとなっています。

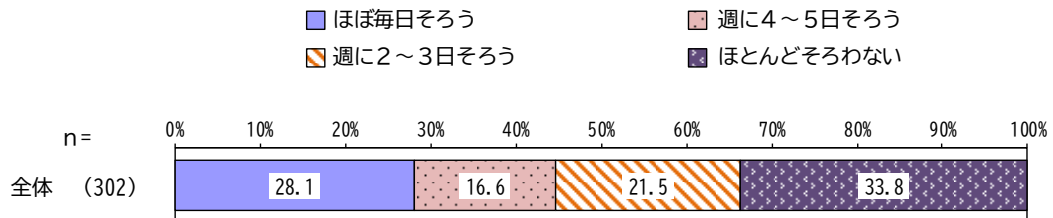


II 就学前児童保護者の調査結果

(3) 主食・主菜・副菜がそろう頻度

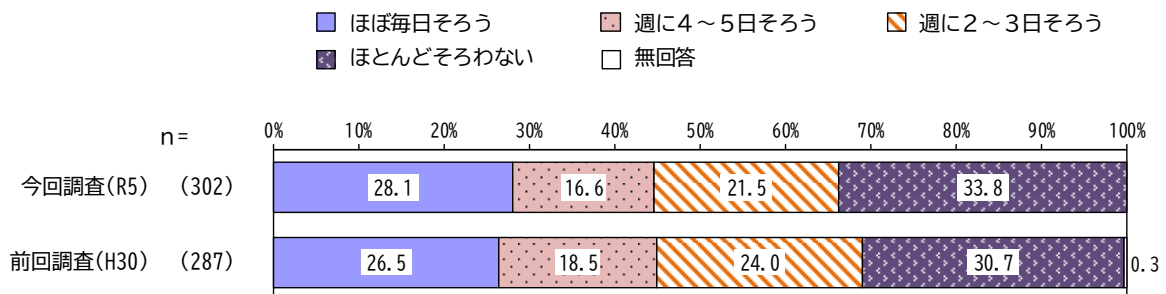
問9 お子さんの朝食は、主食・主菜・副菜がそろいますか。【1歳以上の子ども】

1歳以上の子どもの朝食で主食・主菜・副菜がそろう頻度について、「ほとんどそろわない」が33.8% 3割を超えて最も高く、次いで「ほぼ毎日そろう」(28.1%)、「週に2～3日そろう」(21.5%)が続いています。また「ほぼ毎日そろう」と「週に4～5日そろう」を合わせた『週4日以上』は44.7%と4割半ばを占めています。



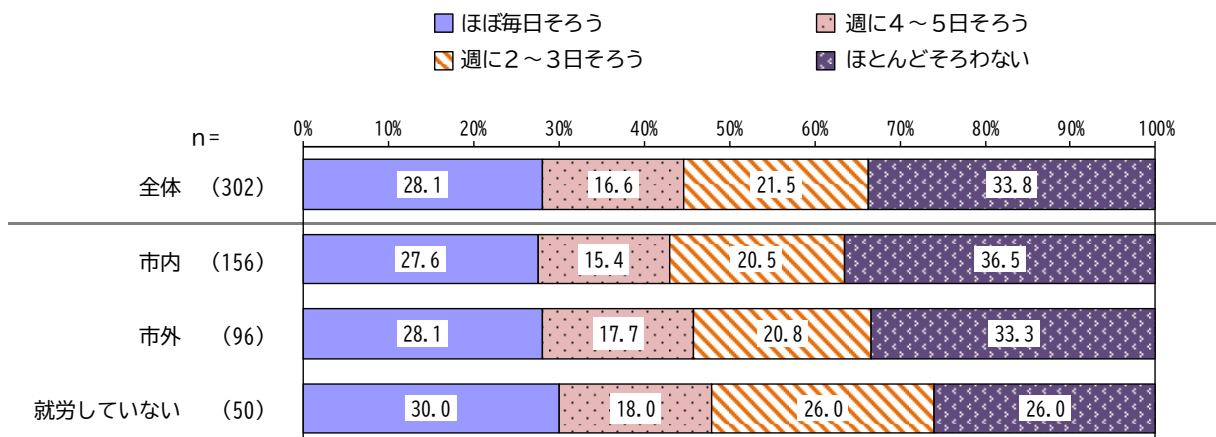
【前回比較】

前回調査と比較すると、「ほぼ毎日そろう」と「ほとんどそろわない」の割合は平成30年度からやや上がっていますが、「ほとんどそろわない」は平成30年度と同様に3割程度を占めており、『週4日以上』は4割半ばで平成30年度からほぼ変化ありません。



【就労状況別】

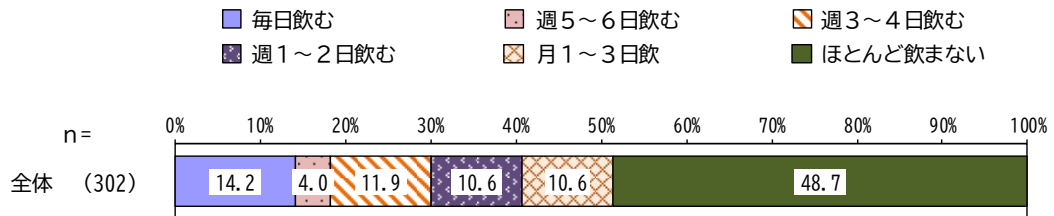
就労状況別でみると、「ほとんどそろわない」の割合は、「就労していない」回答者で26.0%と3割を切っており、就労している回答者よりも低くなっています。



(4) 茶葉で淹れた緑茶を飲む頻度

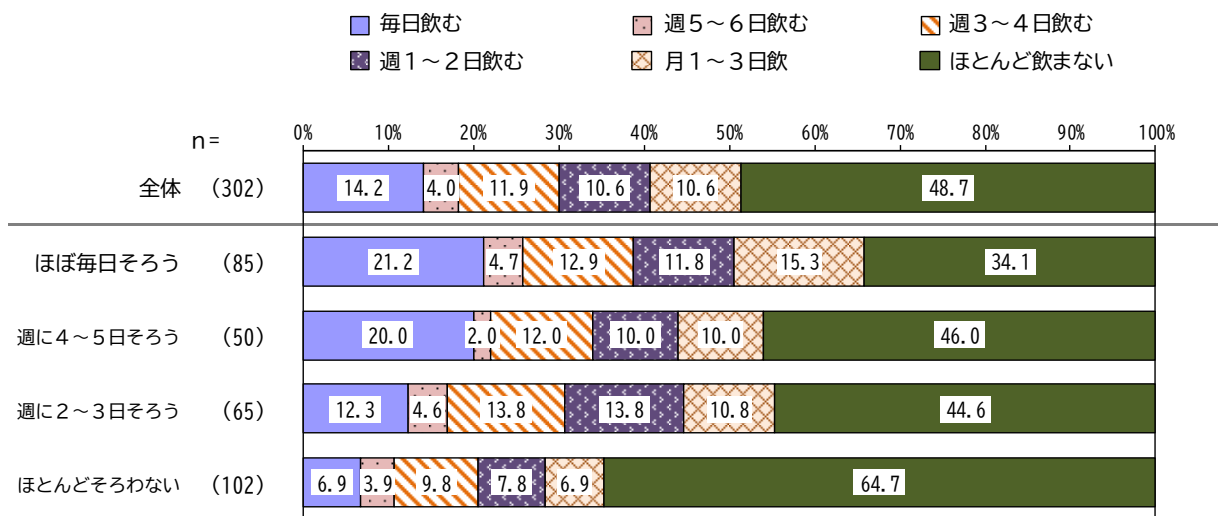
問 10 お子さんは、茶葉で淹れた緑茶をこの1か月間にどのくらい飲みましたか。
【1歳以上の子ども】

1歳以上の子どもが茶葉で淹れた緑茶を飲む頻度について、「ほとんど飲まない」が48.7%と5割近くを占めて最も高く、次いで「毎日飲む」(14.2%)、「週3～4日飲む」(11.9%)が続いています。



【主食・主菜・副菜がそろう頻度別】

主食・主菜・副菜がそろう頻度別でみると、主食・主菜・副菜がそろう頻度が多いほど「毎日飲む」割合が高く、主食・主菜・副菜が「ほぼ毎日そろう」と「週に4～5日そろう」回答者では2割を占めています。反対に「ほとんど飲まない」割合は、主食・主菜・副菜が「ほとんどそろわない」回答者で64.7%と6割半ばを占めて高くなっています。



Ⅱ 就学前児童保護者の調査結果

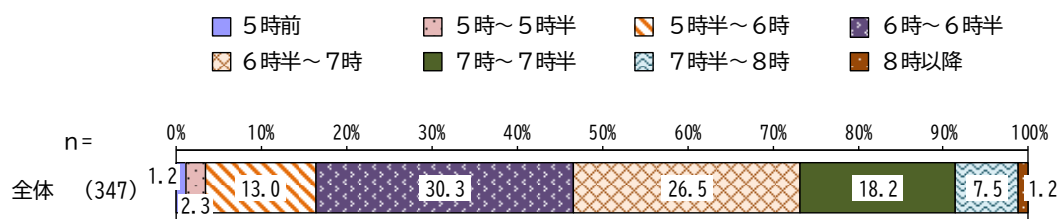
3. 子どもの起床時間・就寝時間

(1) 子どもの起床時間・就寝時間

問 11 お子さんが、普段 ①朝起きる時刻、②夜寝る時刻を教えてください。

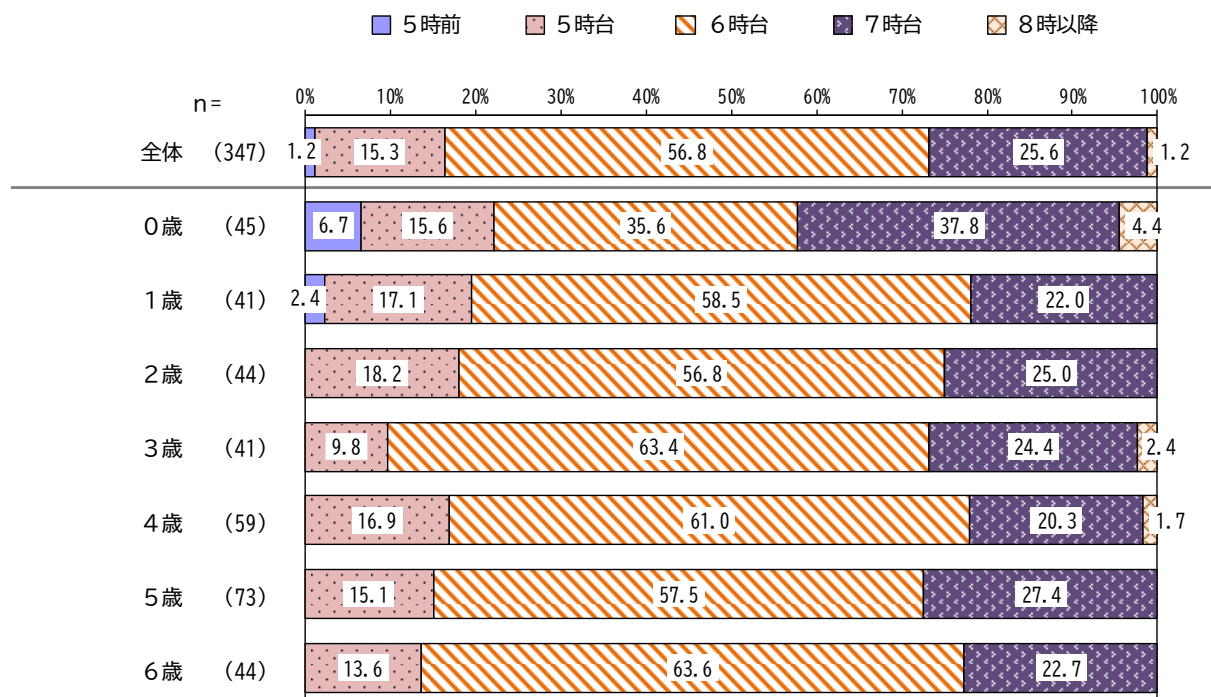
①朝起きる時刻

子どもの起床時間について、「6時～6時半」が30.3%と3割を占めて最も高く、「6時半～7時」(26.5%)と合わせた『6時台』で56.8%と5割半ばを超えています。



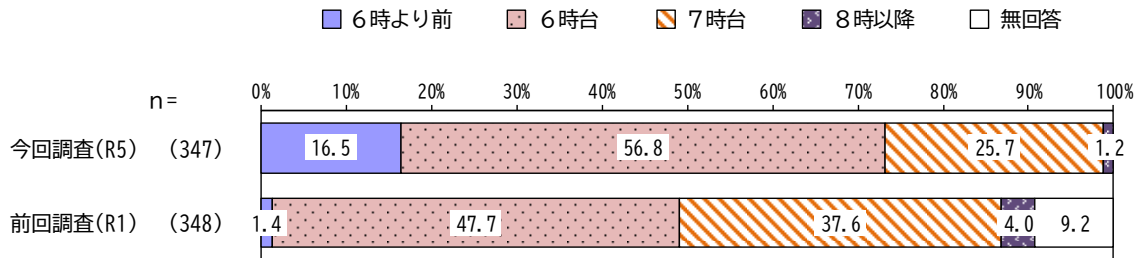
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「0歳」は「7時台」が37.8%と3割半ばを超えて、他の年齢よりも高くなっています。また、「5時前」や「8時以降」も「0歳」で他の年齢よりも高くなっています。



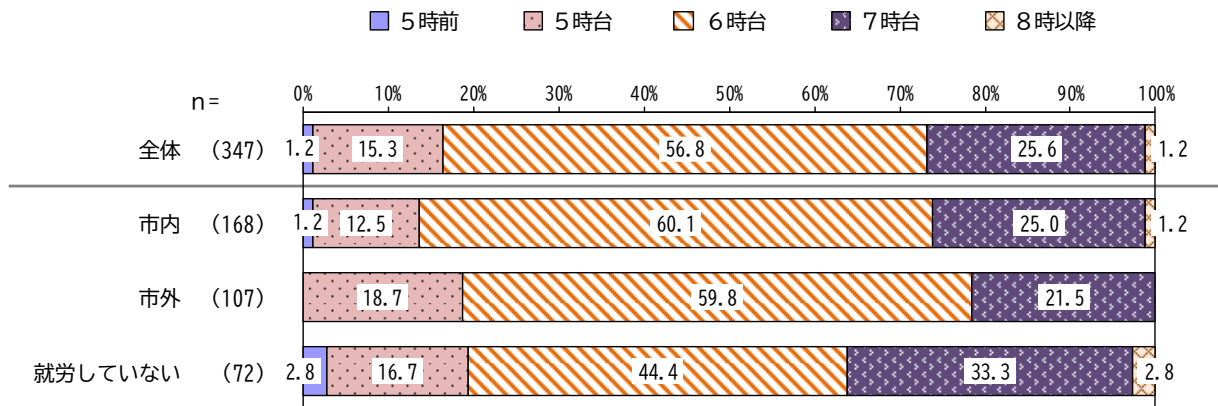
【前回比較】

前回調査と比較すると、「6時より前」の割合が平成30年度より大きく上がっており、反対に「7時台」の割合が大きく下がっています。



【就労状況別】

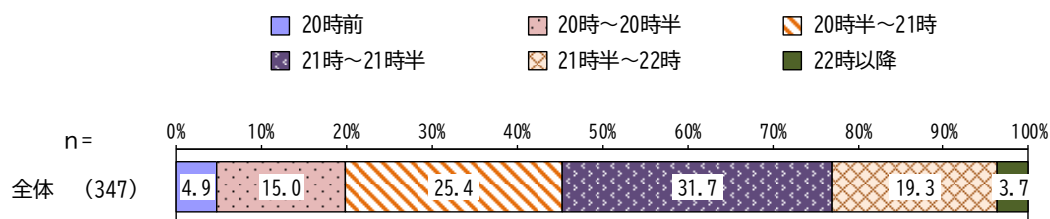
就労状況別で見ると、「7時台」の割合は、〔就労していない〕回答者で33.3%と3割を超えており、就労している回答者よりも高くなっています。



II 就学前児童保護者の調査結果

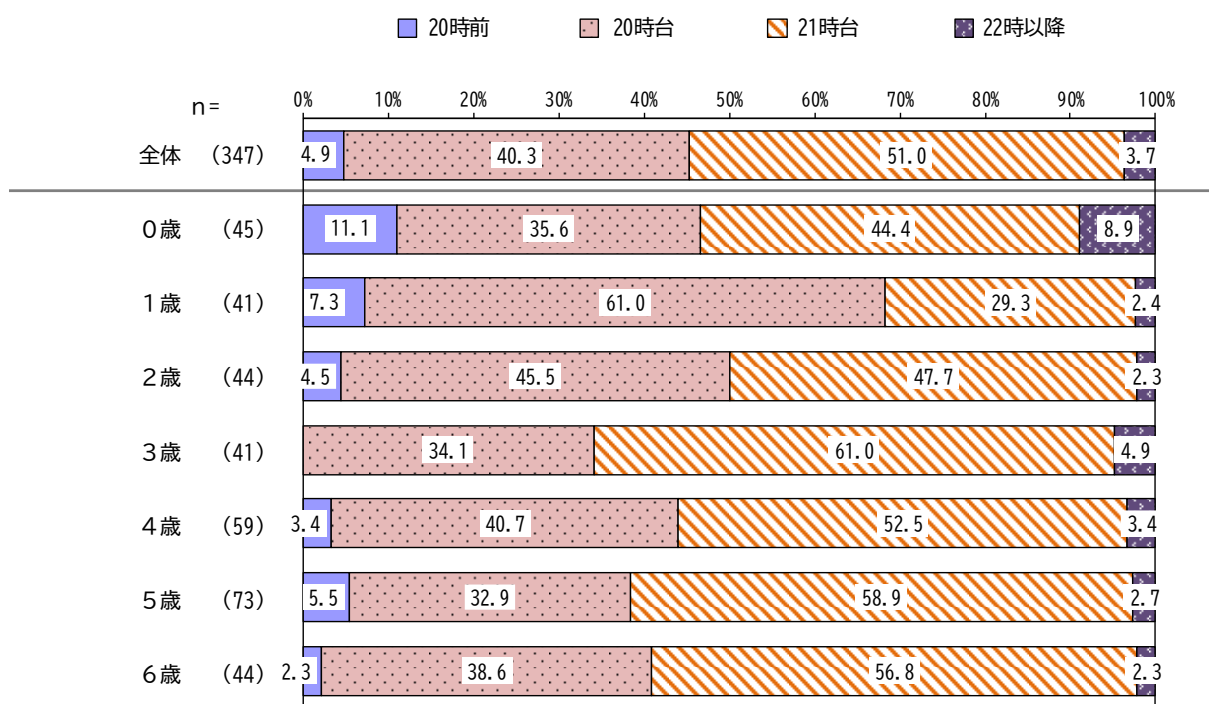
②夜寝る時刻

子どもの就寝時間について、「21時～21時半」が31.7%と3割を超えて最も高く、次いで「20時半～21時」(25.4%)、「21時半～22時」(19.3%)が続いています。



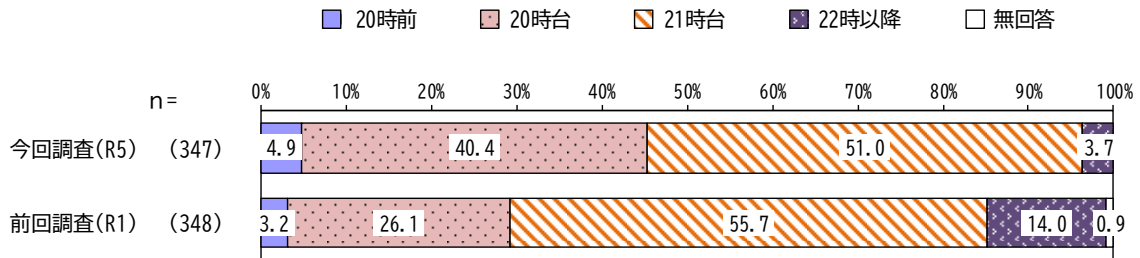
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「0歳」は「20時前」と「22時以降」の割合が他の年齢よりも高くなっています。また、「1歳」は「20時台」が61.0%と6割を超えて、他の年齢よりも高くなっています。3歳以上では「21時台」が5割を超えて最も高くなっています。



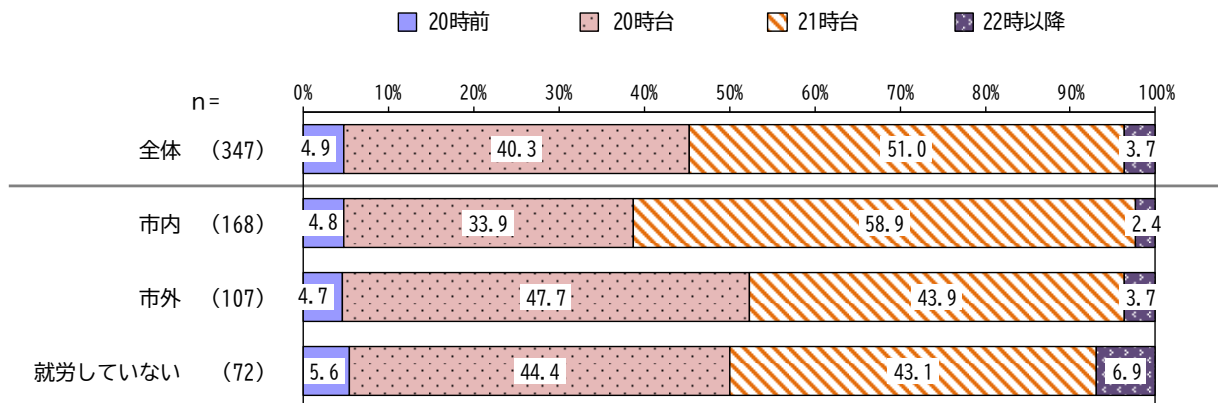
【前回比較】

前回調査と比較すると、「20 時台」の割合が平成 30 年度より大きく上がっており、反対に「22 時以降」の割合が大きく下がっています。



【就労状況別】

就労状況別でみると、「市内」の回答者で「21 時台」が 58.9%と 6 割近くを占めて最も高くなっています。



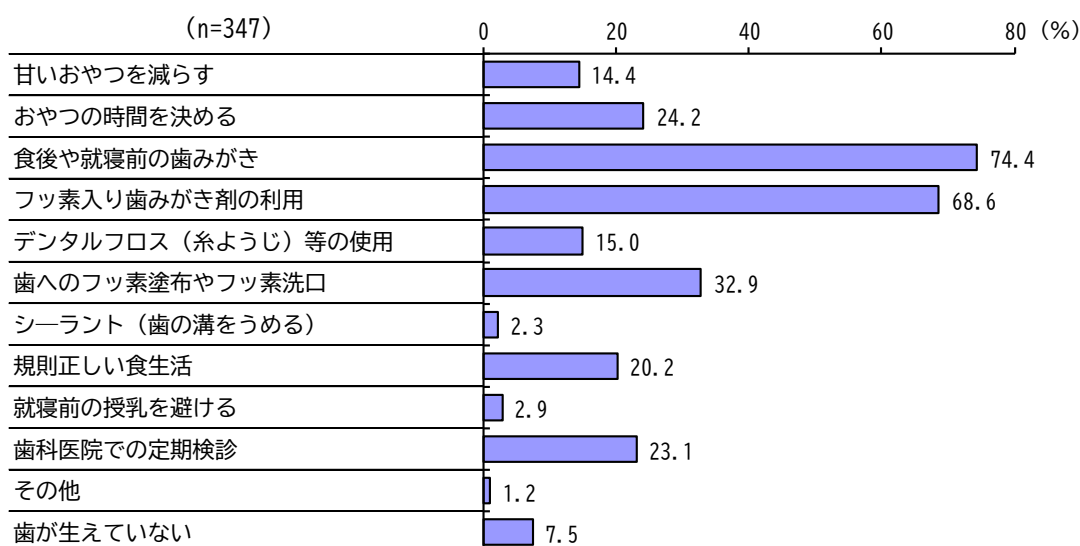
II 就学前児童保護者の調査結果

4. 子どもの歯について

(1) 子どもの虫歯予防

問 12 お子さんのむし歯予防のためにやっている(行った)ことはありますか。【複数回答】

子どものむし歯予防のためにやっていることについて、「食後や就寝前の歯みがき」が74.4%と7割半ば程度で最も高く、次いで「フッ素入り歯みがき剤の利用」(68.6%)や「歯へのフッ素塗布やフッ素洗口」(32.9%)が続いています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「甘いおやつを減らす」は〔1歳〕で39.0%と4割近くになっており、他の年齢よりも高くなっています。また、「歯科医院での定期検診」は〔5歳〕と〔6歳〕で4割台と、他の年齢よりも高くなっています。

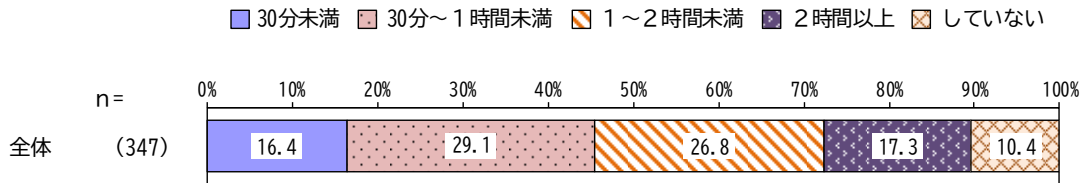
(単位:%)		n	甘いおやつを減らす	おやつを決める	食後や就寝前の歯みがき	フッ素入り歯みがき剤の利用	デンタルフロス(糸ようじ)等の使用	歯へのフッ素塗布やフッ素洗口	シーラント(歯の溝をうめる)	規則正しい食生活	就寝前の授乳を避ける	歯科医院での定期検診	その他	歯が生えていない
全体		(347)	14.4	24.2	74.4	68.6	15.0	32.9	2.3	20.2	2.9	23.1	1.2	7.5
年齢別	0歳	(45)	6.7	6.7	26.7	11.1	0.0	4.4	0.0	8.9	0.0	0.0	4.4	57.8
	1歳	(41)	39.0	31.7	92.7	51.2	4.9	17.1	0.0	34.1	12.2	4.9	0.0	0.0
	2歳	(44)	18.2	38.6	81.8	81.8	27.3	31.8	0.0	29.5	6.8	13.6	0.0	0.0
	3歳	(41)	17.1	31.7	78.0	80.5	14.6	36.6	0.0	19.5	2.4	17.1	0.0	0.0
	4歳	(59)	10.2	32.2	79.7	81.4	20.3	52.5	0.0	15.3	0.0	18.6	1.7	0.0
	5歳	(73)	6.8	15.1	80.8	83.6	13.7	42.5	5.5	19.2	1.4	47.9	0.0	0.0
	6歳	(44)	11.4	18.2	77.3	77.3	22.7	31.8	9.1	18.2	0.0	43.2	2.3	0.0

5. 子どもの1日の過ごし方

(1) 運動時間

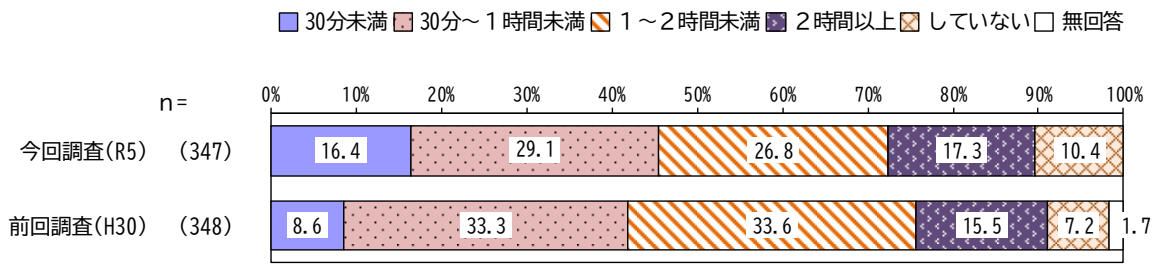
問 13 お子さんは体を動かす遊びなど(スポーツを含む)を、一日平均してどれくらいしますか。

子どもの1日の運動時間について、「30分～1時間未満」が29.1%、「1～2時間未満」が26.8%とそれぞれ2割半ばを超えて高くなっています。



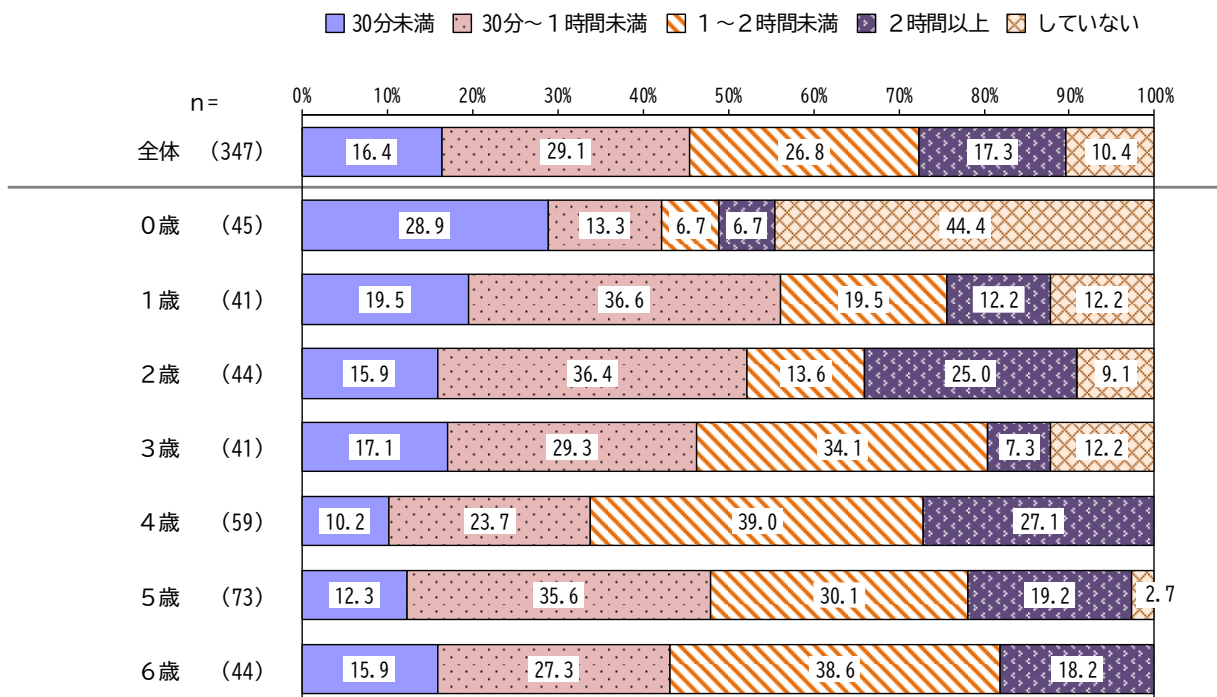
【前回比較】

前回調査と比較すると、「30分未満」の割合は平成30年度から7.8ポイント上がっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、「1歳」、「2歳」、「5歳」では「30分～1時間未満」が3割半ばを超えて最も高くなっています。また、3歳以上の年齢では「1～2時間未満」がいずれも3割台となっています。

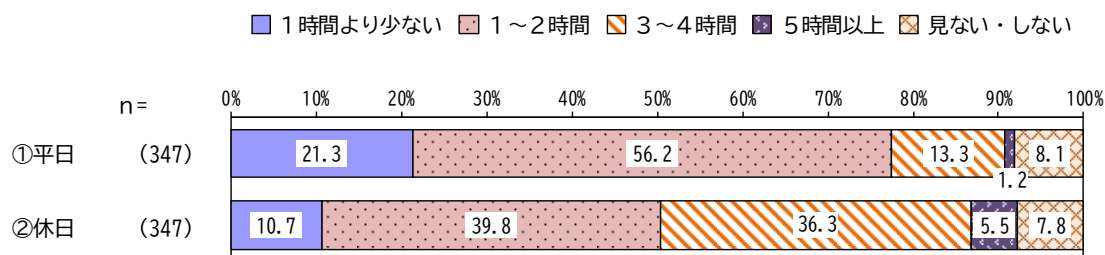


II 就学前児童保護者の調査結果

(2) テレビ等を見る時間

問 14 お子さんが家でテレビやビデオを見る時間、ゲーム機やタブレット等を使用する時間は、平日及び休日について、それぞれ1日に平均どのくらいですか。

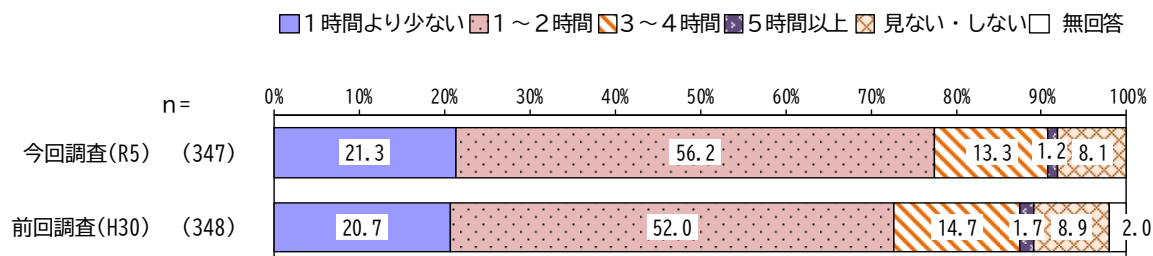
子どもがテレビ等を見たりタブレット等を使用する時間について、平日・休日ともに「1～2時間」が最も高く、特に平日では56.2%と5割半ばを超えています。休日では「3～4時間」が36.3%と3割半ばを超えて平日よりも23.0ポイント高くなっています。



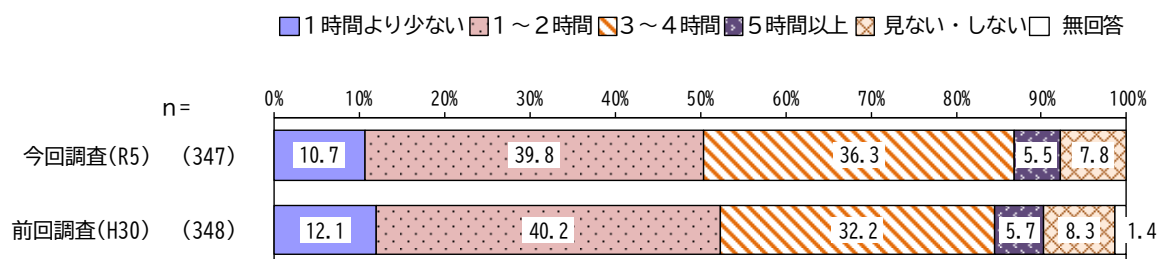
【前回比較】

前回調査と比較すると、平日では「1～2時間」の割合が、休日では「3～4時間」の割合が平成30年度から4ポイント程度上がっていますが、全体的な割合にあまり大きな差はありません。

①平日



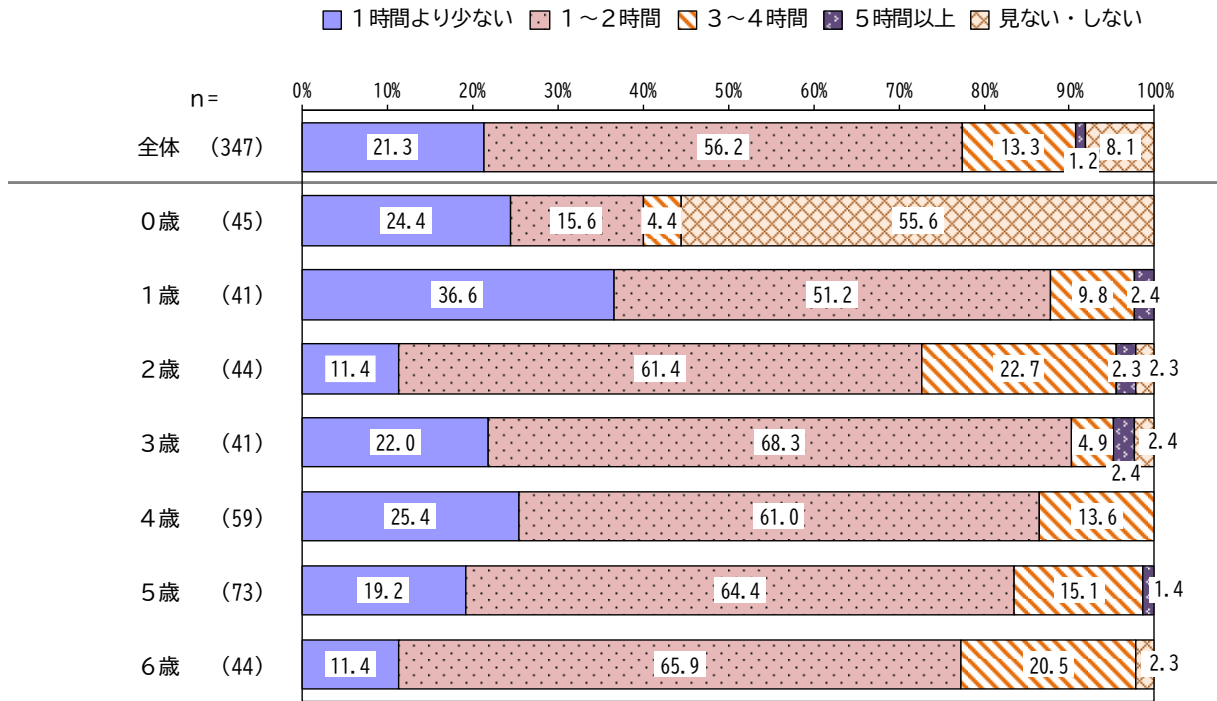
②休日



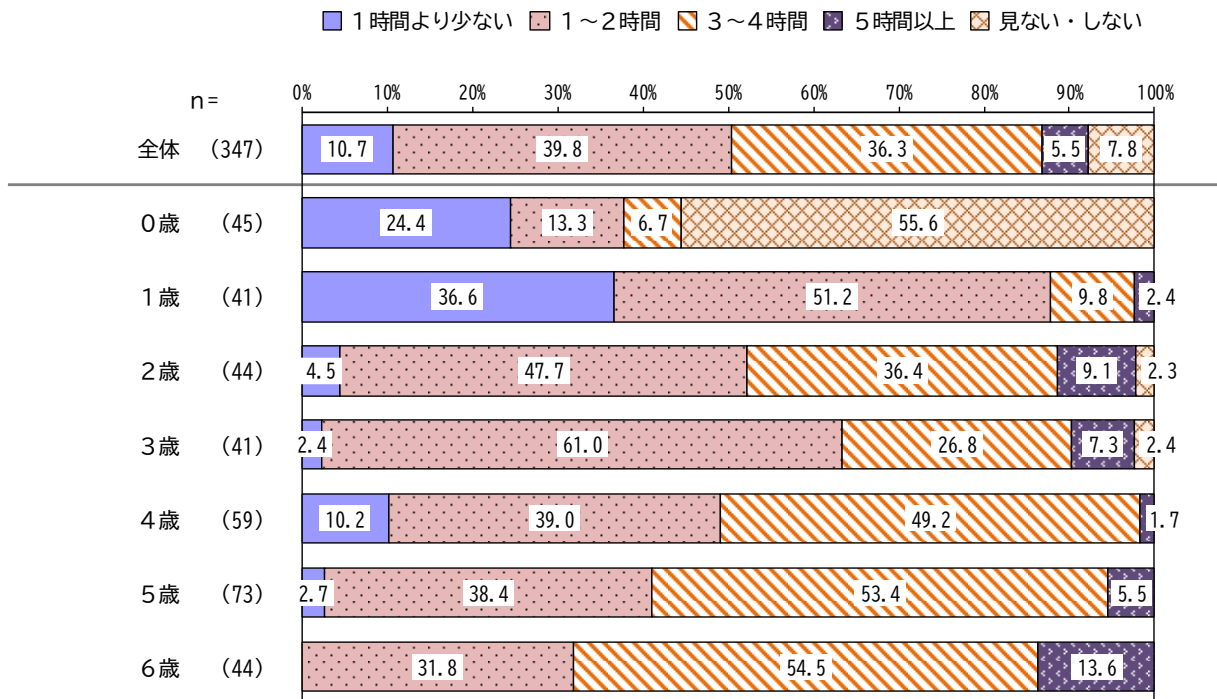
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、2歳以上の年齢では平日よりも休日の方が、「3～4時間」や「5時間以上」の割合が高く、休日にはテレビを見たりタブレット等を使用する時間が長い傾向にあります。特に、休日の4歳以上では「3～4時間」が5割前後を占めています。

①平日



②休日

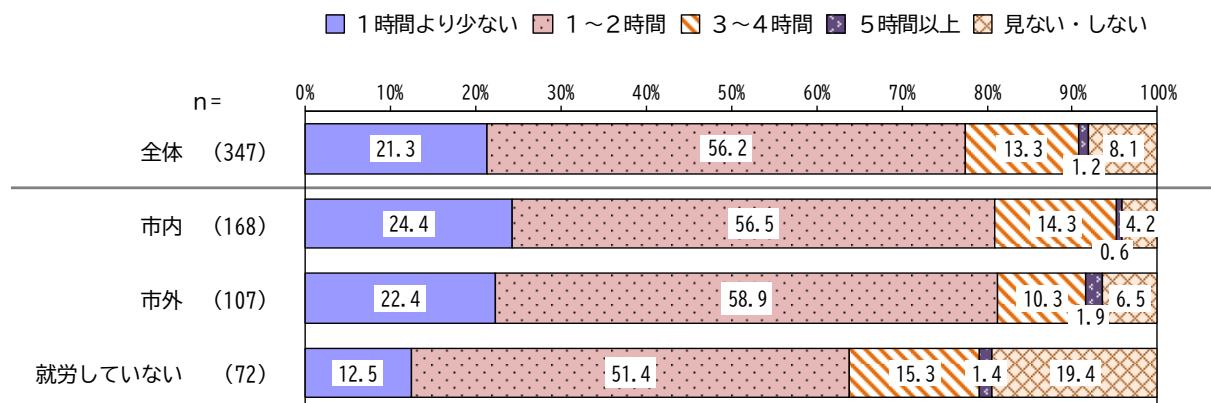


II 就学前児童保護者の調査結果

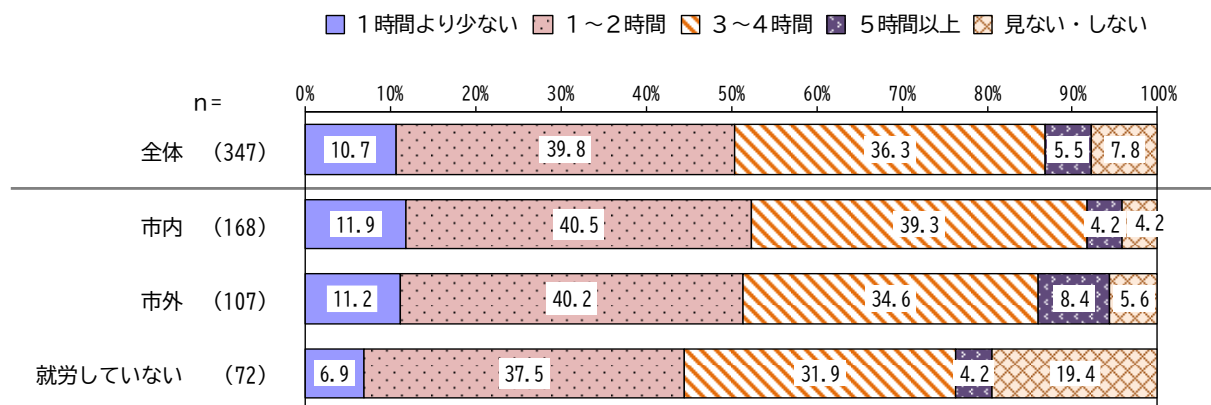
【就労状況別】

就労状況別で見ると、平日・休日ともに、〔就労していない〕回答者の子どもでは「見ない・しない」が19.4%と2割近くを占めて、就労している保護者の子どもより高い割合となっています。

①平日



②休日

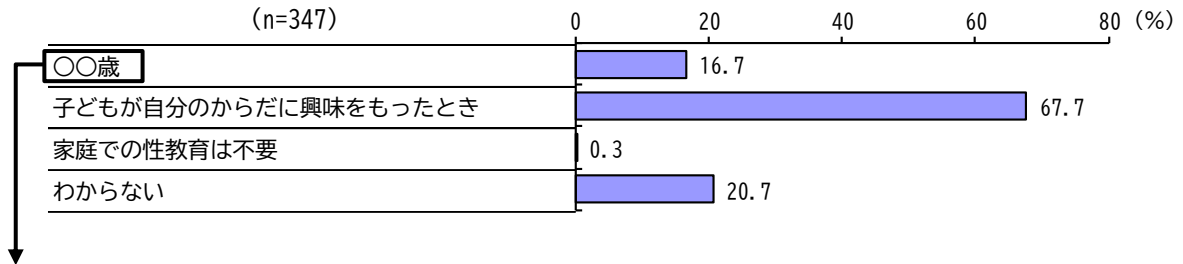


6. 家庭での性教育について

(1) 性教育を行う時期

問 15 家庭での性教育はいつ頃から行うことが良いと思いますか。【複数回答】

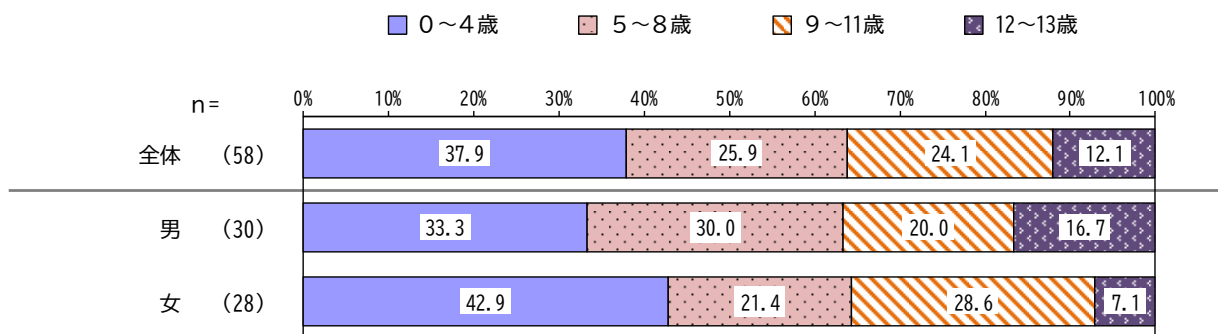
家庭での性教育を行う時期について、「子どもが自分のからだに興味をもったとき」が67.7%と6割半ばを超えて最も高くなっています。



【〇〇歳の内訳】

「〇〇歳」の内訳をみると、「0～4歳」が37.9%と最も高く、次いで「5～8歳」(25.9%)、「9～11歳」(24.1%)が続いています。

子どもの性別でみると、〔女〕では「0～4歳」と「9～11歳」の割合が〔男〕を上回っています。

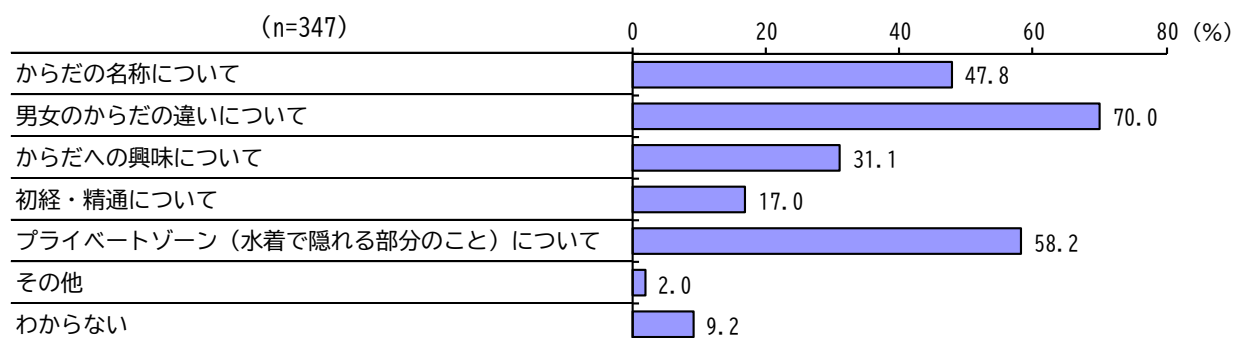


II 就学前児童保護者の調査結果

(2) 5歳～8歳に向けた性教育

問 16 5歳～8歳頃のお子さんに向けた性教育は、どのような内容が良いと思いますか。
【複数回答】

5歳～8歳の子どもに向けた性教育について、「男女のからだの違いについて」が70.0%と7割に達し最も高く、次いで「プライベートゾーン（水着で隠れる部分のこと）について」（58.2%）、「からだの名称について」（47.8%）が続いています。



【子どもの性別・年齢別】

子どもの性別でみると、男女差はほぼなく、「男女のからだの違いについて」がそれぞれ7割程度、「プライベートゾーン（水着で隠れる部分のこと）について」がそれぞれ5割台後半となっています。

子どもの年齢別でみると、〔4歳〕では「プライベートゾーン（水着で隠れる部分のこと）について」（63.4%）が最も高く、それ以外の年齢では「男女のからだの違いについて」が最も高くなっています。

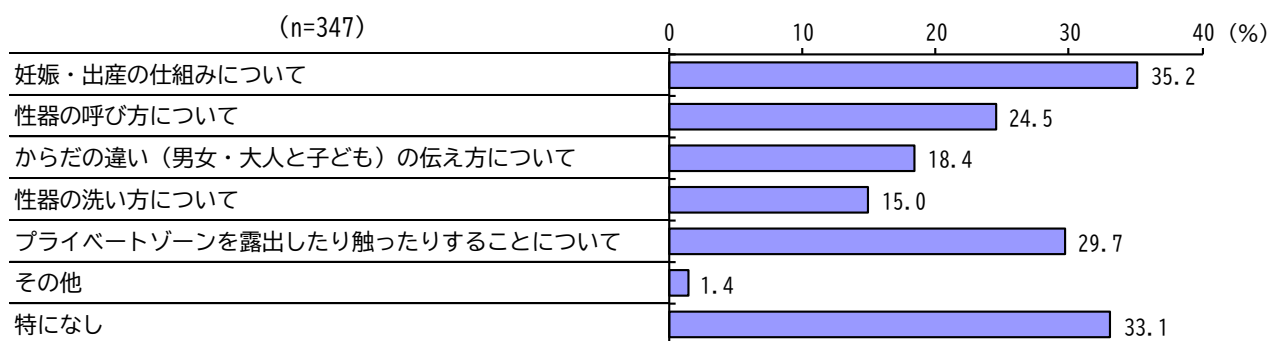
	n	からだの名称について	男女のからだの違いについて	からだへの興味について	初経・精通について	プライベートゾーン(水着で隠れる部分のこと)について	その他	わからない	
(単位:%)									
全体	(347)	47.8	70.0	31.1	17.0	58.2	2.0	9.2	
性別	男	(173)	49.1	69.4	30.6	16.8	59.5	1.7	7.5
	女	(174)	46.6	70.7	31.6	17.2	56.9	2.3	10.9
年齢別	0歳	(45)	40.0	77.8	37.8	24.4	55.6	4.4	77.7
	1歳	(41)	56.1	70.7	34.1	26.8	46.3	0.0	4.9
	2歳	(44)	43.2	70.5	29.5	18.2	61.4	2.3	15.9
	3歳	(41)	43.9	56.1	19.5	12.2	63.4	2.4	9.8
	4歳	(59)	47.5	71.2	40.7	13.6	62.7	0.0	6.8
	5歳	(73)	49.3	67.1	23.3	9.6	56.2	2.7	9.6
	6歳	(44)	54.5	77.3	34.1	20.5	61.4	2.3	6.8

(3) 性教育で困る内容

問 17 性に関することをお子さんへ教えるとき、またお子さんから聞かれたときに困ると感じる内容はありますか。【複数回答】

性に関することを教えるときや聞かれたときに困ると感じる内容について、「妊娠・出産の仕組みについて」が35.2%と3割半ばに達し最も高く、次いで「プライベートゾーンを露出したり触ったりすることについて」(29.7%)、「性器の呼び方について」(24.5%)が2割台で続いています。

一方、「特になし」が33.1%と3割を超えています。



【子どもの性別・年齢別】

子どもの性別で見ると、「性器の呼び方について」の割合が〔女〕で30.5%と3割に達しており、〔男〕(18.5%)を12.0ポイント上回っています。

子どもの年齢別で見ると、〔1歳〕と〔2歳〕では「プライベートゾーンを露出したり触ったりすることについて」が最も高く、それ以外の年齢では「妊娠・出産の仕組みについて」が最も高くなっています。

	n	妊娠・出産の仕組みについて	性器の呼び方について	からだの違い(男女・大人と子ども)の伝え方について	性器の洗い方について	プライベートゾーンを露出したり触ったりすることについて	その他	特になし
(単位:%)								
全 体	(347)	35.2	24.5	18.4	15.0	29.7	1.4	33.1
性別	男	37.0	18.5	19.7	14.5	28.9	1.7	30.6
	女	33.3	30.5	17.2	15.5	30.5	1.1	35.6
年齢別	0歳	37.8	35.6	17.8	15.6	33.3	0.0	35.6
	1歳	24.4	24.4	17.1	9.8	31.7	0.0	36.6
	2歳	27.3	13.6	11.4	15.9	31.8	6.8	36.4
	3歳	31.7	19.5	19.5	7.3	22.0	0.0	46.3
	4歳	40.7	33.9	18.6	22.0	35.6	1.7	25.4
	5歳	41.1	20.5	20.5	15.1	31.5	1.4	23.3
	6歳	36.4	22.7	22.7	15.9	18.2	0.0	38.6

II 就学前児童保護者の調査結果

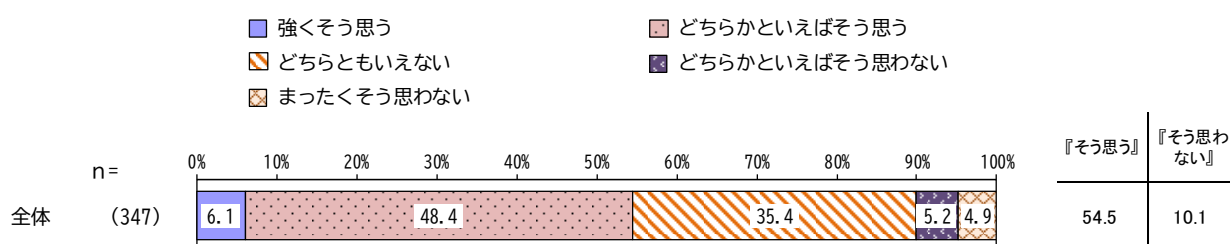
7. 子ども子育て環境

(1) 子育て世帯の地域の印象

問 18 あなたのお住まいの地域についておたずねします。

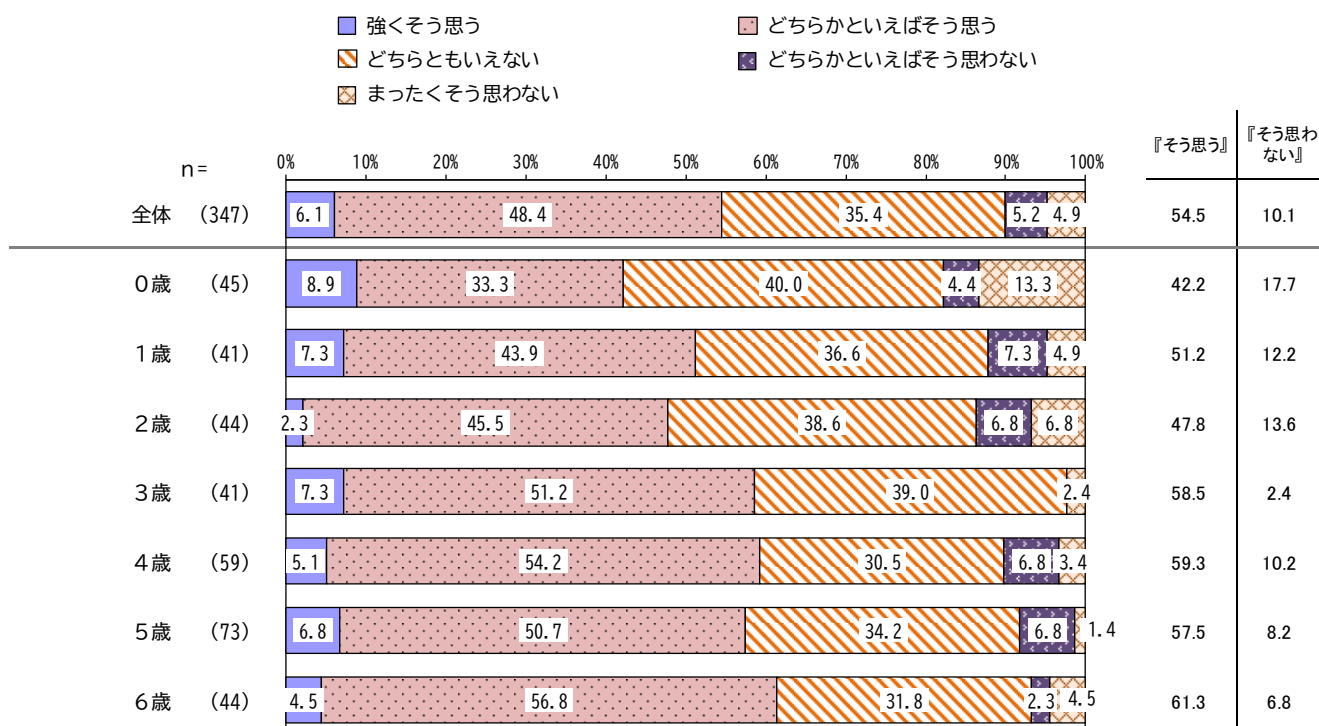
①あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている

住んでいる地域の人々がお互いに助け合っているかについて、「強くそう思う」(6.1%)と「どちらかといえばそう思う」(48.4%)を合わせた『そう思う』が54.5%と5割半ば近くを占めています。反対に「どちらかといえばそう思わない」(5.2%)と「まったくそう思わない」(4.9%)を合わせた『そう思わない』(10.1%)は1割を占めています。



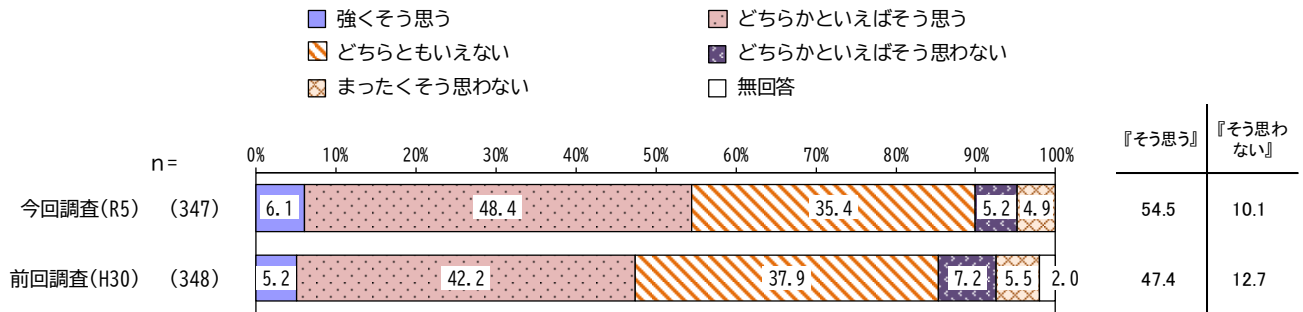
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、〔0歳〕は「まったくそう思わない」が13.3%と他の年齢よりも高くなっています。



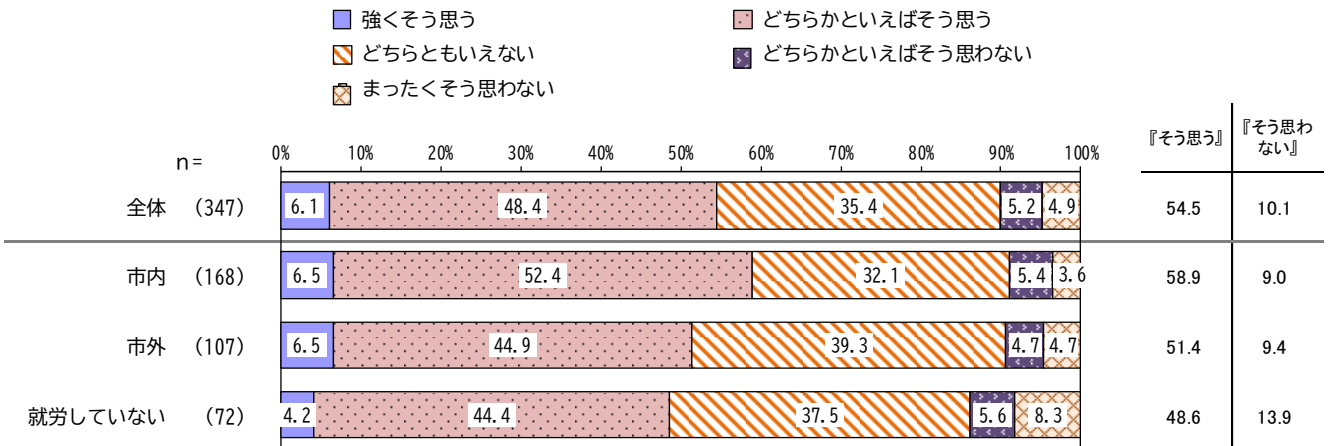
【前回比較】

前回調査と比較すると、『そう思う』割合が平成30年度より7.1ポイント上がっています。



【就労状況別】

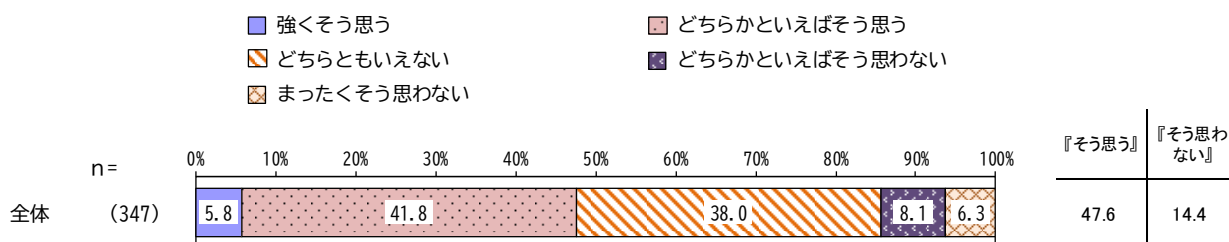
就労状況別でみると、『そう思う』割合は〔市内〕(58.9%)と〔市外〕(51.4%)ともに就労している回答者で5割を超えています。一方、『そう思わない』割合は、〔就労していない〕回答者で13.9%と1割を超えており、就労している回答者よりも高くなっています。



II 就学前児童保護者の調査結果

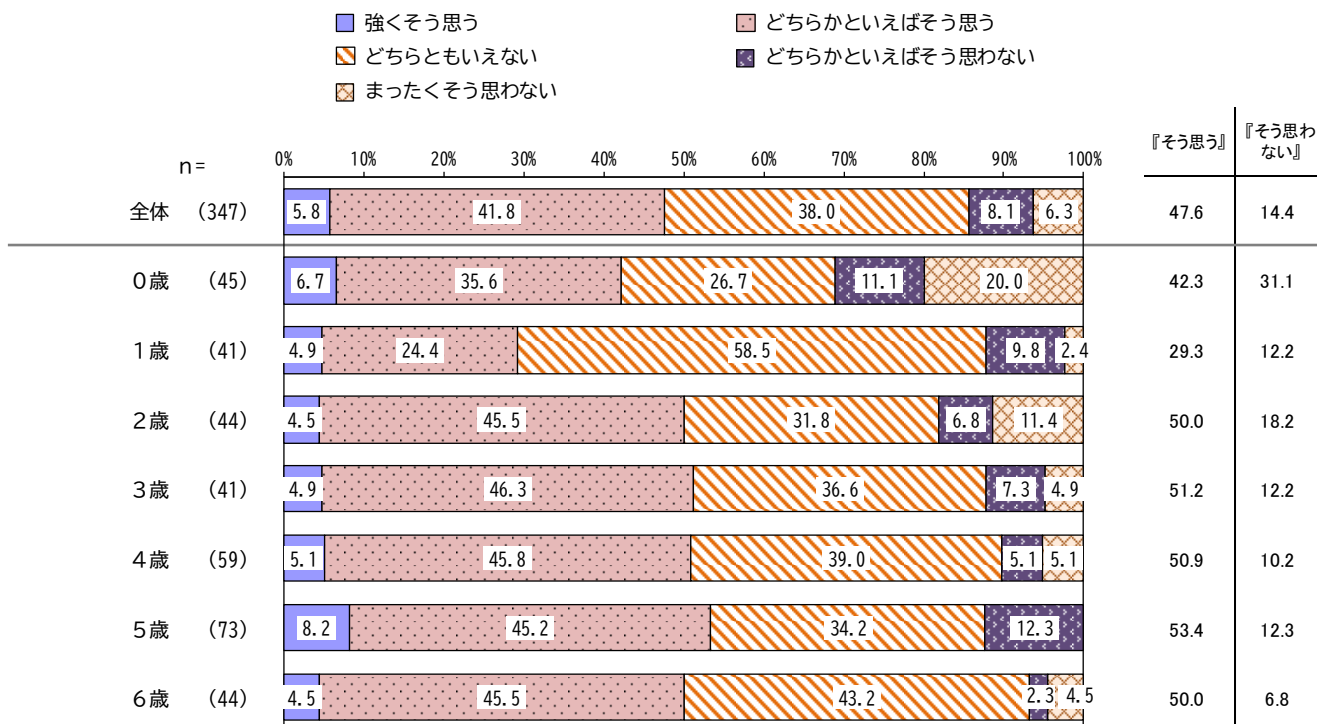
②あなたのお住まいの地域の人々とのつながりは強い

住んでいる地域の人々とのつながりは強いかについて、「強くそう思う」(5.8%)と「どちらかといえばそう思う」(41.8%)を合わせた『そう思う』が47.6%と4割半ばを超えています。反対に「どちらかといえばそう思わない」(8.1%)と「まったくそう思わない」(6.3%)を合わせた『そう思わない』(14.4%)は1割半ば近くを占めています。



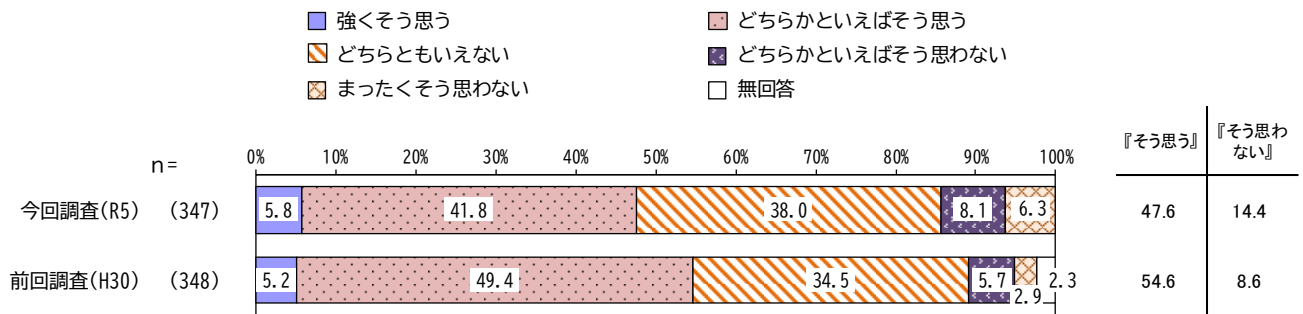
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、〔0歳〕は『そう思わない』が31.1%と3割を超えており、特に「まったくそう思わない」が20.0%と2割を占めて、他の年齢よりも高くなっています。また、〔1歳〕は「どちらかといえばそう思う」が24.4%と2割台で、他の年齢よりも低くなっています。



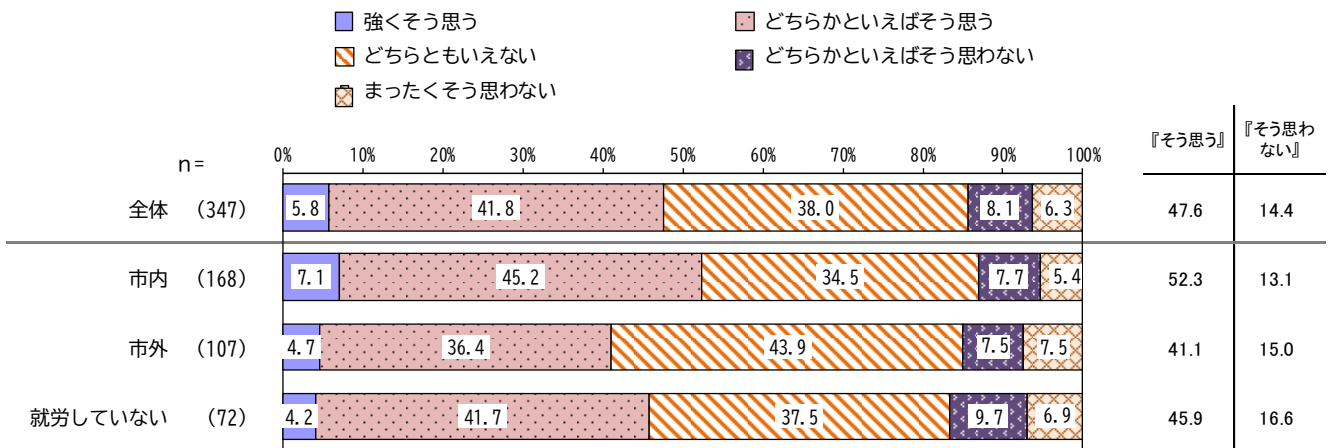
【前回比較】

前回調査と比較すると、『そう思わない』割合が平成30年度より5.8ポイント上がっています。



【就労状況別】

就労状況別でみると、『そう思う』割合は〔市内〕で52.3%と5割を超えて高くなっています。『そう思わない』割合は、いずれの就労状況でも1割半ば前後を占めています。

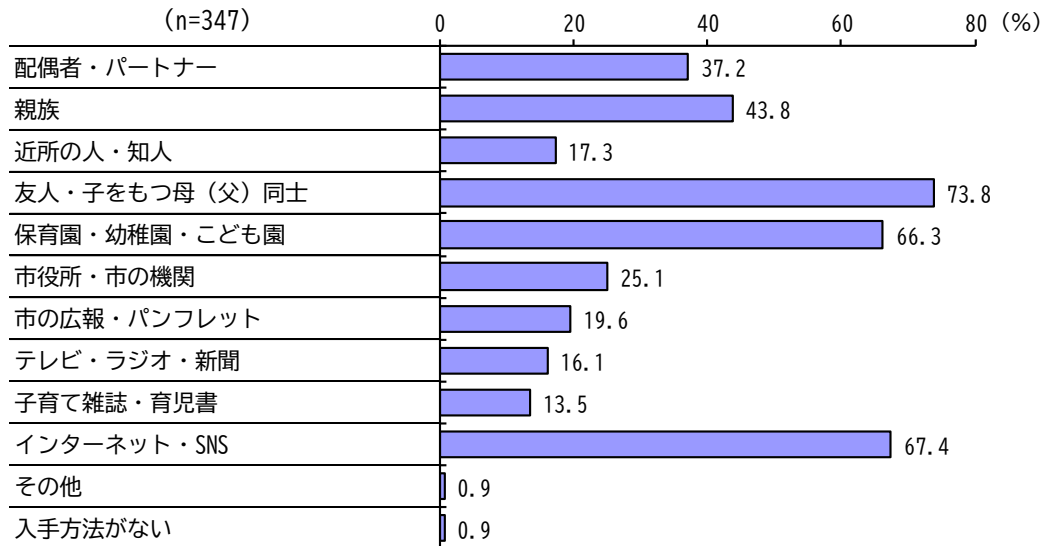


II 就学前児童保護者の調査結果

(2) 子育てに関する情報入手先

問 19 子育てに関する情報はどこから入手していますか。【複数回答】

子育てに関する情報入手先について、「友人・子をもつ母（父）同士」が73.8%と7割を超えて最も高く、次いで「インターネット・SNS」（67.4%）や「保育園・幼稚園・こども園」（66.3%）が6割半ばを超えて続いています。



【子どもの年齢別】

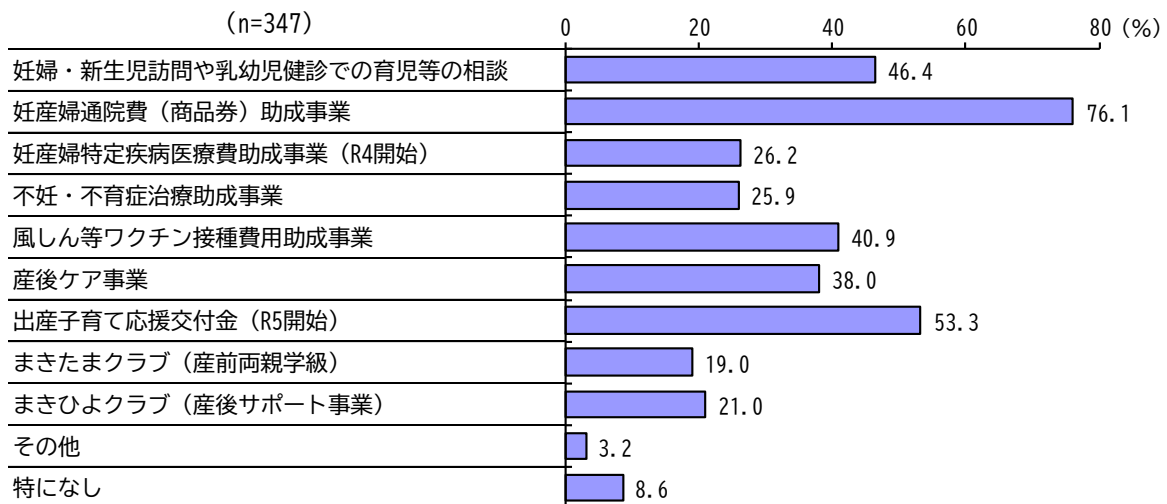
子どもの年齢別でみると、〔0歳〕と〔1歳〕では「インターネット・SNS」が7割半ばを超えて高く、特に〔1歳〕では85.4%と8割半ばに達しています。3～5歳にかけては「保育園・幼稚園・こども園」が7割半ばを超えて高くなっています。また、〔6歳〕では「友人・子をもつ母（父）同士」が86.4%と8割半ばを超えて、他の年齢よりも高くなっています。

(単位:%)		n	配偶者・パートナー	親族	近所の人・知人	友人・子をもつ母（父）同士	保育園・幼稚園・こども園	市役所・市の機関	市の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ・新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット・SNS	その他	入手方法がない
全体		(347)	37.2	43.8	17.3	73.8	66.3	25.1	19.6	16.1	13.5	67.4	0.9	0.9
年齢別	0歳	(45)	33.3	48.9	11.1	75.6	24.4	53.3	20.0	15.6	24.4	75.6	0.0	2.2
	1歳	(41)	34.1	46.3	17.1	73.2	53.7	24.4	22.0	9.8	14.6	85.4	0.0	0.0
	2歳	(44)	40.9	38.6	25.0	68.2	56.8	27.3	15.9	18.2	4.5	63.6	0.0	2.3
	3歳	(41)	48.8	53.7	14.6	75.6	85.4	24.4	24.4	12.2	17.1	65.9	0.0	0.0
	4歳	(59)	27.1	42.4	20.3	71.2	76.3	23.7	20.3	25.4	20.3	66.1	1.7	0.0
	5歳	(73)	41.1	37.0	13.7	69.9	80.8	15.1	15.1	13.7	8.2	60.3	2.7	1.4
	6歳	(44)	36.4	45.5	20.5	86.4	75.0	13.6	22.7	15.9	6.8	61.4	0.0	0.0

(3) 妊娠前～出産後に求められる母子保健サービス

問 20 妊娠前～出産後において、あって良かった(あったら良かった)と感じる母子保健サービスは何かありますか。【複数回答】

妊娠前～出産後に求められる母子保健サービスについて、「妊産婦通院費（商品券）助成事業」が76.1%と7割半ばを超えて最も高く、次いで「出産子育て応援交付金（R5開始）」（53.3%）、「妊婦・新生児訪問や乳幼児健診での育児等の相談」（46.4%）が続いています。

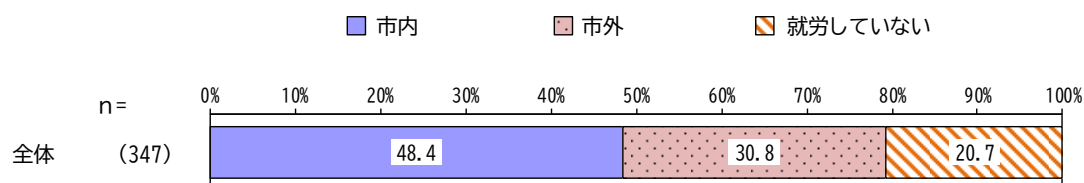


II 就学前児童保護者の調査結果

(4) 就労状況

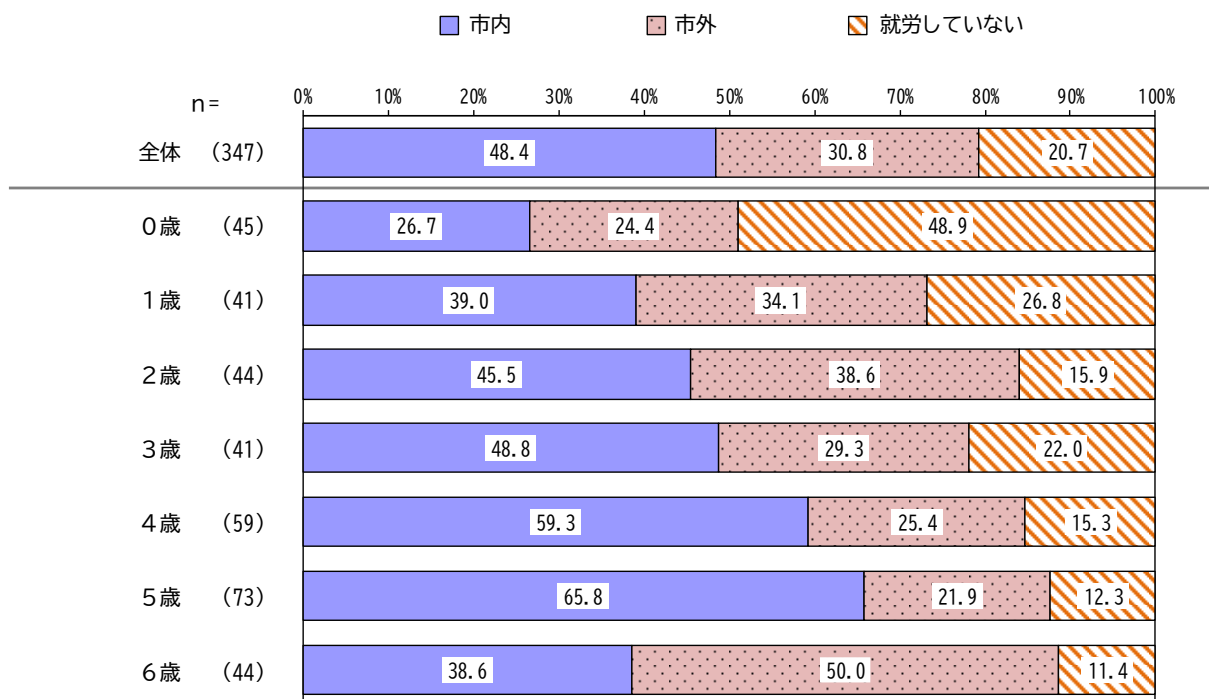
問 21 あなたの職場は市内・市外のどちらですか。

回答者の就労状況について、「市内」が48.4%と4割半ばを超えて最も高く、「市外」(30.8%)と合わせた『就労している』は79.2%と8割近くを占めています。



【子どもの年齢別】

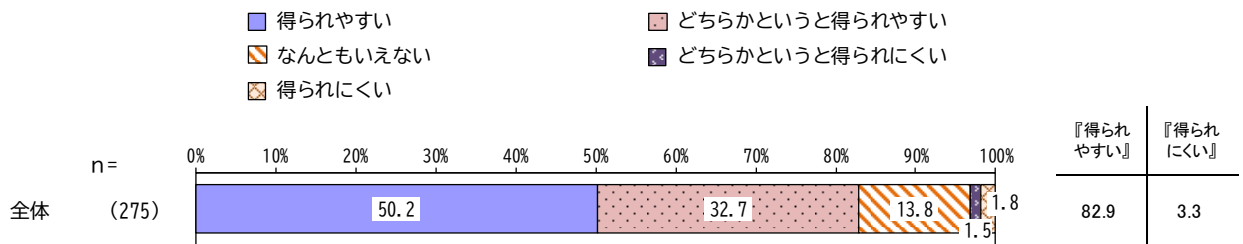
子どもの年齢別でみると、「就労していない」割合は〔0歳〕で48.9%と5割近くを占めています。「市内」の割合は子どもの年齢が上がるほど高くなる傾向にありますが、〔6歳〕では「市外」が50.0%と5割を占めて高くなっています。



(5) 職場の子育てに対する理解

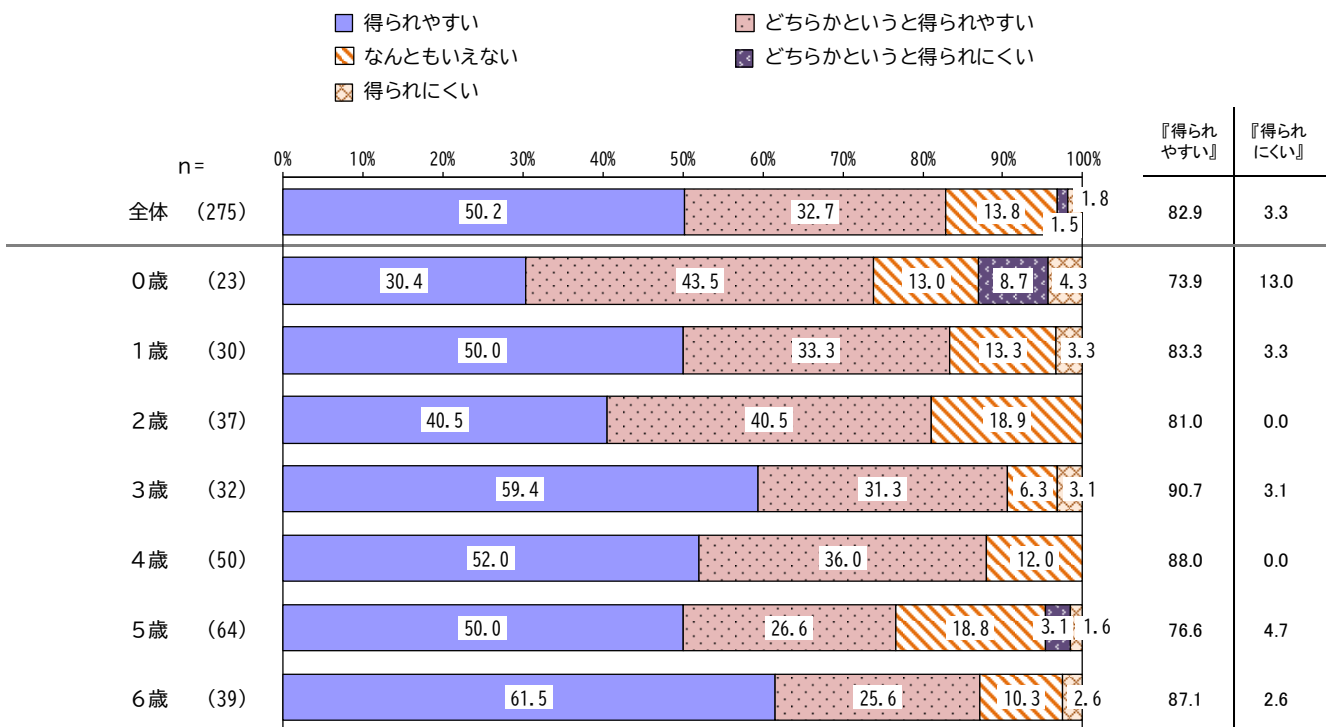
問 22 子育てに対して、職場の理解は得られやすいですか。

職場の子育てに対する理解について、「得られやすい」(50.2%)と「どちらかというと得られやすい」(32.7%)を合わせた『得られやすい』が82.9%と8割を超えています。一方、「どちらかというと得られにくい」(1.5%)と「得られにくい」(1.8%)を合わせた『得られにくい』は3.3%、「なんともいえない」は13.8%となっています。



【子どもの年齢別】

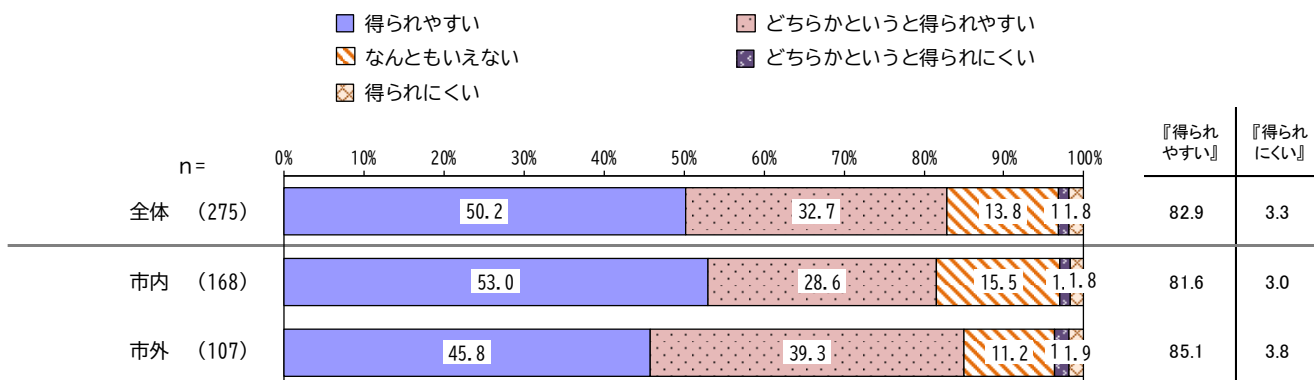
子どもの年齢別でみると、〔0歳〕は『得られにくい』が13.0%と他の年齢よりも高くなっています。



Ⅱ 就学前児童保護者の調査結果

【就労状況別】

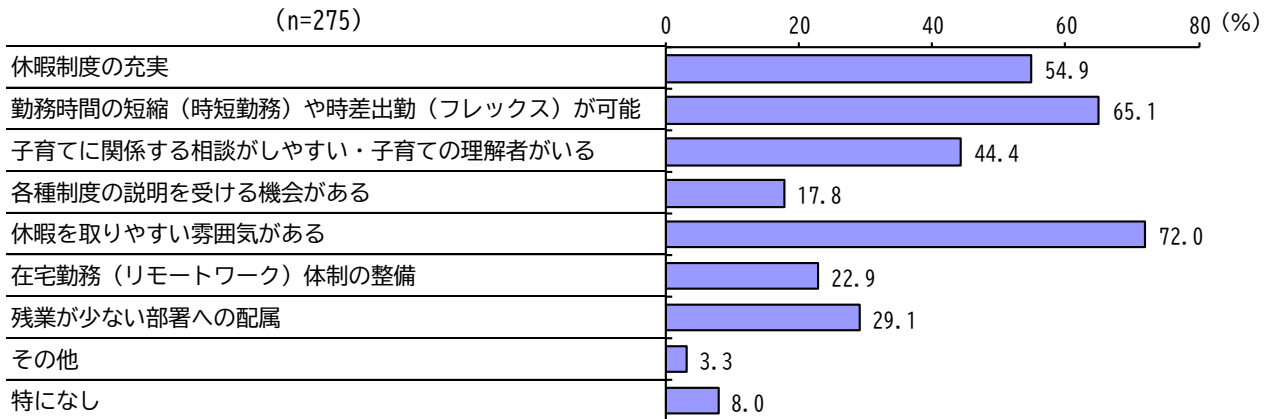
就労状況別でみると、『得られやすい』割合は〔市内〕（81.6％）と〔市外〕（85.1％）ともに8割を超えています。



(6) 職場にしてほしい配慮

問 23 子育てをするうえで、職場でどんな配慮をしてもらえると良いと思いますか。【複数回答】

子育てをするうえで職場にしてほしい配慮について、「休暇を取りやすい雰囲気がある」が72.0%と7割を超えて最も高く、次いで「勤務時間の短縮（時短勤務）や時差出勤（フレックス）が可能」（65.1%）、「休暇制度の充実」（54.9%）が続いています。



【子どもの年齢別・就労状況別】

子どもの年齢別で見ると、〔0歳〕では多くの項目で他の年齢よりも高い割合になっており、特に「子育てに関する相談がしやすい・子育ての理解者がいる」は他の年齢よりも20ポイント以上高くなっています

就労状況別にみると、〔市外〕の回答者では「休暇制度の充実」と「在宅勤務（リモートワーク）体制の整備」の割合が、〔市内〕の回答者を7ポイント程度上回っています。

(単位:%)	n	休暇制度の充実	勤務時間の短縮(時短勤務)や時差出勤(フレックス)が可能	子育てに関する相談がしやすい・子育ての理解者がいる	各種制度の説明を受ける機会がある	休暇を取りやすい雰囲気がある	在宅勤務(リモートワーク)体制の整備	残業が少ない部署への配属	その他	特になし	
		全体	(275)	54.9	65.1	44.4	17.8	72.0	22.9	29.1	3.3
年齢別	0歳	(23)	78.3	82.6	69.6	34.8	95.7	43.5	21.7	4.3	0.0
	1歳	(30)	50.0	60.0	43.3	20.0	60.0	16.7	36.7	0.0	23.3
	2歳	(37)	64.9	67.6	32.4	13.5	67.6	18.9	35.1	0.0	5.4
	3歳	(32)	46.9	68.8	46.9	15.6	78.1	31.3	25.0	3.1	3.1
	4歳	(50)	52.0	70.0	46.0	22.0	78.0	22.0	32.0	2.0	8.0
	5歳	(64)	48.4	60.9	40.6	12.5	67.2	15.6	23.4	7.8	9.4
	6歳	(39)	56.4	53.8	43.6	15.4	66.7	25.6	30.8	2.6	5.1
就労状況別	市内	(168)	51.8	63.7	44.6	14.3	70.2	20.2	27.4	3.6	8.3
	市外	(107)	59.8	67.3	43.9	23.4	74.8	27.1	31.8	2.8	7.5

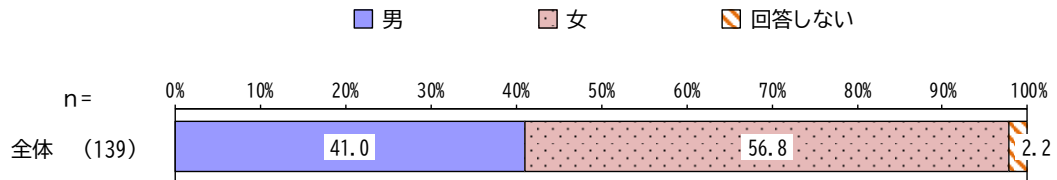
Ⅲ 中学2年生の調査結果

1. 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

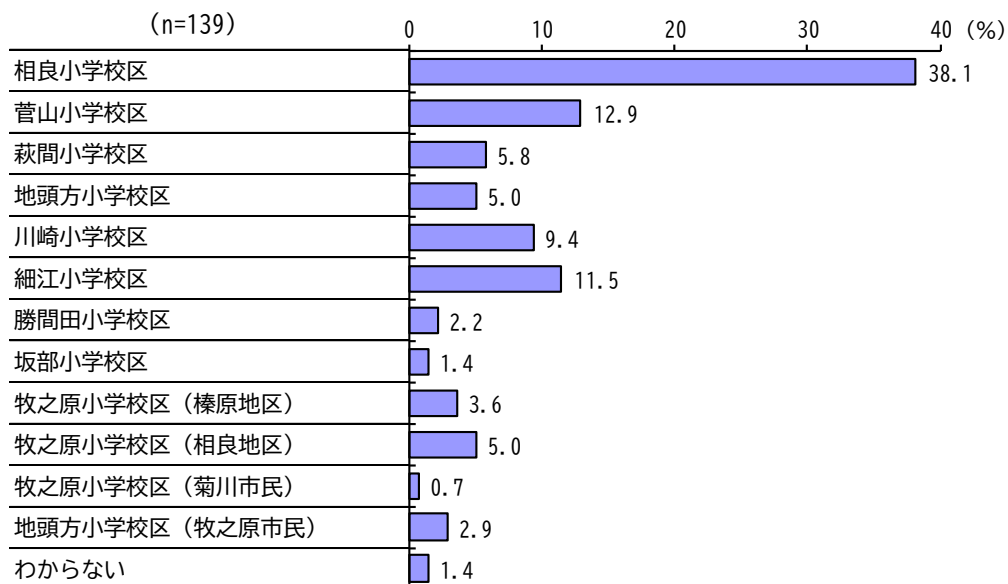
回答者の性別について、「男」が41.0%、「女」が56.8%、「回答しない」が2.2%となっています。



(2) 居住地区

問2 お住まいの地区はどちらですか。

住んでいる小学校区について、「相良小学校区」が38.1%と3割半ばを超えて最も高く、次いで「菅山小学校区」(12.9%)、「細江小学校区」(11.5%)が1割台で続いています。



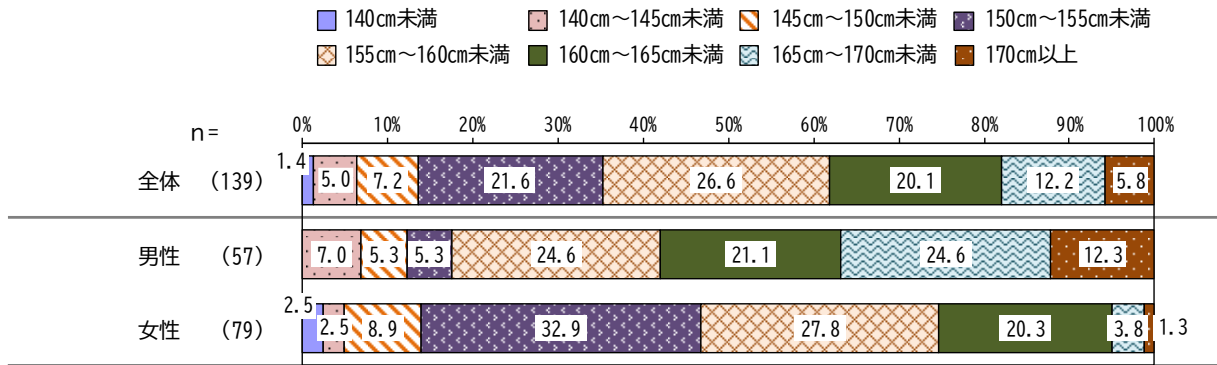
(3) 身長・体重・肥満度

問3 ①身長、②体重を教えてください。

①身長

男性の身長は、「155cm～160cm 未満」「160cm～165cm 未満」「165cm～170cm 未満」がそれぞれ2割台で高くなっています。

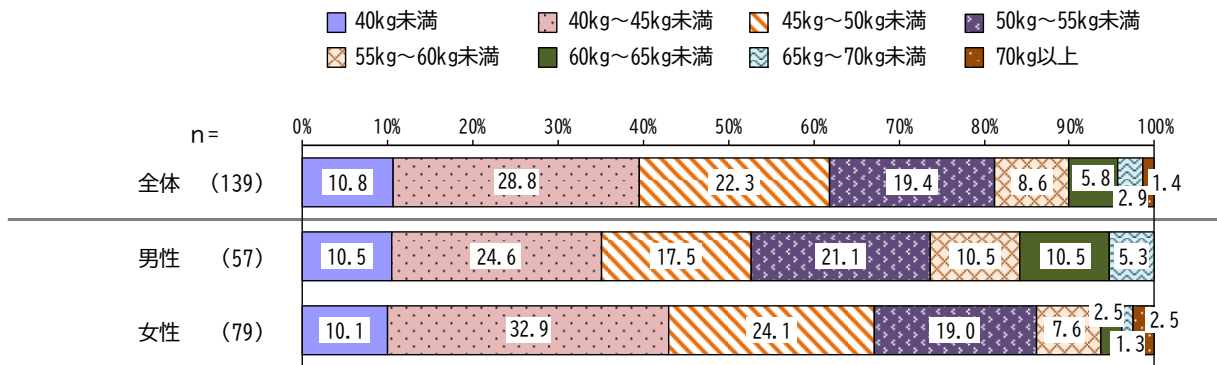
女性の身長は、「150cm～155cm 未満」が32.9%と3割を超えて最も高く、次いで「155cm～160cm 未満」(27.8%)、「160cm～165cm 未満」(20.3%)が2割台で続いています。



②体重

男性の体重は、「40kg～45kg 未満」が24.6%と2割半ば近くで最も高く、次いで「50kg～55kg 未満」(21.1%)、「45kg～50kg 未満」(17.5%)が続いています。

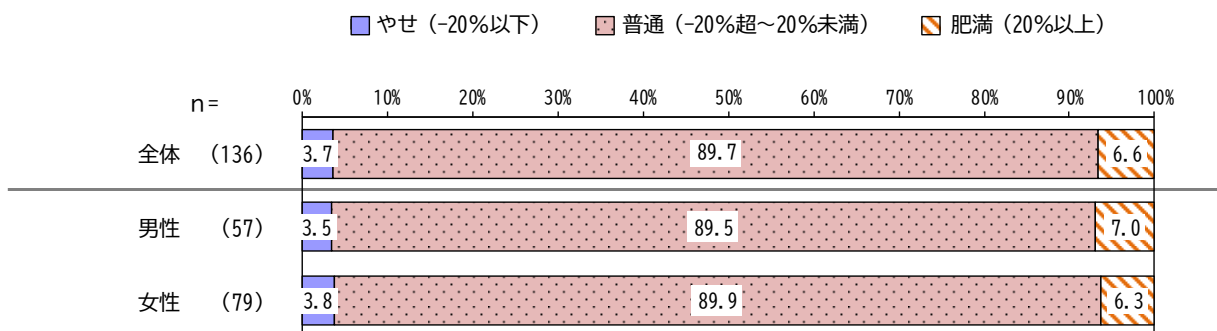
女性の体重は、「40kg～45kg 未満」が32.9%と3割を超えて最も高く、次いで「45kg～50kg 未満」(24.1%)、「50kg～55kg 未満」(19.0%)が続いています。



【肥満度・性別】

身長・体重から肥満度を算出したところ、「普通 (-20%超～20%未満)」が89.7%と約9割を占めており、「やせ (-20%以下)」が3.7%、「肥満 (20%以上)」が6.6%となっています。

性別で見ると、男女で肥満度の割合にほぼ差はありません。

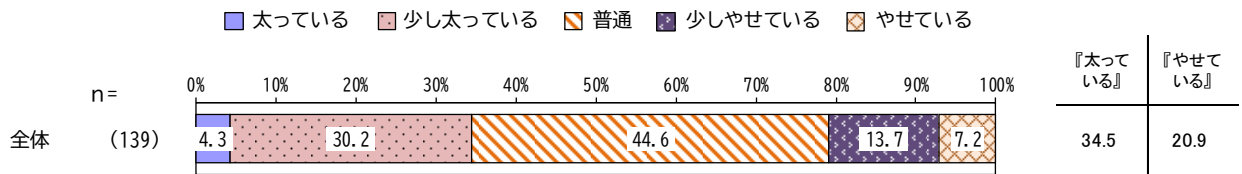


Ⅲ 中学2年生の調査結果

(4) 体型に対する自認

問4 あなたは自分の体型をどう思いますか。

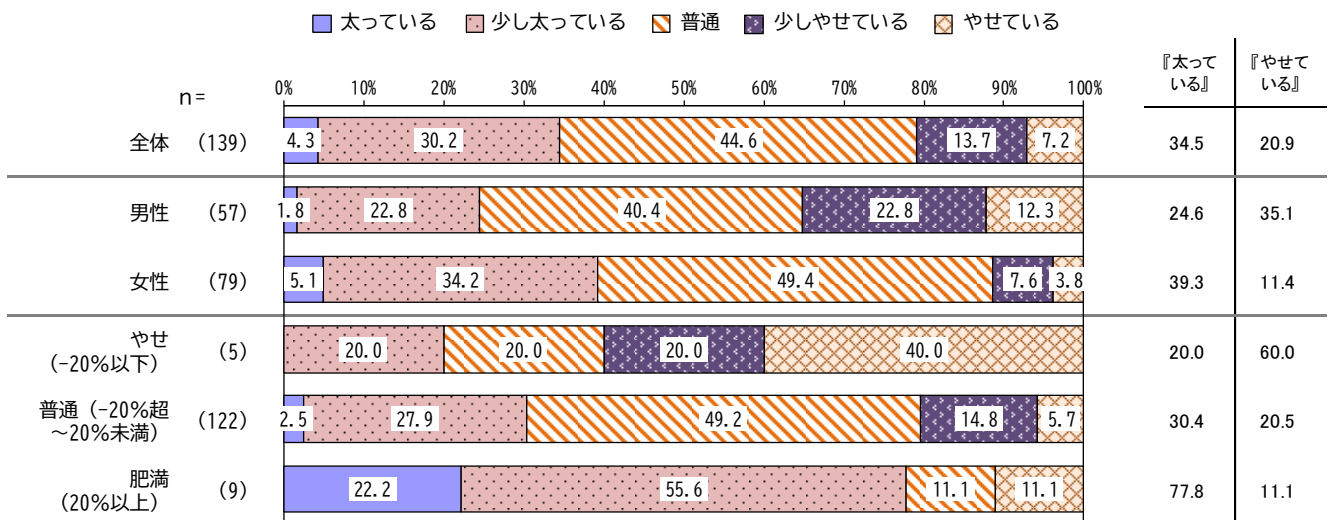
自分の体型に対する認識について、「太っている」(4.3%)と「少し太っている」(30.2%)を合わせた『太っている』が34.5%と3割半ば近くを占めています。一方、「少しやせている」(13.7%)と「やせている」(7.2%)を合わせた『やせている』は20.9%と2割を占めており、「普通」は44.6%となっています。



【性別・肥満度別】

性別でみると、『太っている』と思う割合は〔女性〕で39.3%と4割近くを占めており、〔男性〕(24.6%)より9.9ポイント高くなっています。反対に、『やせている』と思う割合は、〔男性〕が35.1%と3割半ばを占め、〔女性〕(11.4%)を14.2ポイント上回っています。

肥満度別にみると、肥満度が〔普通〕の生徒でも『太っている』と思う割合が30.4%と3割を占めています。

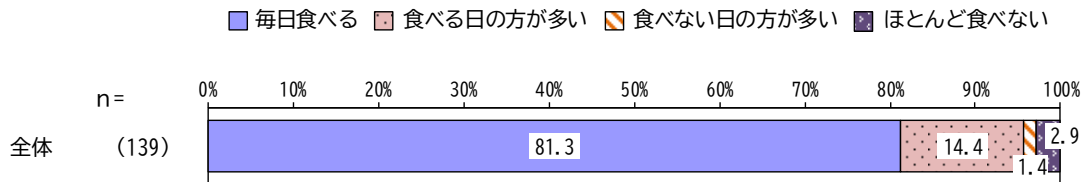


2. 食事について

(1) 朝食摂取の状況

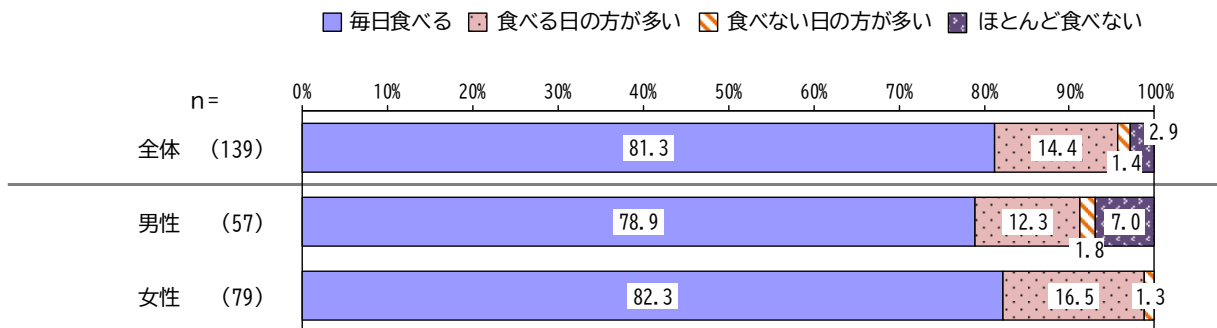
問5 あなたは、1週間に毎日朝食を食べますか。

1週間に朝食を食べる頻度について、「毎日食べる」が81.3%と8割を超えており、「食べる日の方が多い」(14.4%)と合わせると、1週間に4日以上朝食を食べている割合は9割半ばを占めています。



【性別】

性別でみると、「毎日食べる」割合は男女ともに8割前後と高くなっています。「ほとんど食べない」割合は、「女性」では回答がないのに対し、「男性」で7.0%となっています。

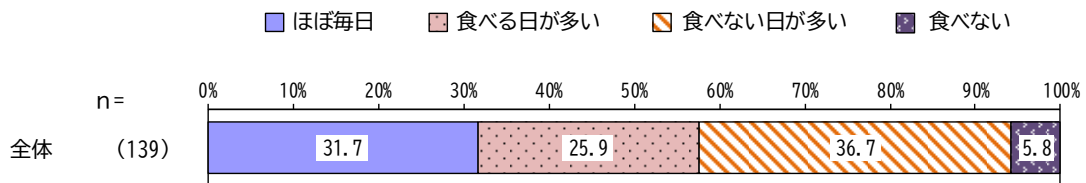


Ⅲ 中学2年生の調査結果

(2) 主食・主菜・副菜がそろう頻度

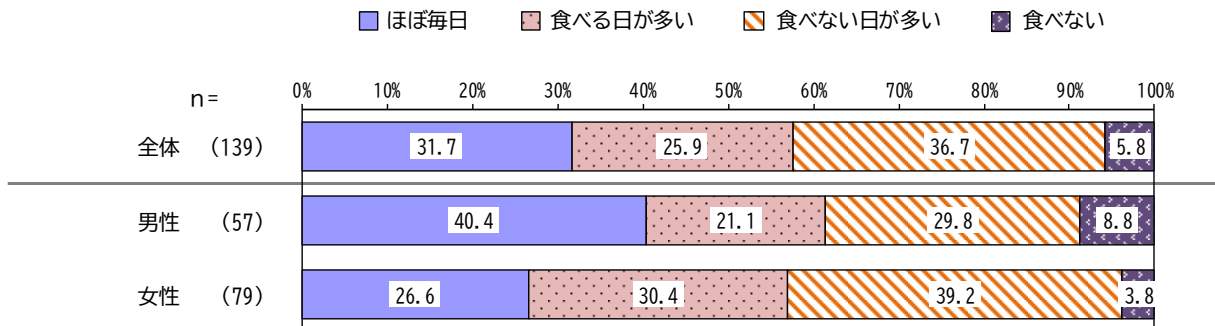
問6 あなたは1週間のうち、主食・主菜・副菜がそろった朝食を何日くらい食べますか。

1週間に朝食で主食・主菜・副菜がそろう頻度について、「毎日食べる」が31.7%、「食べる日が多い」が25.9%となっており、週に4日以上主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている割合は57.6%と5割半ばを超えています。一方、「食べない日が多い」は36.7%と3割半ばを超えており、「食べない」(5.8%)と合わせると、週に3日以下は4割を超えています。



【性別】

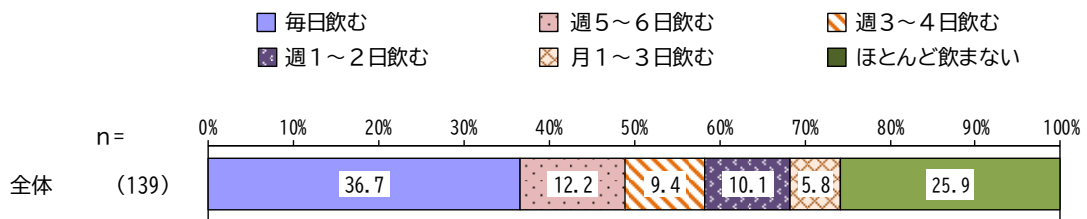
性別でみると、「毎日食べる」割合は〔男性〕が40.4%と4割を占めて、〔女性〕(26.6%)を13.8ポイント上回っています。一方で、「食べない」割合も〔男性〕(8.8%)が〔女性〕(3.8%)を5.0ポイント上回っています。



(3) 茶葉で淹れたお茶を飲む頻度

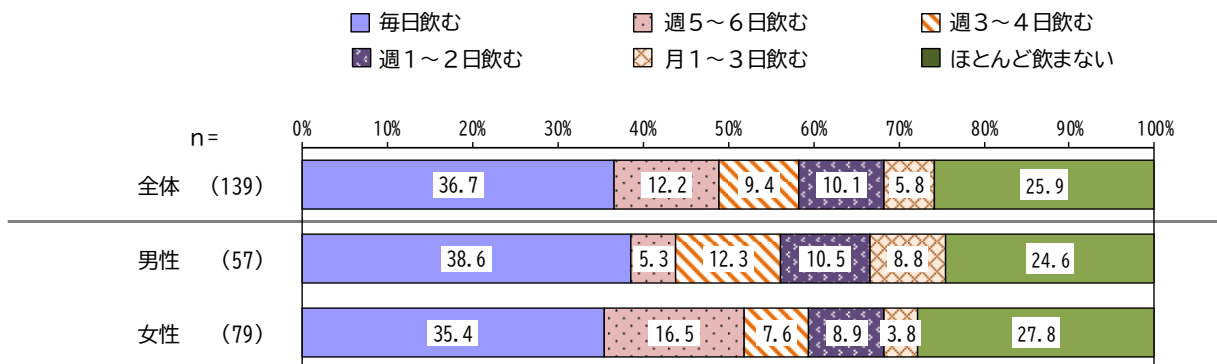
問7 あなたは、茶葉でいれたお茶(緑茶以外の茶葉、ティーバックも含む)をこの1か月間に、どのくらい飲みましたか。

1か月間に茶葉で淹れたお茶を飲む頻度について、「毎日飲む」が36.7%、「週5～6日飲む」が12.2%となっており、週に5日以上茶葉で淹れたお茶を飲んでいる割合は48.9%と5割近くを占めています。一方、「ほとんど飲まない」は25.9%と2割半ばを超えています。



【性別】

性別でみると、「毎日飲む」割合は男女ともに3割半ばを超えており、「ほとんど飲まない」は男女ともに2割半ば前後となっています。



Ⅲ 中学2年生の調査結果

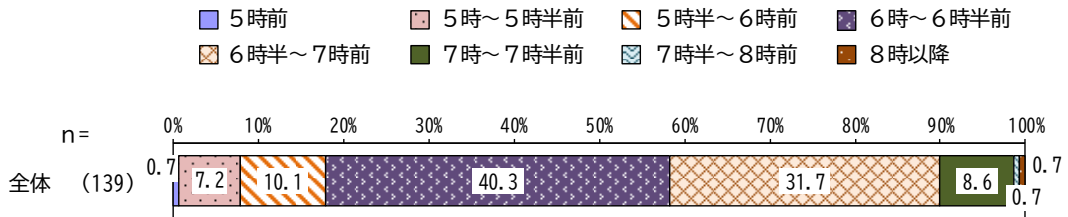
3. 起床時間・就寝時間

(1) 起床時間・就寝時間

問8 普段 ①起きる時間と②寝る時間はだいたい何時頃ですか

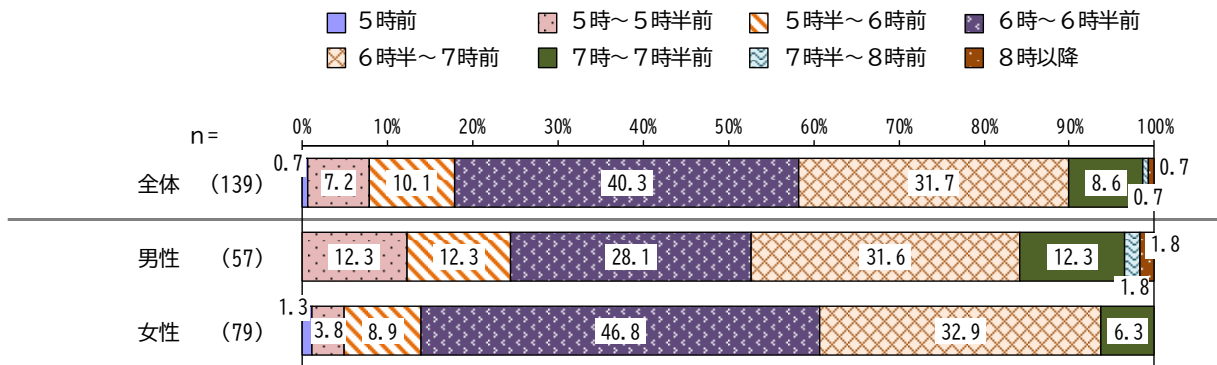
①起きる時間

起床時間について、「6時～6時半前」が40.3%と4割を占めて最も高く、「6時半～7時前」(31.7%)と合わせた『6時台』で72.0%と7割を超えています。



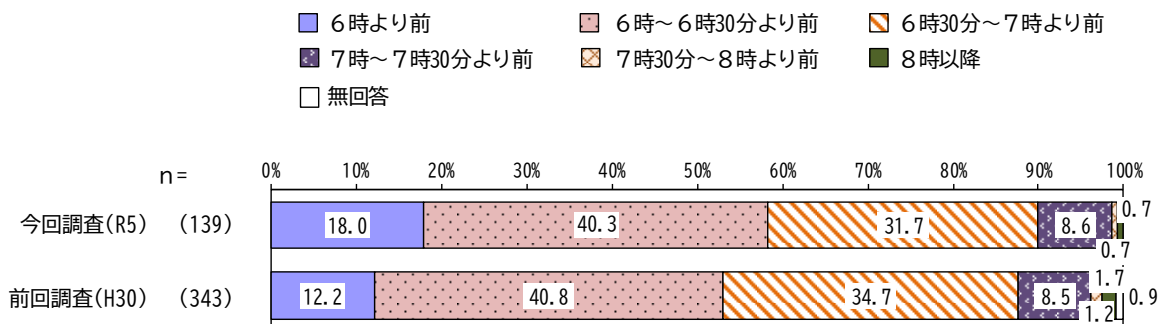
【性別】

性別でみると、〔女性〕は「6時～6時半前」(46.8%)が最も高く、〔男性〕は「6時半～7時前」(31.6%)が最も高くなっています。5時台や7時以降の早い時間帯と遅い時間帯ともに、〔男性〕の割合が〔女性〕を上回っています。



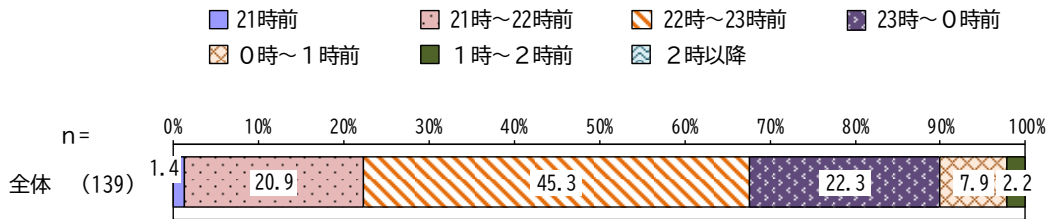
【前回比較】

前回調査と比較すると、「6時より前」の割合が平成30年度より5.8ポイント上がっています。



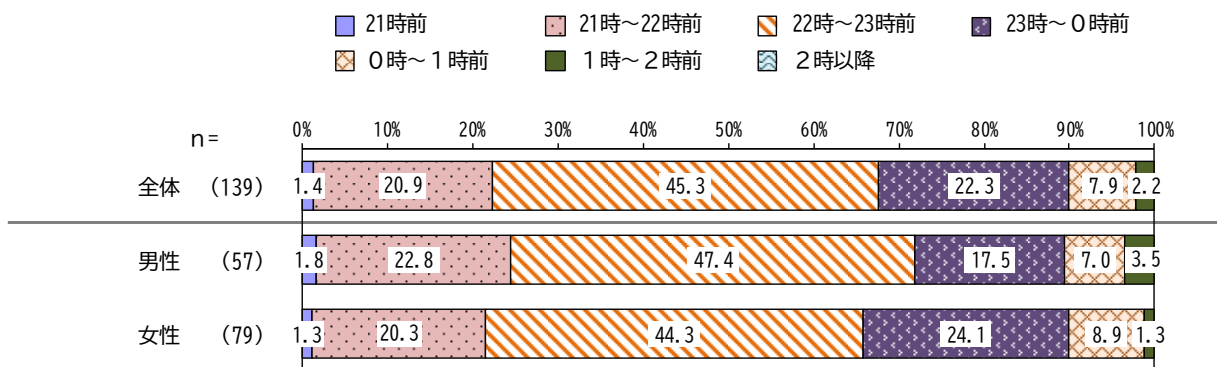
②寝る時間

就寝時間について、「22時～23時前」が45.3%と4割半ばを占めて最も高く、次いで「23時～0時前」(22.3%)、「21時～22時前」(20.9%)が2割台で続いており、それらを合わせた『21時台～23時台』(88.5%)で9割近くを占めています。



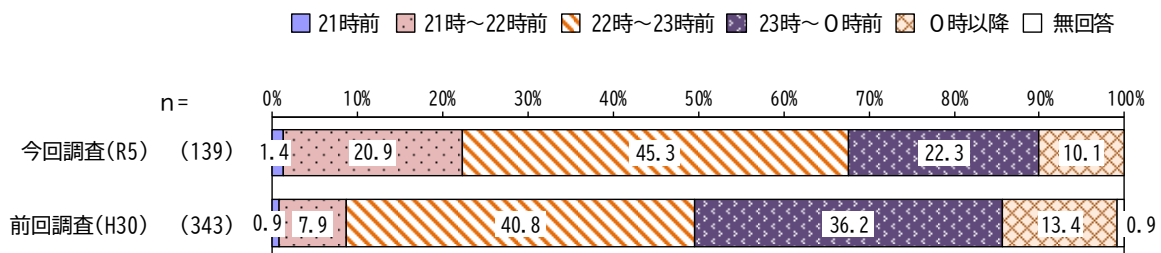
【性別】

性別でみると、男女ともに「22時～23時前」が4割台で最も高くなっています。また、男女ともに午前0時以降に就寝する割合が1割を占めています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「21時～22時前」の割合が平成30年度より13.0ポイント上がっています。また、「23時～0時前」と「0時以降」を合わせた『23時以降』の割合は平成30年度より17.2ポイント下がっています。



Ⅲ 中学2年生の調査結果

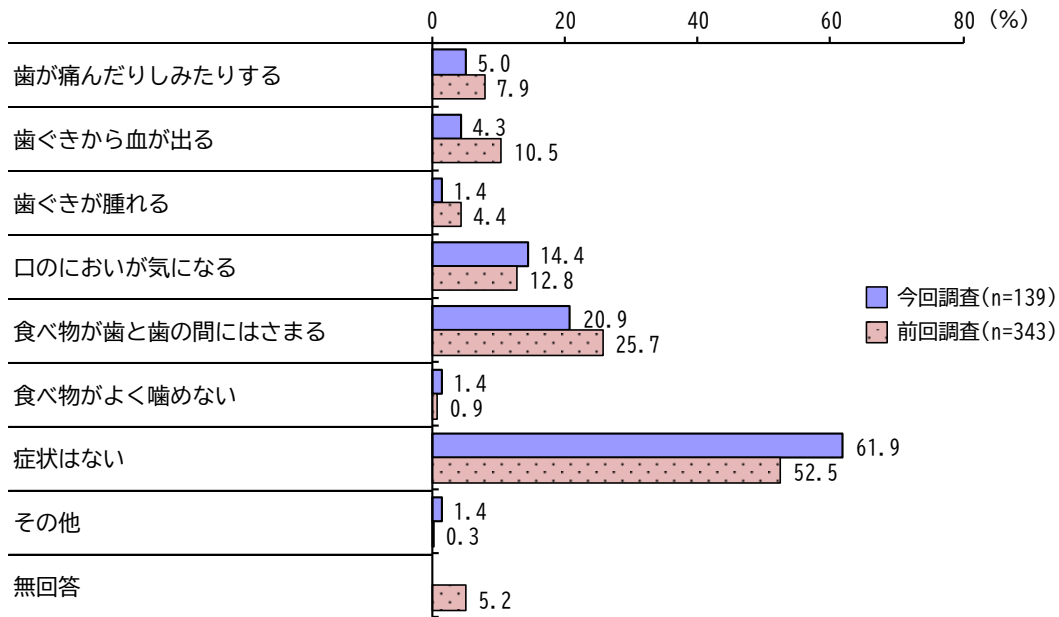
4. 歯や口腔について

(1) 歯や口腔の状態

問9 日頃、歯や口の状態について次のような症状はありますか。【複数回答】

歯や口の状態について、「症状はない」が61.9%と6割を超えて最も高く、次いで「食べ物が歯と歯の間にはさまる」(20.9%)、「口のおいが気になる」(14.4%)が続いています。

前回調査と比較すると、「症状はない」の割合が平成30年度より9.4ポイント上がっています。



【性別】

性別でみると、「歯ぐきから血が出る」は〔男性〕の方が、「食べ物が歯と歯の間にはさまる」は〔女性〕の方が5ポイント以上高くなっています。また、「症状はない」は〔男性〕が〔女性〕を8.5ポイント上回っています。

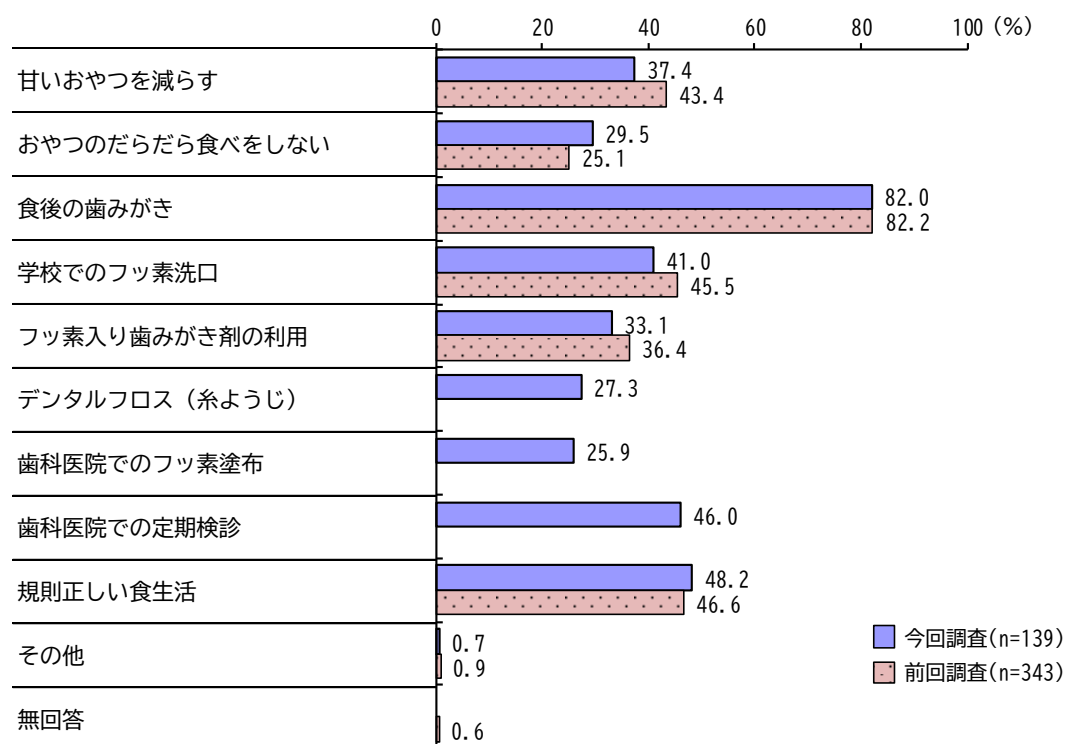
		n	歯が痛んだりしめたりする	歯ぐきから血が出る	歯ぐきが腫れる	口のおいが気になる	食べ物が歯と歯の間にはさまる	食べ物がよく噛めない	症状はない	その他
(単位:%)										
全体		(139)	5.0	4.3	1.4	14.4	20.9	1.4	61.9	1.4
性別	男性	(57)	3.5	7.0	1.8	15.8	17.5	0.0	66.7	0.0
	女性	(79)	6.3	1.3	1.3	12.7	22.8	2.5	58.2	2.5

(2) むし歯予防に効果があるもの

問 10 むし歯予防について、効果があると思うものはどれですか。【複数回答】

むし歯予防に効果があると思うものについて、「食後の歯みがき」が82.0%と8割を超えて最も高く、次いで「規則正しい食生活」(48.2%)、「歯科医院での定期検診」(46.0%)、「学校でのフッ素洗口」(41.0%)が続いています。

前回調査と比較すると、「甘いおやつを減らす」「学校でのフッ素洗口」「フッ素入り歯みがき剤の利用」の割合が平成30年度より下がっています。



※「デンタルフロス(糸ようじ)」「歯科医院でのフッ素塗布」「歯科医院での定期検診」は令和5年度の新規追加項目

【性別】

性別で見ると、男女ともに「食後の歯みがき」が8割を超えて最も高くなっています。また、いずれの項目も〔男性〕の方が〔女性〕よりも高くなっており、特に「学校でのフッ素洗口」「おやつのだらだら食べをしない」「フッ素入り歯みがき剤の利用」は、〔男性〕の割合が〔女性〕より10ポイント以上高くなっています。

	n	甘いおやつを減らす	おやつのだらだら食べをしない	食後の歯みがき	学校でのフッ素洗口	フッ素入り歯みがき剤の利用	デンタルフロス(糸ようじ)	歯科医院でのフッ素塗布	歯科医院での定期検診	規則正しい食生活	その他
(単位:%)											
全体	(139)	37.4	29.5	82.0	41.0	33.1	27.3	25.9	46.0	48.2	0.7
性別											
男性	(57)	38.6	35.1	82.5	50.9	38.6	28.1	29.8	47.4	49.1	1.8
女性	(79)	35.4	24.1	82.3	31.6	27.8	27.8	22.8	44.3	46.8	0.0

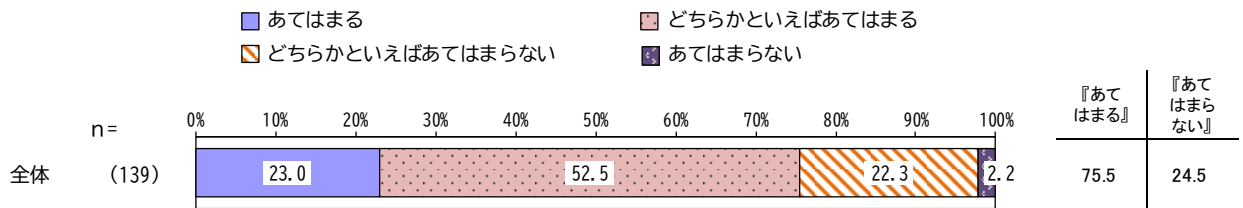
5. 自分自身の考えについて

(1) 自分自身の長所・満足状況

問 11 次のことからは、どの程度あなたにあてはまると思われますか？

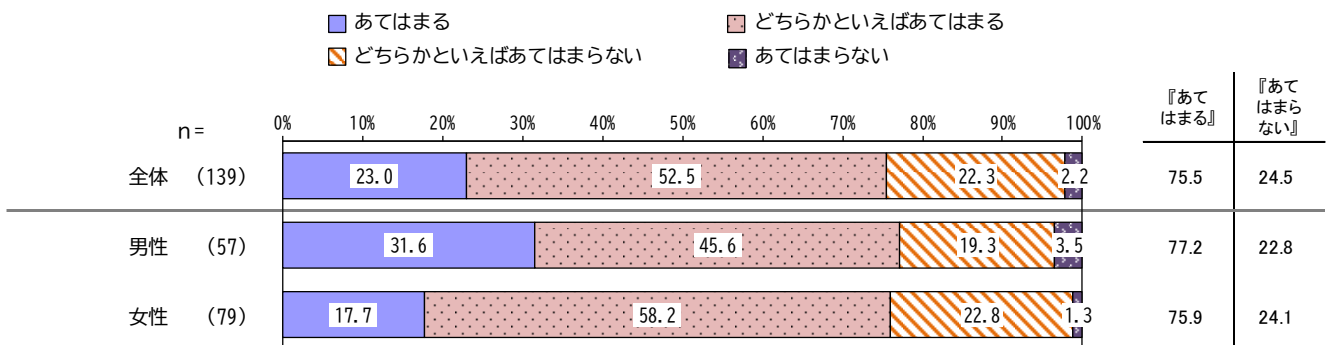
①私には良いところがたくさんある

自分自身の長所について、「あてはまる」(23.0%)と「どちらかといえばあてはまる」(52.5%)を合わせた『あてはまる』は75.5%と7割半ばを超えています。一方、「どちらかといえばあてはまらない」(22.3%)と「あてはまらない」(2.2%)合わせた『あてはまらない』は24.5%と2割半ば近くを占めています。



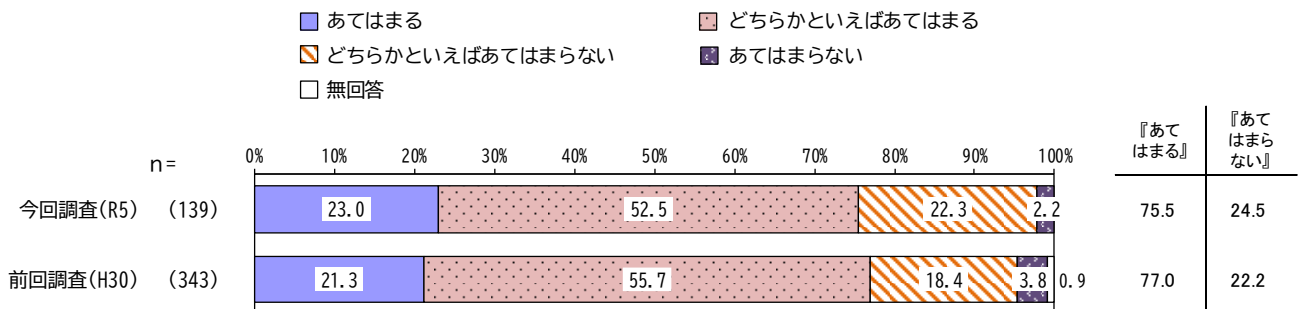
【性別】

性別でみると、『あてはまる』は男女ともに7割半ばを超えています。〔男性〕の方が〔女性〕より、よりポジティブな「あてはまる」の割合が高くなっています。



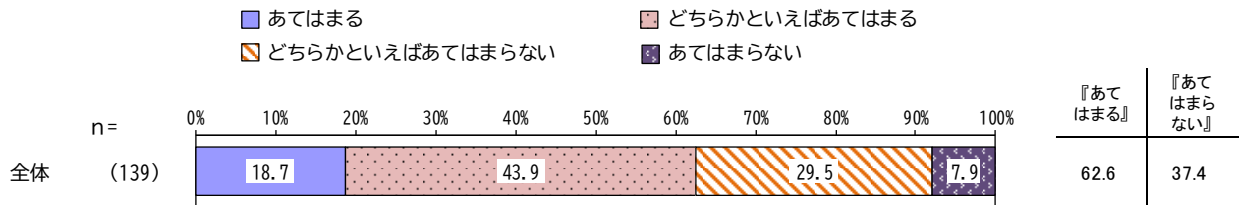
【前回比較】

前回調査と比較すると、『あてはまらない』が平成30年度より2.3ポイント上がっています。



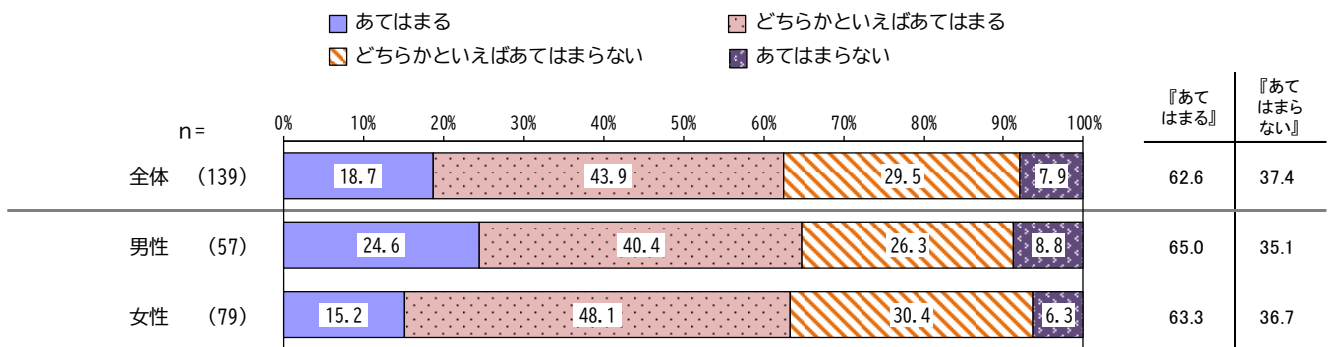
②私は自分にだいたい満足している

自分自身の満足状況について、「あてはまる」(18.7%)と「どちらかといえばあてはまる」(43.9%)を合わせた『あてはまる』は62.6%と6割を超えています。一方、「どちらかといえばあてはまらない」(29.5%)と「あてはまらない」(7.9%)合わせた『あてはまらない』は37.4%と3割半ばを超えています。



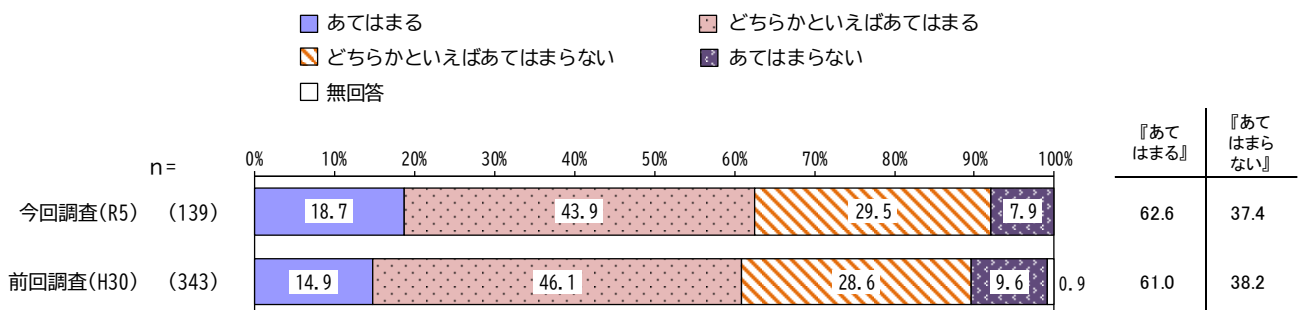
【性別】

性別でみると、『あてはまる』は男女ともに6割半ば前後を占めていますが、〔男性〕の方が〔女性〕より、よりポジティブな「あてはまる」の割合が高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、あまり大きな差はありませんが、『あてはまる』が平成30年度より1.6ポイント上がっています。



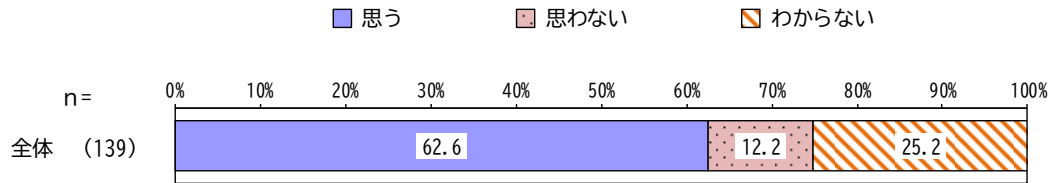
Ⅲ 中学2年生の調査結果

(2) 将来の考え方

問 12 将来のことについて、あなたの考えはそれぞれどれに近いですか。

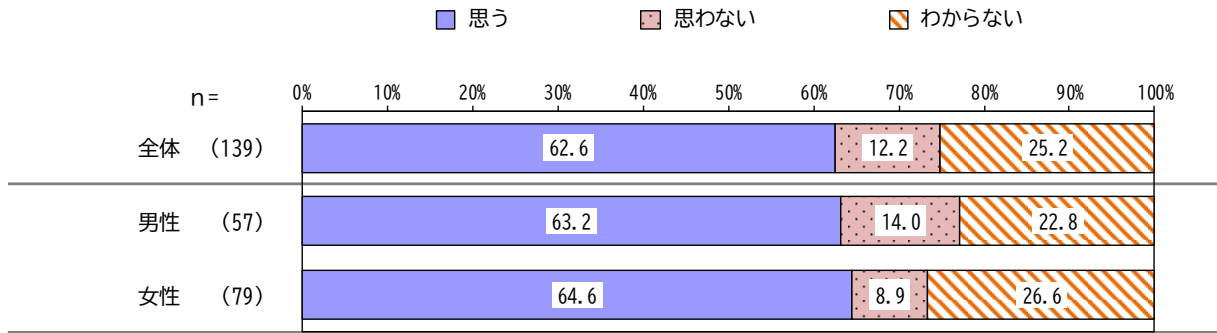
①あなたは結婚したいと思いますか

将来結婚したいかについて、結婚したいと「思う」が62.6%と6割を超えており、「思わない」が12.2%、「わからない」が25.2%となっています。



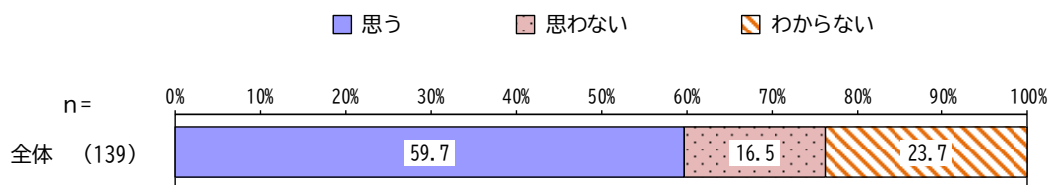
【性別】

性別でみると結婚したいと「思う」は男女ともに6割を超えていますが、「思わない」割合が〔男性〕(14.0%)が〔女性〕(8.9%)を5.1ポイント上回っています。



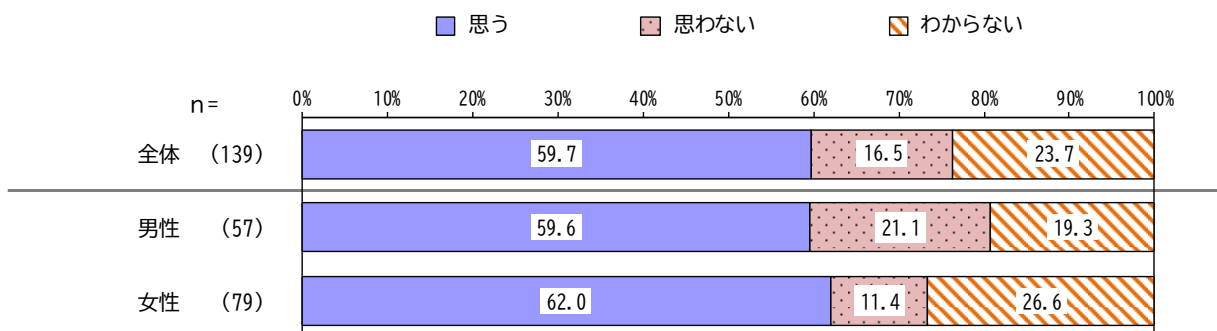
②あなたは子どもをほしいと思いますか

将来子どもがほしいかについて、子どもがほしいと「思う」が59.7%と6割を占めており、「思わない」が16.5%、「わからない」が23.7%となっています。



【性別】

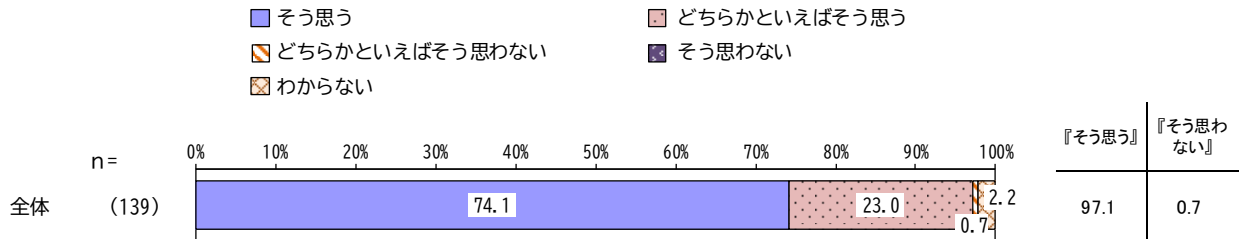
性別でみると子どもがほしいと「思う」は男女ともに6割前後を占めていますが、「思わない」割合が〔男性〕(21.1%)が2割を超えて、〔女性〕(11.4%)を9.7ポイント上回っています。



(3) 家事・育児の男女協力

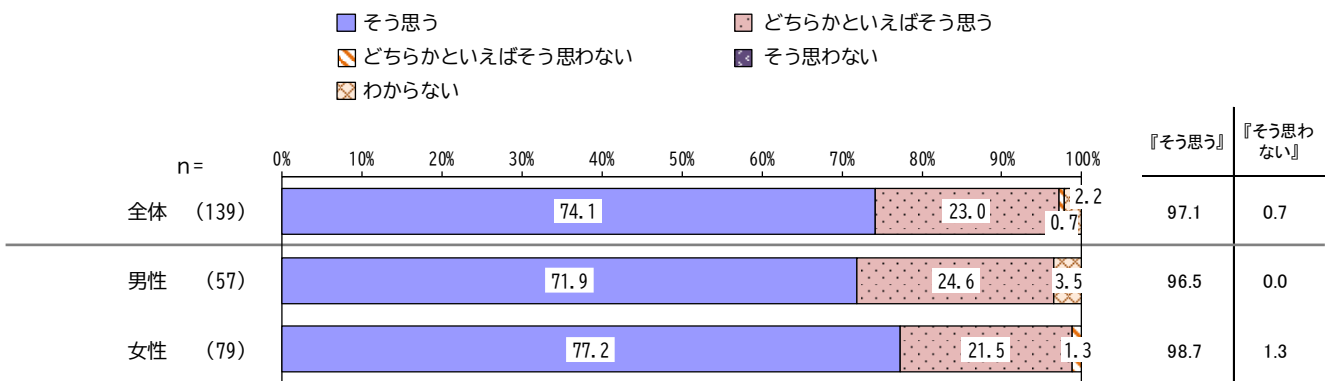
問 13 家事や育児に男女が協力すべきだと思いますか。

家事・育児の男女協力について、「そう思う」(74.1%)と「どちらかといえばそう思う」(23.0%)を合わせた『そう思う』は97.1%と9割半ばを超えています。一方、「どちらかといえばそう思わない」が0.7%、「わからない」が2.2%となっており、「そう思わない」という回答はありませんでした。



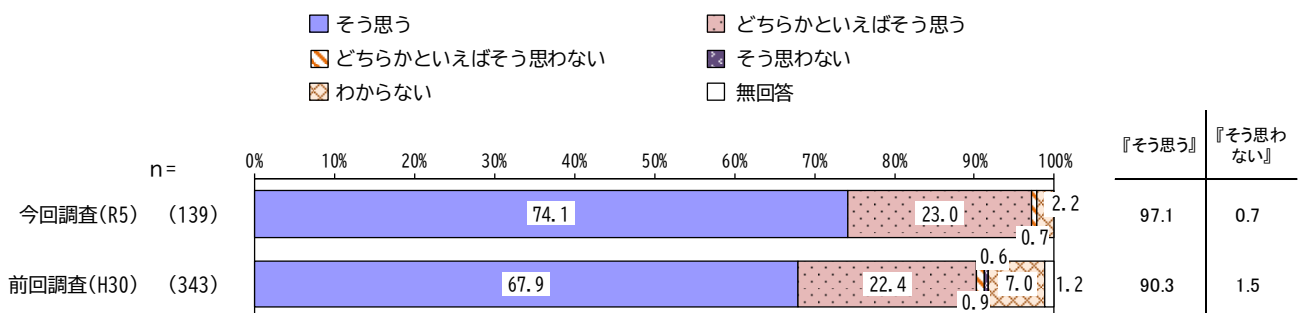
【性別】

性別でみると、『そう思う』は男女ともに9割半ばを超えていますが、〔女性〕の方が〔男性〕より、「そう思う」割合が5.3ポイント高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「そう思う」が平成30年度より6.2ポイント上がっています。

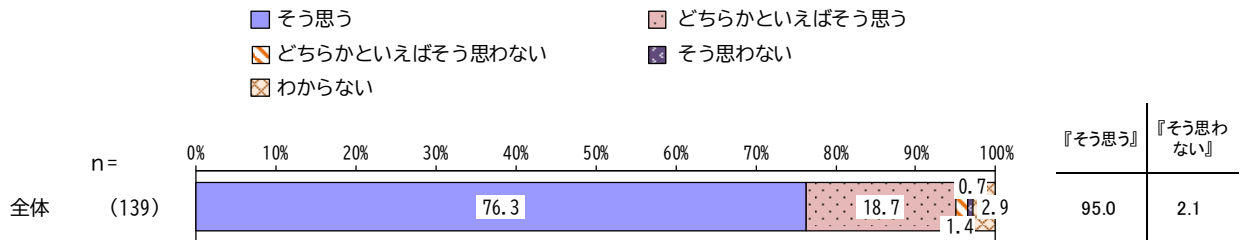


Ⅲ 中学2年生の調査結果

(4) 将来のために自分の体を大切にすべきか

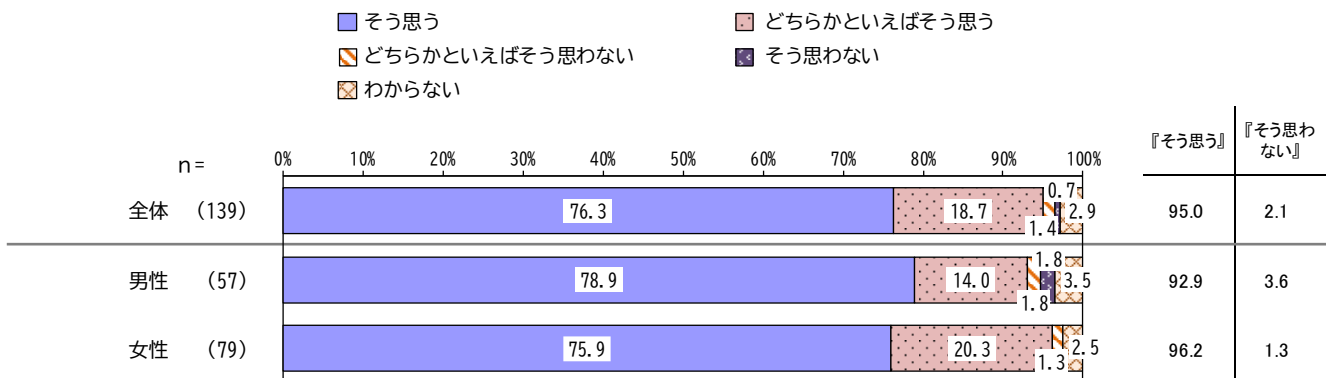
問 14 あなたは将来のために自分の体を大切にすべきだと思いますか。

将来のために自分の体を大切にすべきかについて、「そう思う」(76.3%)と「どちらかといえばそう思う」(18.7%)を合わせた『そう思う』は95.0%と9割半ばを占めています。一方、「どちらかといえばそう思わない」(1.4%)と「そう思わない」(0.7%)を合わせた『そう思わない』は2.1%、「わからない」は2.9%となっています。



【性別】

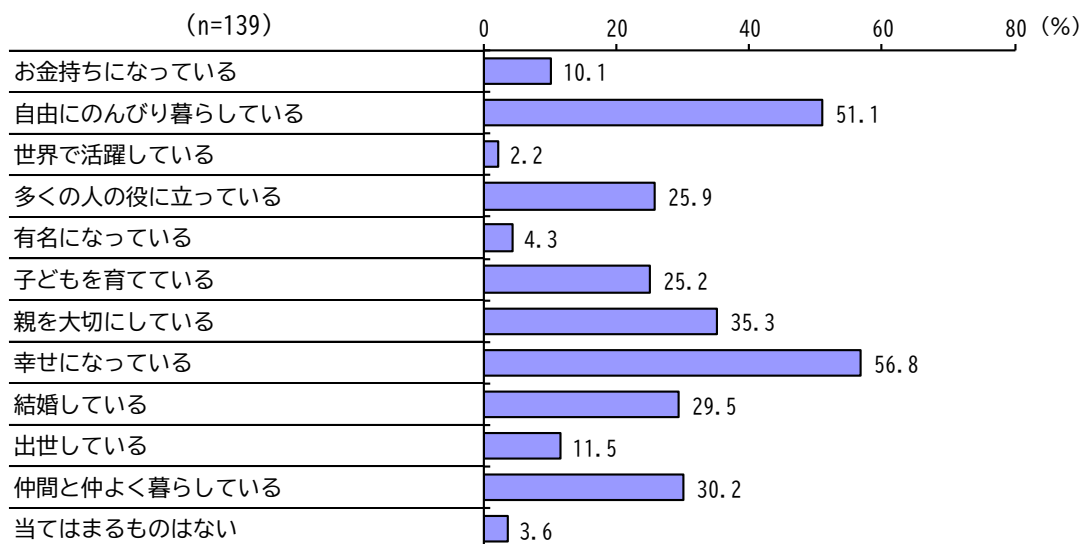
性別でみると、『そう思う』は男女ともに9割を超えています。一方、「そう思わない」は、「女性」の回答はありませんでしたが、「男性」は1.8%となっています。



(5) 将来の自分のイメージ像

問 15 問 14 の「将来の自分」のイメージに近いものはどれですか。【複数回答】

将来の自分のイメージについて、「幸せになっている」が56.8%、「自由にのんびり暮らしている」が51.1%と5割を超えて高く、次いで「親を大切にしている」(35.3%)、「仲間と仲よく暮らしている」(30.2%)が3割台で続いています。



【性別】

性別でみると、〔男性〕は「自由にのんびり暮らしている」、〔女性〕は「幸せになっている」が最も高くなっています。また、「幸せになっている」と「結婚している」以外の項目はいずれも、〔男性〕の割合が〔女性〕より高くなっています。

(単位:%)		n	お金持ちになっている	自由にのんびり暮らしている	世界で活躍している	多くの人の役に立っている	有名になっている	子どもを育てている
全 体		(139)	10.1	51.1	2.2	25.9	4.3	25.2
性別	男性	(57)	14.0	57.9	3.5	28.1	10.5	29.8
	女性	(79)	7.6	48.1	1.3	24.1	0.0	22.8

(単位:%)		n	親を大切にしている	幸せになっている	結婚している	出世している	仲間と仲よく暮らしている	当てはまるものはない
全 体		(139)	35.3	56.8	29.5	11.5	30.2	3.6
性別	男性	(57)	36.8	56.1	29.8	14.0	31.6	3.5
	女性	(79)	34.2	59.5	30.4	10.1	29.1	2.5

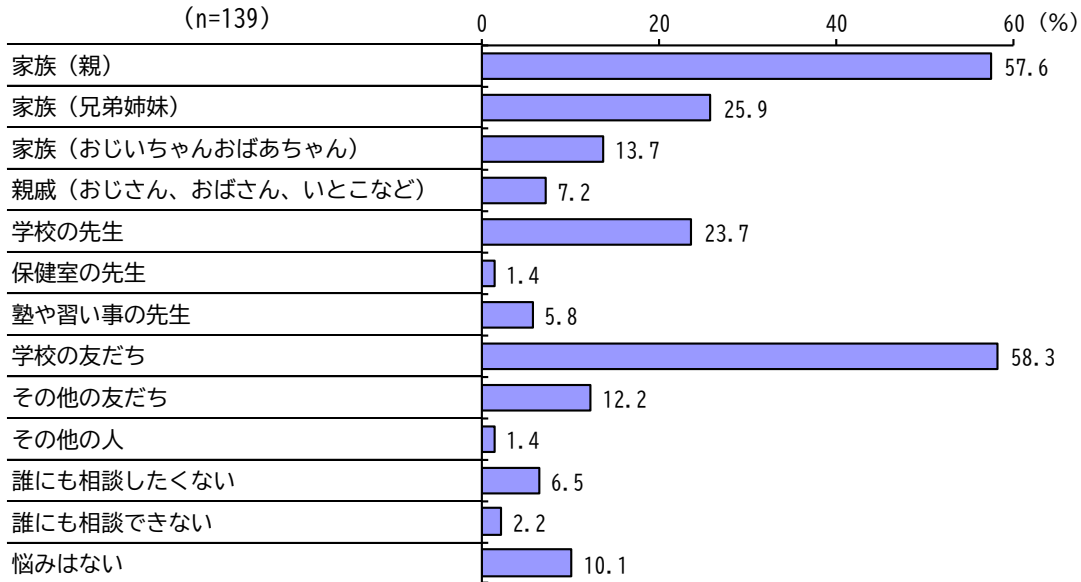
Ⅲ 中学2年生の調査結果

6. 心の悩みについて

(1) 悩みを相談できる人

問 16 あなたが悩んでいるときに悩みを相談できる人は誰ですか。【複数回答】

悩みが相談できる人について、「学校の友だち」が58.3%、「家族（親）」が57.6%と6割近くで高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」(25.9%)、「学校の先生」(23.7%)が2割台で続いています。



【性別】

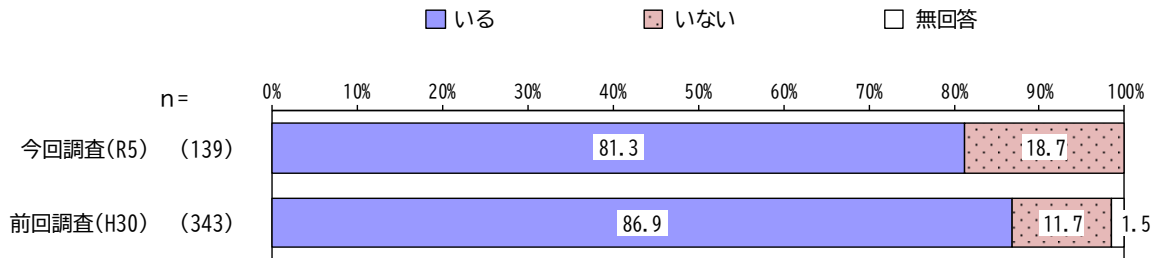
性別でみると、〔男性〕は「学校の友だち」、〔女性〕は「家族（親）」が最も高く、「学校の友だち」と「家族（親）」は男女ともに5割を超えています。また、「家族（兄弟姉妹）」は、〔女性〕(32.9%)で3割を超えて3番目に高く、〔男性〕(15.8%)より17.1ポイント上回り、2倍以上の割合となっています。

		n	家族（親）	家族（兄弟姉妹）	家族（おじいちゃんおばあちゃん）	親戚（おじさん、おばさん、いとこなど）	学校の先生	保健室の先生	塾や習い事の先生
(単位:%)									
全 体		(139)	57.6	25.9	13.7	7.2	23.7	1.4	5.8
性別	男性	(57)	54.4	15.8	12.3	5.3	26.3	1.8	3.5
	女性	(79)	60.8	32.9	13.9	8.9	21.5	1.3	7.6

		n	学校の友だち	その他の友だち	その他の人	誰にも相談したくない	誰にも相談できない	悩みはない
(単位:%)								
全 体		(139)	58.3	12.2	1.4	6.5	2.2	10.1
性別	男性	(57)	57.9	15.8	1.8	7.0	3.5	14.0
	女性	(79)	59.5	8.9	1.3	6.3	1.3	6.3

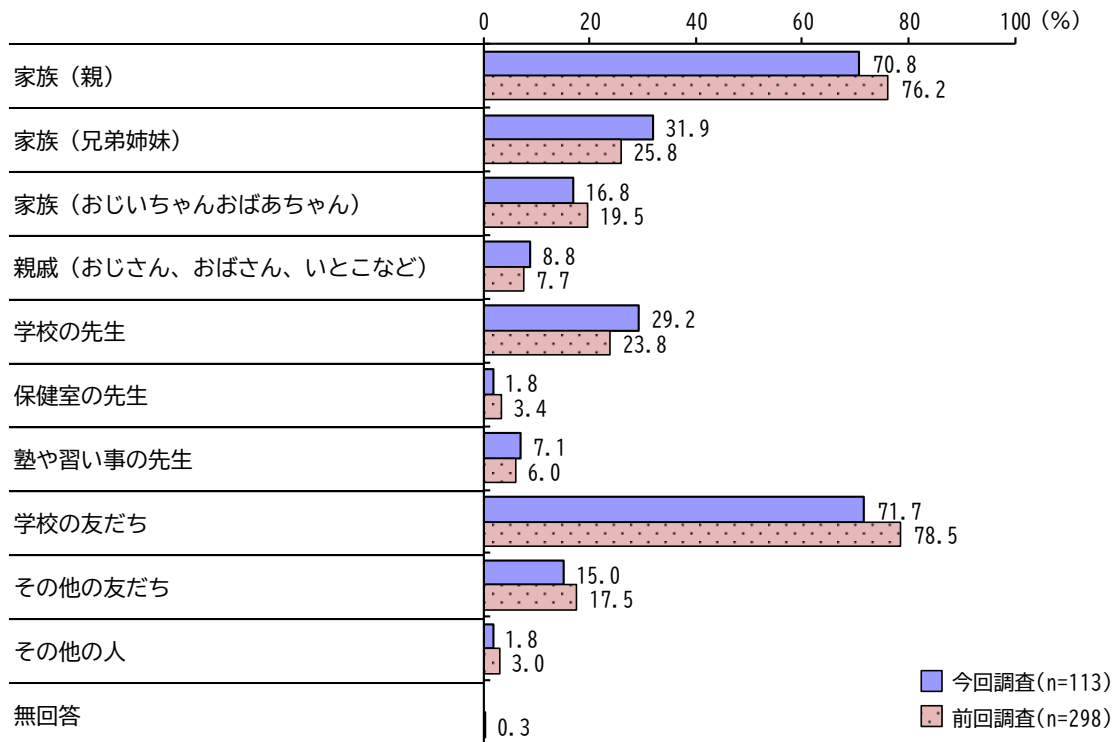
【相談する人の有無：前回比較】

相談する人の有無を前回調査と比較すると、「いる」が平成30年度より5.6ポイント下がっています。



【相談する人：前回比較】

相談する人を前回調査と比較すると、全体的な傾向はあまり変わりませんが、「家族（兄弟姉妹）」と「学校の先生」が平成30年度より5ポイント以上、割合が上がっているのに対し、「家族（親）」と「学校の友だち」は5ポイント以上、割合が下がっています。

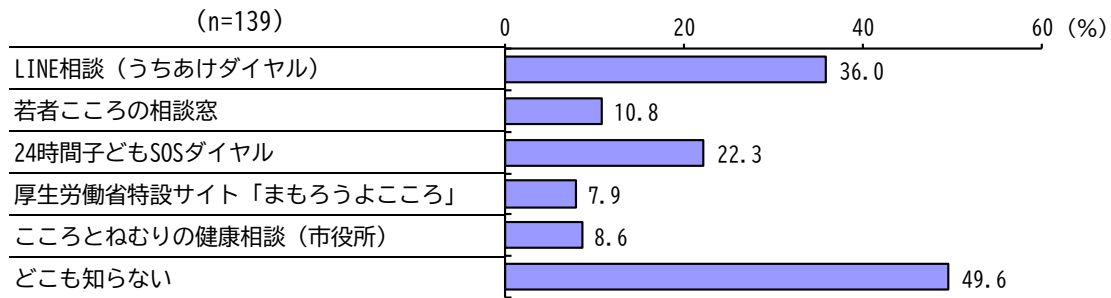


Ⅲ 中学2年生の調査結果

(2) 心の健康の相談場所の認知状況

問 17 心の健康の相談場所で知っている場所や機関はありますか。【複数回答】

心の健康の相談場所で知っている場所や機関について、「どこも知らない」が49.6%と約5割を占めています。相談場所・機関では「LINE相談（うちあけダイヤル）」が36.0%と3割半ばを超えて最も高く、次いで「24時間子どもSOSダイヤル」（22.3%）、「若者こころの相談窓」（10.8%）が続いています。



【性別】

性別でみると、相談場所・機関では男女ともに、「LINE相談（うちあけダイヤル）」が3割を超えて最も高くなっています。また、「24時間子どもSOSダイヤル」は、〔女性〕で24.1%と2割を超えており、〔男性〕（19.3%）を4.8ポイント上回っています。

(単位:%)		n	LINE相談(うちあけダイヤル)	若者こころの相談窓	24時間子どもSOSダイヤル	厚生労働省特設サイト「まもろうよこころ」	こころとねむりの健康相談(市役所)	どこも知らない
全 体		(139)	36.0	10.8	22.3	7.9	8.6	49.6
性別	男性	(57)	35.1	12.3	19.3	8.8	8.8	54.4
	女性	(79)	38.0	10.1	24.1	6.3	7.6	48.1

【悩みの相談者の有無別】

悩みの相談者の有無別でみると、悩みの相談者が〔いる〕回答者では「LINE相談（うちあけダイヤル）」、〔いない〕回答者では「24時間子どもSOSダイヤル」がそれぞれ3割を超えて高くなっています。また、「24時間子どもSOSダイヤル」以外の項目ではいずれも、悩みの相談者が〔いない〕回答者の割合が〔いる〕回答者を上回っています。

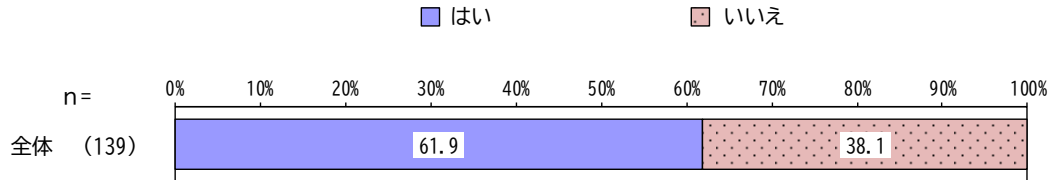
(単位:%)		n	LINE相談(うちあけダイヤル)	若者こころの相談窓	24時間子どもSOSダイヤル	厚生労働省特設サイト「まもろうよこころ」	こころとねむりの健康相談(市役所)	どこも知らない
全 体		(139)	36.0	10.8	22.3	7.9	8.6	49.6
相談者の有無別	いる	(113)	38.9	8.8	19.5	5.3	5.3	51.3
	いない	(26)	23.1	19.2	34.6	19.2	23.1	42.3

7. 性について

(1) 男女交際や性に関する相談者の有無

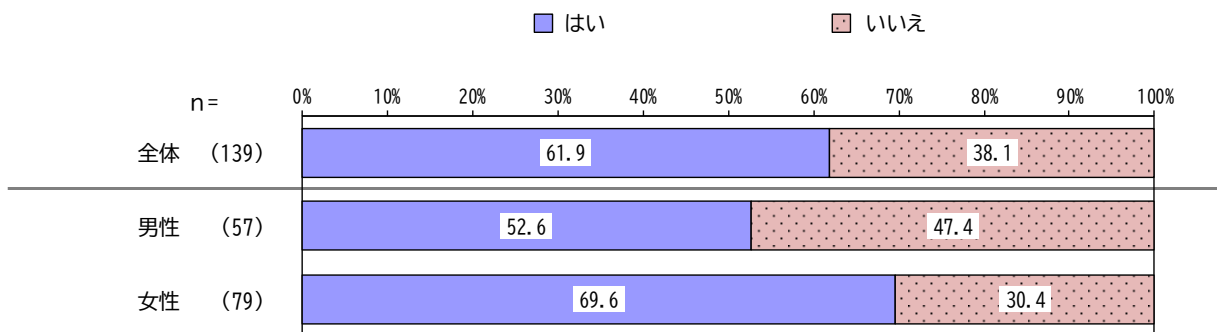
問 18 あなたは、男女交際や性の相談をできる人がいますか。

男女交際や性に関する相談者の有無について、「はい」が61.9%と6割を超えており、「いいえ」が38.1%となっています。



【性別】

性別で見ると、「はい」の割合は、〔女性〕が69.6%と7割を占めており、〔男性〕(52.6%)を17.0ポイント大きく上回っています。

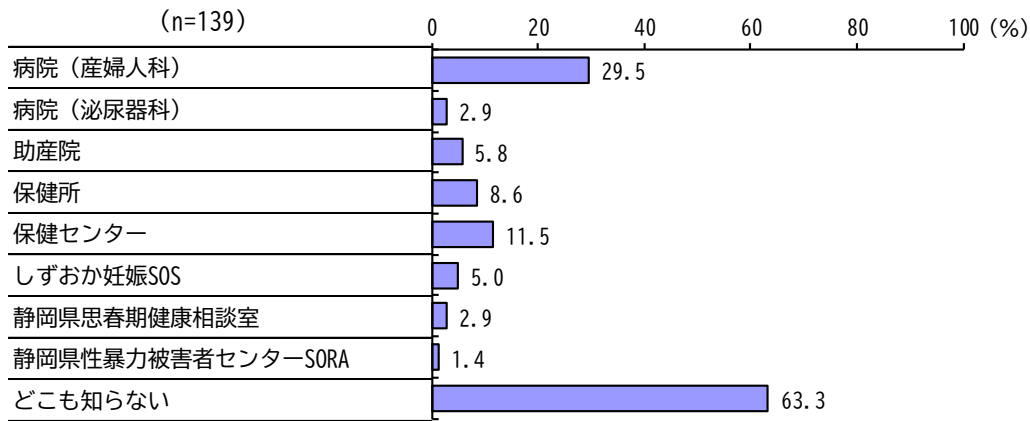


Ⅲ 中学2年生の調査結果

(2) 性の悩みの相談先の認知状況

問 19 性の悩みの相談先で、知っているものはありますか。【複数回答】

性の悩みの相談先について、「どこも知らない」が63.3%と6割を超えています。相談先では「病院(産婦人科)」が29.5%と3割近くで最も高く、次いで「保健センター」(11.5%)、「保健所」(8.6%)が続いています。



【性別】

性別でみると、「どこも知らない」は、〔男性〕が87.7%と8割半ばを超えて、〔女性〕(44.3%)の2倍近い割合となっています。また、「病院(産婦人科)」は、〔女性〕で46.8%と4割半ばを超えており、〔男性〕(7.0%)を39.8ポイント大きく上回っています。

		n	病院(産婦人科)	病院(泌尿器科)	助産院	保健所	保健センター	しずおか妊娠SOS	静岡県思春期健康相談室	静岡県性暴力被害者センターSORA	どこも知らない
(単位:%)											
全体		(139)	29.5	2.9	5.8	8.6	11.5	5.0	2.9	1.4	63.3
性別	男性	(57)	7.0	1.8	3.5	5.3	7.0	0.0	1.8	0.0	87.7
	女性	(79)	46.8	3.8	7.6	11.4	15.2	8.9	3.8	2.5	44.3

【男女交際や性に関する相談者の有無別】

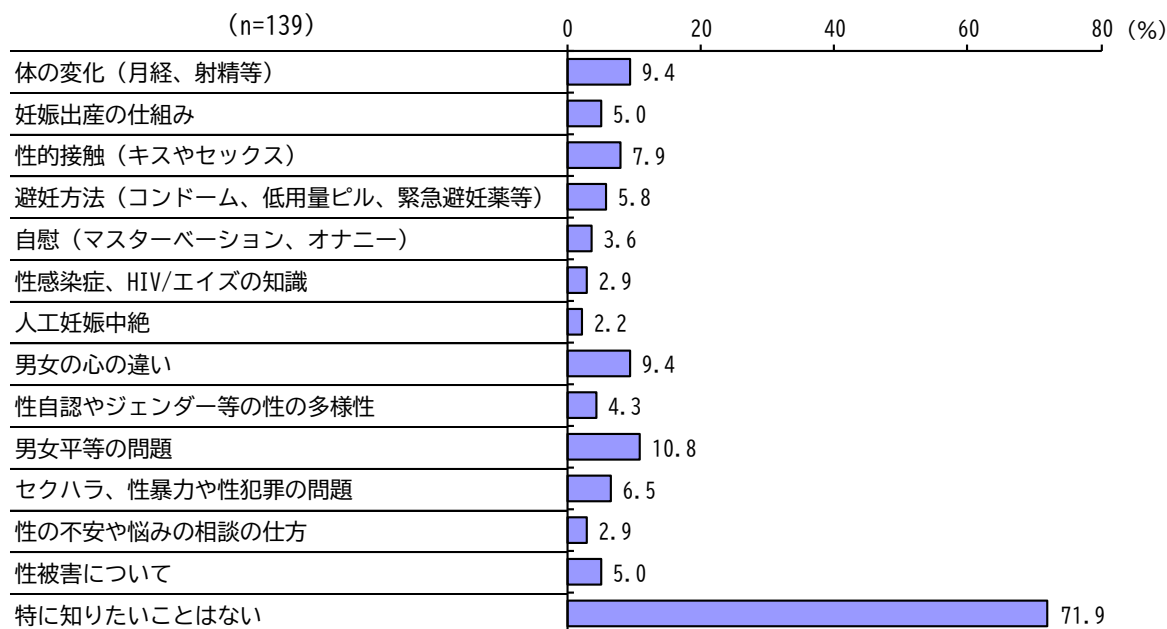
男女交際や性に関する相談者の有無別でみると、「どこも知らない」割合は、〔いいえ〕の回答者では77.4%と7割半ばを超えており、〔はい〕の回答者(54.7%)を19.7ポイント上回っています。また、いずれの項目でも、〔はい〕の回答者の割合が〔いいえ〕の回答者を上回っています。

		n	病院(産婦人科)	病院(泌尿器科)	助産院	保健所	保健センター	しずおか妊娠SOS	静岡県思春期健康相談室	静岡県性暴力被害者センターSORA	どこも知らない
(単位:%)											
全体		(139)	29.5	2.9	5.8	8.6	11.5	5.0	2.9	1.4	63.3
相談者の有無別	はい	(86)	36.0	3.5	7.0	11.6	15.1	4.7	4.7	2.3	54.7
	いいえ	(53)	18.9	1.9	3.8	3.8	5.7	5.7	0.0	0.0	77.4

(3) 性について知りたいこと、相談したいこと

問 20 あなたが現在、性について知りたいこと、相談したいことはありますか？【複数回答】

性について知りたいことや相談したいことについて、「特に知りたいことはない」が71.9%と7割を超えています。知りたいことや相談したいことでは「男女平等の問題」(10.8%)、「体の変化(月経、射精等)」と「男女の心の違い」(ともに9.4%)が1割前後で続いています。



【性別】

性別でみると、[男性]では、「性的接触(キスやセックス)」が14.0%と1割を超えて高くなっています。[女性]では、「男女の心の違い」と「男女平等の問題」(ともに11.4%)、「体の変化(月経、射精等)」(10.1%)が1割を超えて高くなっています。

(単位:%)		n	体の変化 (月経、射精 等)	妊娠出産の 仕組み	性的接触 (キスやセッ クス)	避妊方法 (コンドーム、 低用量ピル、緊急 避妊薬等)	自慰(マス ターベー ション、オナ ニー)	性感染症、 HIV/エイズ の知識	人工妊娠中 絶
全体		(139)	9.4	5.0	7.9	5.8	3.6	2.9	2.2
性別	男性	(57)	8.8	1.8	14.0	8.8	5.3	0.0	1.8
	女性	(79)	10.1	7.6	3.8	3.8	2.5	5.1	2.5

(単位:%)		n	男女の心の 違い	性自認や ジェンダー 等の性の多 様性	男女平等の 問題	セクハラ、性 暴力や性犯 罪の問題	性の不安や 悩みの相談 の仕方	性被害につ いて	特に知りた いことはな い
全体		(139)	9.4	4.3	10.8	6.5	2.9	5.0	71.9
性別	男性	(57)	5.3	1.8	8.8	3.5	0.0	7.0	71.9
	女性	(79)	11.4	5.1	11.4	7.6	5.1	2.5	72.2

Ⅲ 中学2年生の調査結果

【男女交際や性に関する相談者の有無別】

男女交際や性に関する相談者の有無別でみると、[はい]の回答者では、「体の変化(月経、射精等)」(11.6%)と「性的接触(キスやセックス)」(10.5%)が1割を超えて高くなっています。[いいえ]の回答者では、「男女の心の違い」(11.3%)と「男女平等の問題」(13.2%)が1割を超えて高くなっています。

(単位:%)		n	体の変化 (月経、射精 等)	妊娠出産の 仕組み	性的接触 (キスやセッ クス)	避妊方法 (コンドーム、 低用量 ピル、緊急 避妊薬等)	自慰(マス ターベー ション、オナ ニー)	性感染症、 HIV/エイズ の知識	人工妊娠中 絶
全 体		(139)	9.4	5.0	7.9	5.8	3.6	2.9	2.2
相談者の 有無別	はい	(86)	11.6	7.0	10.5	7.0	4.7	2.3	2.3
	いいえ	(53)	5.7	1.9	3.8	3.8	1.9	3.8	1.9

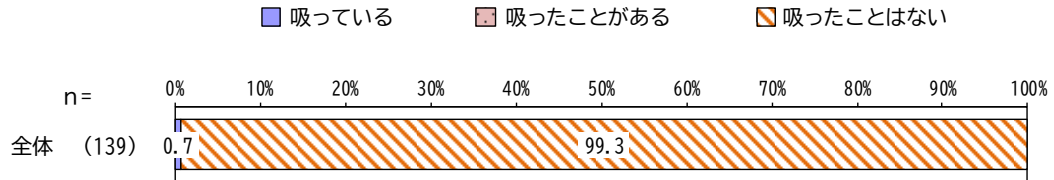
(単位:%)		n	男女の心の 違い	性自認や ジェンダー 等の性の多 様性	男女平等の 問題	セクハラ、性 暴力や性犯 罪の問題	性の不安や 悩みの相談 の仕方	性被害につ いて	特に知りたい ことはない
全 体		(139)	9.4	4.3	10.8	6.5	2.9	5.0	71.9
相談者の 有無別	はい	(86)	8.1	5.8	9.3	5.8	3.5	5.8	68.6
	いいえ	(53)	11.3	1.9	13.2	7.5	1.9	3.8	77.4

8. たばこについて

(1) 喫煙状況

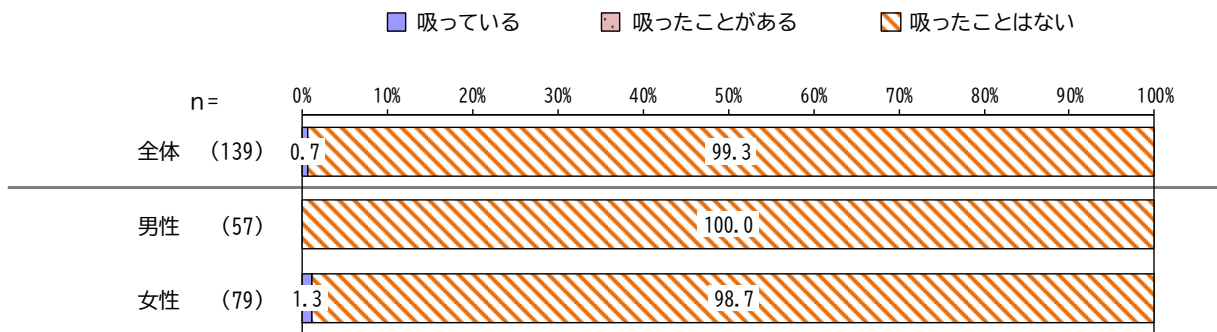
問 21 あなたは、たばこを吸ったことがありますか。

喫煙の状況について、「吸ったことはない」が99.3%とほぼ全数を占めており、「吸っている」が0.7%となっています。また、「吸ったことがある」という回答はありませんでした。



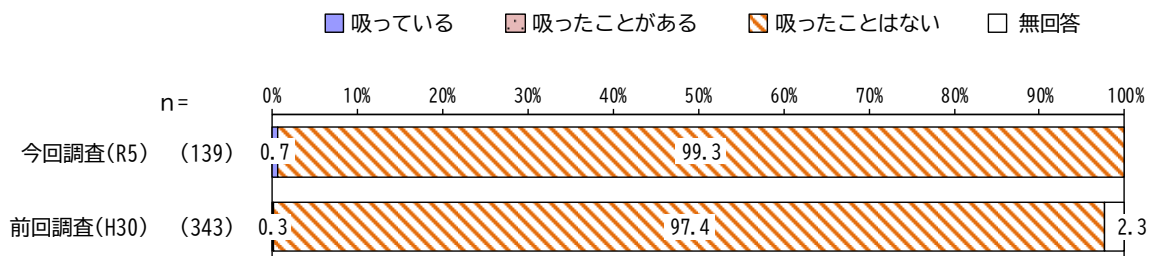
【性別】

性別でみると、「男性」の回答はすべて「吸ったことはない」となっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「吸ったことはない」がいずれも9割半ばを超えています。

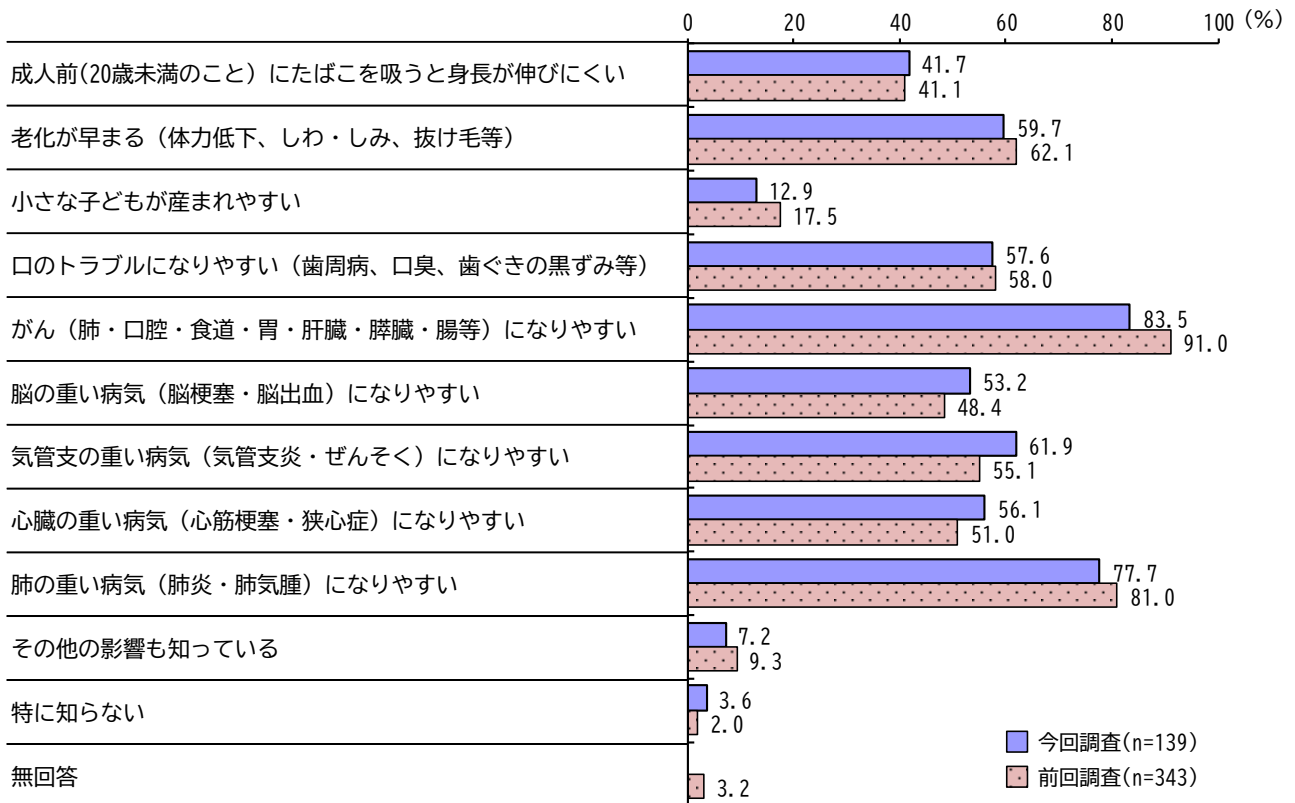


Ⅲ 中学2年生の調査結果

(2) たばこによる影響の認知状況

問 22 たばこを吸うことが、あなたの将来にどんな影響があるか知っていますか。【複数回答】

たばこによる影響の認知状況について、「がん（肺・口腔・食道・胃・肝臓・膵臓・腸等）になりやすい」が83.5%と8割を超えて最も高く、次いで「肺の重い病気（肺炎・肺気腫）になりやすい」（77.7%）、「気管支の重い病気（気管支炎・ぜんそく）になりやすい」（61.9%）が続いています。



【性別】

性別でみると、「老化が早まる（体力低下、しわ・しみ、抜け毛等）」では、〔男性〕（66.7%）の割合が6割半ばを超えて、〔女性〕（54.4%）より12.3ポイント高くなっています。

(単位:%)	n	成人前(20歳未満のこと)にたばこを吸うと身長が伸びにくい	老化が早まる(体力低下、しわ・しみ、抜け毛等)	小さな子どもが生まれやすい	口のトラブルになりやすい(歯周病、口臭、歯ぐきの黒ずみ等)	がん(肺・口腔・食道・胃・肝臓・膵臓・腸等)になりやすい	脳の重い病気(脳梗塞・脳出血)になりやすい
全体	(139)	41.7	59.7	12.9	57.6	83.5	53.2
性別 男性	(57)	45.6	66.7	8.8	52.6	80.7	56.1
性別 女性	(79)	38.0	54.4	16.5	59.5	84.8	49.4

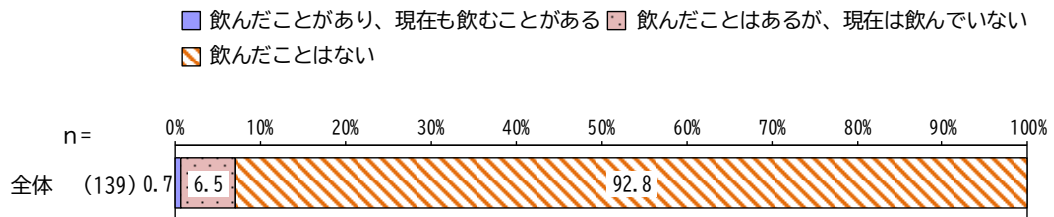
(単位:%)	n	気管支の重い病気(気管支炎・ぜんそく)になりやすい	心臓の重い病気(心筋梗塞・狭心症)になりやすい	肺の重い病気(肺炎・肺気腫)になりやすい	その他の影響も知っている	特に知らない
全体	(139)	61.9	56.1	77.7	7.2	3.6
性別 男性	(57)	56.1	56.1	78.9	10.5	3.5
性別 女性	(79)	64.6	57.0	75.9	5.1	3.8

9. アルコールについて

(1) 飲酒状況

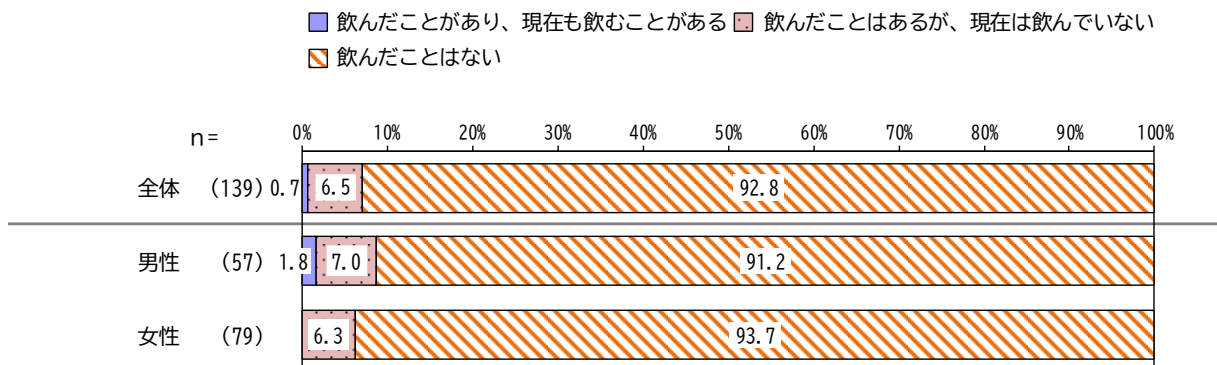
問 23 あなたは、酒、ビールなどのアルコール類を飲んだことがありますか。

飲酒の状況について、「飲んだことはない」が92.8%と9割を超えており、「飲んだことがあり、現在も飲むことがある」が0.7%、「飲んだことはあるが、現在は飲んでいない」が6.5%となっています。



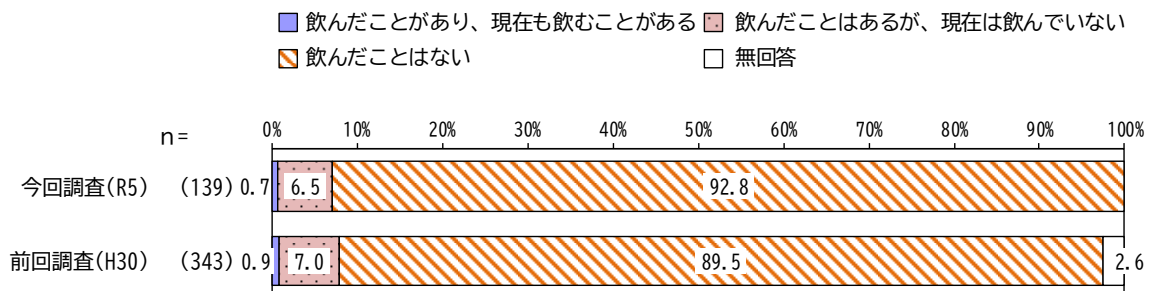
【性別】

性別で見ると、男女ともに「飲んだことはない」が9割を超えています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「飲んだことはない」が平成30年度より3.3ポイント上がっています。

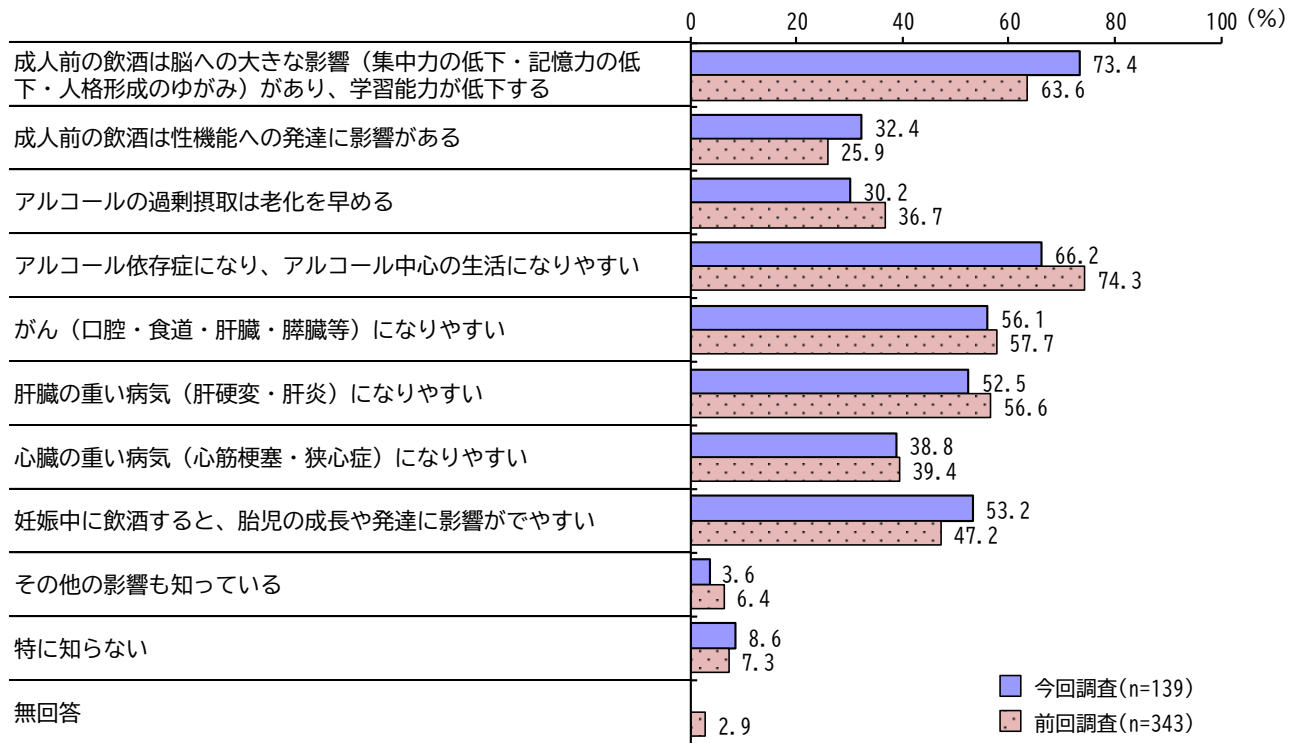


Ⅲ 中学2年生の調査結果

(2) アルコールによる影響の認知状況

問 24 アルコール類を飲む事が、あなたの将来にどんな影響があるか知っていますか。【複数回答】

アルコールによる影響の認知状況について、「成人前の飲酒は脳への大きな影響（集中力の低下・記憶力の低下・人格形成のゆがみ）があり、学習能力が低下する」が73.4%と7割を超えて最も高く、次いで「アルコール依存症になり、アルコール中心の生活になりやすい」（66.2%）、「がん（口腔・食道・肝臓・膵臓等）になりやすい」（56.1%）が続いています。



【性別】

性別でみると、「妊娠中に飲酒すると、胎児の成長や発達に影響がでやすい」と「肝臓の重い病気（肝硬変・肝炎）になりやすい」の割合は、〔女性〕の方が〔男性〕より15ポイント以上高くなっています。

(単位:%)		n	成人前の飲酒は脳への大きな影響(集中力の低下・記憶力の低下・人格形成のゆがみ)があり、学習能力が低下する	成人前の飲酒は性功能への発達に影響がある	アルコールの過剰摂取は老化を早める	アルコール依存症になり、アルコール中心の生活になりやすい	がん(口腔・食道・肝臓・膵臓等)になりやすい
全体		(139)	73.4	32.4	30.2	66.2	56.1
性別	男性	(57)	70.2	28.1	33.3	61.4	52.6
	女性	(79)	74.7	35.4	29.1	69.6	58.2

(単位:%)		n	肝臓の重い病気(肝硬変・肝炎)になりやすい	心臓の重い病気(心筋梗塞・狭心症)になりやすい	妊娠中に飲酒すると、胎児の成長や発達に影響がでやすい	その他の影響も知っている	特に知らない
全体		(139)	52.5	38.8	53.2	3.6	8.6
性別	男性	(57)	43.9	36.8	38.6	7.0	15.8
	女性	(79)	59.5	41.8	63.3	1.3	3.8

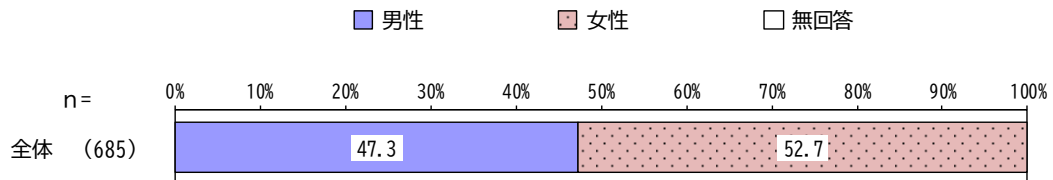
IV 18歳以上の調査結果

1. 回答者について

(1) 性別

問1 性別を教えてください。

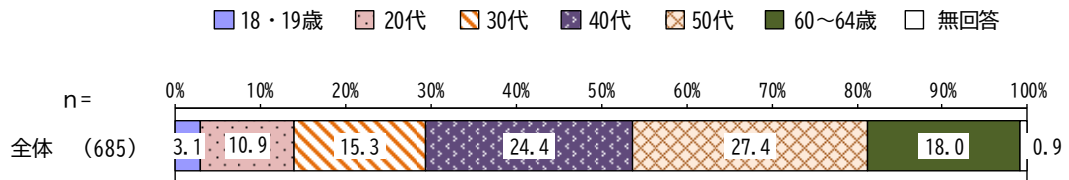
回答者の性別について、「男性」が47.3%、「女性」が52.7%となっています。



(2) 年齢

問2 年齢を教えてください。

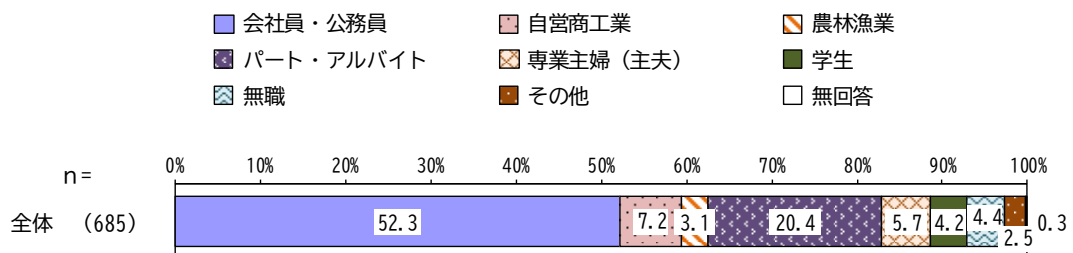
回答者の年齢について、「50代」が27.4%、「40代」が24.4%と2割を超えて高くなっています。



(3) 職業

問3 現在のお仕事などを伺います。

回答者の主な職業について、「会社員・公務員」が52.3%と5割を超えて最も高く、次いで「パート・アルバイト」(20.4%)、「自営商工業」(7.2%)が続いています。

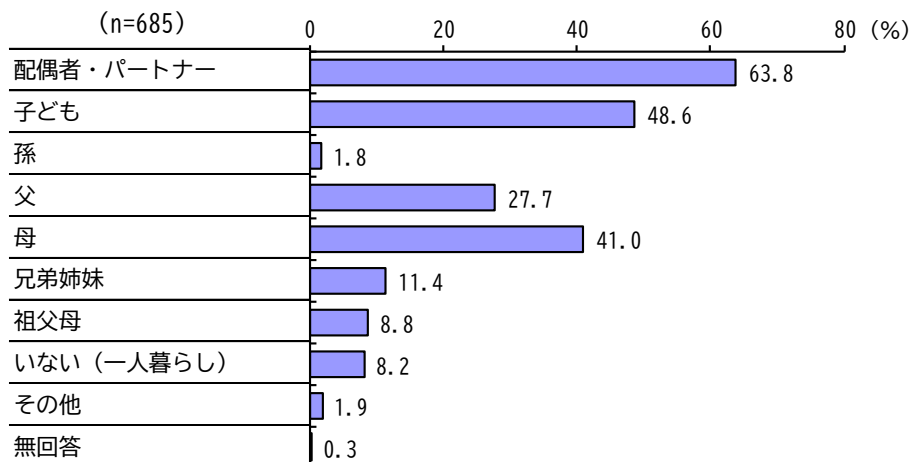


IV 18歳以上の調査結果

(4) 同居人

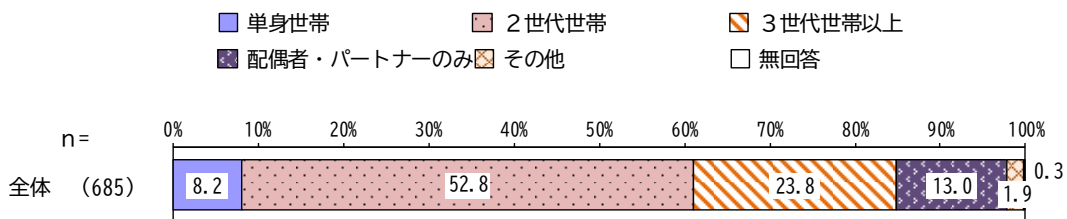
問4 あなたから見て、同居している人をお答えください。【複数回答】

回答者と同居している人について、「配偶者・パートナー」が63.8%と6割を超えて最も高く、次いで「子ども」(48.6%)、「母」(41.0%)が4割台で続いています。



【世帯構成】

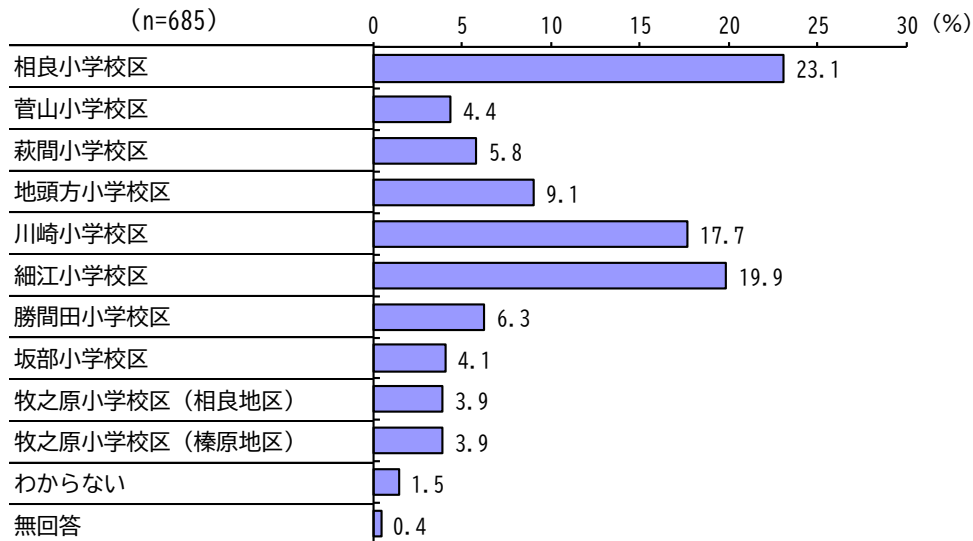
世帯構成について、「2世代世帯」が52.8%と5割を超えて最も高く、次いで「3世代世帯以上」(23.8%)、「配偶者・パートナーのみ」(13.0%)が続いています。



(5) 居住地区

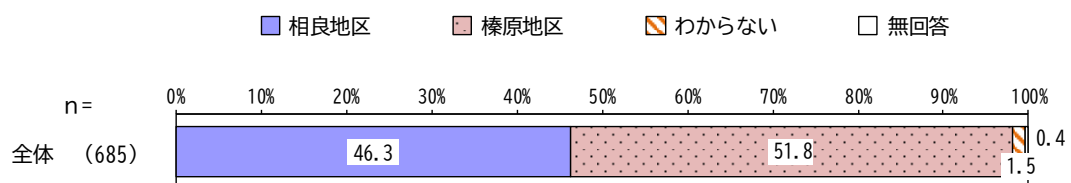
問5 お住まいの小学校区はどちらですか。

回答者が住んでいる小学校区について、「相良小学校区」が23.1%と2割を超えて最も高く、次いで「細江小学校区」(19.9%)、「川崎小学校区」(17.7%)が1割半ばを超えて続いています。



【居住地区】

居住地区について、「相良地区」が46.3%、「榛原地区」が51.8%、「わからない」が1.5%となっています。



2. 食生活（食育も含む）について

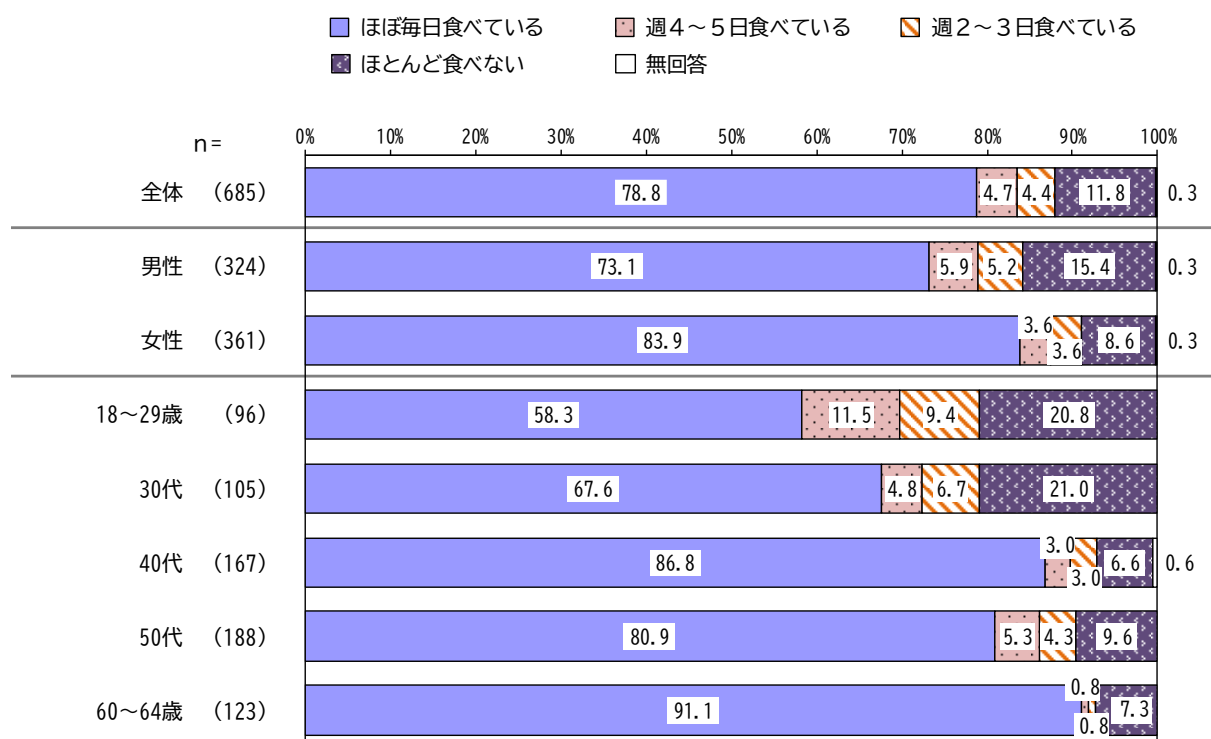
(1) 朝食摂取の状況

問6 あなたは、毎日朝食を食べていますか。

1週間に朝食を食べる頻度について、「ほぼ毎日食べている」が78.8%と最も高く、「週4～5日食べている」(4.7%)と合わせると、1週間に4日以上朝食を食べている割合は8割を超えています。一方、「ほとんど食べない」は11.8%と1割を超えています。

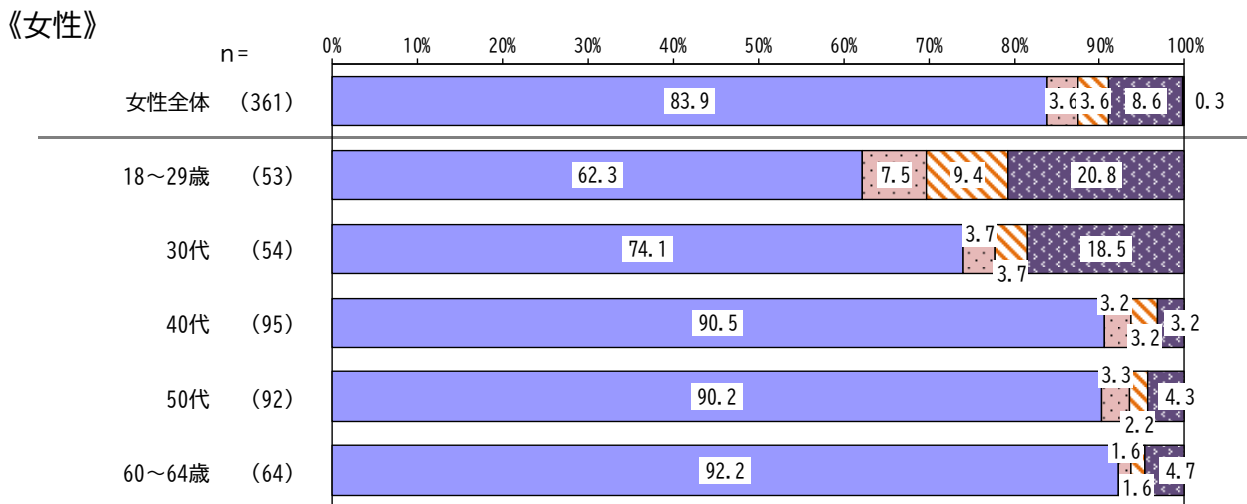
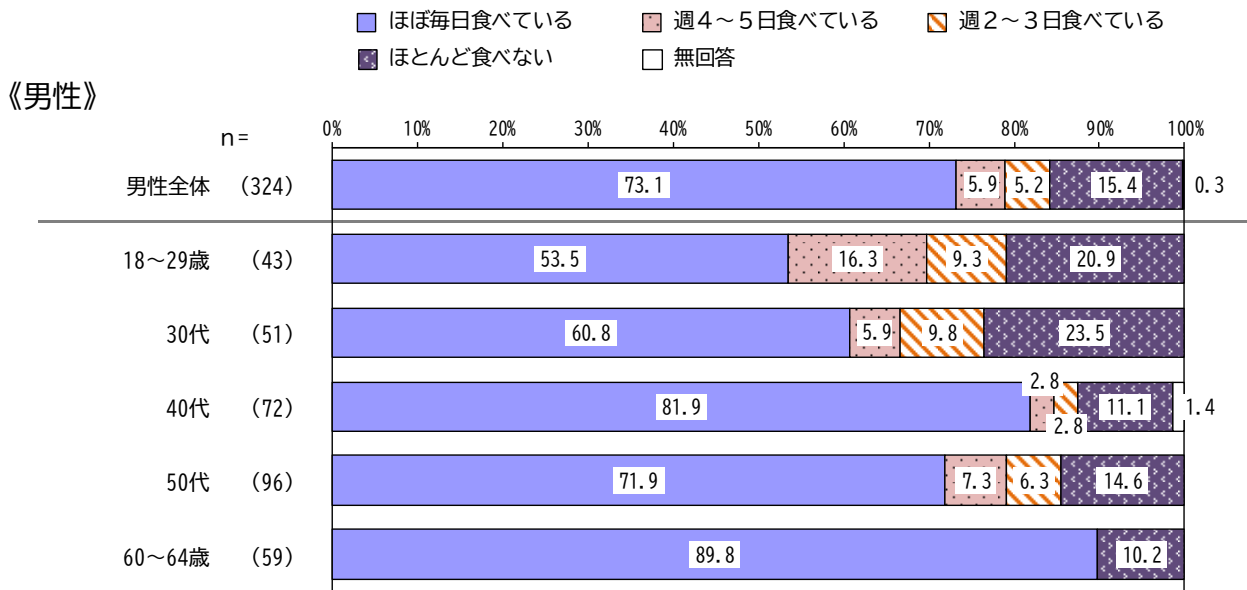
性別でみると、「ほぼ毎日食べている」は、〔女性〕が〔男性〕を10.8ポイント上回っています。一方、「ほとんど食べない」は〔男性〕が〔女性〕を6.8ポイント上回っています。

年齢別でみると、40代以上の年齢では、「ほとんど食べる」が8割を超えています。一方、30代以下の年齢では「ほとんど食べない」が2割を占めています。



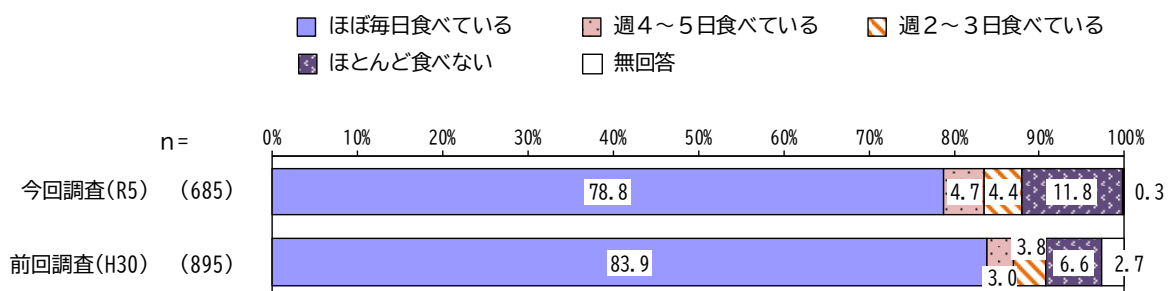
【性年齢別】

性年齢別でみると、「ほぼ毎日食べている」割合はいずれの年齢でも、《女性》が《男性》を上回っており、特に40代以上の《女性》は9割を超えています。反対に「ほとんど食べない」割合は、いずれの年齢でも《男性》が《女性》を上回っています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「ほぼ毎日食べている」は平成30年度より5.1ポイント下がっています。



IV 18歳以上の調査結果

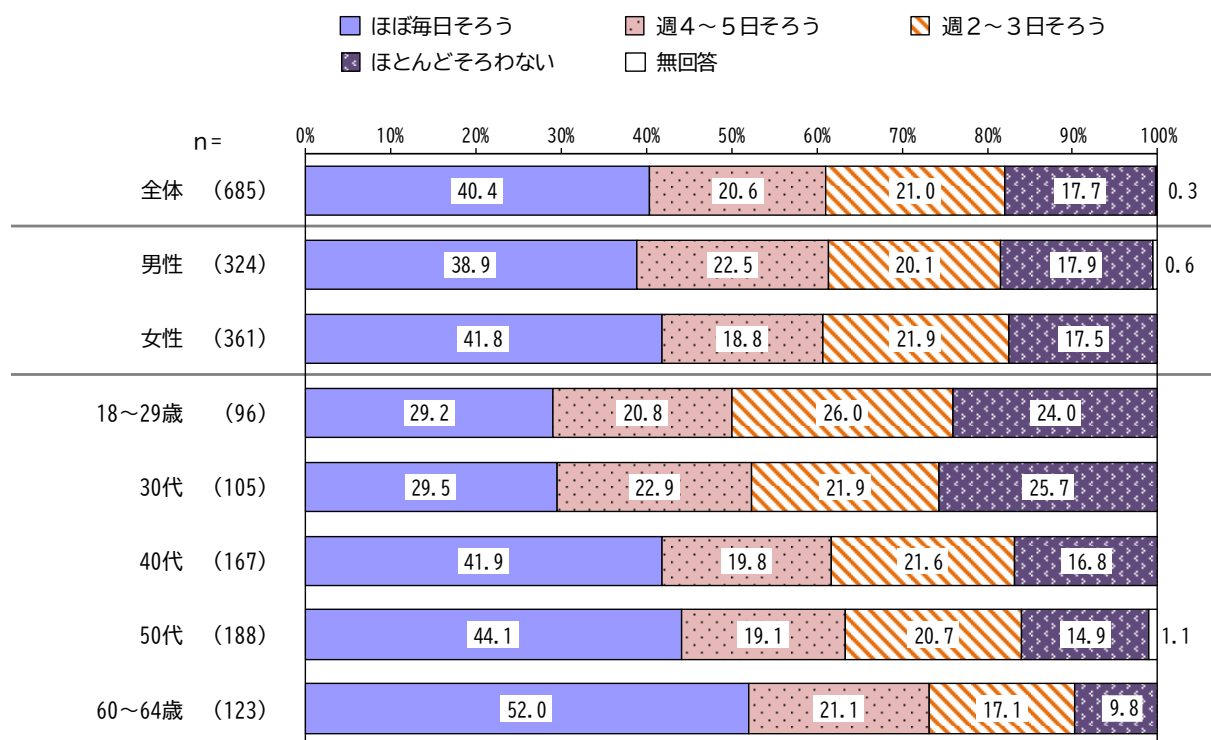
(2) 主食・主菜・副菜がそろう頻度

問7 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。

1週間に1日2回以上主食・主菜・副菜がそろう頻度について、「ほぼ毎日そろう」が40.4%と4割を占めて最も高く、「週4～5日そろう」(20.6%)と合わせると、1週間に4日以上朝食を食べている割合は6割を超えています。一方、「ほとんどそろわない」は17.7%と1割半ばを超えています。

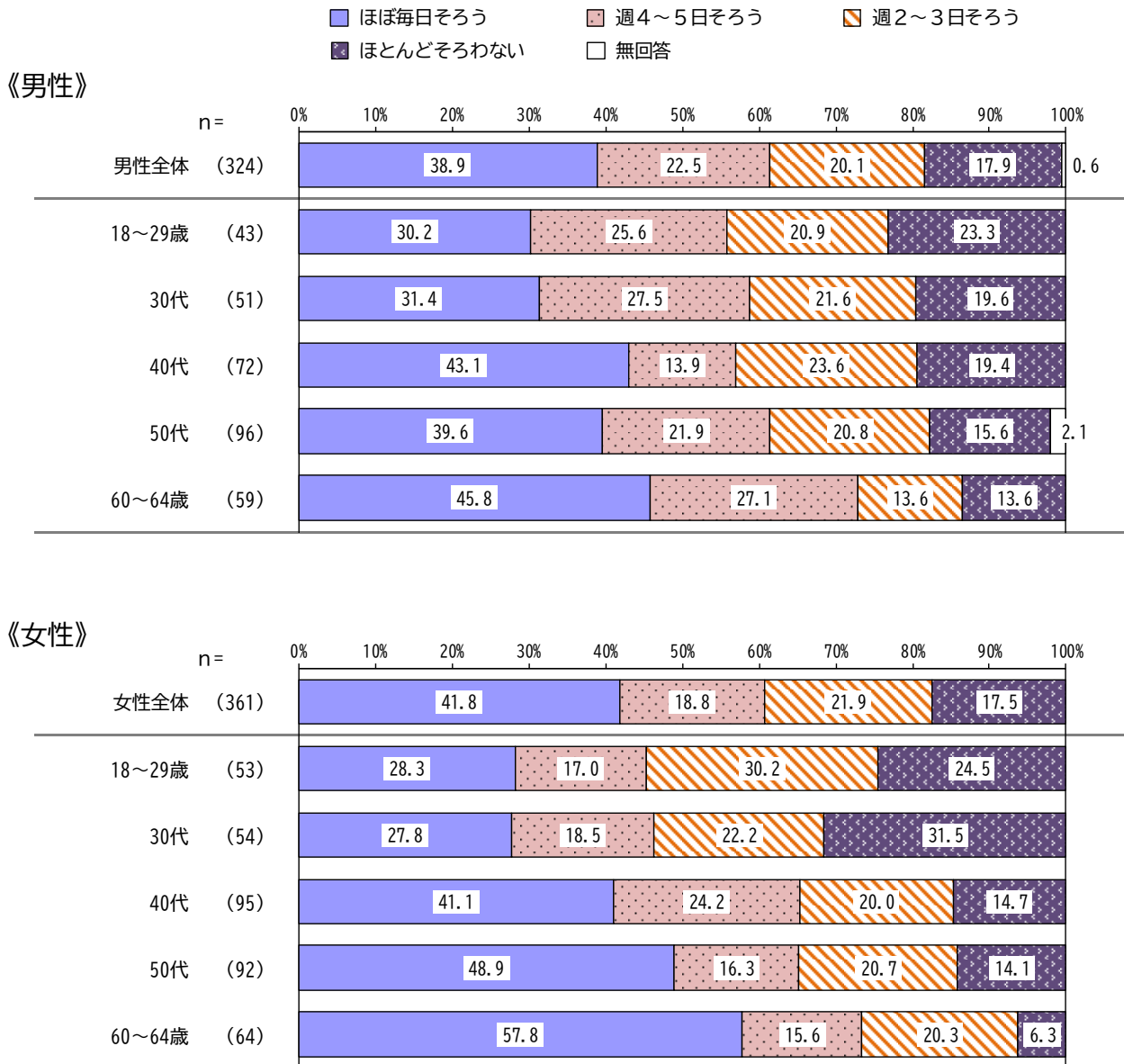
性別でみると、「ほぼ毎日そろう」は、〔女性〕が〔男性〕を2.9ポイント上回っています。

年齢別でみると、40代以上の年齢では、「ほぼ毎日そろう」が4割を超えています。一方、30代以下の年齢では「ほとんどそろわない」が2割半ば前後を占めています。



【性年齢別】

性年齢別で見ると、「ほぼ毎日そろろう」割合は、40代以下までは《男性》の方が高く、50歳以上では《女性》の方が高くなっています。一方、《女性》の[30代]では、「ほとんどそろわない」が31.5%と3割を超えており、他の性年齢よりも高くなっています。

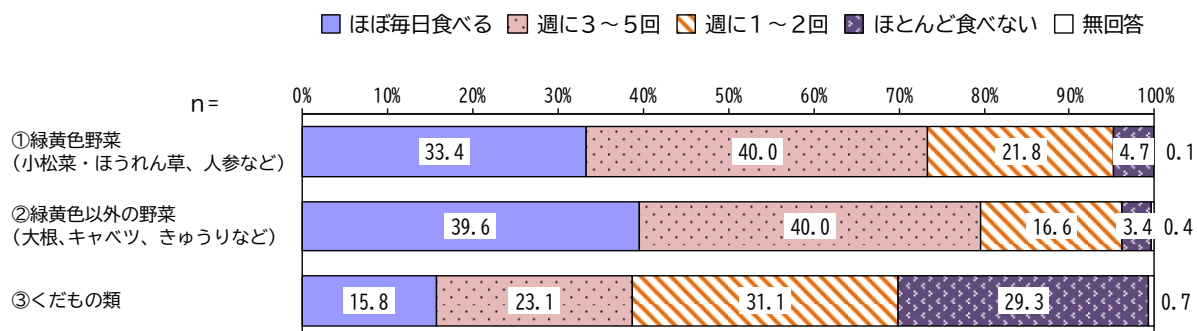


IV 18歳以上の調査結果

(3) 野菜・くだものを食べる頻度

問8 あなたは、1週間のうちで、次のそれぞれの食べ物をどの程度食べますか。

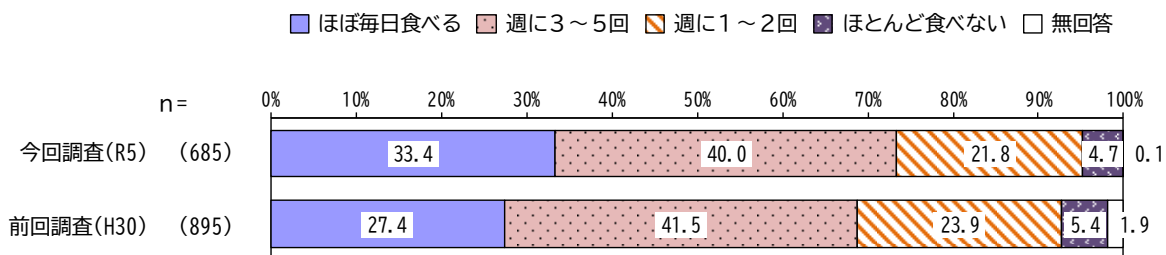
1週間に野菜やくだものを食べる頻度について、「ほぼ毎日食べる」は、〔緑黄色野菜〕と〔緑黄色以外の野菜〕で3割を超えており、「週に3～5回」がともに4割と、7割以上が週に3回以上食べています。一方、〔くだもの類〕は「週に1～2回」が31.1%、「ほとんど食べない」が29.3%と3割前後を占めて、野菜類よりも高くなっています。



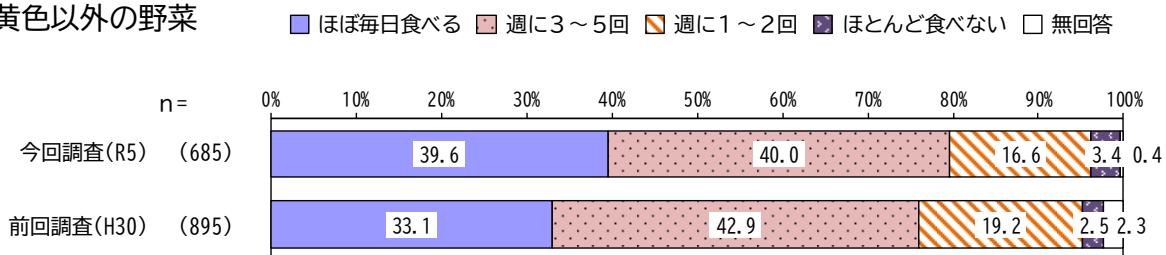
【前回比較】

前回調査と比較すると、野菜類の「ほぼ毎日食べる」割合はいずれも平成30年度より高くなっていますが、《くだもの類》は平成30年度より4.2ポイント下がっており、反対に「ほとんど食べない」が8.4ポイント上がっています。

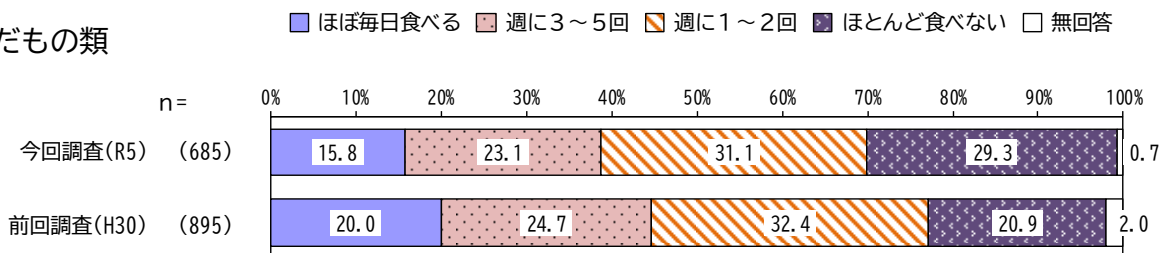
①緑黄色野菜



②緑黄色以外の野菜



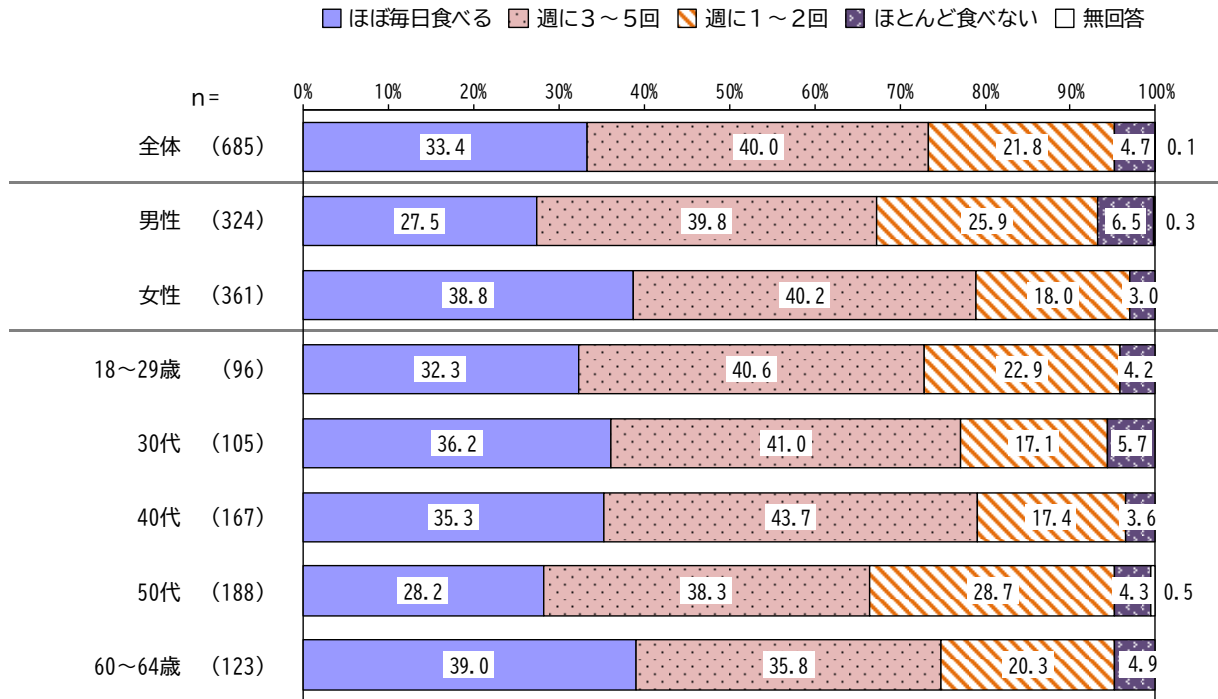
③くだもの類



①緑黄色野菜

性別でみると、「ほぼ毎日食べる」は、〔女性〕が〔男性〕を11.3ポイント上回っています。

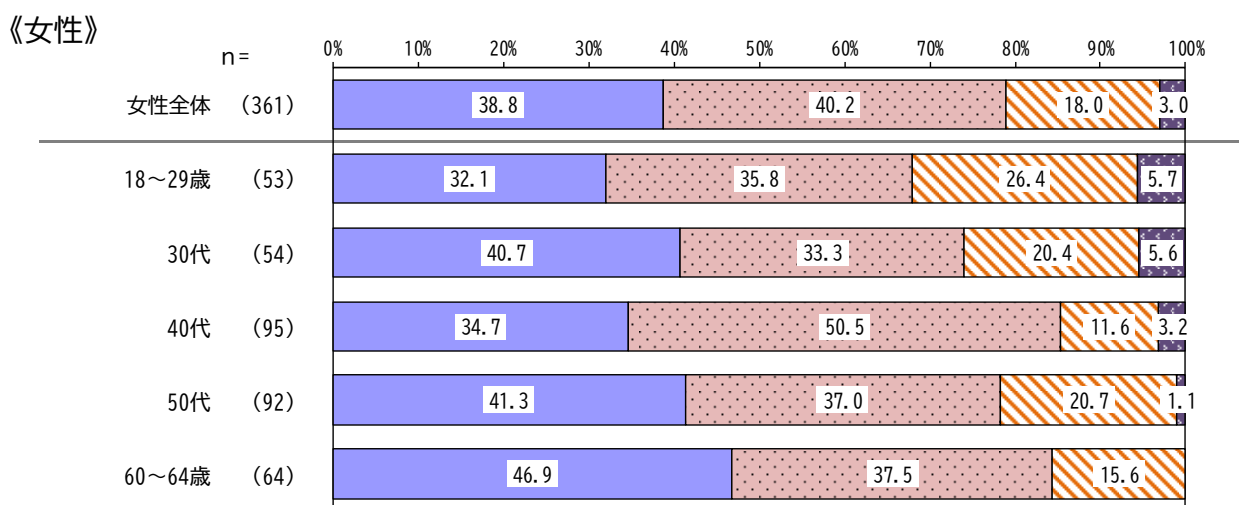
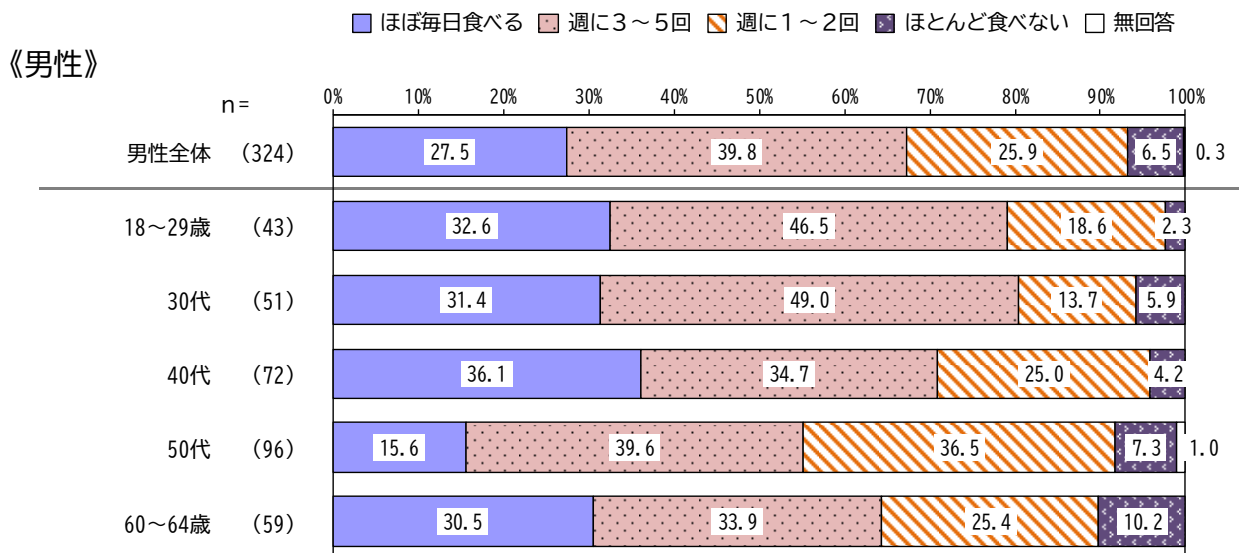
年齢別でみると、「ほぼ毎日食べる」は、〔50代〕が28.2%と3割を切って、他の年齢よりも低くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

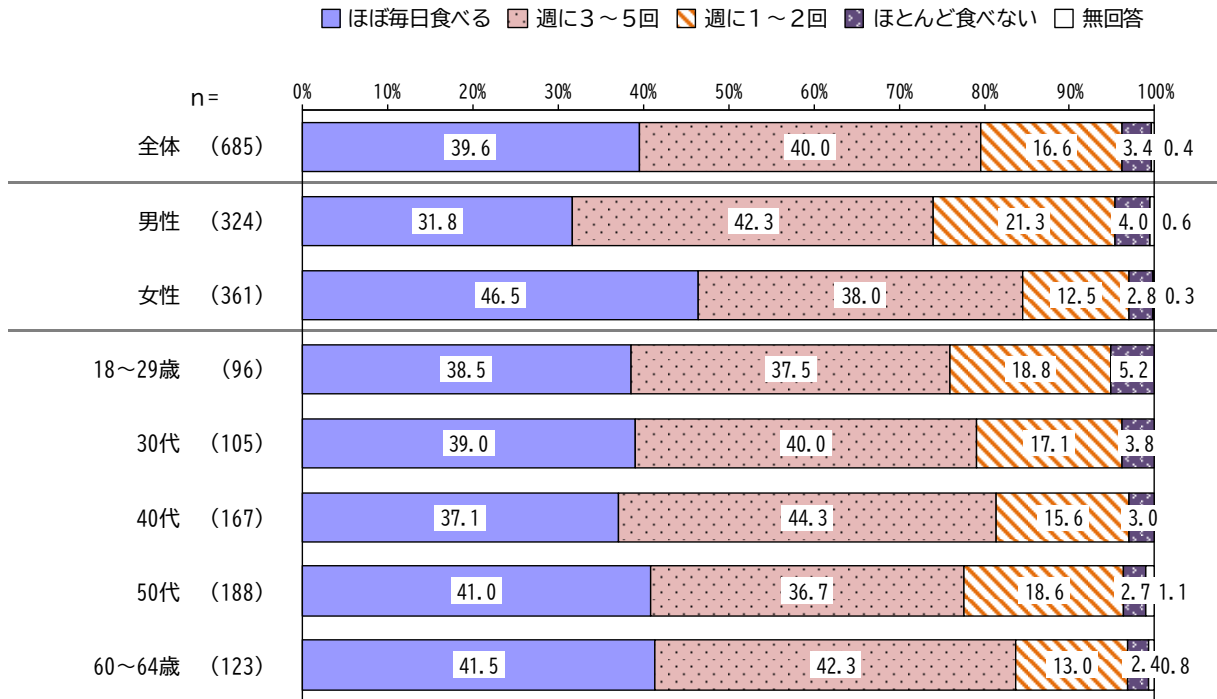
性年齢別で見ると、「ほぼ毎日食べる」は、《男性》の〔50代〕で15.6%と、他の性年齢の半分以下の割合となっています。「ほとんど食べない」割合は、《男性》では年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあるのに対し、《女性》では年齢が上がるほど低くなっています。



②緑黄色以外の野菜

性別でみると、「ほぼ毎日食べる」は、〔女性〕が〔男性〕を14.7ポイント上回っています。

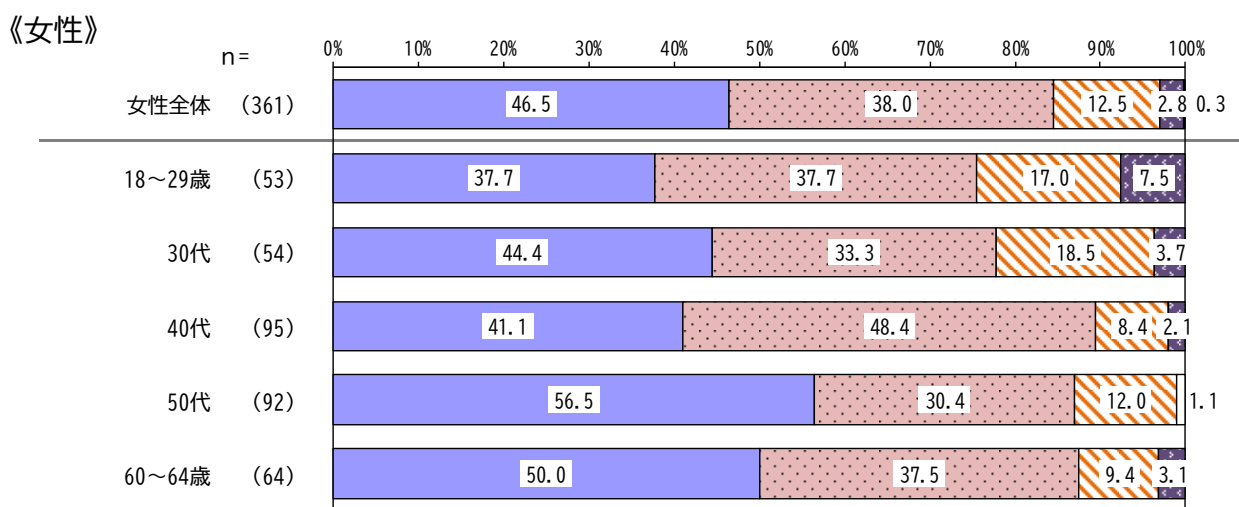
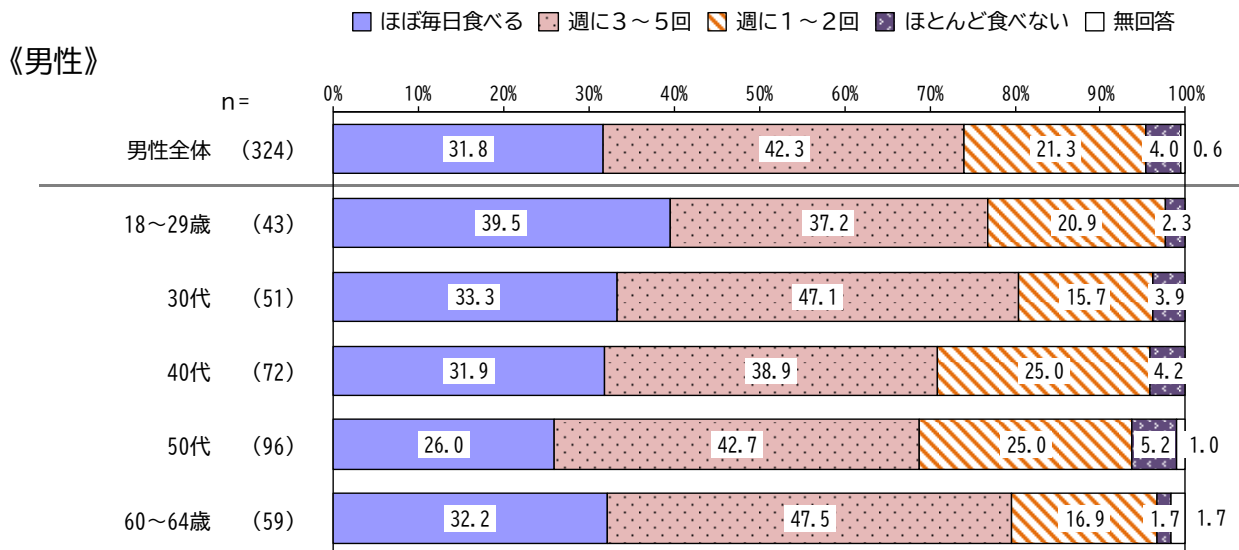
年齢別でみると、「ほぼ毎日食べる」は、いずれの年齢でも4割前後を占めていますが、週3回以上食べる割合は〔50代〕で7割を切って、他の年齢よりもやや低くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

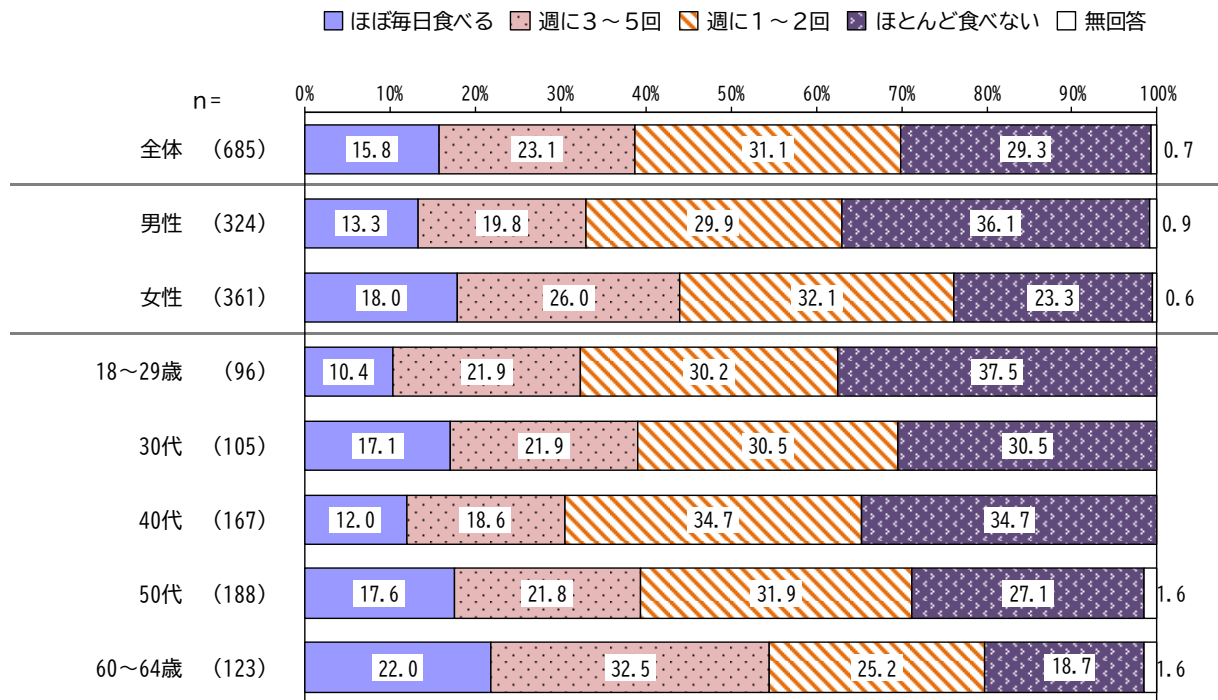
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「ほぼ毎日食べる」は、30代以上の《女性》で4割を超えて高く、特に50代以上では5割以上となっています。一方、「ほとんど食べない」は、《女性》の〔18～29歳〕で7.5%と、他の性年齢よりも高くなっています。



③くだもの類

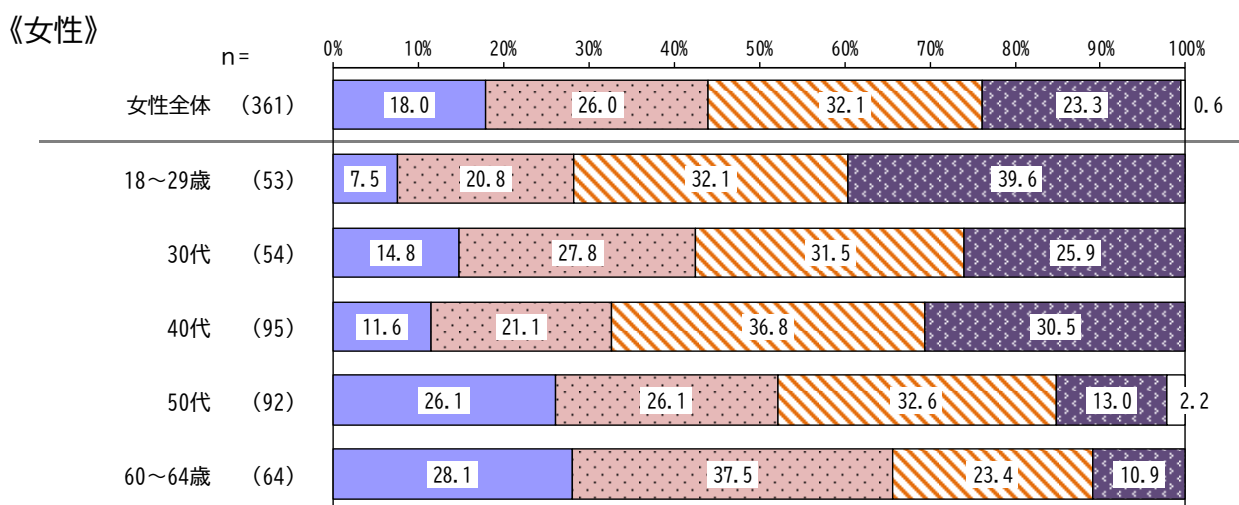
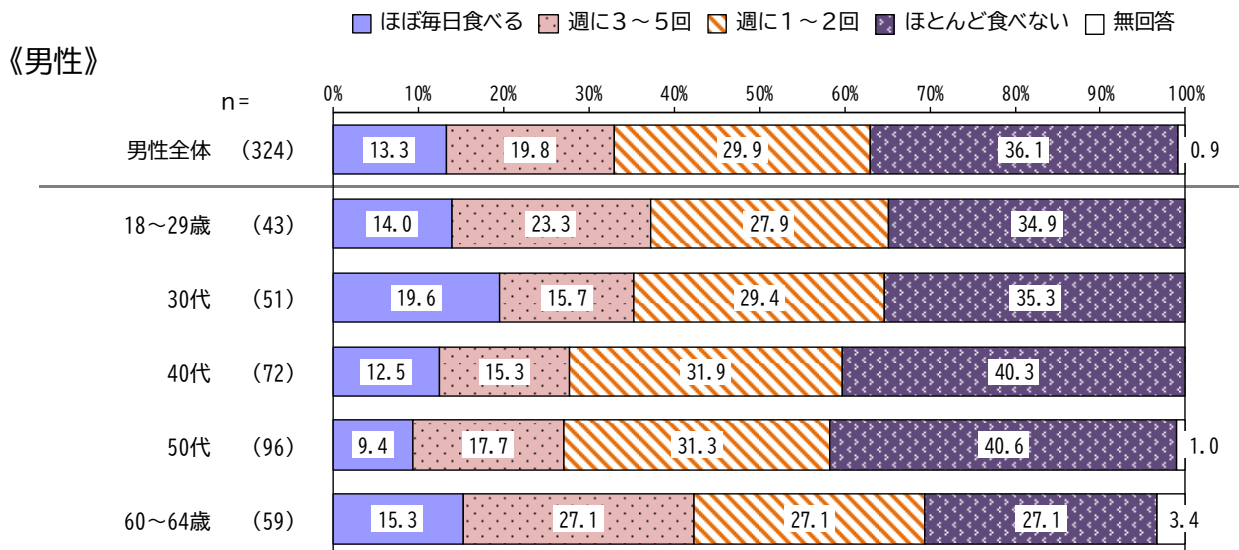
性別で見ると、「ほとんど食べない」は、〔男性〕が〔女性〕を12.8ポイント上回っています。
年齢別で見ると、「ほとんど食べない」は、40代以下の年齢で3割を超えて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

性年齢別でみると、「ほぼ毎日食べる」は、50代以上の《女性》で2割半ばを超えて高くなっています。一方、「ほとんど食べない」は50代以下の《男性》と〔18～29歳〕〔40代〕の《女性》で3割を超えており、特に40～50代の《男性》では4割を占めています。



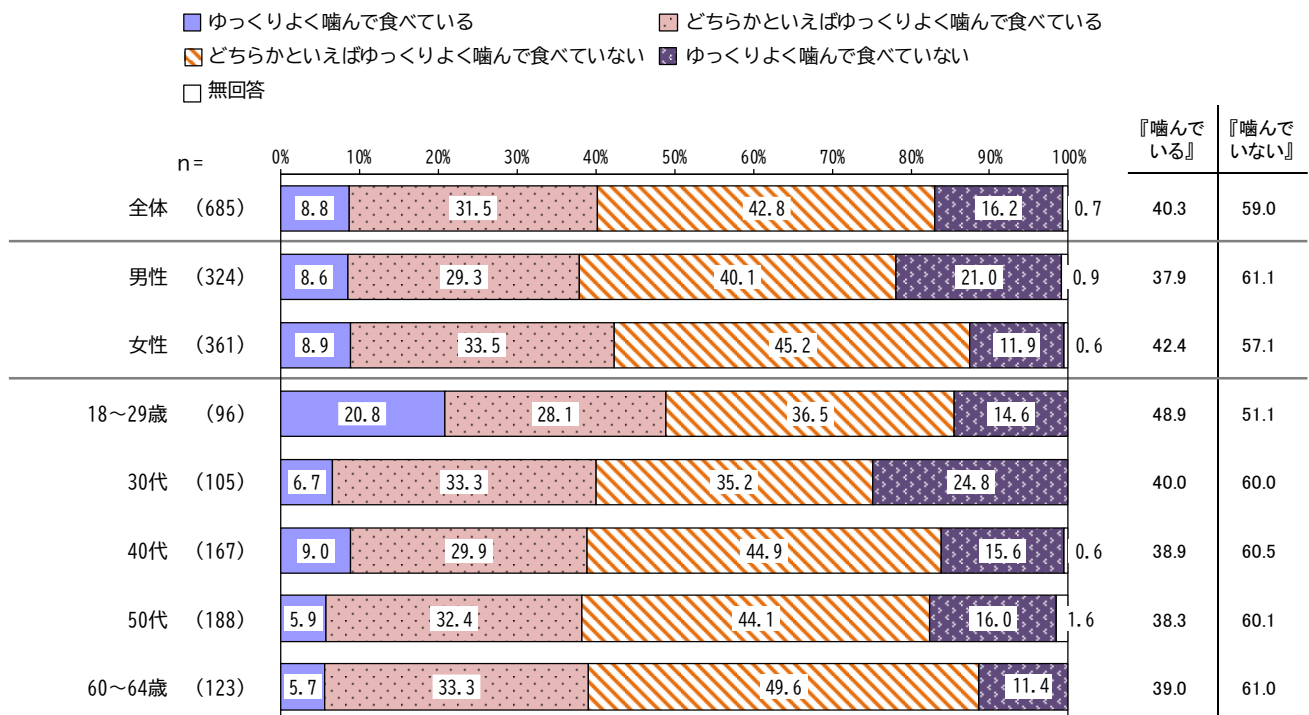
(4) 咀嚼の状況

問9 あなたは、普段ゆっくりよく噛んで食べていますか。

普段ゆっくりよく噛んで食べているかについて、「ゆっくりよく噛んで食べている」(8.8%)と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」(31.5%)を合わせた『噛んでいる』は40.3%と4割を占めています。反対に、「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない」(42.8%)と「ゆっくりよく噛んで食べていない」(16.2%)を合わせた『噛んでいない』は59.0%と6割を占めています。

性別でみると、『噛んでいる』は、〔女性〕が42.4%と4割を超えており、〔男性〕(37.9%)を4.5ポイント上回っています。

年齢別でみると、『噛んでいる』は〔18～29歳〕で48.9%と5割近くを占めており、30代以上の年齢では4割以下となっています。「ゆっくりよく噛んで食べていない」は、〔30代〕で24.8%と2割半ばを占めて、他の年齢よりも高くなっています。



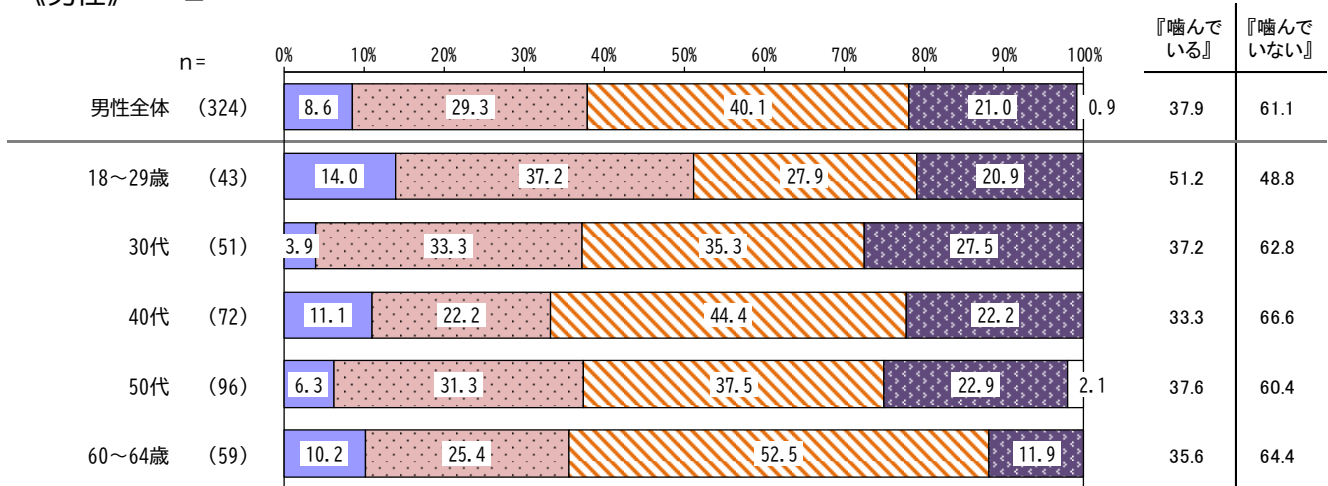
IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

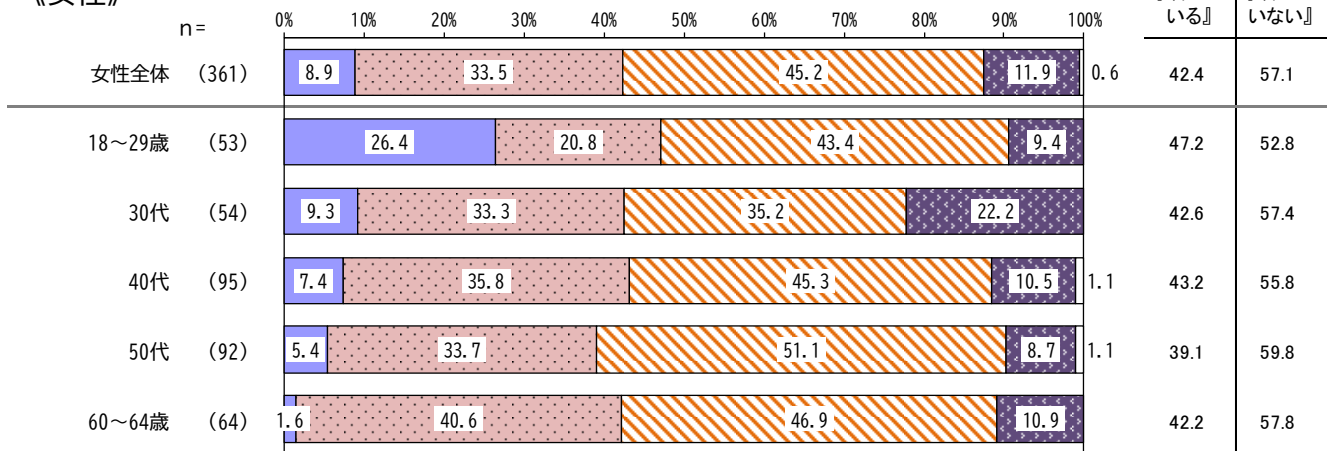
性年齢別でみると、『噛んでいる』は《男性》の〔18～29歳〕で51.2%と5割を超えて、他の性年齢よりも高くなっています。また、《男性》の〔18～29歳〕以外の『噛んでいる』割合は、いずれの年齢も《女性》が《男性》を上回っています。

- ゆっくりよく噛んで食べている ■ どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
■ どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない ■ ゆっくりよく噛んで食べていない
□ 無回答

《男性》



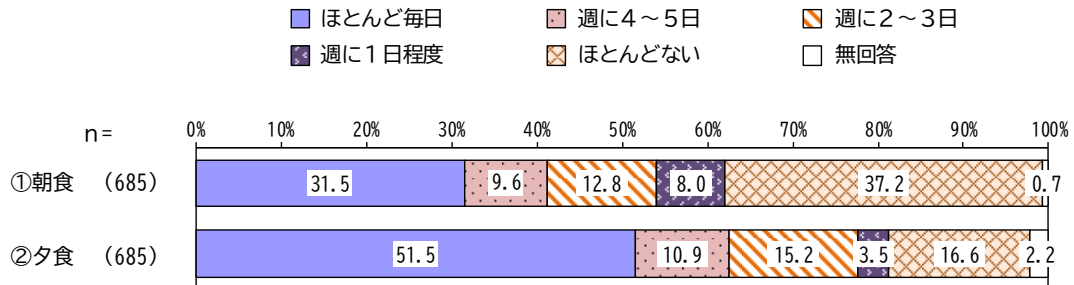
《女性》



(5) 共食の頻度

問 10 あなたは、朝食や夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。

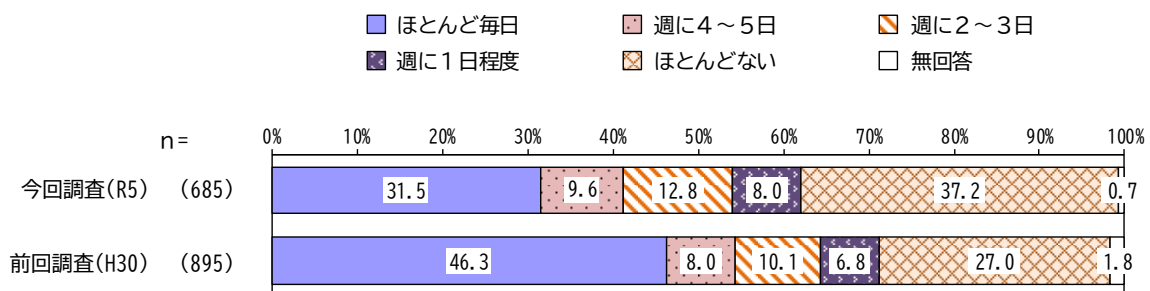
朝食や夕食を家族と一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日」の割合は、〔朝食〕では31.5%と3割程度ですが、〔夕食〕では51.5%と5割を超えています。



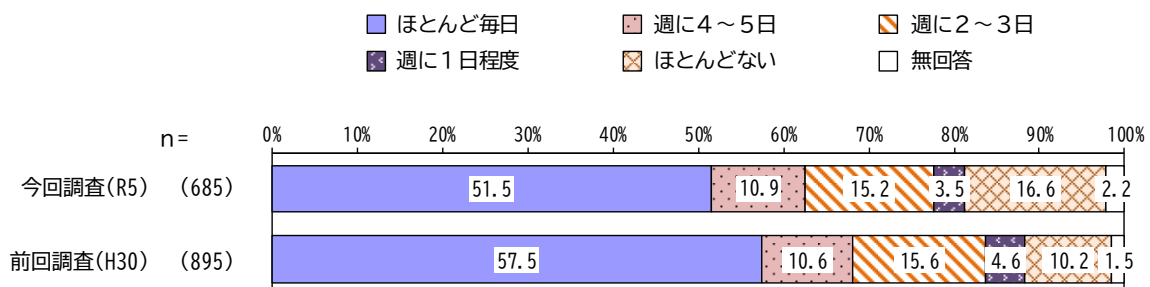
【前回比較】

前回調査と比較すると、〔朝食〕と〔夕食〕ともに、「ほとんど毎日」が平成30年度より下がっており、反対に「ほとんどない」の割合が上がっています。

①朝食



②夕食

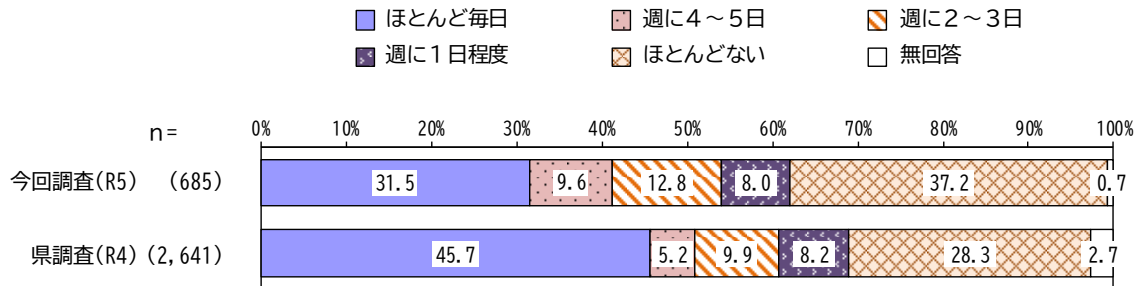


IV 18歳以上の調査結果

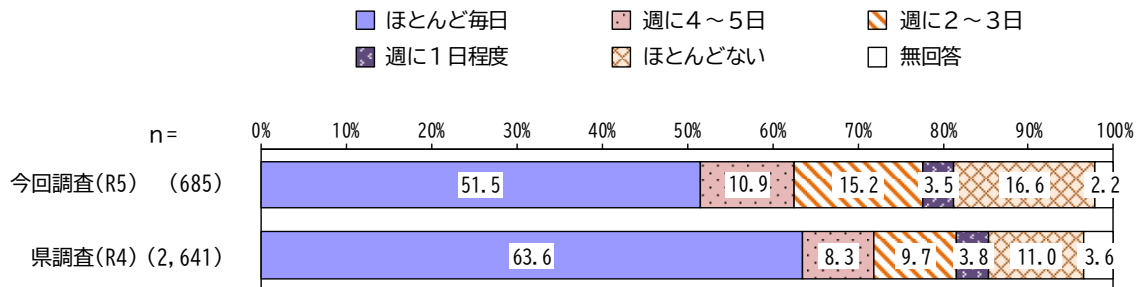
【県調査比較】

静岡県の調査と比較すると、〔朝食〕と〔夕食〕ともに、「ほとんど毎日」の割合が静岡県よりも10ポイント以上低くなっています。

①朝食



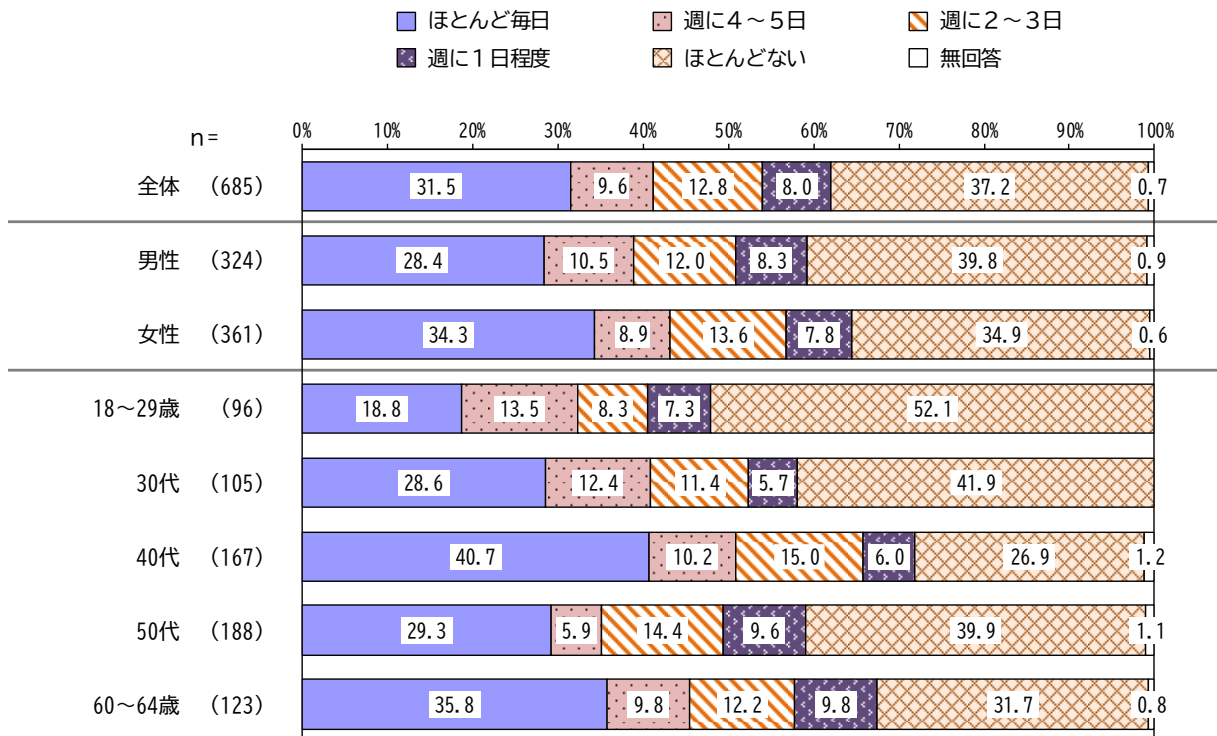
②夕食



①朝食

性別でみると、「ほとんど毎日」は、〔女性〕が〔男性〕を5.9ポイント上回っています。

年齢別でみると、「ほとんど毎日」は、〔40代〕が40.7%と4割を占めて、他の年齢よりも高くなっています。一方、〔18～29歳〕では「ほとんどない」が52.1%と5割を超えて高くなっています。

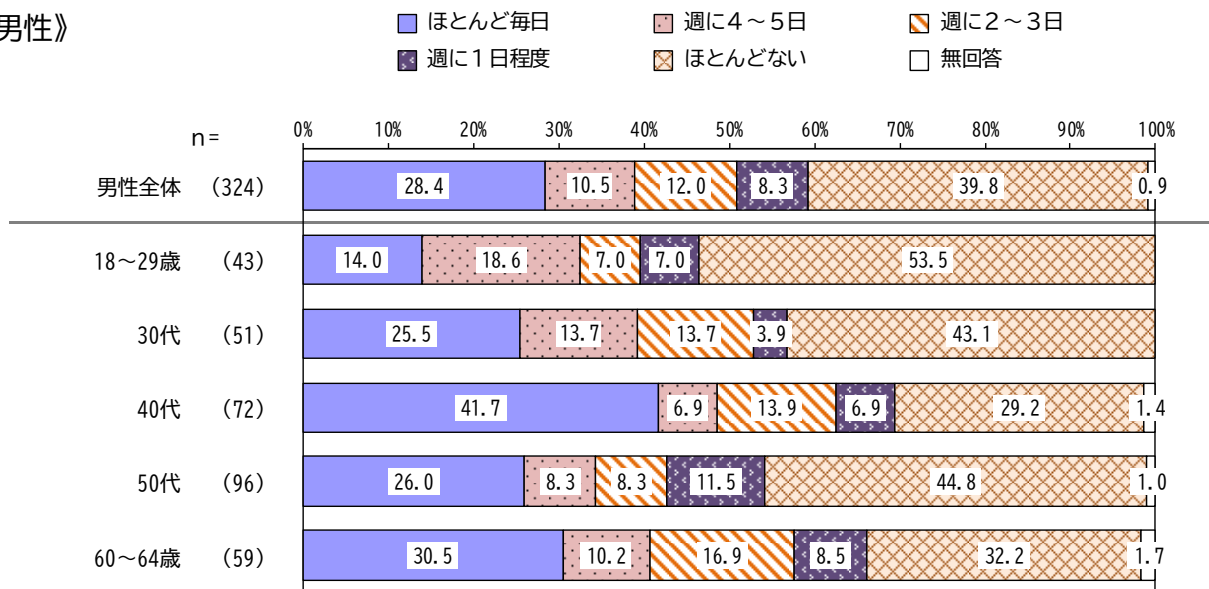


IV 18歳以上の調査結果

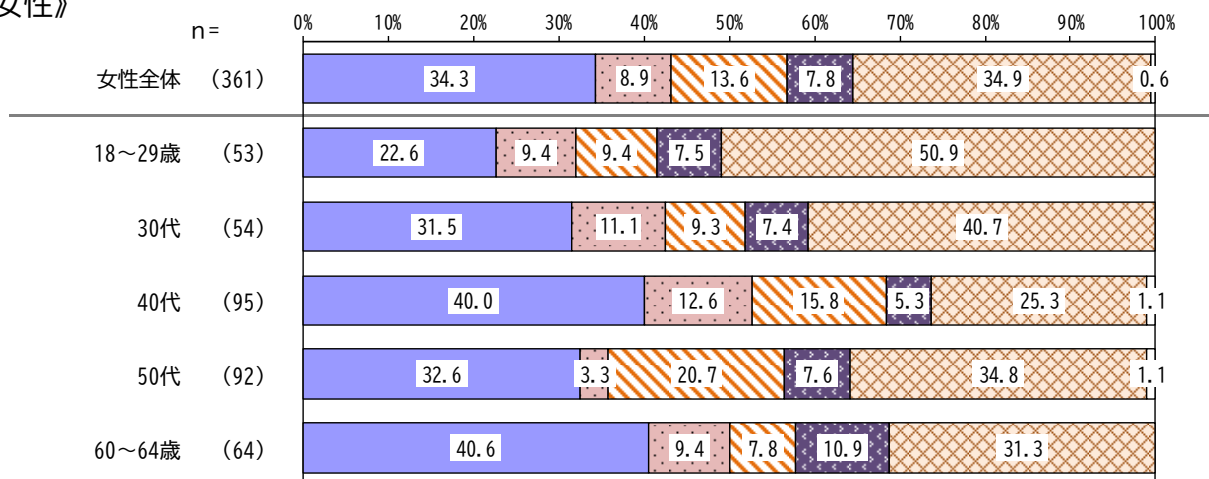
【性年齢別】

性年齢別でみると、「ほとんど毎日」は、男女ともに〔40代〕で4割を占めて高くなっています。また、《女性》の〔60～64歳〕も40.6%と4割を占めています。一方、「ほとんどない」は、男女ともに〔18～29歳〕で5割を超えて高くなっています。

《男性》



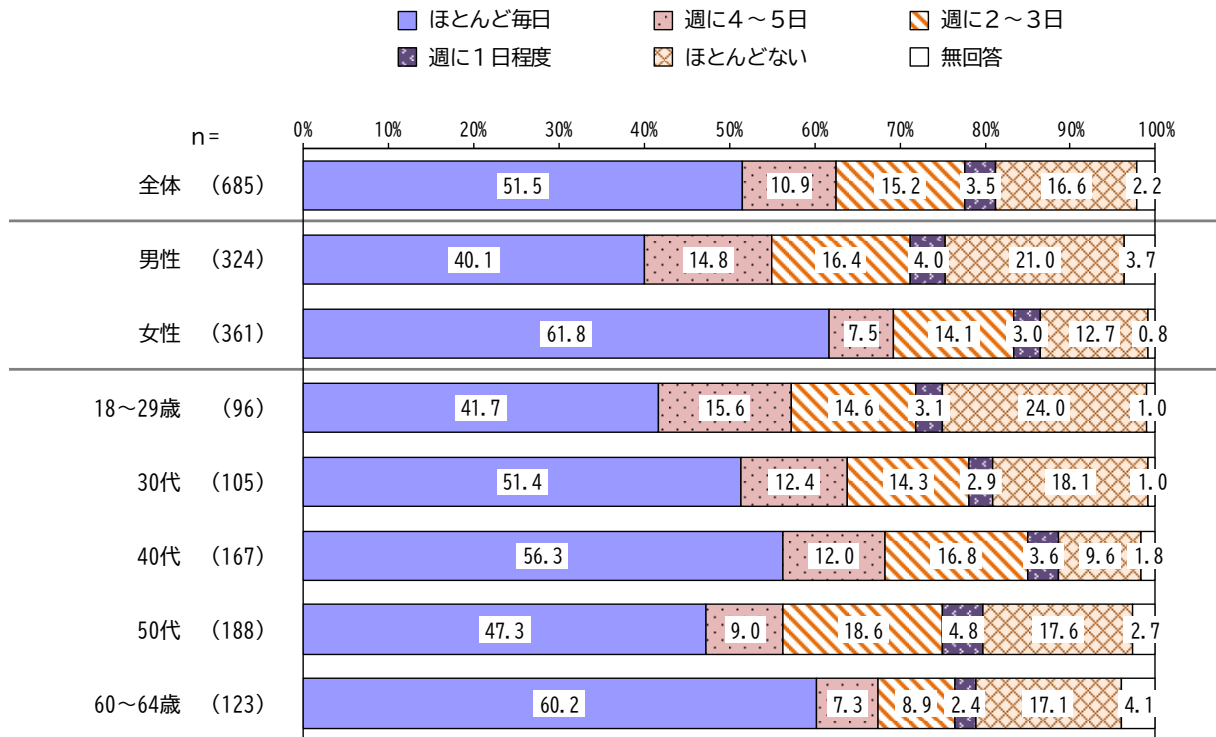
《女性》



②夕食

性別でみると、「ほとんど毎日」は、〔女性〕が61.8%と6割を超えており、〔男性〕（40.1%）を21.7ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、「ほとんど毎日」は、〔18～29歳〕と〔50代〕で4割台と他の年齢よりも低くなっています。

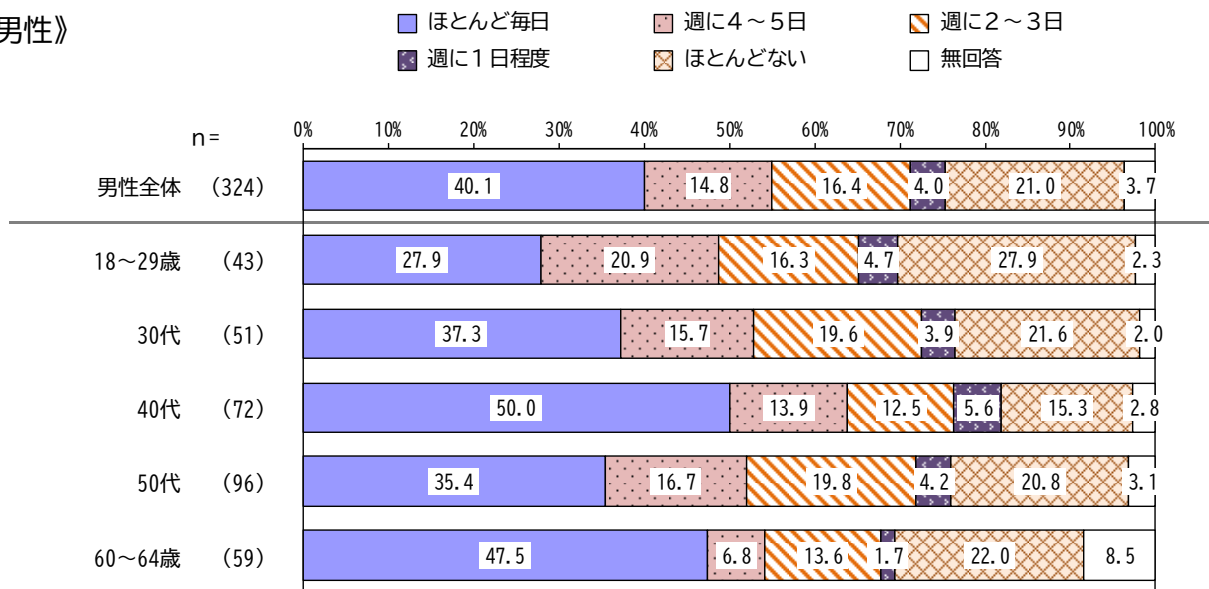


IV 18歳以上の調査結果

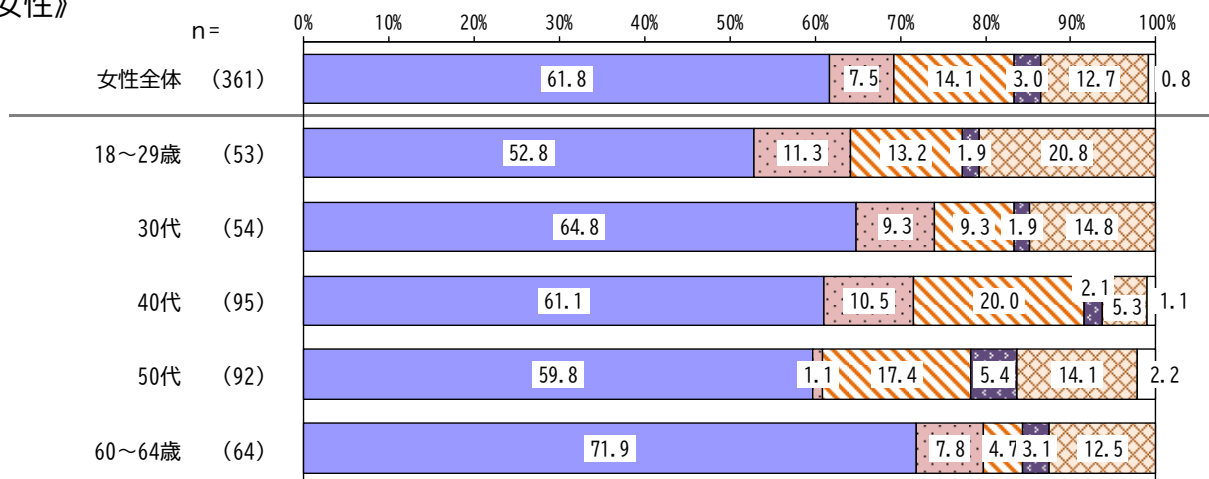
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「ほとんど毎日」は、《女性》のすべての年齢で5割を超えており、《男性》の各年齢を大きく上回っています。一方、「ほとんどない」は、〔40代〕を除く《男性》のいずれの年齢でも2割台を占めています。

《男性》



《女性》



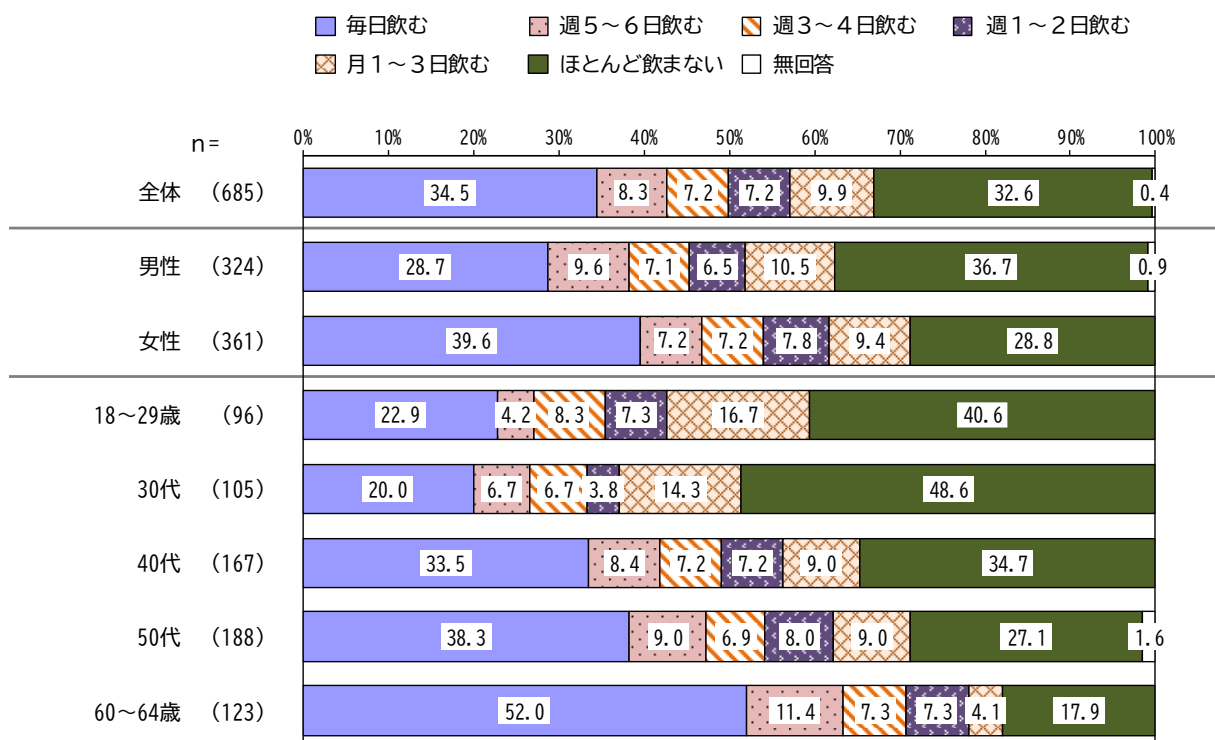
(6) 緑茶を飲む頻度

問 11 あなたは、茶葉で淹れた緑茶をこの1か月間にどのくらい飲みましたか。

1か月間に茶葉で淹れた緑茶を飲む頻度について、「毎日飲む」が34.5%と最も高く、「週5～6日飲む」(8.3%)と合わせると、1週間に5日以上茶葉で淹れた緑茶を飲む割合は4割を超えています。一方、「ほとんど飲まない」は32.6%と3割を超えています。

性別で見ると、「毎日飲む」は、〔女性〕が39.6%と4割近くを占めて高く、〔男性〕(28.7%)を10.9ポイント上回っています。一方、「ほとんど飲まない」は〔男性〕が〔女性〕を7.9ポイント上回っています。

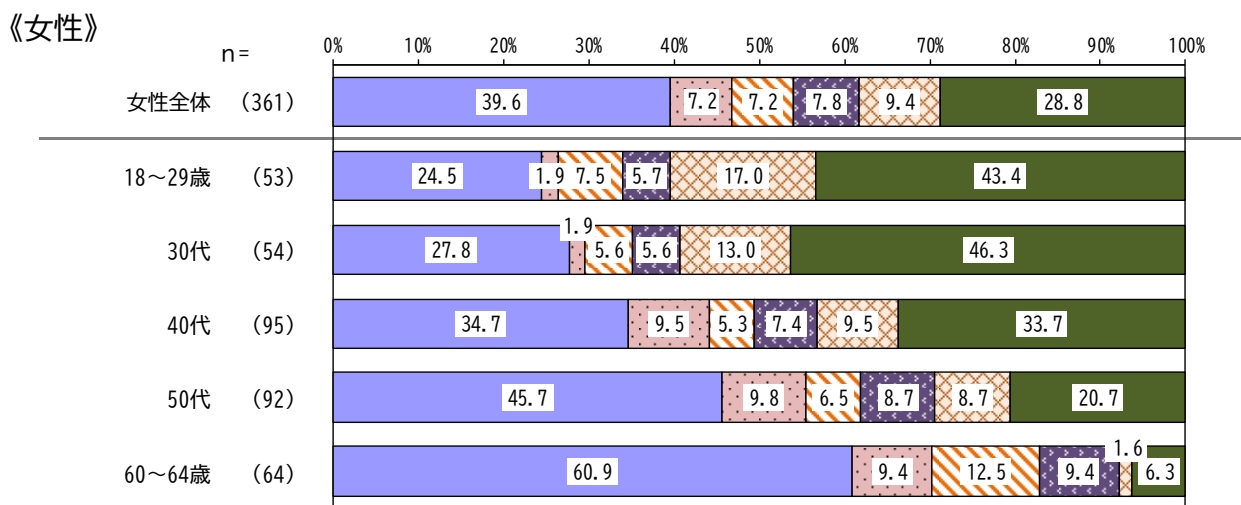
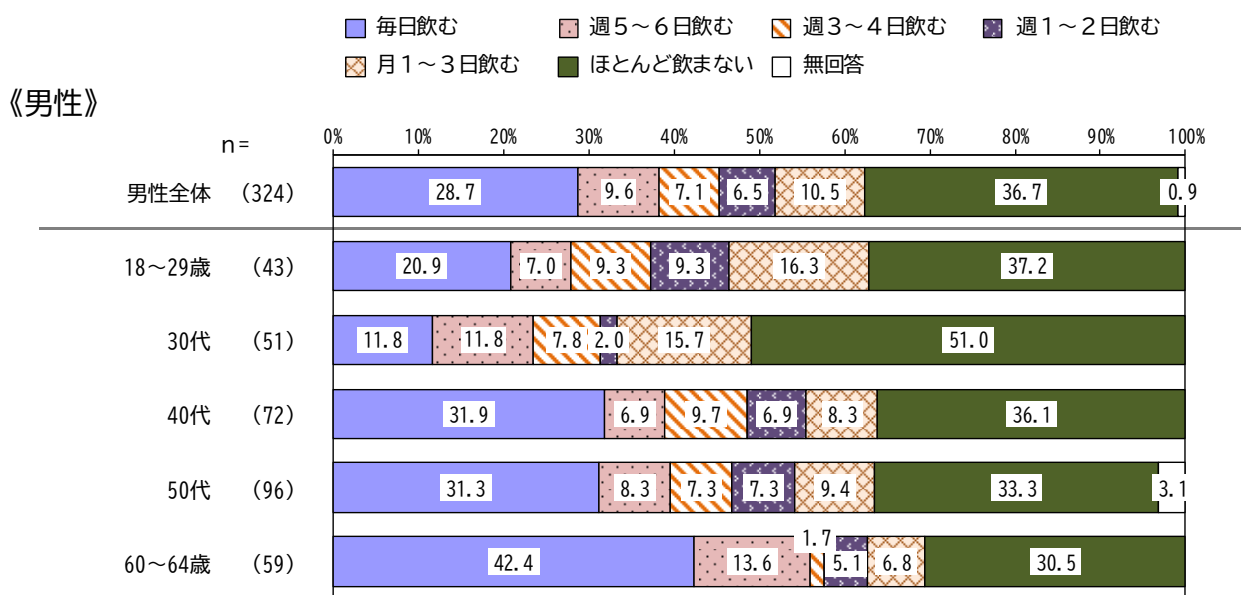
年齢別で見ると、40代以上の年齢では、「毎日飲む」が3割を超えており、特に〔60～64歳〕では52.0%と5割を超えています。一方、30代以下の年齢では「ほとんど飲まない」が4割を超えています。



IV 18歳以上の調査結果

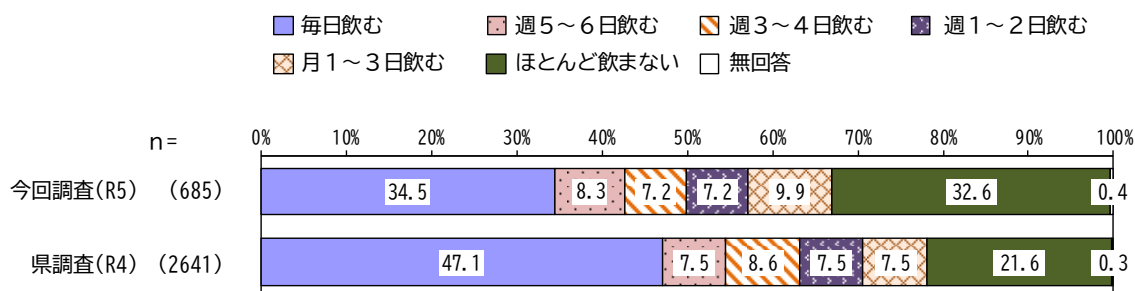
【性年齢別】

性年齢別でみると、「毎日飲む」割合はいずれの年齢でも、「女性」が「男性」を上回っており、特に「女性」の〔60～64歳〕は6割を占めています。「男性」の〔30代〕は「毎日飲む」が1割程度と、他の年齢よりも低く、「ほとんど飲まない」が5割を超えています。



【県調査比較】

静岡県の調査と比較すると、「毎日飲む」割合は、静岡県全体よりも12.6ポイント低くなっています。



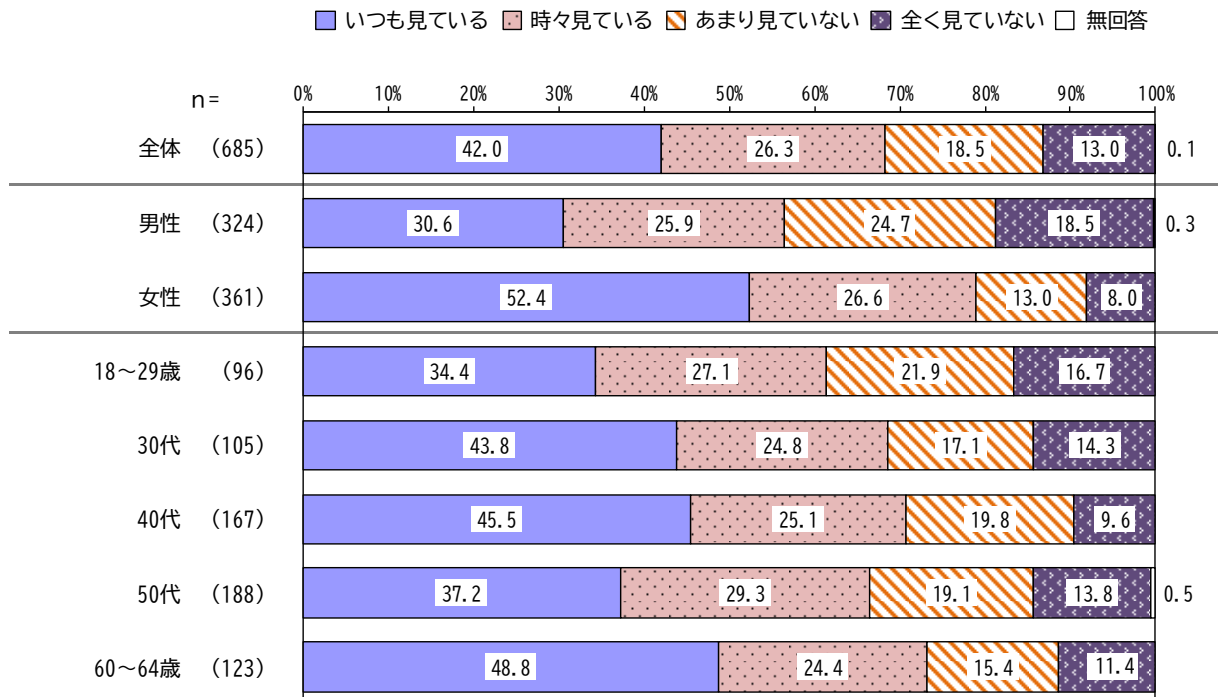
(7) 食品表示の確認状況

問 12 あなたは、「消費期限」、「アレルギー表示」などの容器包装に記載されている表示を見て食品を購入しますか。

食品購入の際に食品表示の記載を確認するかについて、「いつも見ている」が42.0%と4割を超えて最も高く、「時々見ている」(26.3%)と合わせると、ある程度食品表示を確認している割合は6割半ばを超えています。一方、「全く見ていない」は13.0%と1割を超えています。

性別でみると、「いつも見ている」は、〔女性〕が52.4%と5割を超えており、〔男性〕(30.6%)を21.8ポイント大きく上回っています。

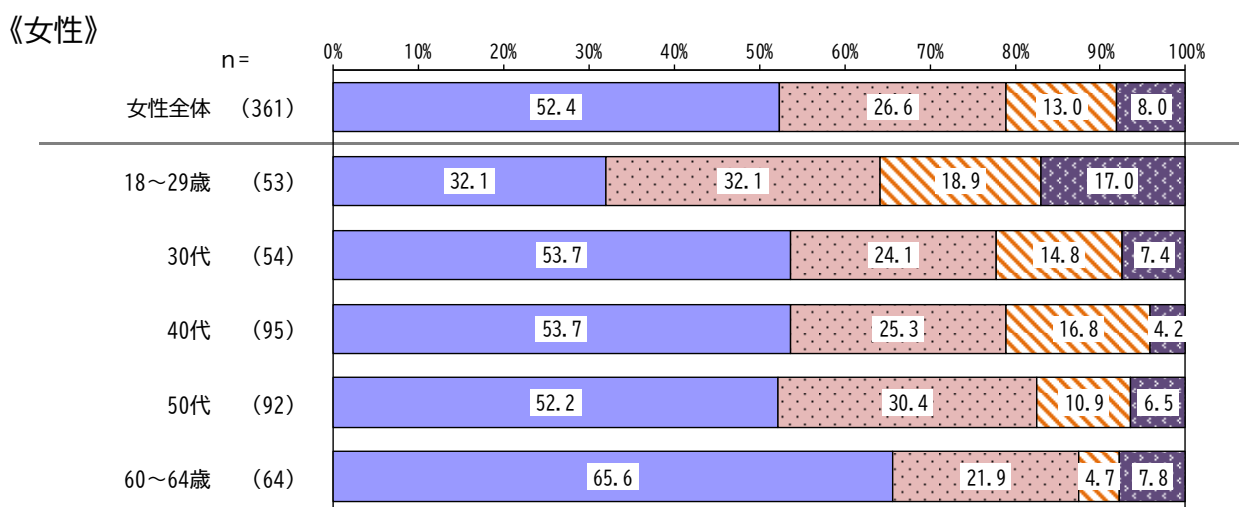
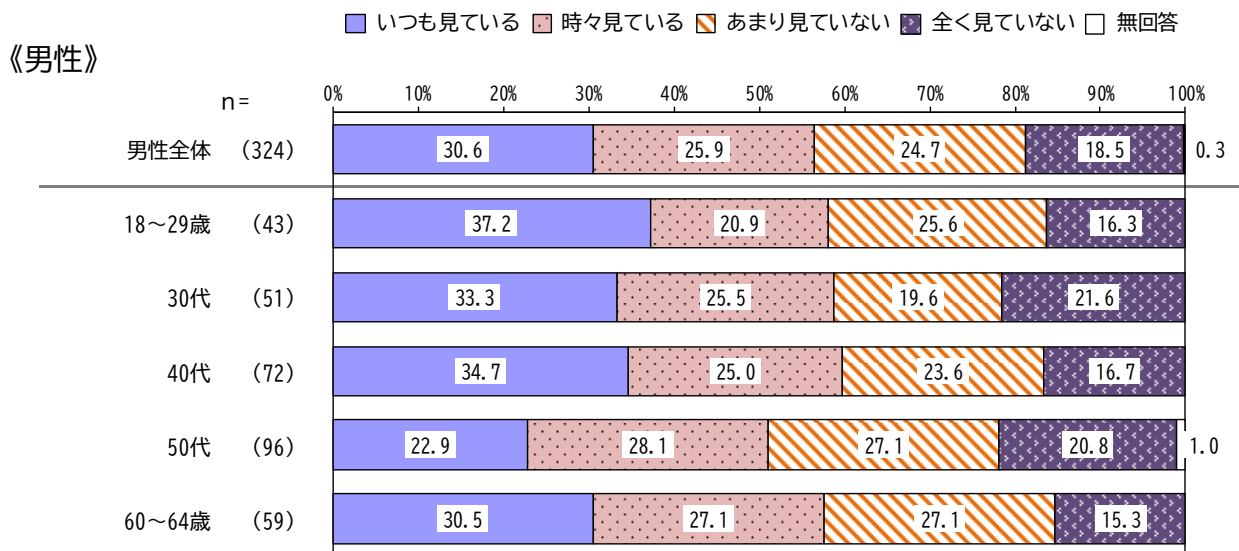
年齢別でみると、「いつも見ている」は〔30代〕、〔40代〕、〔60~64歳〕で4割を超えて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

性年齢別で見ると、「いつも見ている」割合は、《女性》の30代以上の年齢でいずれも5割を超えて高くなっています。一方、「全く見ていない」は、《男性》の〔30代〕と〔50代〕で2割を超えて、他の年齢よりも高くなっています。



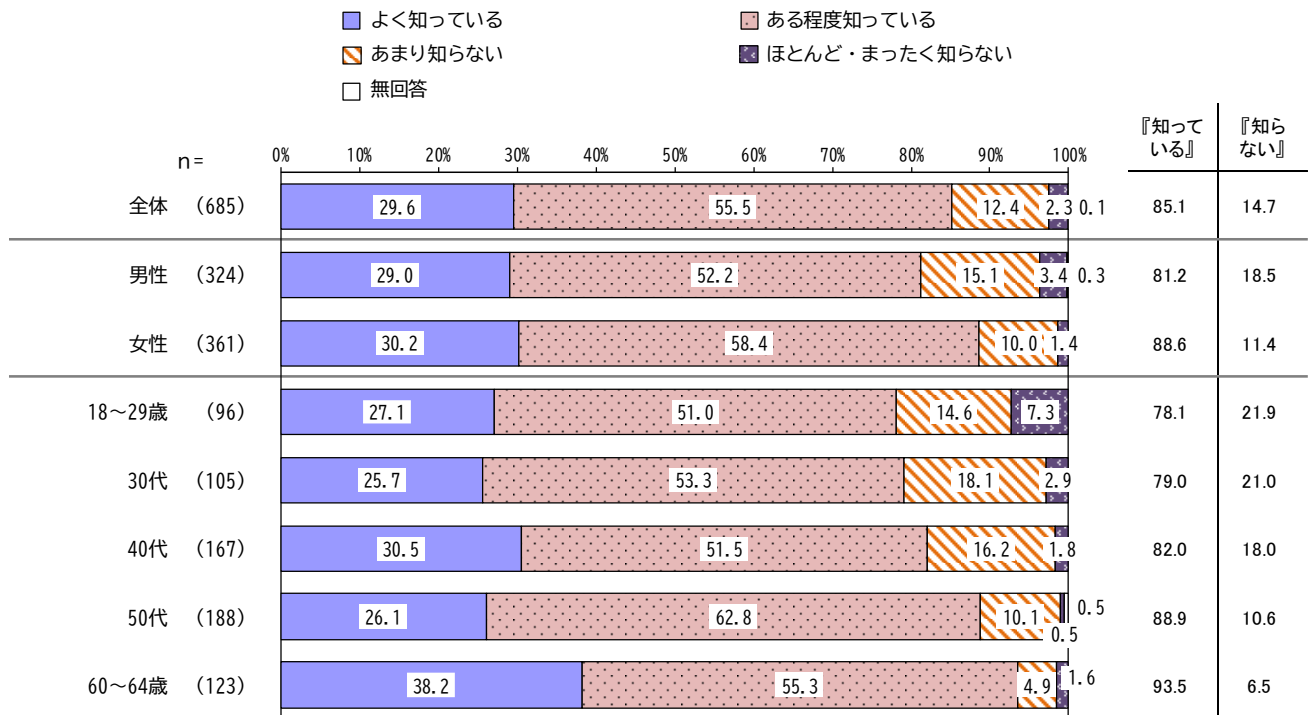
(8) 「食品ロス」の認知状況

問 13 日本では年間約 1600 万トンの食品廃棄物が排出されています。このうち、食べられるのに廃棄される食品(食品ロス)は約 500 万トンにもなることから大きな問題となっています。あなたは、こうした「食品ロス」という問題を知っていますか。

「食品ロス」の認知状況について、「よく知っている」(29.6%)と「ある程度知っている」(55.5%)を合わせた『知っている』は 85.1%と 8 割半ばを占めています。反対に、「あまり知らない」(12.4%)と「ほとんど・まったく知らない」(2.3%)を合わせた『知らない』は 14.7%と 1 割半ばを占めています。

性別でみると、『知っている』は、〔女性〕が 88.6%と 8 割半ばを超えており、〔男性〕(81.2%)を 7.4 ポイント上回っています。

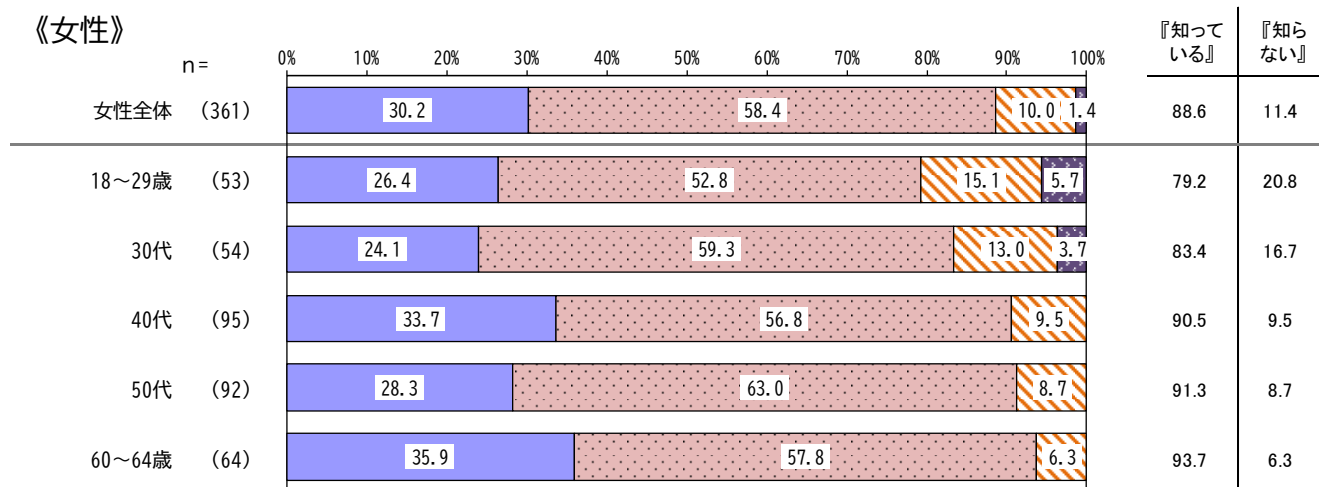
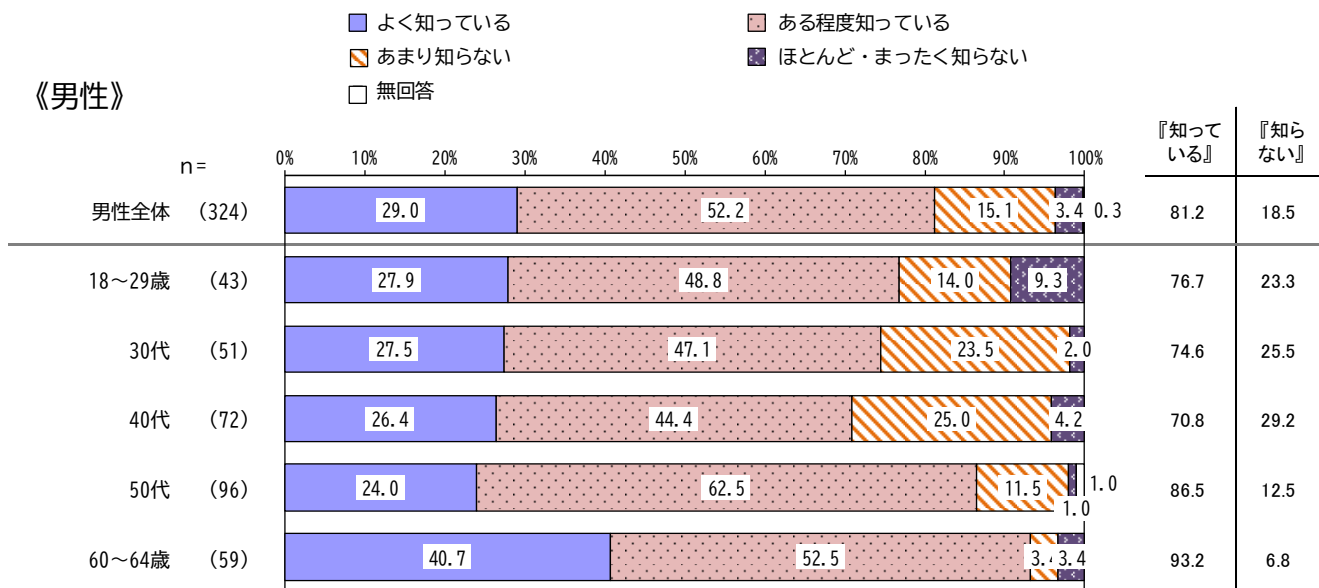
年齢別でみると、『知っている』割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、40 代以上で 8 割を超えており、〔60～64 歳〕では 9 割を超えています。



IV 18歳以上の調査結果

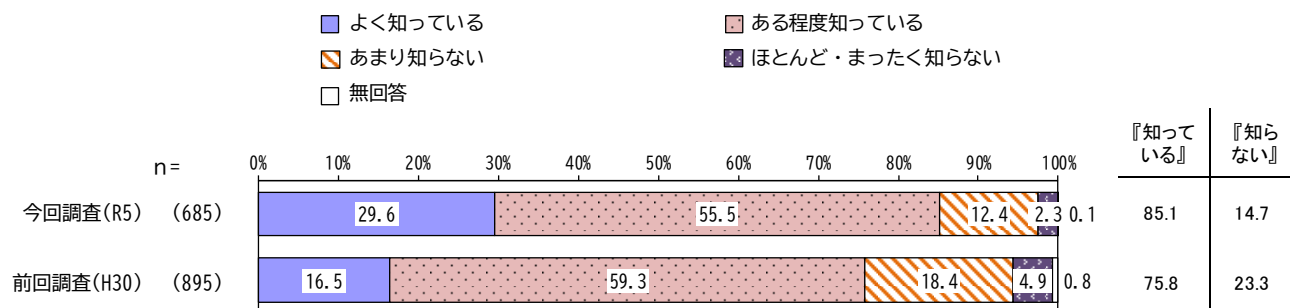
【性年齢別】

性年齢別で見ると、『知っている』は《男性》の〔60～64歳〕と《女性》の40代以上の年齢で9割を超えて高くなっています。また、いずれの年齢でも、『知っている』割合は《女性》が《男性》を上回っています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、『知っている』は平成30年度より9.3ポイント上がっています。

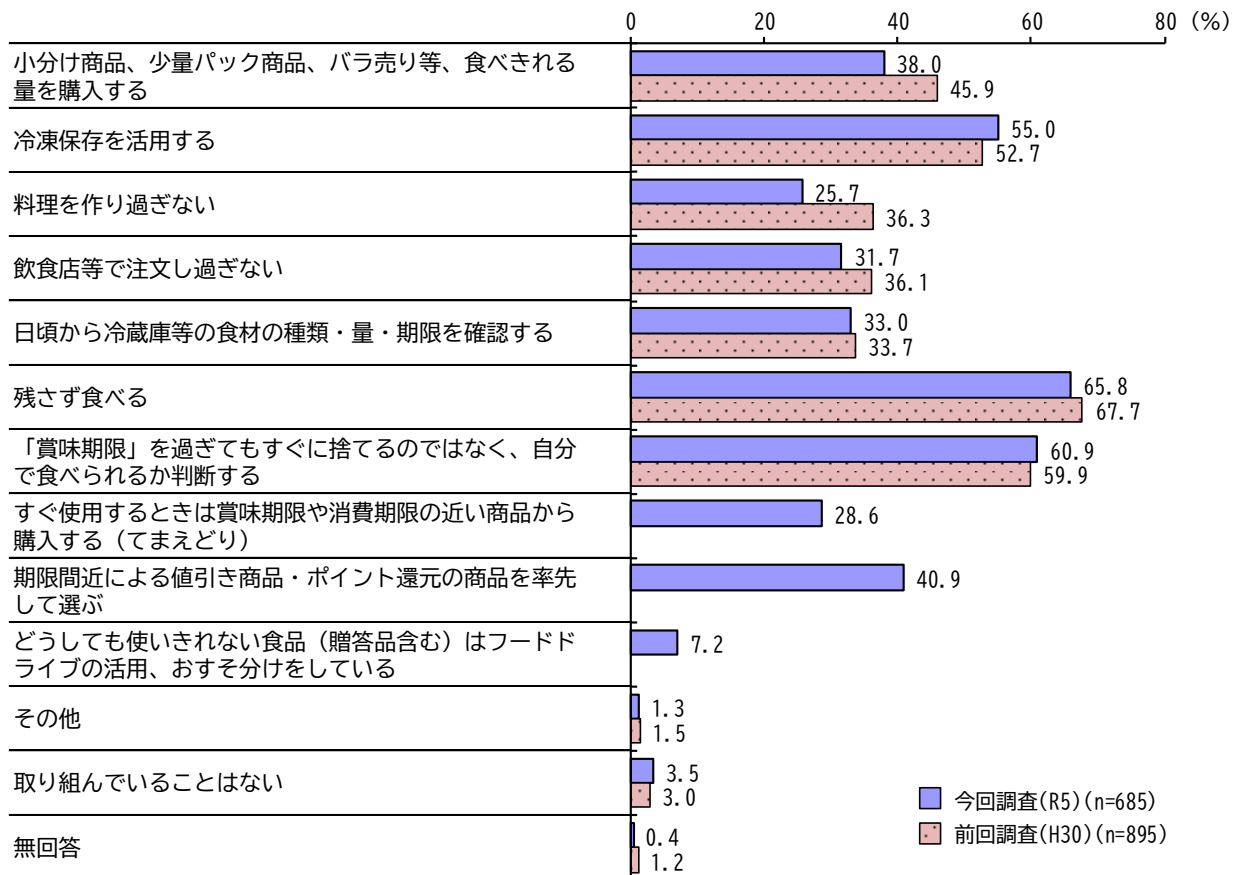


(9) 「食品ロス」軽減のために取り組んでいること

問 14 あなたは、「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。【複数回答】

「食品ロス」軽減のために取り組んでいることについて、「残さず食べる」が65.8%と6割半ばを超えて最も高く、次いで「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する(60.9%)、「冷凍保存を活用する」(55.0%)が続いています。

前回調査と比較すると、「料理を作り過ぎない」が平成30年度より10.6ポイント下がっています。



※ 「すぐ使用するときは賞味期限や消費期限の近い商品から購入する(てまえどり)」

「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」

「どうしても使いきれない食品(贈答品含む)はフードドライブの活用、おすそ分けをしている」は令和5年度の新規追加項目

IV 18歳以上の調査結果

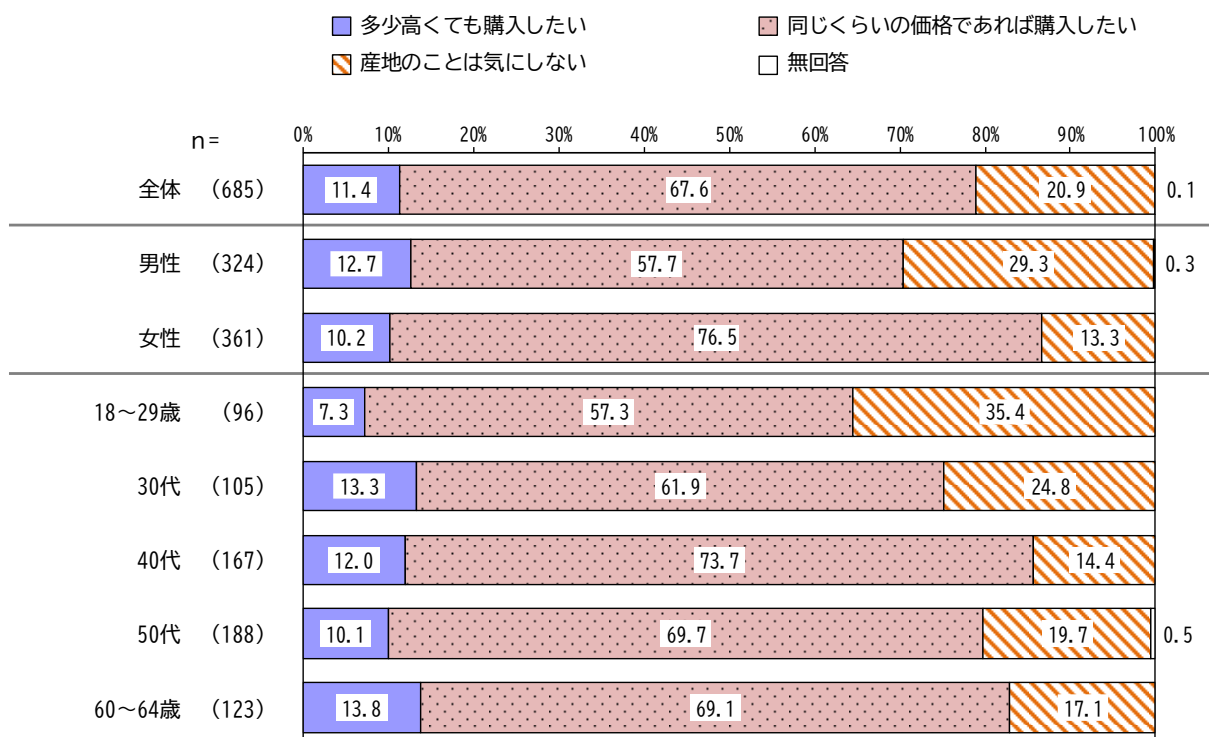
(10) 地元産食品の購入状況

問 15 あなたは、地元の産物とわかる食品であれば購入したいと思いますか。

地元産食品の購入状況について、「同じくらいの価格であれば購入したい」が67.6%と6割半ばを超えて最も高く、次いで「産地のことは気にしない」(20.9%)、「多少高くても購入したい」(11.4%)が続いています。

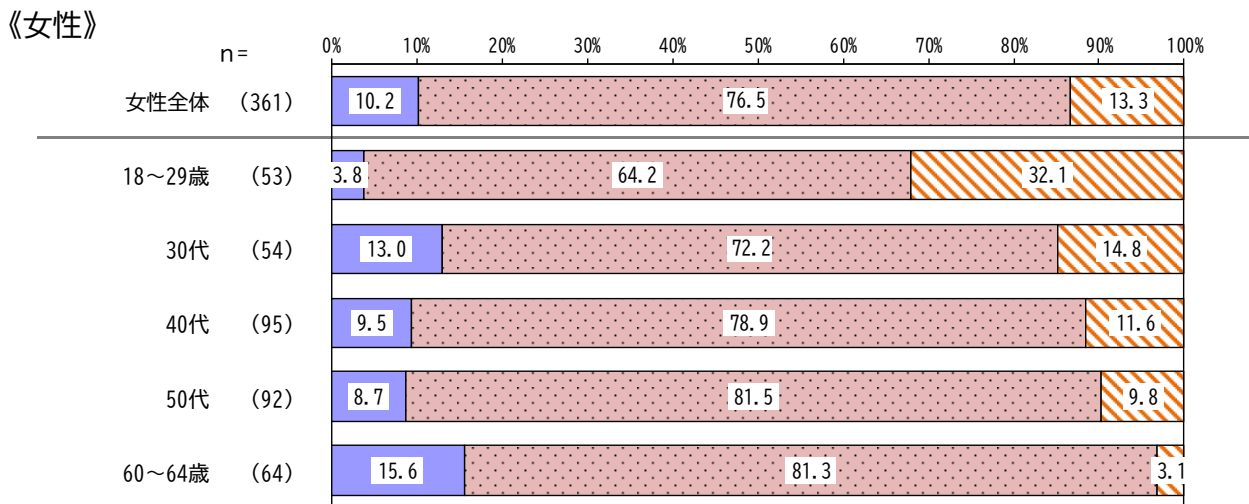
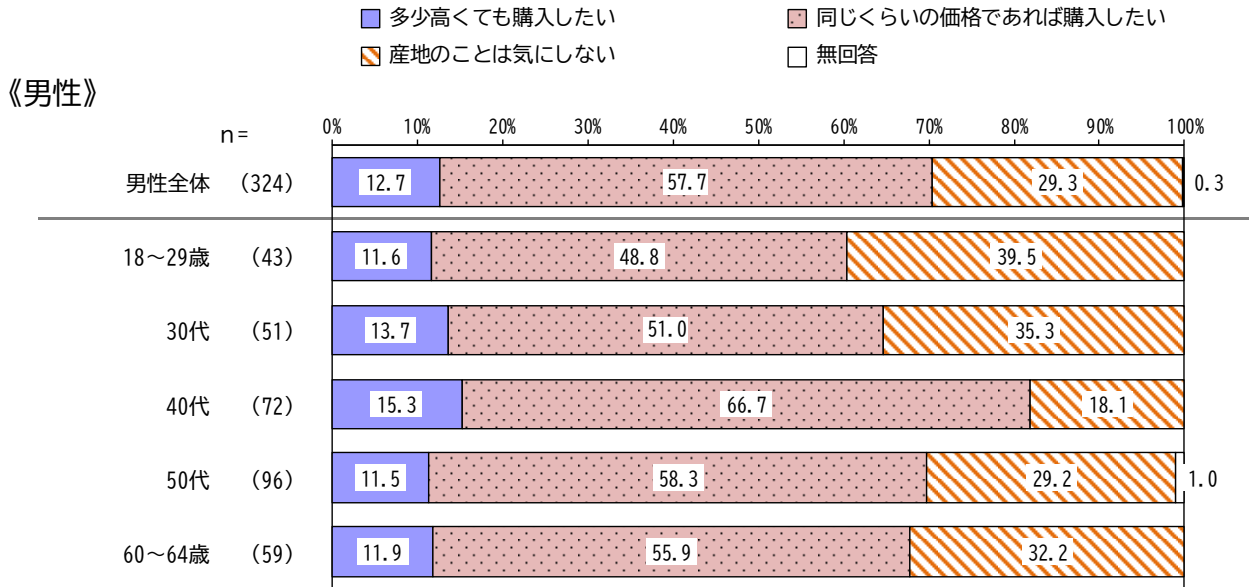
性別でみると、「同じくらいの価格であれば購入したい」は、〔女性〕が〔男性〕を18.8ポイント上回っています。反対に、「産地のことは気にしない」は〔男性〕が〔女性〕を16.0ポイント上回っています。

年齢別でみると、「多少高くても購入したい」は30代以上の年齢ではいずれも1割台前半を占めています。「産地のことは気にしない」は〔18～29歳〕で35.4%と3割半ばを超えて高くなっています。



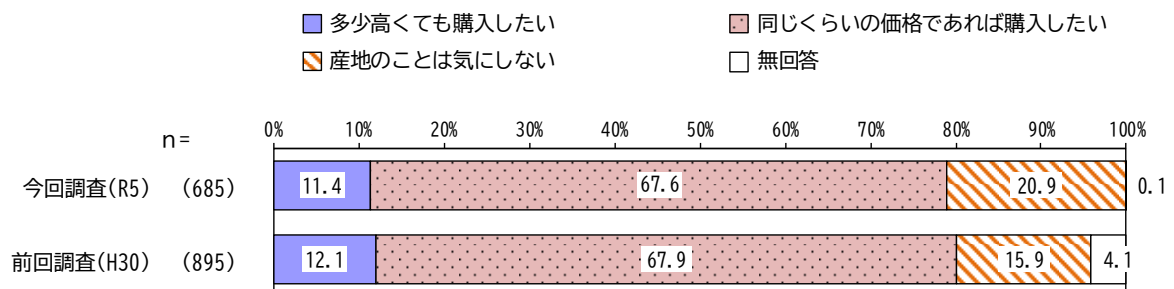
【性年齢別】

性年齢別でみると、《男性》は40代以外の年齢で「産地のことは気にしない」が3割前後と多価格、特に30代以下の年齢では3割半ばを超えています。《女性》は30代以上の年齢で「同じくらいの価格であれば購入したい」が7割を超えており、特に50代以上では8割を超えて高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「産地のことは気にしない」は平成30年度より5.0ポイント上がっています。



IV 18歳以上の調査結果

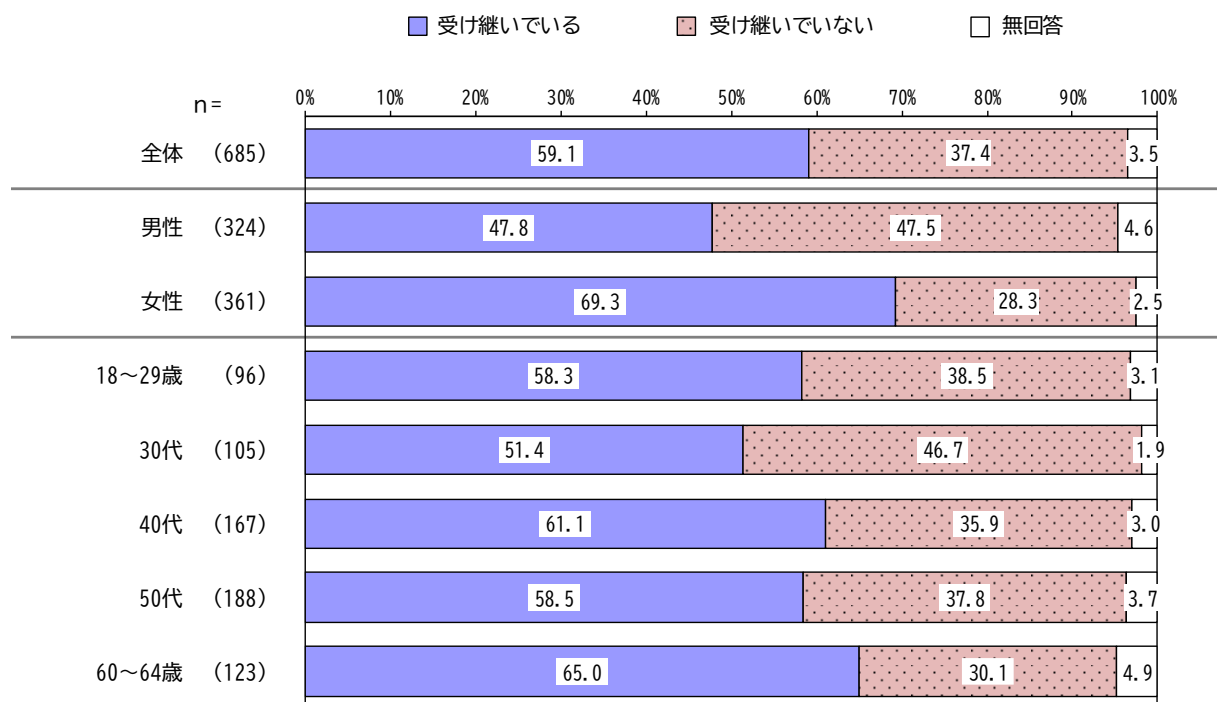
(11) 食についての継承状況

問 16 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか

地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、食べ方・作法を受け継いでいるかについて、「受け継いでいる」が59.1%、「受け継いでいない」が37.4%となっています。

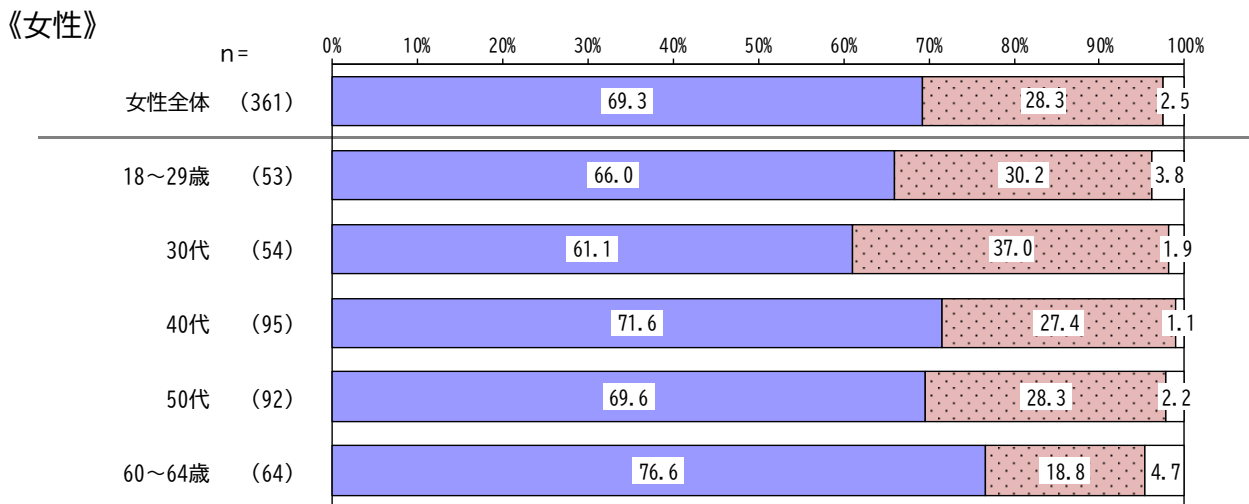
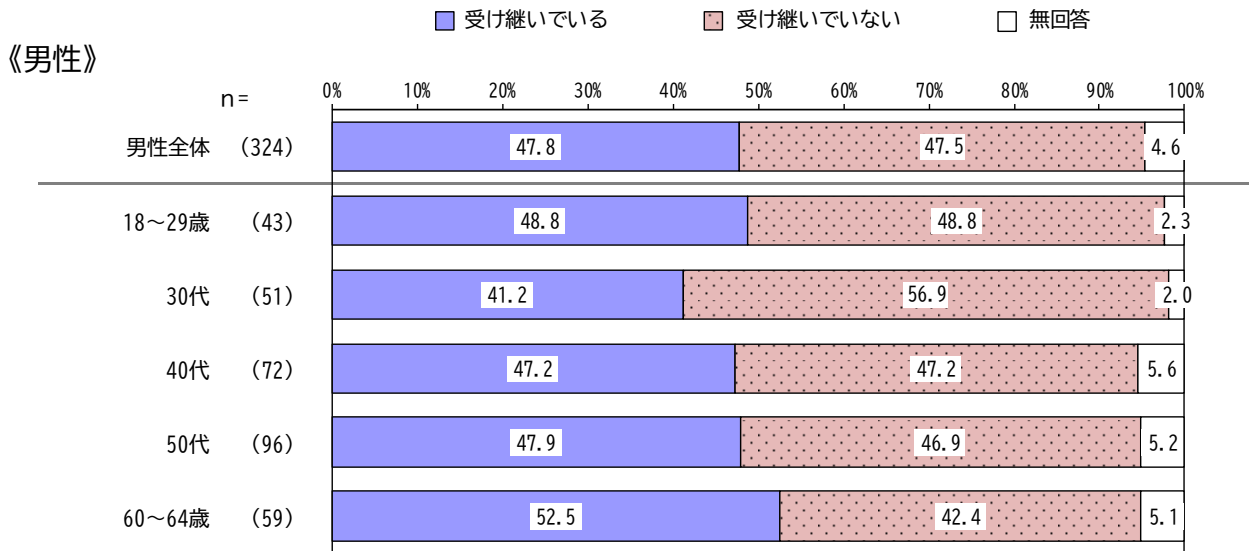
性別でみると、「受け継いでいる」は、〔女性〕が69.3%と7割近くを占めて、〔男性〕(47.8%)を21.5ポイント上回っています。

年齢別でみると、いずれの年齢でも「受け継いでいる」が5割を超えています。



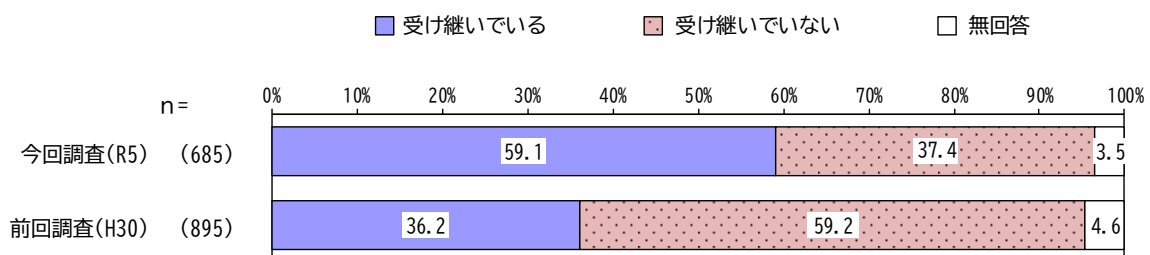
【性年齢別】

性年齢別でみると、「受け継いでいる」割合はいずれの年齢でも、《女性》が《男性》を上回っており、《女性》はいずれの年齢でも6割を超えています。一方、《男性》の50代以下は「受け継いでいる」割合がいずれも5割を切っています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「受け継いでいる」は平成30年度より22.9ポイント上がっています。



IV 18歳以上の調査結果

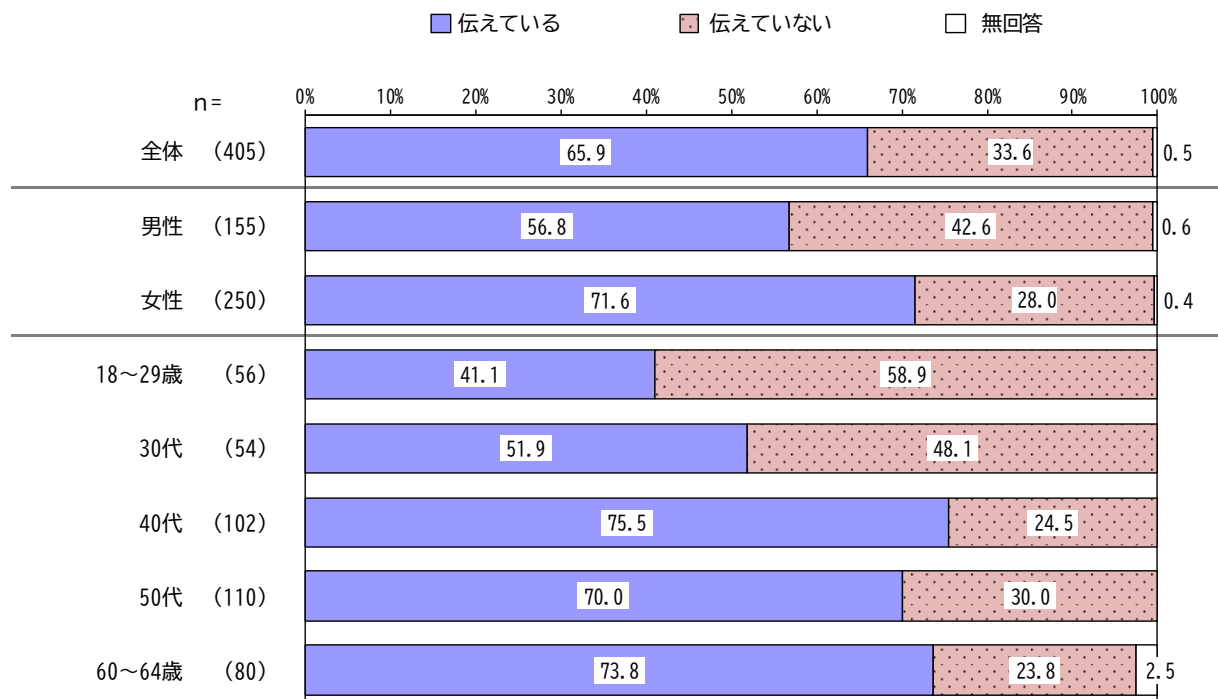
(問16で「1. 受け継いでいる」と回答した方)

問16-1 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を地域や次世代に(子どもやお孫さんを含む)に対して伝えていますか

地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、食べ方・作法を次世代に伝えているかについて、「伝えている」が65.9%、「伝えていない」が33.6%となっています。

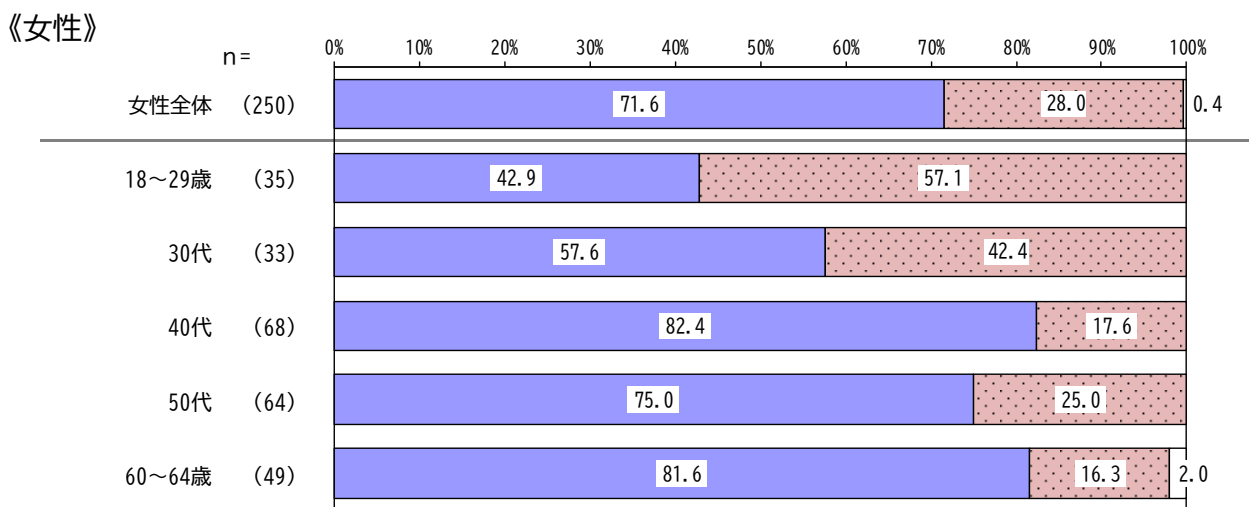
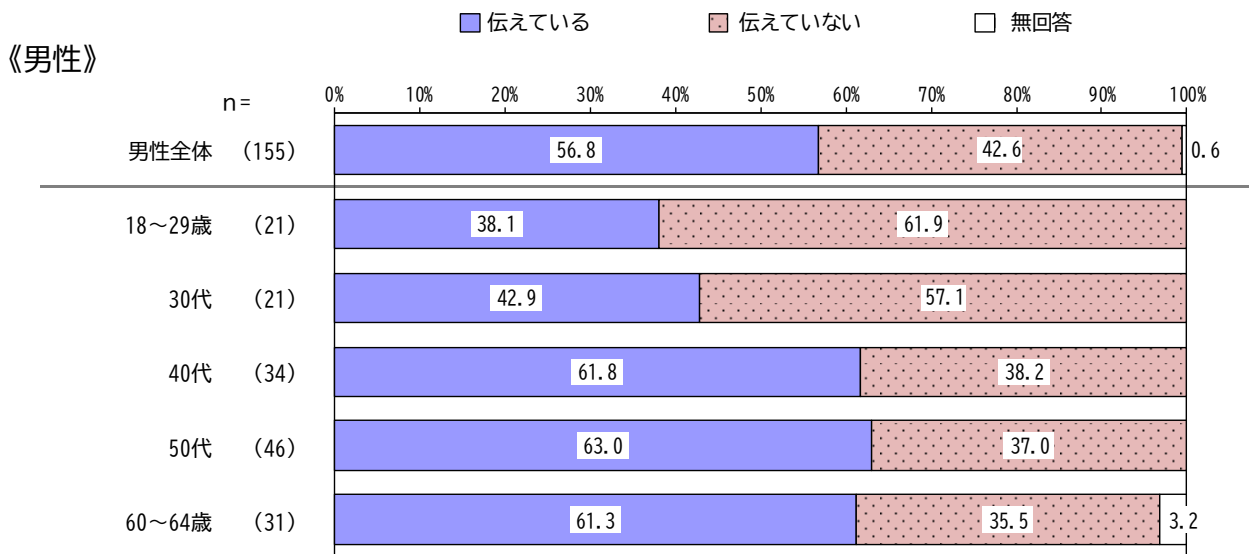
性別でみると、「伝えている」は、〔女性〕が71.6%と7割近くを超えて、〔男性〕(56.8%)を14.8ポイント上回っています。

年齢別でみると、「伝えている」は、40代以上の年齢で7割を超えています。



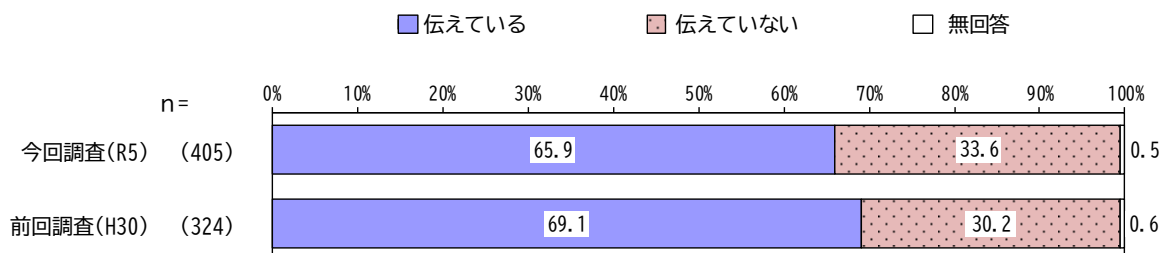
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「伝えている」割合は《男性》の40代以上で6割、《女性》の40代以上で7割半ばを超えています。特に《女性》の〔40代〕と〔60～64歳〕では8割を超えて高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「伝えている」は平成30年度より3.2ポイント下がっています。



IV 18歳以上の調査結果

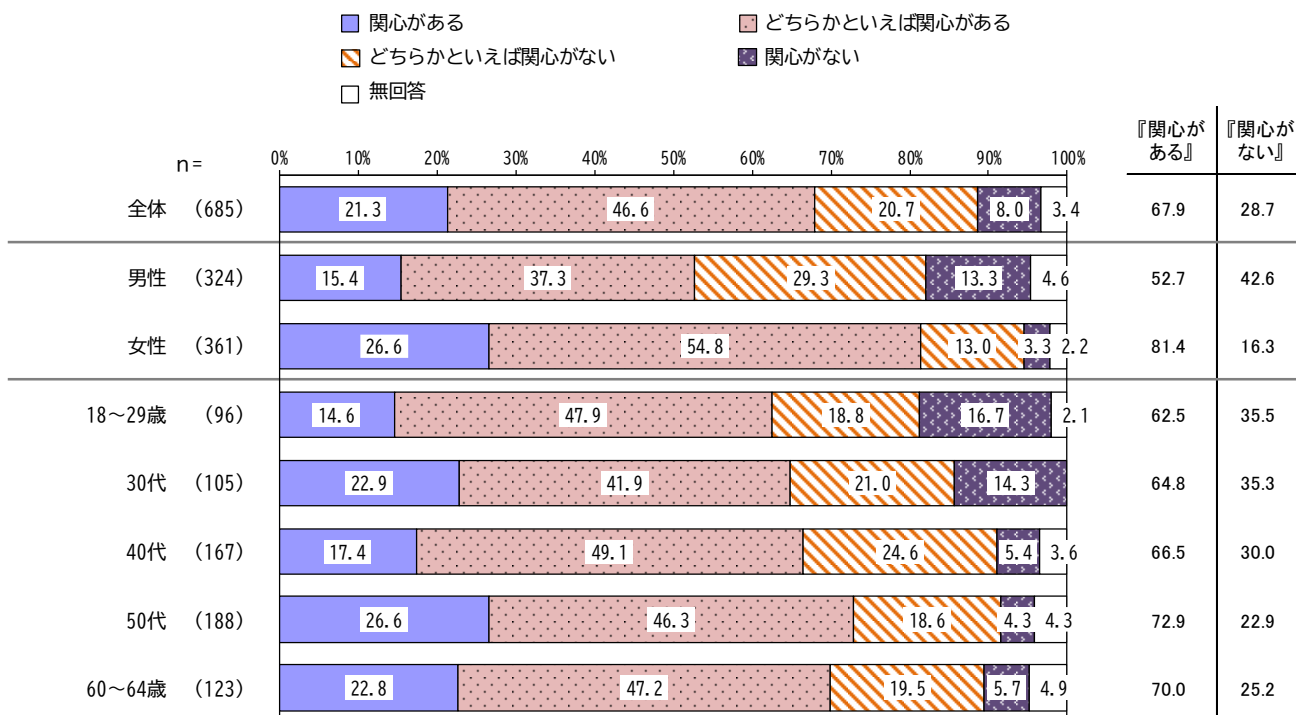
(12) 「食育」への関心状況

問 17 あなたは、「食育」に関心がありますか。

「食育」への関心について、「関心がある」(21.3%)と「どちらかといえば関心がある」(46.6%)を合わせた『関心がある』は67.9%と6割半ばを超えています。反対に、「どちらかといえば関心がない」(20.7%)と「関心がない」(8.0%)を合わせた『関心がない』は28.7%と2割半ばを超えています。

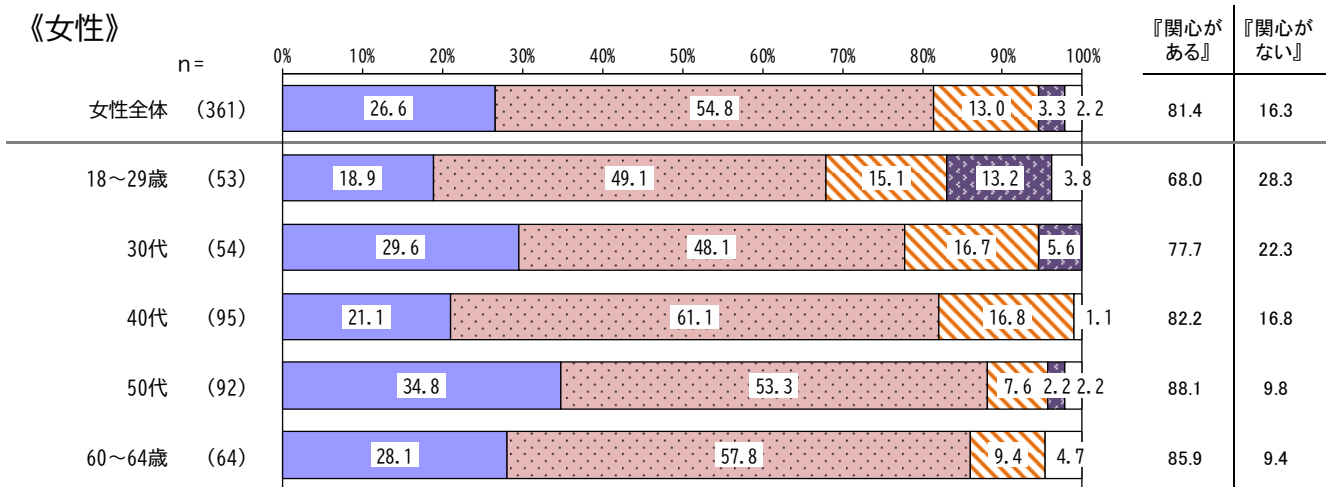
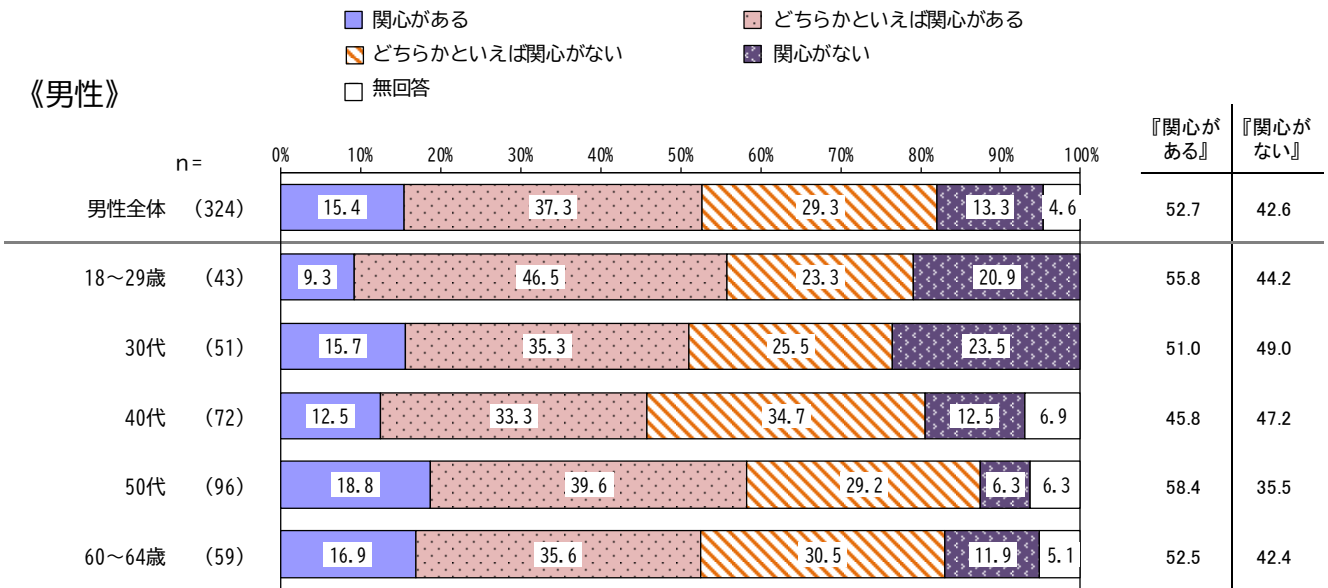
性別でみると、『関心がある』は、〔女性〕が81.4%と8割を超えており、〔男性〕(52.7%)を28.7ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、『関心がある』割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、50代以上で7割を超えています。



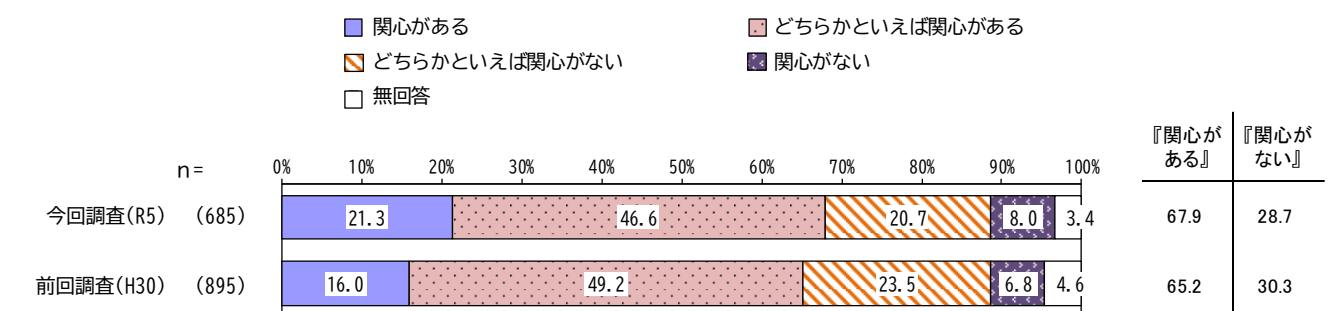
【性年齢別】

性年齢別で見ると、『関心がある』は、いずれの年齢でも《女性》が《男性》を上回っており、特に《女性》の40代以上の年齢では8割を超えて高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、『関心がある』は平成30年度より2.7ポイント上がっています。

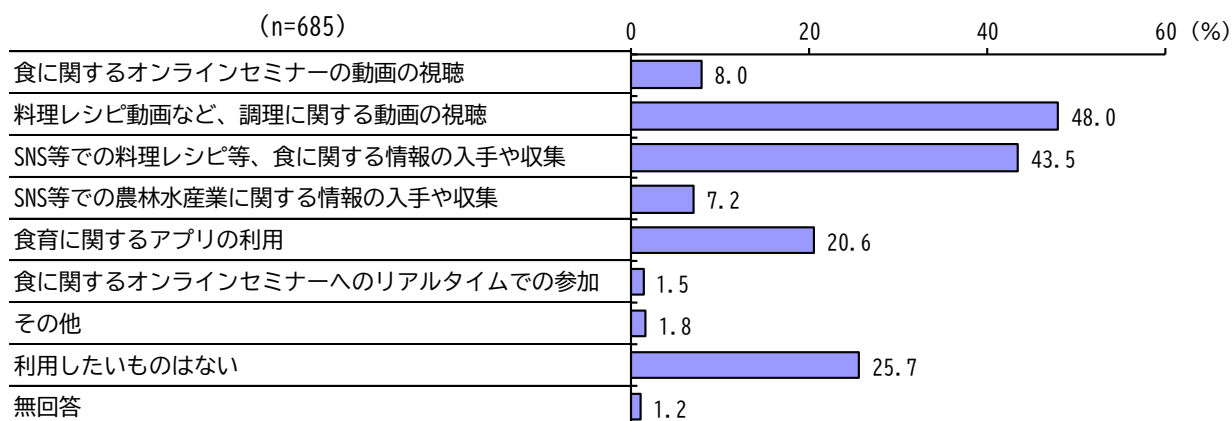


IV 18歳以上の調査結果

(13) デジタル技術を利用した食育の利用意向

問 18 あなたは、今後、どのようなデジタル技術を活用した食育(インターネットを通じた食育に関する情報や体験など)を利用したいと思いますか。【複数回答】

デジタル技術を利用した食育の利用意向について、「料理レシピ動画など、調理に関する動画の視聴」が48.0%と4割半ばを超えて最も高く、次いで「SNS等での料理レシピ等、食に関する情報の入手や収集」(43.5%)、「食育に関するアプリの利用」(20.6%)が続いています。一方、「利用したいものはない」は25.7%と2割半ばを占めています。



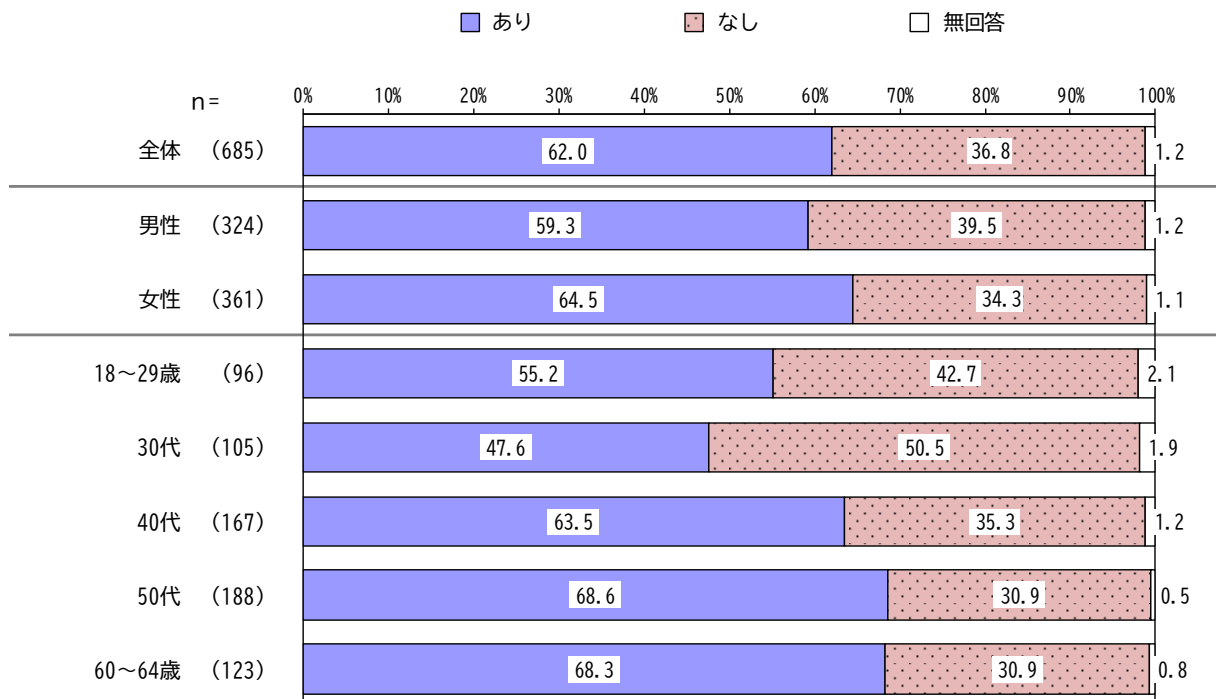
(14) 非常用食料の準備有無

問 19 あなたの世帯は災害時に備えて非常用の食料を用意していますか。

災害時に備えて非常用の食料を用意しているかについて、非常食の用意「あり」が62.0%、「なし」が36.8%となっています。

性別で見ると、「あり」は、〔女性〕が64.5%と6割半ば近くを占めて、〔男性〕を5.2ポイント上回っています。

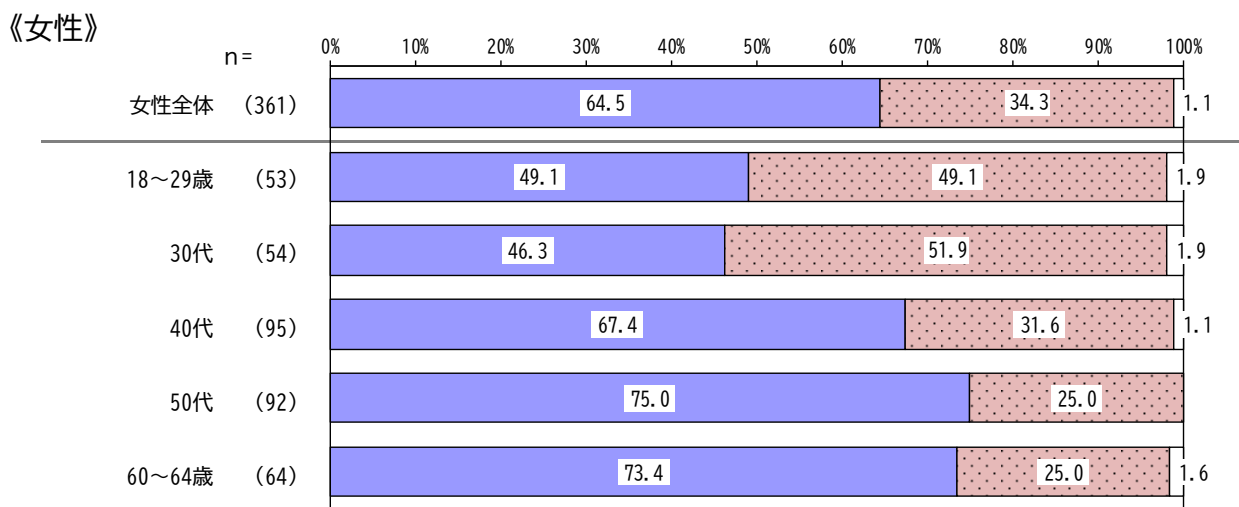
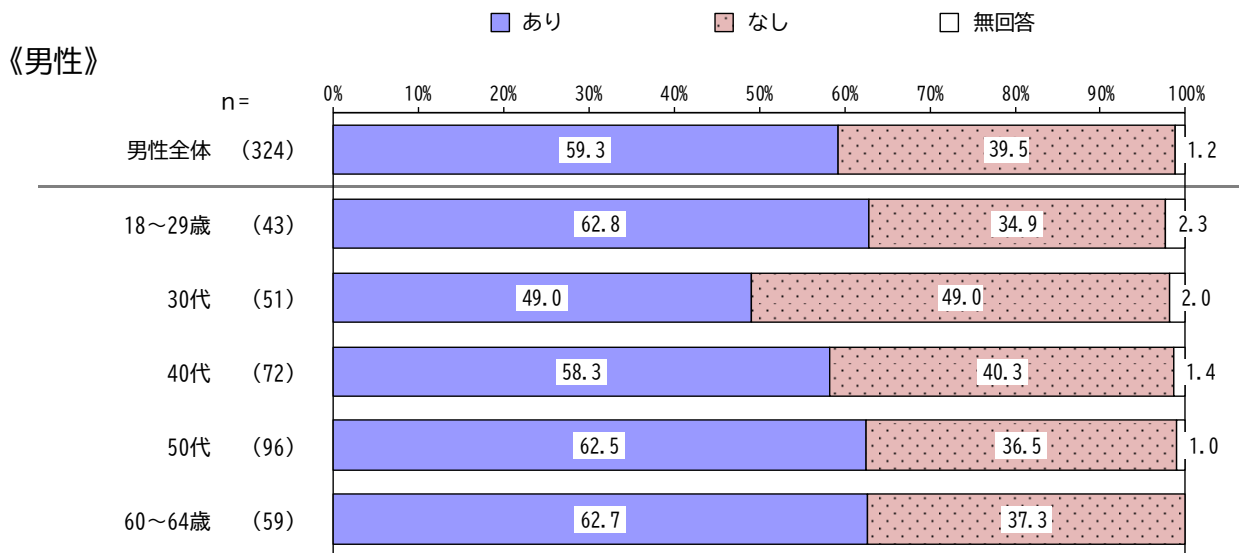
年齢別で見ると、40代以上の年齢では、「あり」が6割を超えています。一方、〔30代〕では「なし」が50.5%と5割を超えています。



IV 18歳以上の調査結果

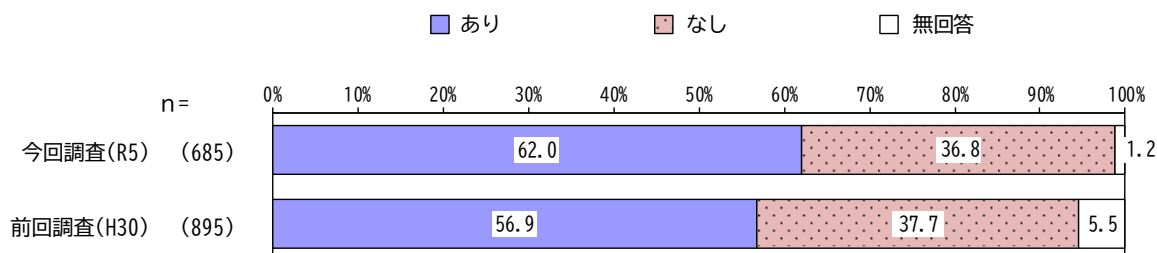
【性年齢別】

性年齢別で見ると、非常食の準備「あり」の割合は、30代以下の年齢では《男性》の方が、40代以上の年齢では《女性》の方が高くなっています。一方、「なし」の割合は、男女ともに〔30代〕が最も高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「あり」は平成30年度より5.1ポイント上がっています。

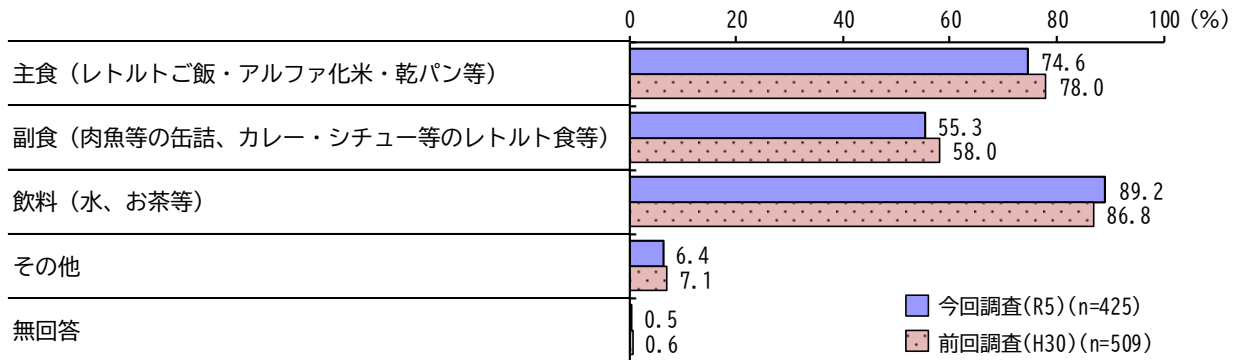


(問19で「1.あり」と回答した方)

問19-1 非常用食料としてどんなものを用意していますか。【複数回答】

非常用食料として用意しているものについて、「飲料（水、お茶等）」が89.2%と9割近くで最も高く、次いで「主食（レトルトご飯・アルファ化米・乾パン等）」(74.6%)、「副食（肉魚等の缶詰、カレー・シチュー等のレトルト食等）」(55.3%)が続いています。

前回調査と比較すると、項目ごとに増減はあるものの、平成30年度よりあまり大きな差はありません。



3. 運動について

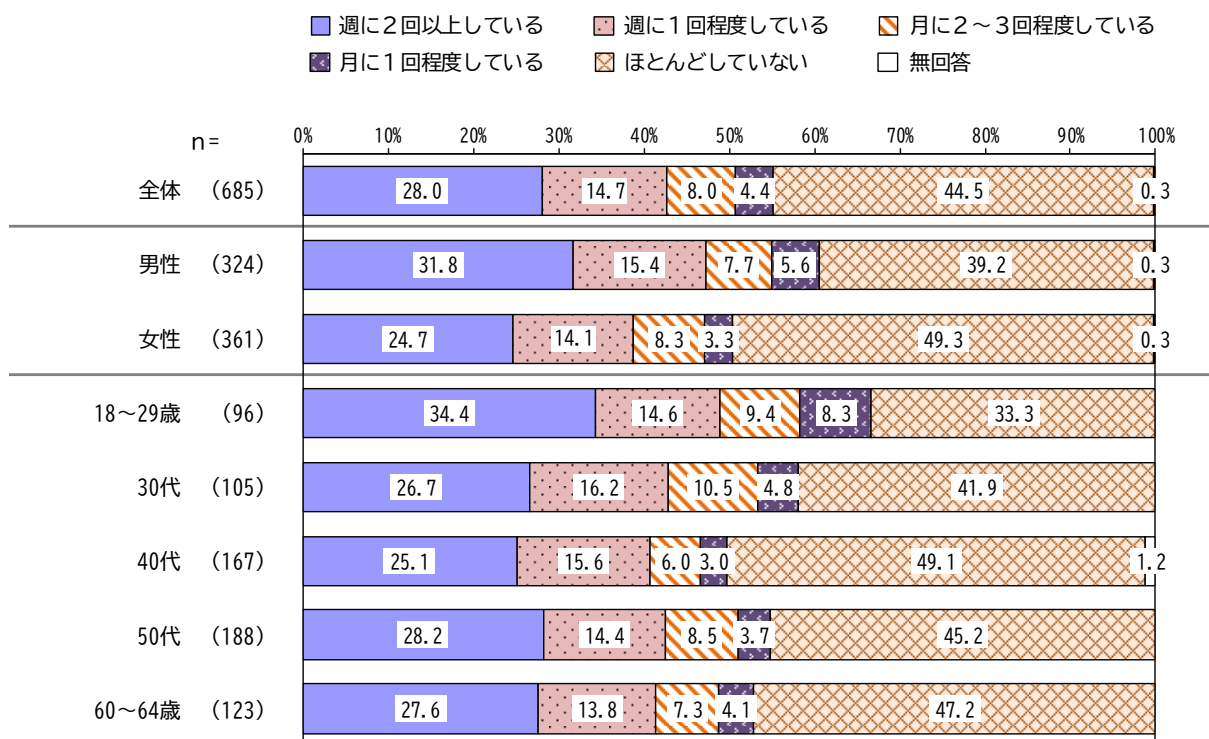
(1) 運動の状況

問 20 あなたは、1日 30 分以上の運動をしていますか。(ウォーキングを含む)

1日30分以上の運動する頻度について、「週に2回以上している」が28.0%と最も高く、「週に1回程度している」(14.7%)と合わせると、1週間に1回以上運動している割合は4割を超えています。一方、「ほとんどしていない」は44.5%と4割半ば近くを占めています。

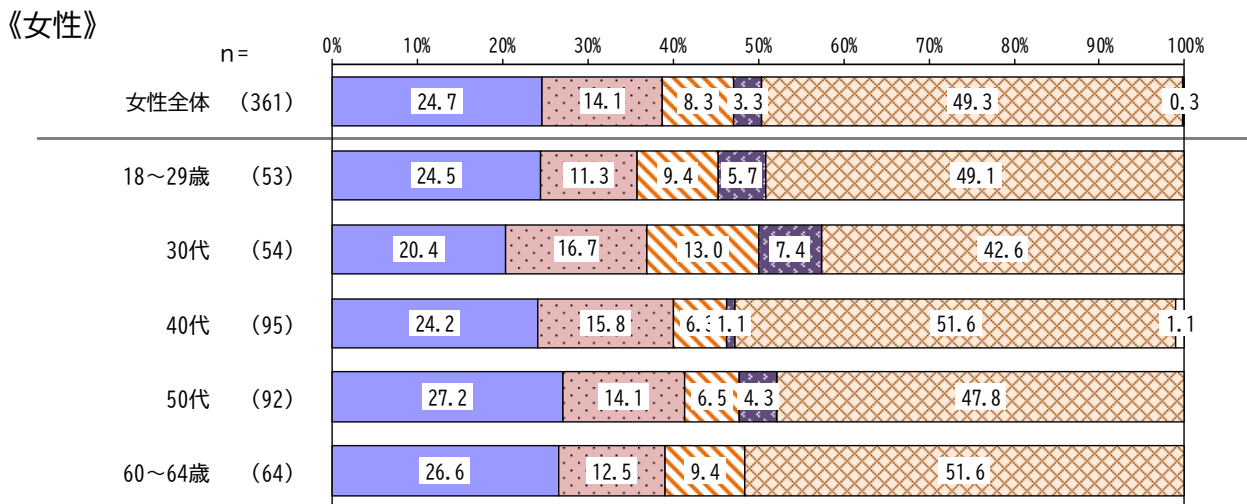
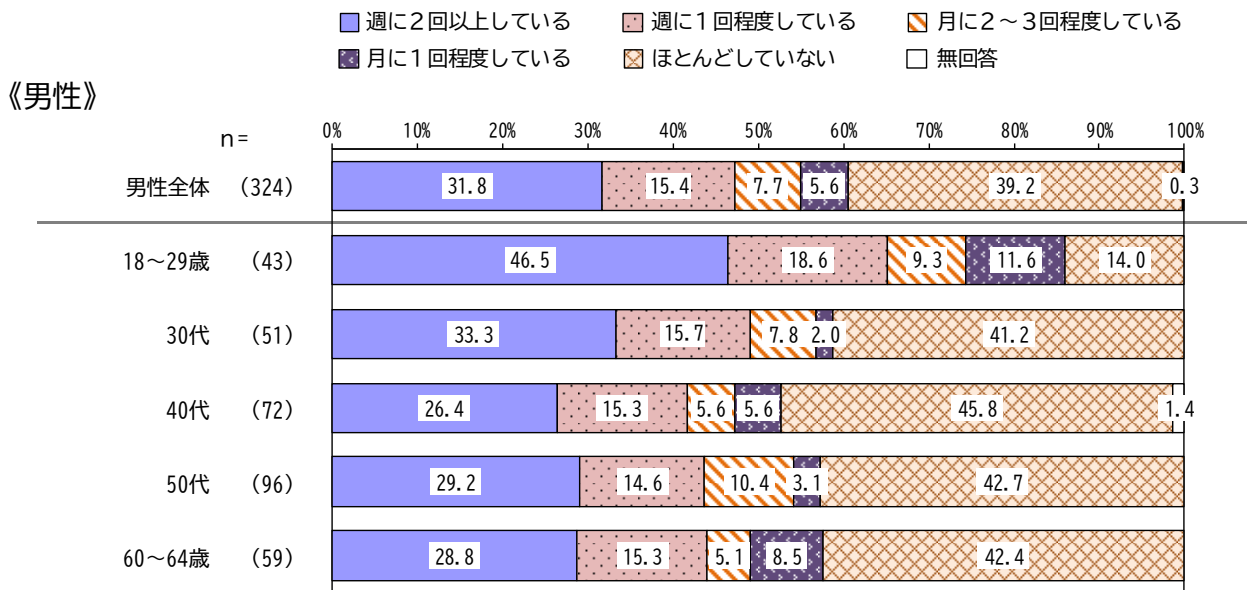
性別でみると、「週に2回以上している」は、〔男性〕が31.8%と3割を超えて、〔女性〕を7.1ポイント上回っています。一方、「ほとんどしていない」は〔女性〕で49.3%と5割近くを占めており、〔男性〕を10.1ポイント上回っています。

年齢別でみると、「週に2回以上している」割合は、〔18～29歳〕で34.4%と3割を超えており、30代以上の年齢ではいずれも2割半ばを超えています。



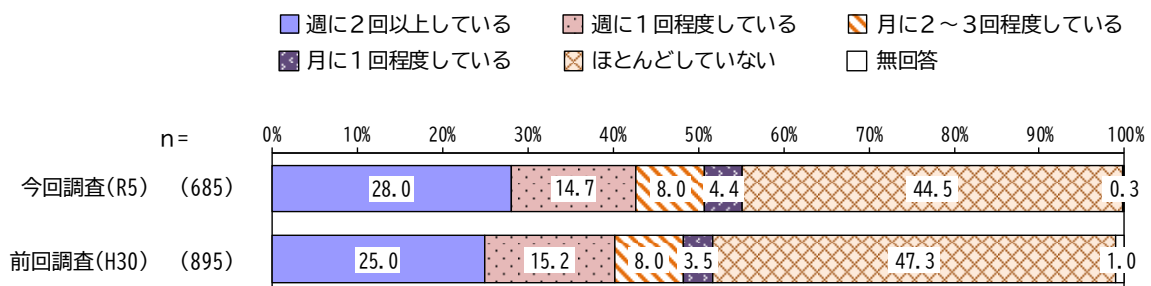
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「週に2回以上している」割合はいずれの年齢でも、《男性》が《女性》を上回っており、《男性》の〔18～29歳〕で46.5%と4割半ばを超えて高くなっています。また、「ほとんどしていない」は、《男性》の〔18～29歳〕で14.0%と低くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「週に2回以上している」は平成30年度より3.0ポイント上がっています。



IV 18歳以上の調査結果

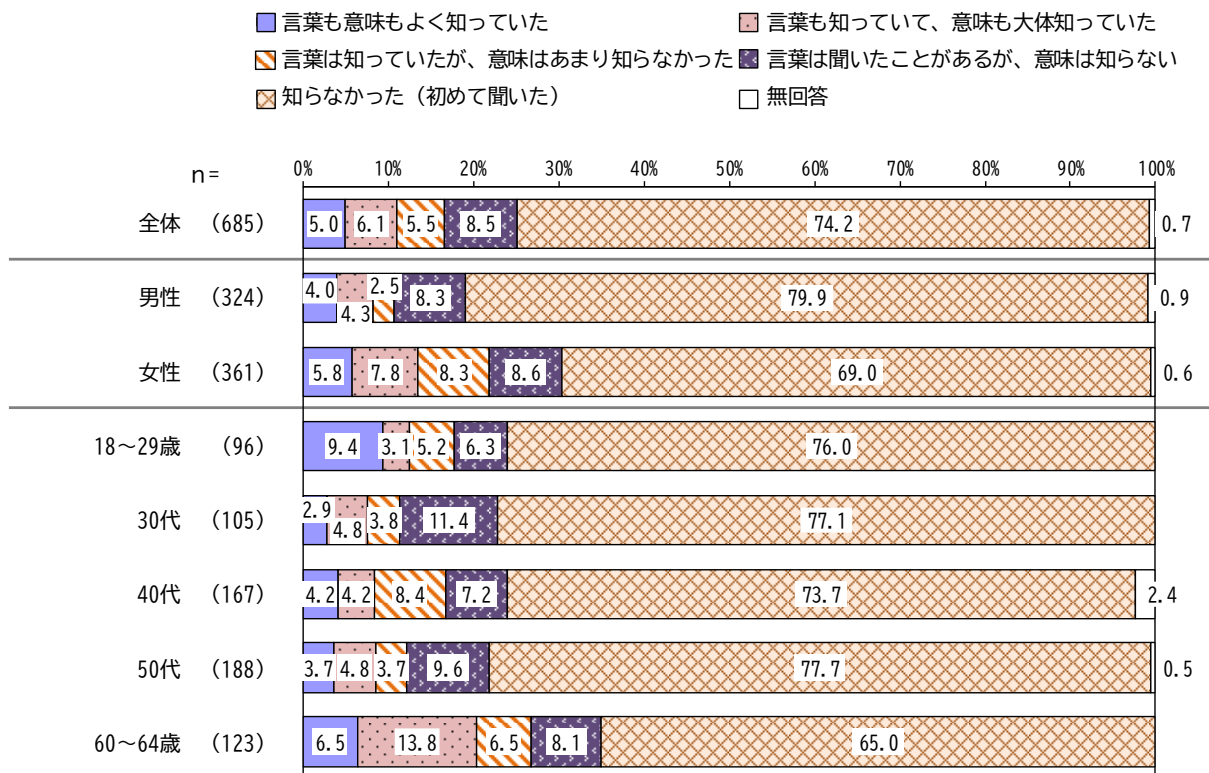
(2) ロコモティブシンドロームの認知状況

問 21 あなたは、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っていますか。

ロコモティブシンドロームの認知状況について、「知らなかった(初めて聞いた)」が74.2%と7割を超えて最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(8.5%)、「言葉も知っていて、意味も大体知っていた」(6.1%)が続いています。

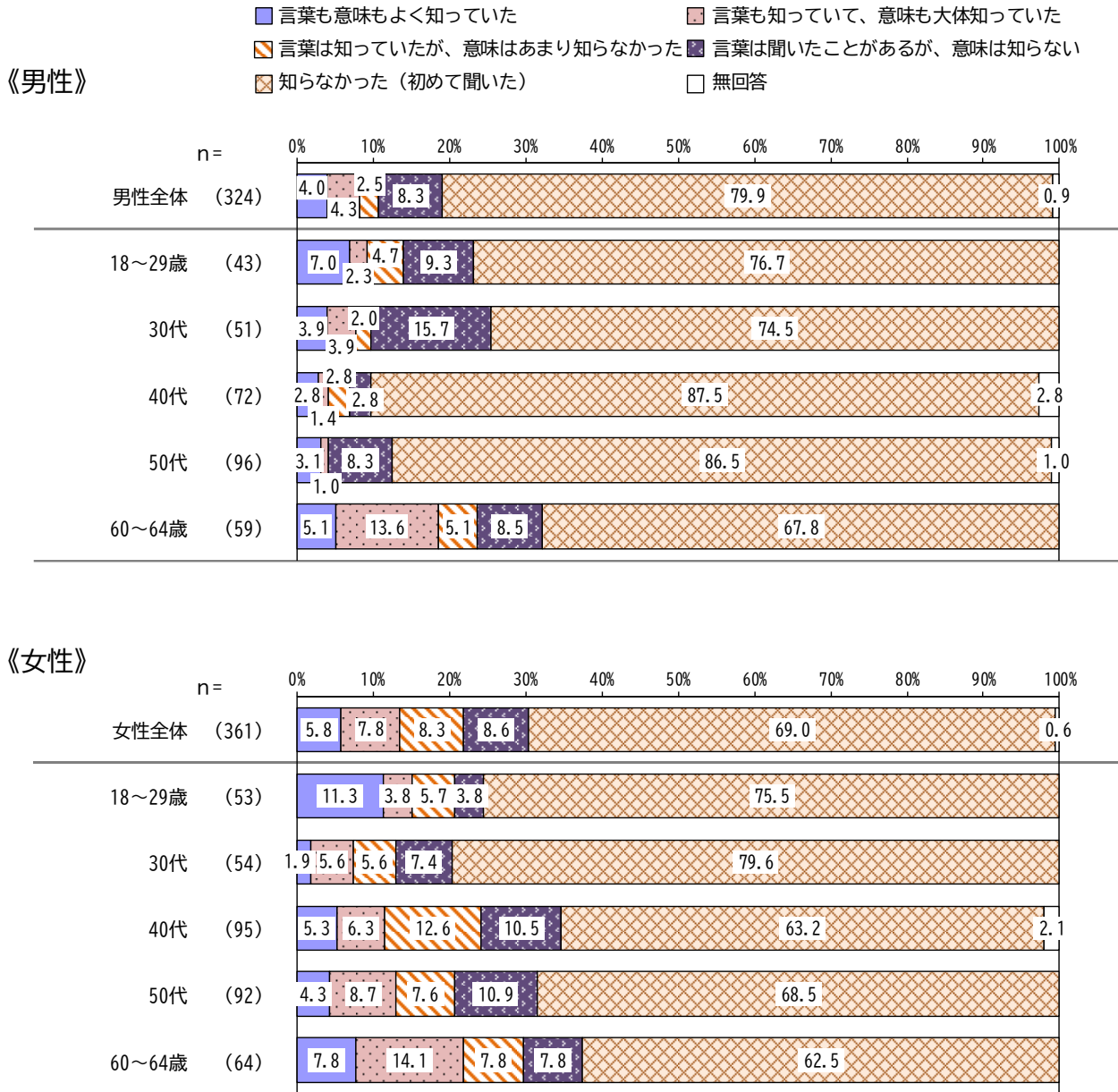
性別でみると、〔女性〕の方が〔男性〕よりロコモティブシンドローム知っている傾向にあります。一方、「知らなかった(初めて聞いた)」は〔男性〕が〔女性〕を10.9ポイント上回っています。

年齢別でみると、「言葉も意味もよく知っていた」は〔18~29歳〕で9.4%と1割近くを占めて、他の年齢よりも高くなっています。



【性年齢別】

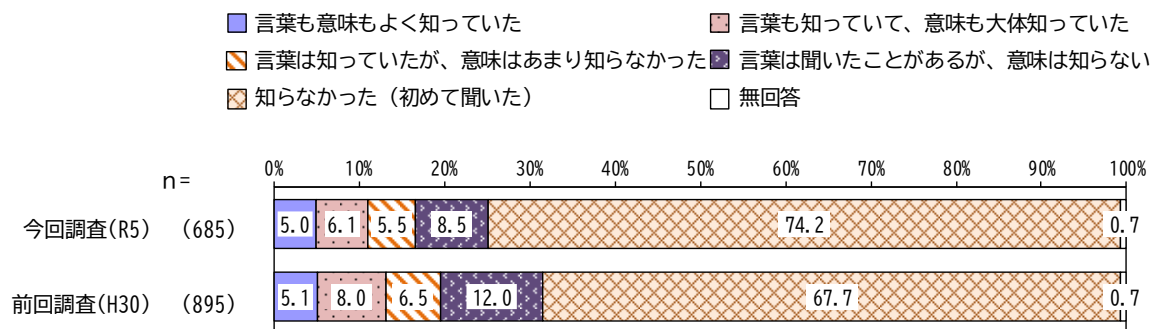
性年齢別で見ると、「言葉も意味もよく知っていた」割合は、《女性》の〔18～29歳〕で11.3%と1割を超えて高くなっています。一方、「知らなかった（初めて聞いた）」は、《男性》の〔40代〕と〔50代〕で8割半ばを超えて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

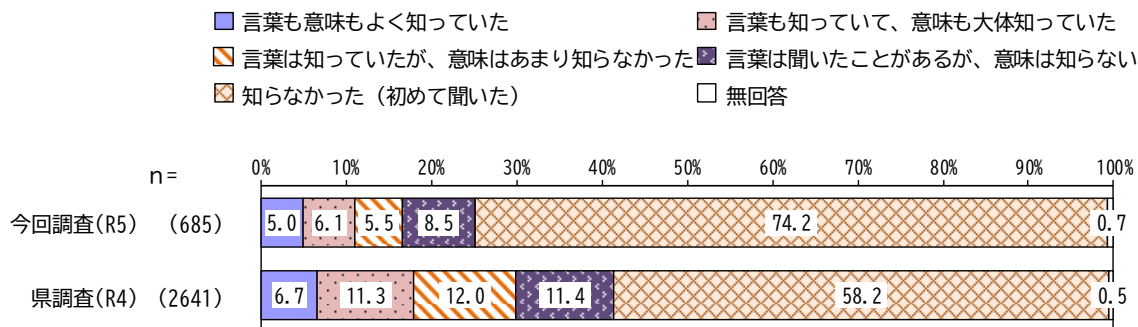
【前回比較】

前回調査と比較すると、「言葉も意味もよく知っていた」割合は平成30年度より変化ありません。



【県調査比較】

静岡県の調査と比較すると、「知らなかった（初めて聞いた）」割合は、静岡県全体よりも16.0ポイント高くなっています。



4. 身体の状況・心の健康について

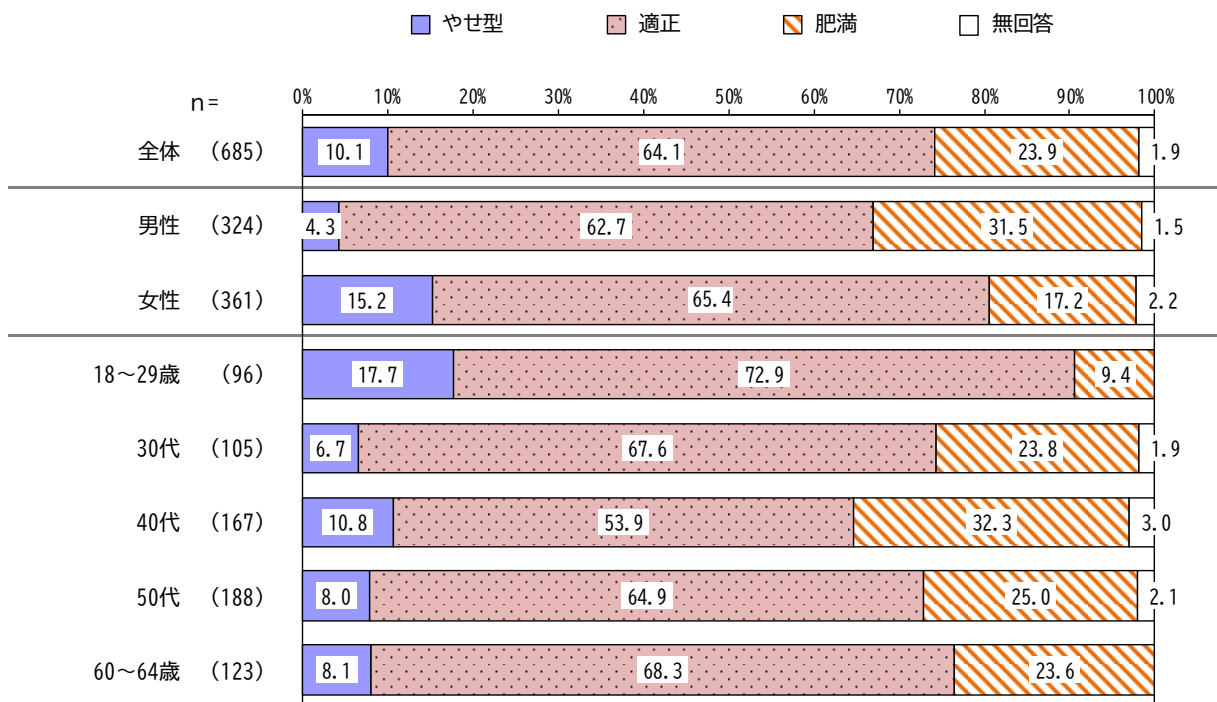
(1) BMI

問 22 ①身長、②体重を教えてください。

身長・体重から算出したBMIについて、「やせ型」が10.1%、「適正」が64.1%、「肥満」が23.9%となっています。

性別で見ると、「やせ型」は、〔女性〕が15.2%と1割半ばを占めて、〔男性〕を10.9ポイント上回っています。一方、「肥満」は〔男性〕が31.5%と3割を超えて、〔女性〕を14.3ポイント上回っています。

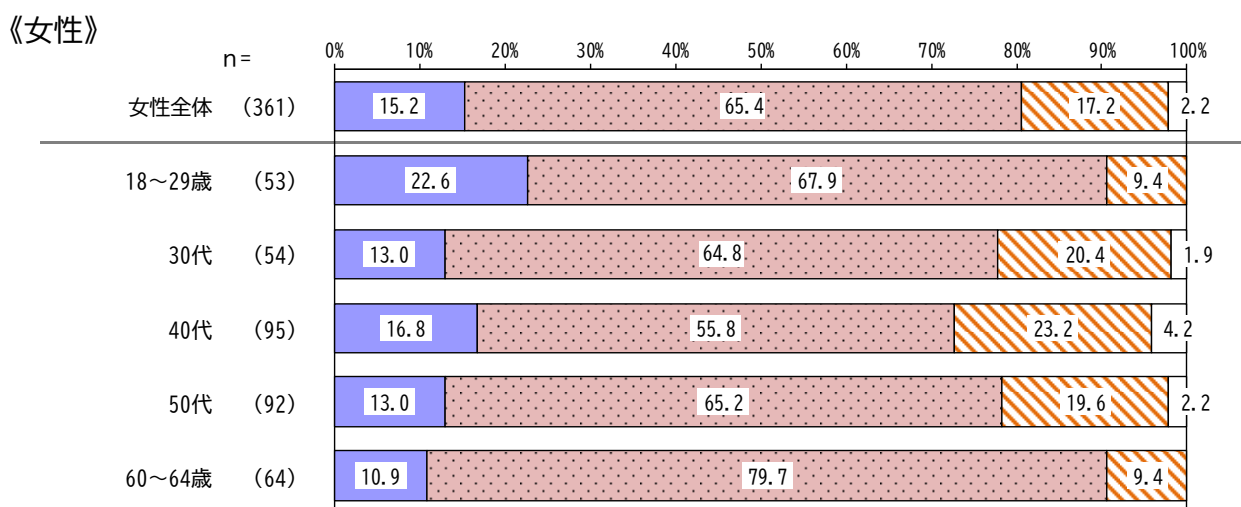
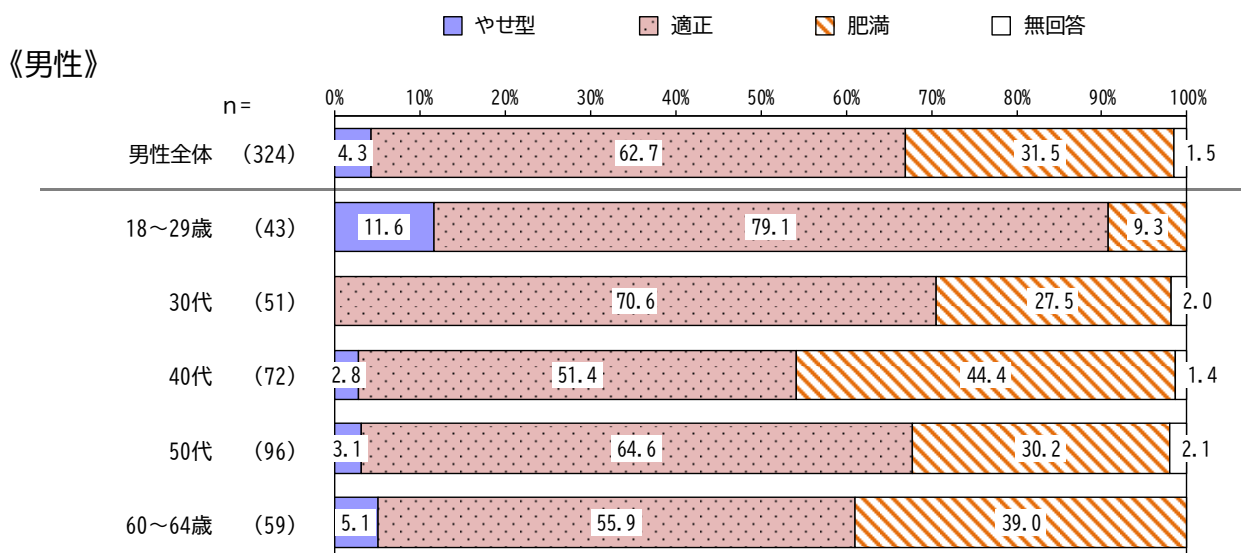
年齢別で見ると、「やせ型」は〔18～29歳〕で17.7%と1割半ばを超えて最も高くなっています。一方、「肥満」は、〔40代〕で32.3%と3割を超えて最も高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

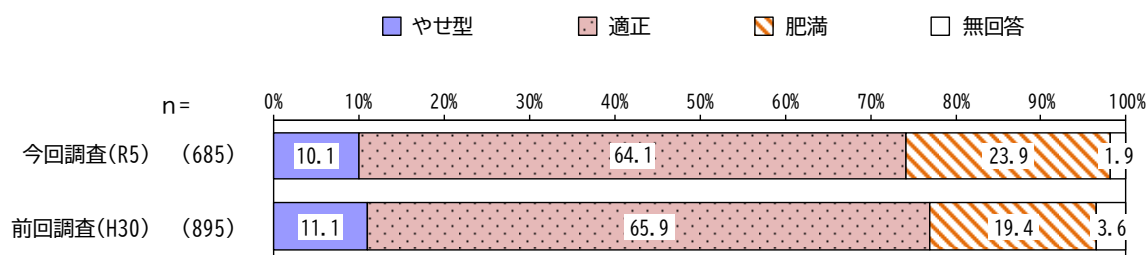
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「やせ型」割合はいずれの年齢でも、《女性》が《男性》を上回っており、特に《女性》の〔18～29歳〕で22.6%と2割を超えて高くなっています。一方、「肥満」は、《男性》の30歳以上で2割半ばを超えており、特に《男性》の〔40代〕では44.4%と4割半ば近くを占めています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「肥満」が平成30年度より4.5ポイント上がっています。



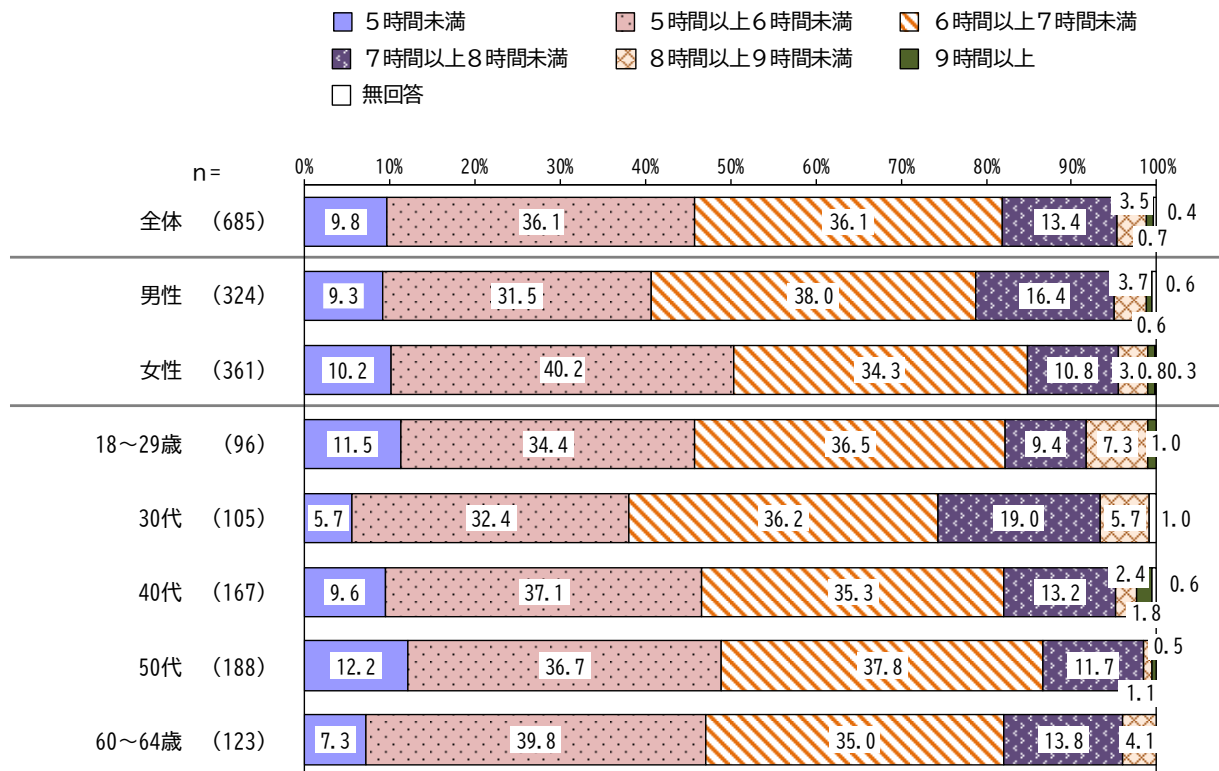
(2) 平均睡眠時間

問 23 ここ1か月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。

ここ1か月の1日の平均睡眠時間について、「5時間以上6時間未満」と「6時間以上7時間未満」がともに36.1%と3割半ばを超えており、二つ合わせた『5時間以上7時間未満』で7割を超えています。

性別でみると、「7時間以上8時間未満」は、〔男性〕が16.4%と、〔女性〕を5.6ポイント上回っています。

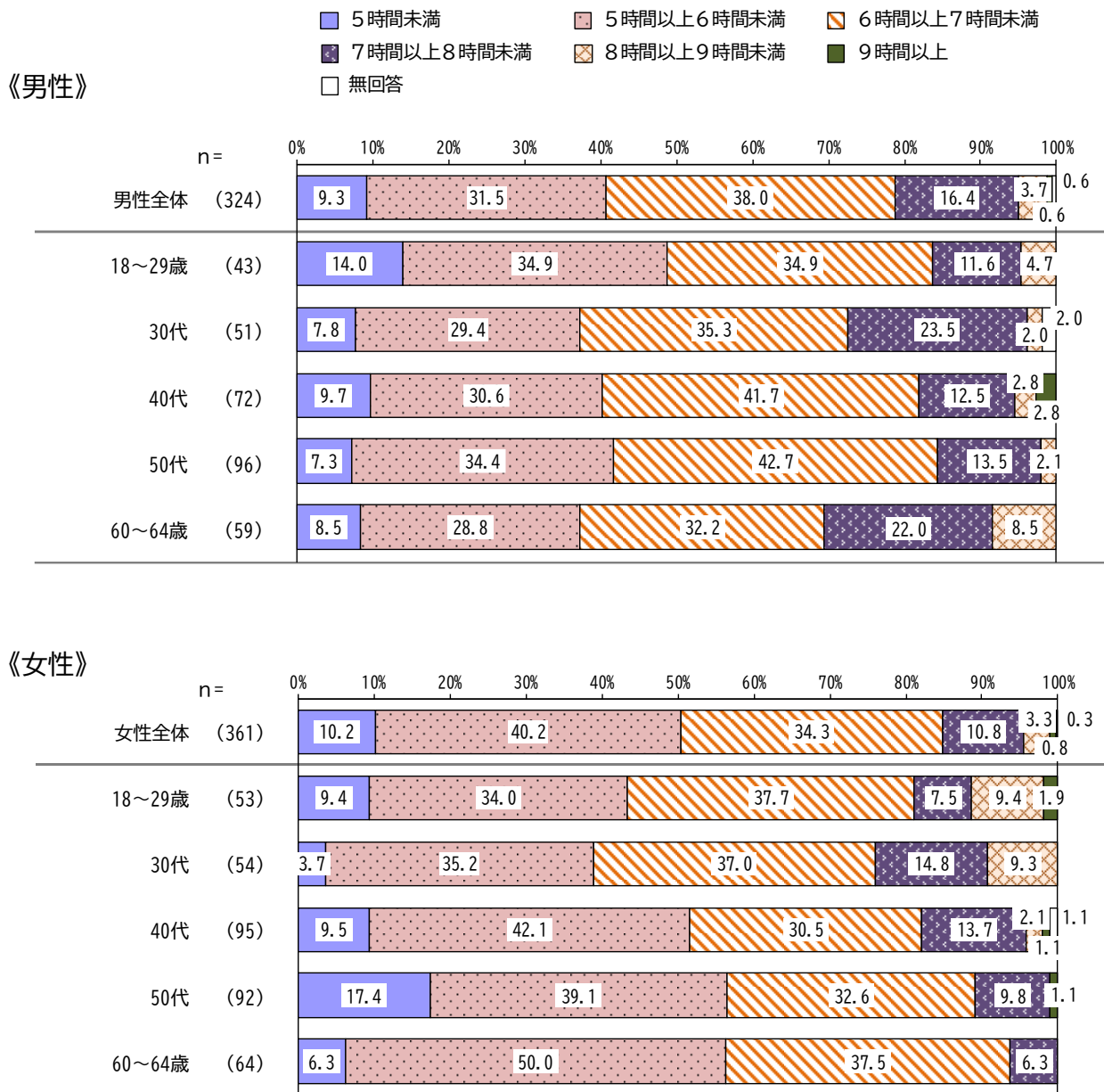
年齢別でみると、「7時間以上8時間未満」は、〔30代〕で19.0%と2割近くを占めて、他の年齢よりも高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

性年齢別で見ると、「7時間以上8時間未満」は、《男性》の〔30代〕と〔60～64歳〕で2割を超えて高くなっています。また、「8時間以上9時間未満」は、《女性》の30代以下の年齢で1割近くを占めて高くなっています。



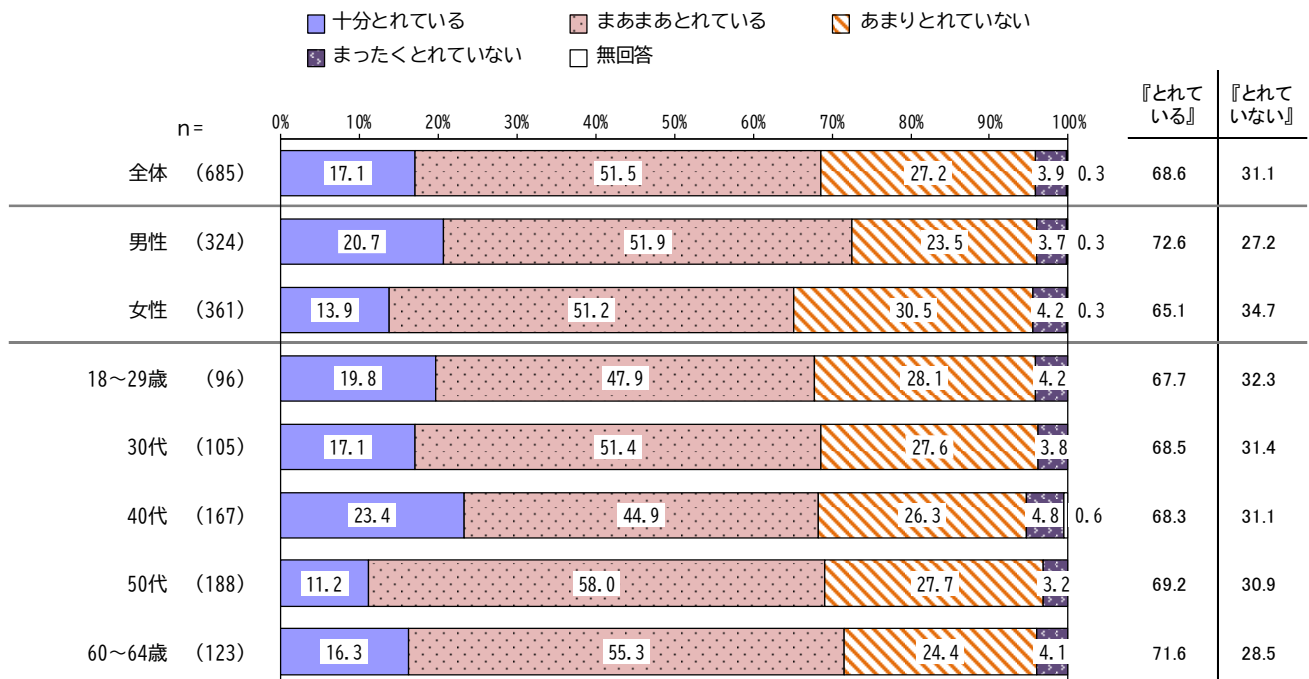
(3) 睡眠の充足状況

問24 あなたは、ここ1か月、睡眠で休養が十分とれていますか。

ここ1か月、睡眠で休養が十分とれているかについて、「十分とれている」(17.1%)と「まあまあとれている」(51.5%)を合わせた『とれている』は68.6%と6割半ばを超えています。反対に、「あまりとれていない」(27.2%)と「まったくとれていない」(3.9%)を合わせた『とれていない』は31.1%と3割を超えています。

性別でみると、『とれていない』は、〔女性〕が34.7%と3割半ばを占めており、〔男性〕(27.2%)を7.5ポイント上回っています。

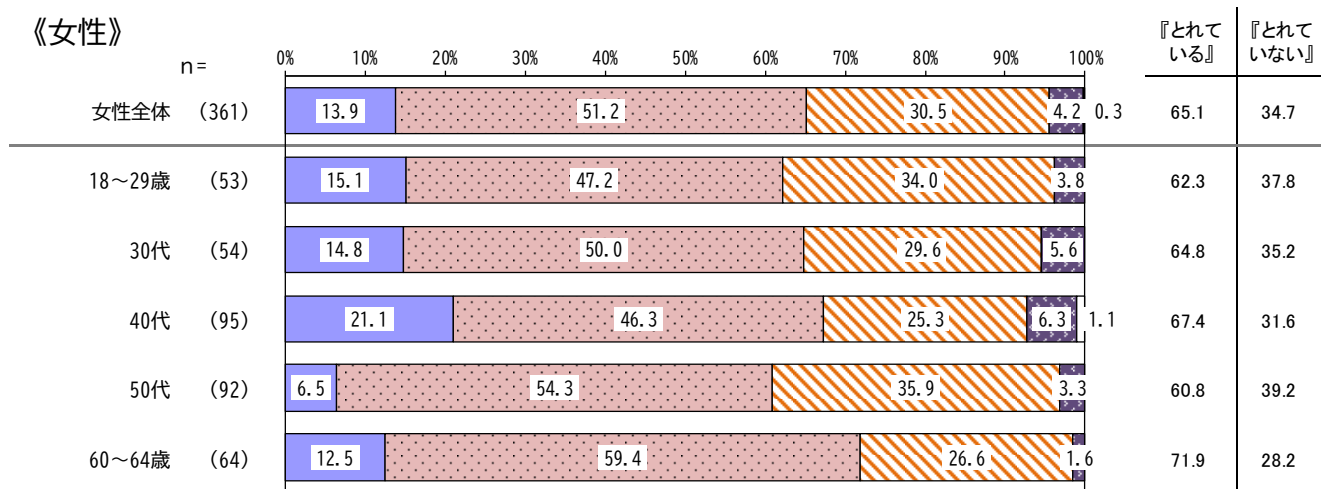
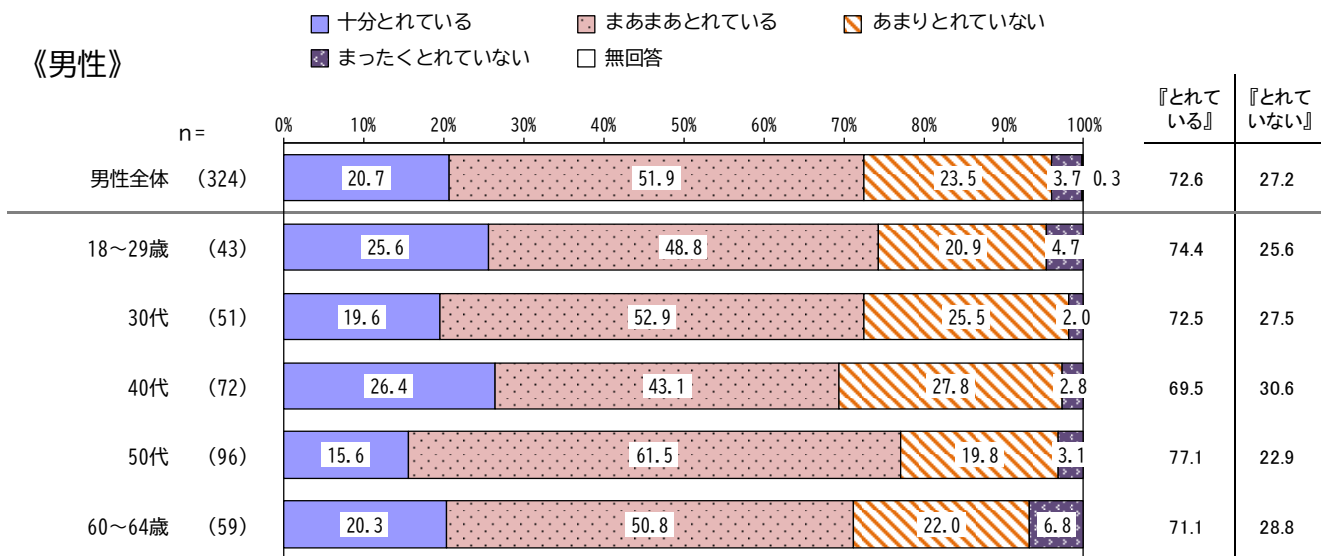
年齢別でみると、『とれていない』割合は、いずれの年齢でも3割前後を占めていますが、年齢が下がるほど高くなる傾向にあります。



IV 18歳以上の調査結果

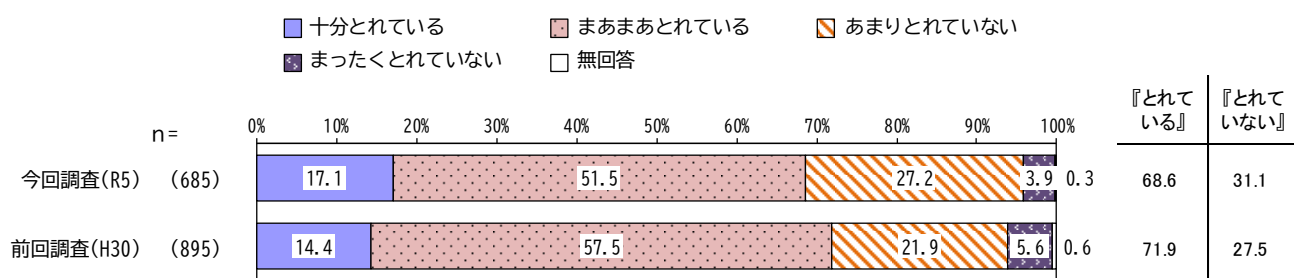
【性年齢別】

性年齢別でみると、『とれていない』は、〔60～64歳〕を除くいずれの年齢でも《女性》が《男性》を上回っており、特に《女性》の50代以下の年齢では3割を超えて高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、『とれていない』は平成30年度より3.6ポイント上がっています。

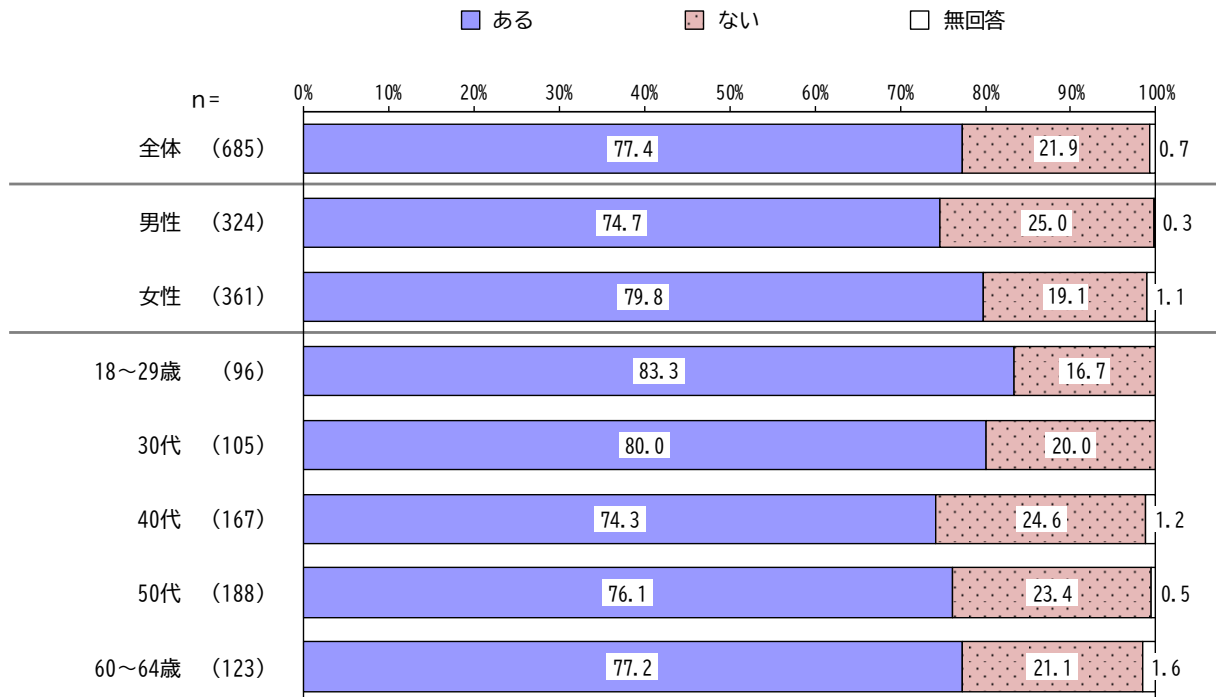


(4) ストレス解消法の有無

問 25 あなたは、自分なりのストレス解消法がありますか。

自分なりのストレス解消法について、「ある」が77.4%、「ない」が21.9%となっています。
性別で見ると、「ある」は、〔女性〕が79.8%と8割を占めて、〔男性〕（74.7%）を5.1ポイント上回っています。

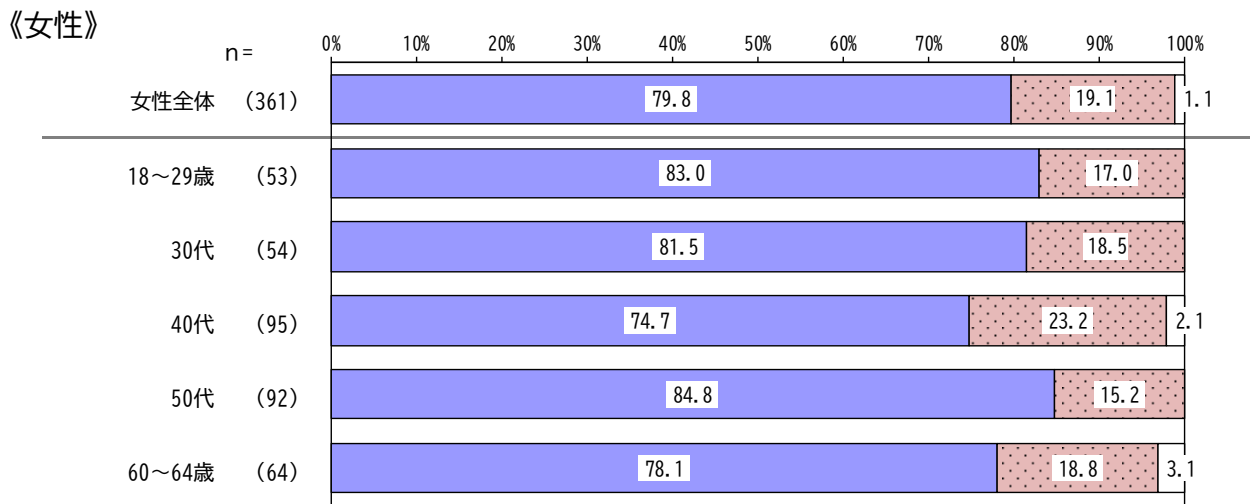
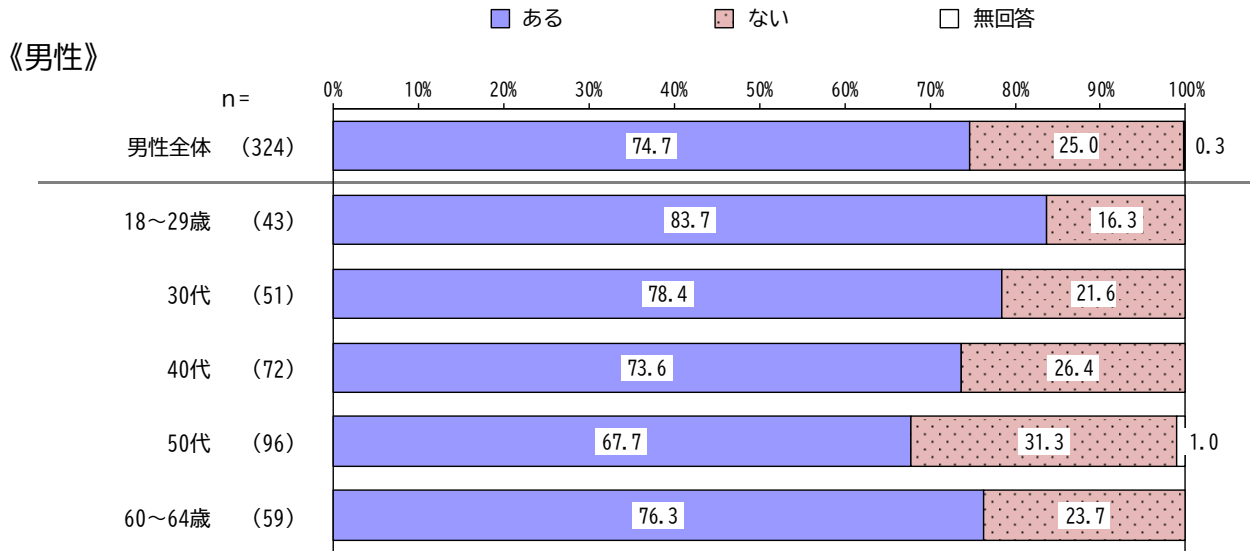
年齢別で見ると、「ある」は、30代以下の年齢で8割以上を占めて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

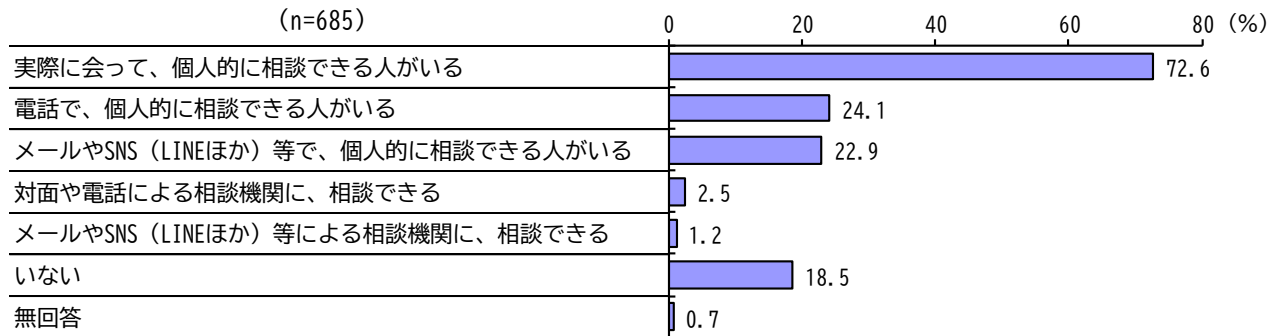
性年齢別で見ると、「ある」は、《男性》の〔18～29歳〕、《女性》の〔18～29歳〕〔30代〕〔50代〕で8割を超えて高くなっています。反対に「ない」は、《男性》の〔50代〕で31.3%と3割を超えて他の年齢よりも高くなっています。



(5) 話を聞いてくれる人

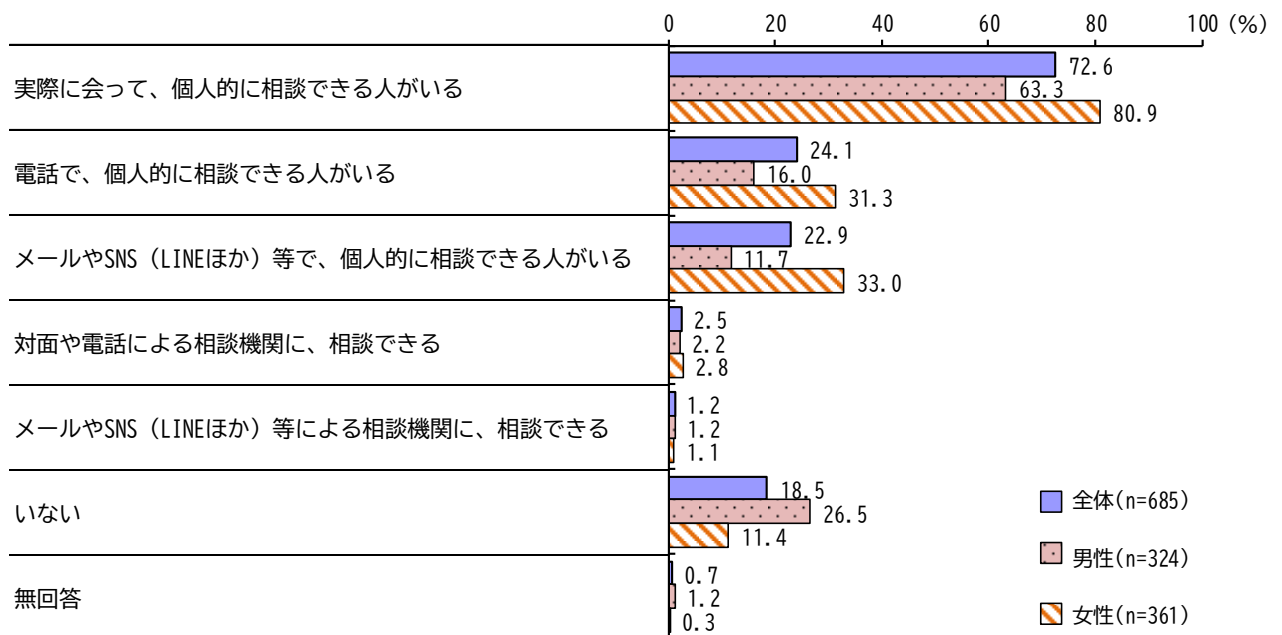
問 26 あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいると思いますか。
【複数回答】

不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人がいるかについて、「実際に会って、個人的に相談できる人がいる」が72.6%と7割を超えて最も高く、次いで「電話で、個人的に相談できる人がいる」(24.1%)、「メールやSNS(LINEほか)等で、個人的に相談できる人がいる」(22.9%)が続いています。一方、「いない」は18.5%と1割半ばを超えています。



【性別】

性別でみると、「実際に会って、個人的に相談できる人がいる」「電話で、個人的に相談できる人がいる」「メールやSNS(LINEほか)等で、個人的に相談できる人がいる」の割合はいずれも〔女性〕が〔男性〕を15ポイント以上上回っており、女性の方が男性よりも個人的に相談できる傾向にあります。反対に、「いない」は〔男性〕が26.5%と2割半ばを超えており、〔女性〕(11.4%)を15.1ポイント上回っています。



IV 18歳以上の調査結果

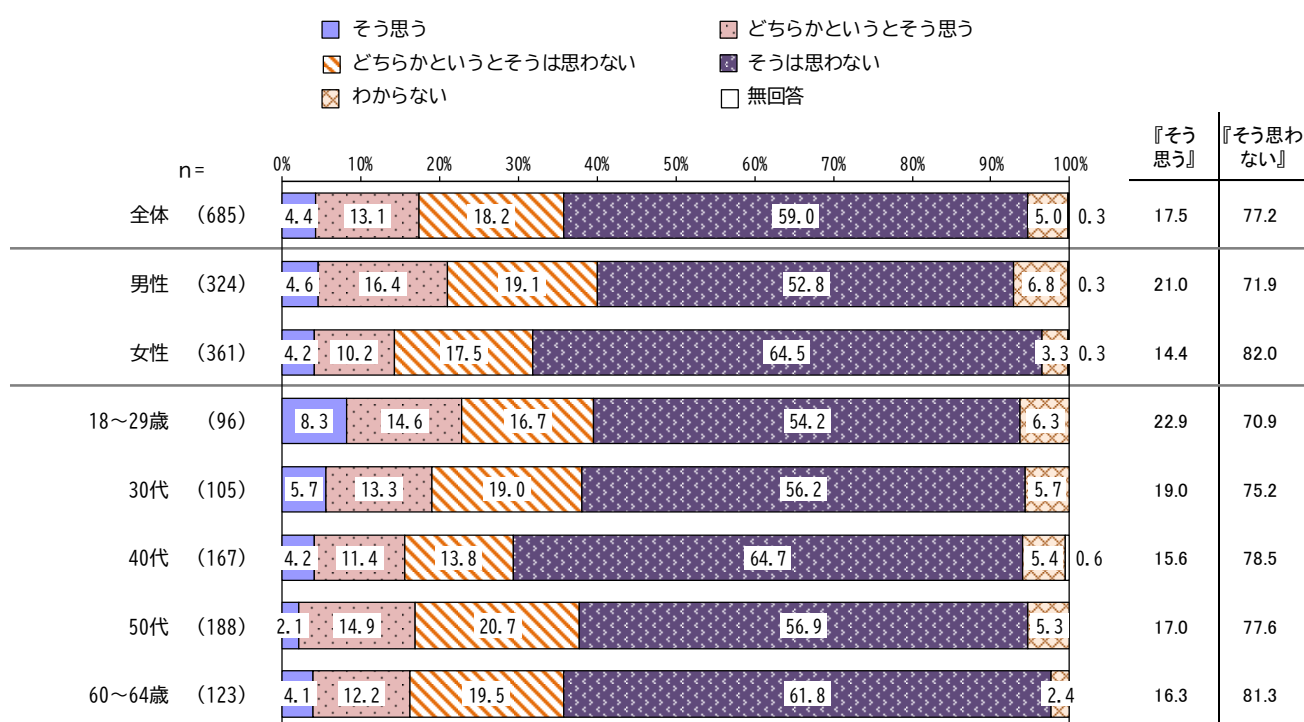
(6) 相談や助けを求めることを恥ずかしいと思うか

問 27 あなたは、悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。

誰かに相談したり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思うかについて、「そう思う」(4.4%)と「どちらかというと思う」(13.1%)を合わせた『そう思う』は17.5%と1割半ばを超えています。反対に、「どちらかというとは思わない」(18.2%)と「そうは思わない」(59.0%)を合わせた『そう思わない』は77.2%と7割半ばを超えています。

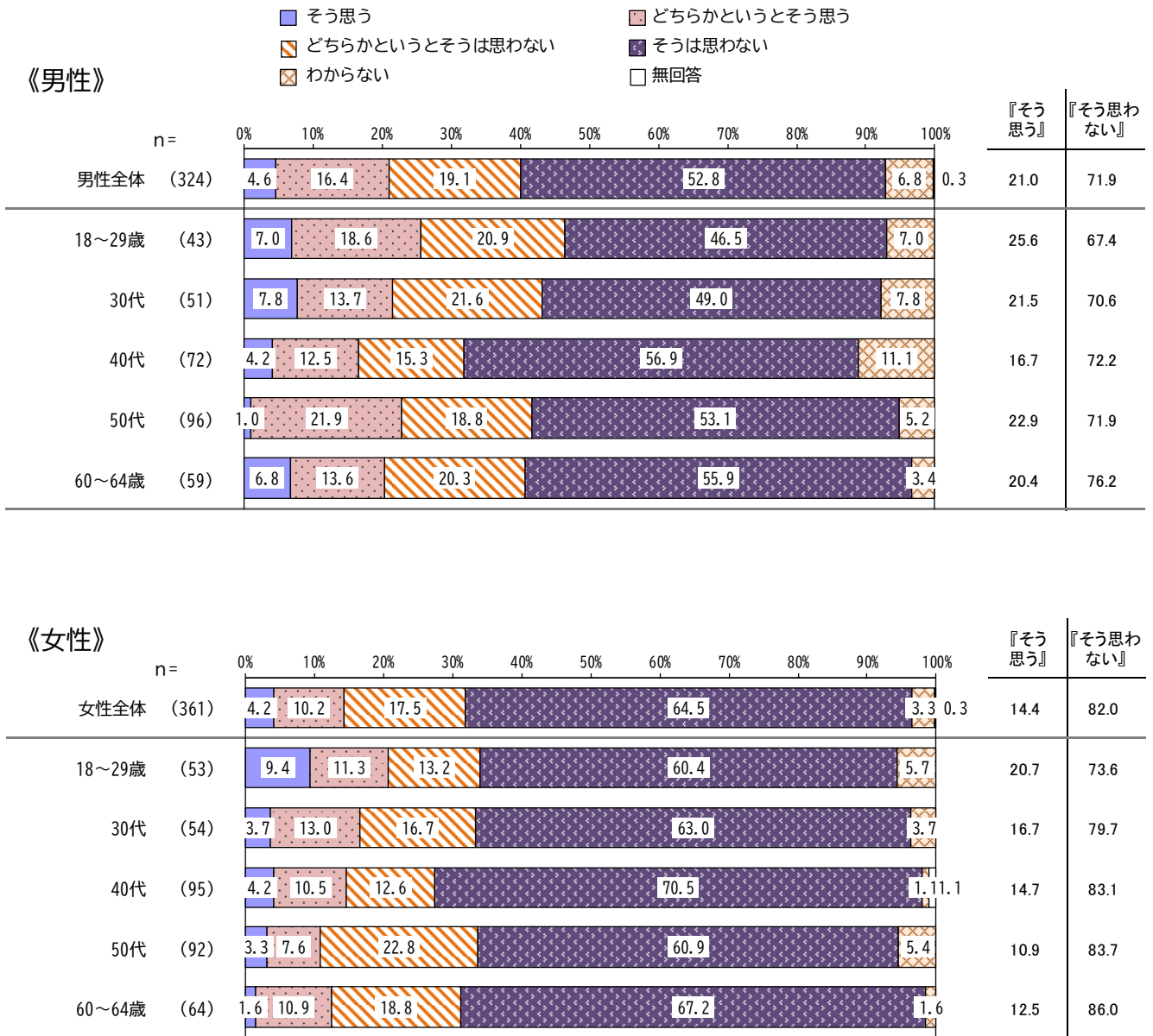
性別でみると、『そう思う』は、〔男性〕が21.0%と2割を超えており、〔女性〕を6.6ポイント上回っています。

年齢別でみると、『そう思う』は、年齢が下がるほど高くなる傾向にあり、30代以下の年齢では2割前後を占めています。



【性年齢別】

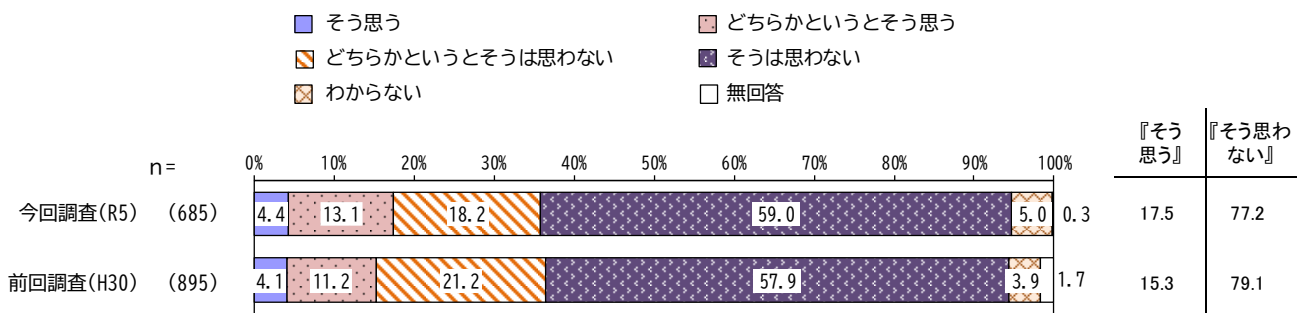
性年齢別で見ると、『そう思う』は、いずれの年齢でも《男性》が《女性》を上回っており、特に《男性》の40代を除く年齢ではいずれも2割を超えて高くなっています。また、《女性》の〔18～29歳〕でも『そう思う』が2割を占めて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

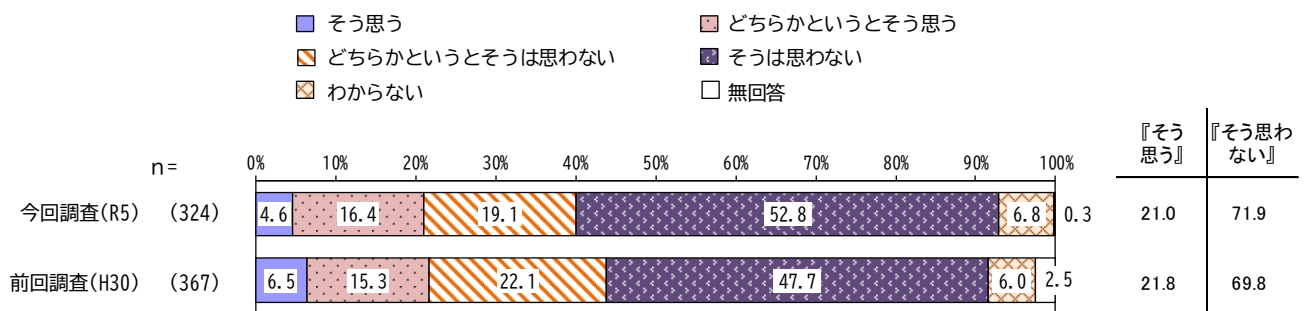
【前回比較】

前回調査と比較すると、『そう思う』は平成30年度より2.2ポイント上がっています。



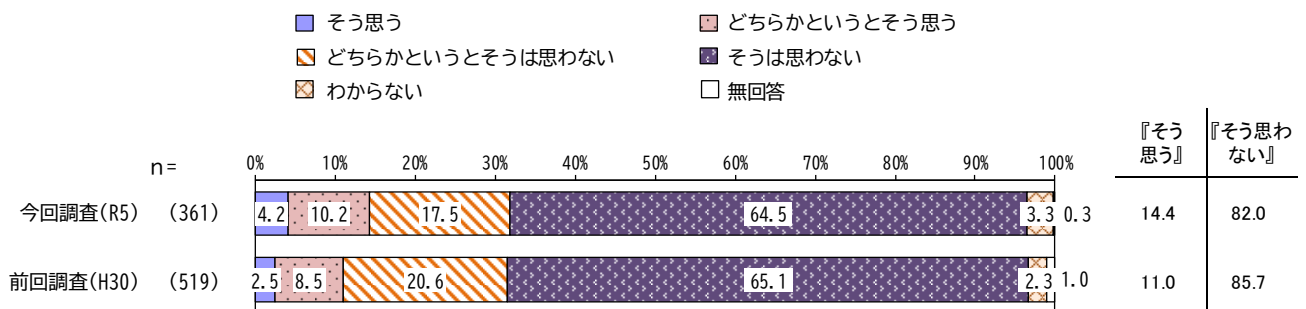
【前回比較・男性】

男性を前回調査と比較すると、『そう思わない』は平成30年度より2.1ポイント上がっていますが、『そう思う』割合は2割強とあまり変化ありません。



【前回比較・女性】

女性を前回調査と比較すると、『そう思う』は平成30年度より3.4ポイント上がっています。



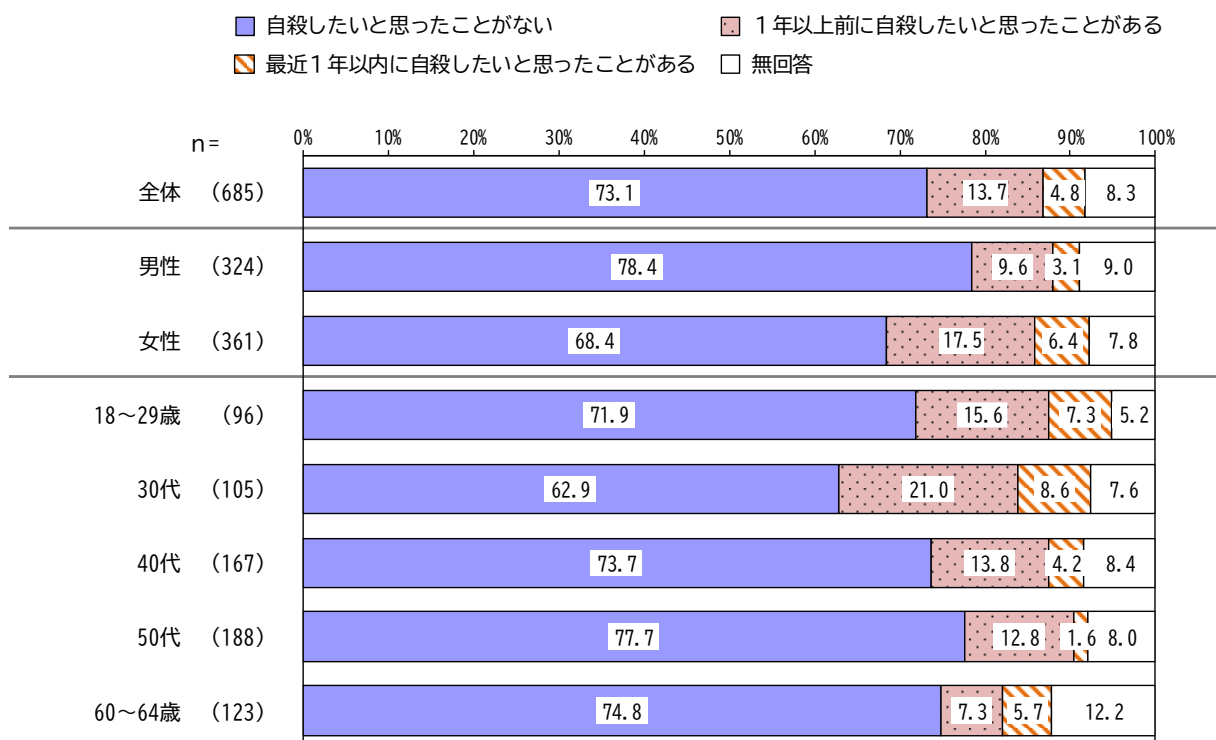
(7) 自殺を考えたことの有無

問 28 あなたはこれまでの人生の中で、本気で自殺をしたいと考えたことがありますか。

自殺を考えたことの有無について、「自殺したいと思っただことがない」が73.1%と7割を超えており、「1年以上前に自殺したいと思っただことがある」が13.7%、「最近1年以内に自殺したいと思っただことがある」が4.8%となっています。

性別でみると、「1年以上前に自殺したいと思っただことがある」は、〔女性〕が〔男性〕を7.9ポイント、「最近1年以内に自殺したいと思っただことがある」は、〔女性〕が〔男性〕を3.3ポイント上回っています

年齢別でみると、「1年以上前に自殺したいと思っただことがある」は〔30代〕で21.0%と2割を超えています。また、「最近1年以内に自殺したいと思っただことがある」は〔18～29歳〕で7.3%、〔30歳代〕で8.6%となっています。



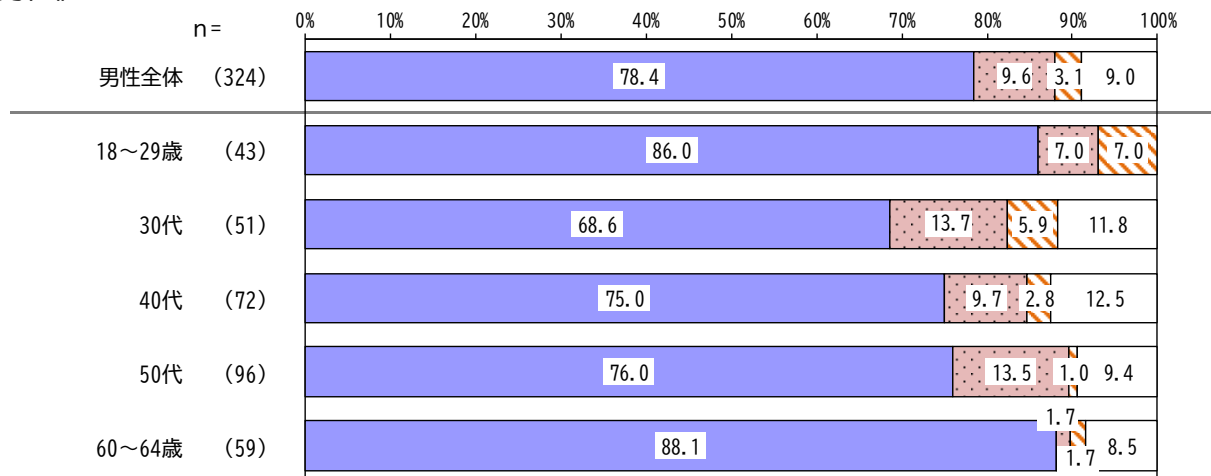
IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

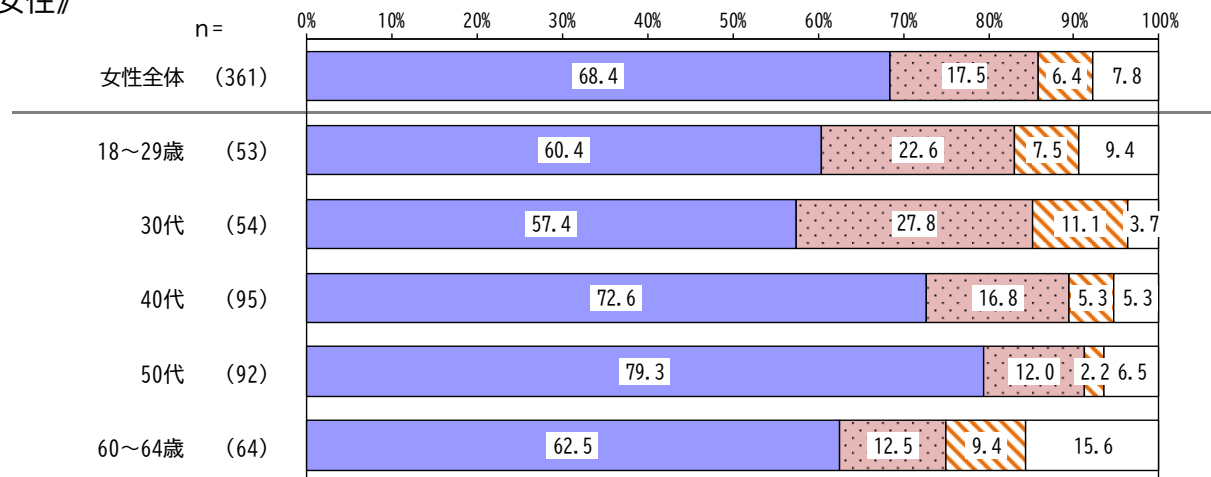
性年齢別でみると、《女性》の30代以下の年齢では「1年以上前に自殺したいと思ったことがある」が2割を超えて高くなっています。また、《女性》の〔30代〕では「最近1年以内に自殺したいと思ったことがある」が11.1%と1割を超えて、他の年齢よりも高くなっています。

■ 自殺したいと思ったことがない ■ 1年以上前に自殺したいと思ったことがある
 ■ 最近1年以内に自殺したいと思ったことがある □ 無回答

《男性》

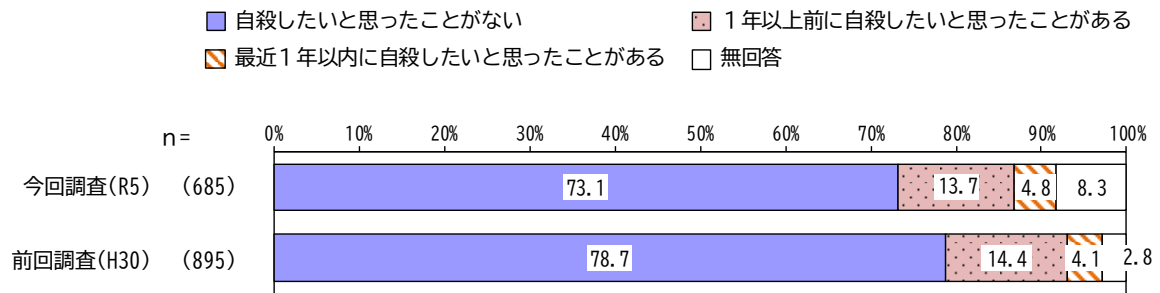


《女性》



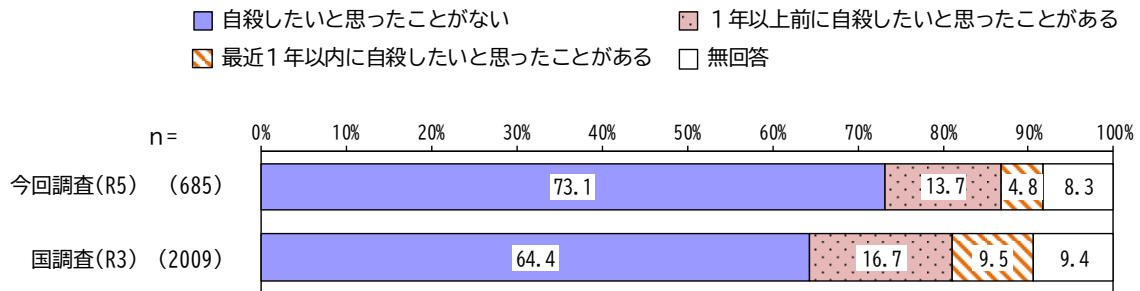
【前回比較】

前回調査と比較すると、自殺意向の割合にあまり差はありません。



【国調査比較】

令和3年度に厚生労働省が行った国の調査と比較すると、「自殺したいと思ったことがない」割合は、国よりも8.7ポイント高く、「1年以上前に自殺したいと思ったことがある」と「最近1年以内に自殺したいと思ったことがある」の割合はそれぞれ国よりも低くなっています。

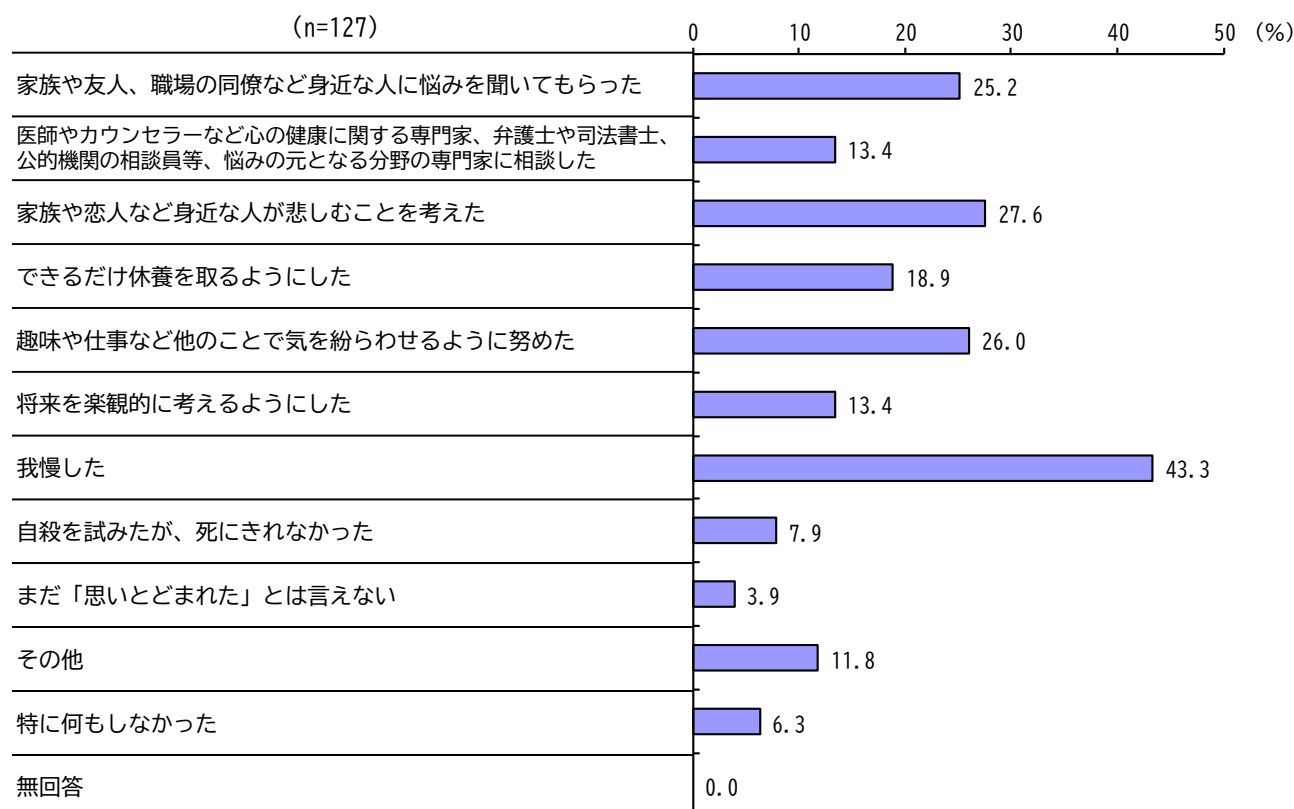


IV 18歳以上の調査結果

(8) 自殺を思いとどまった理由

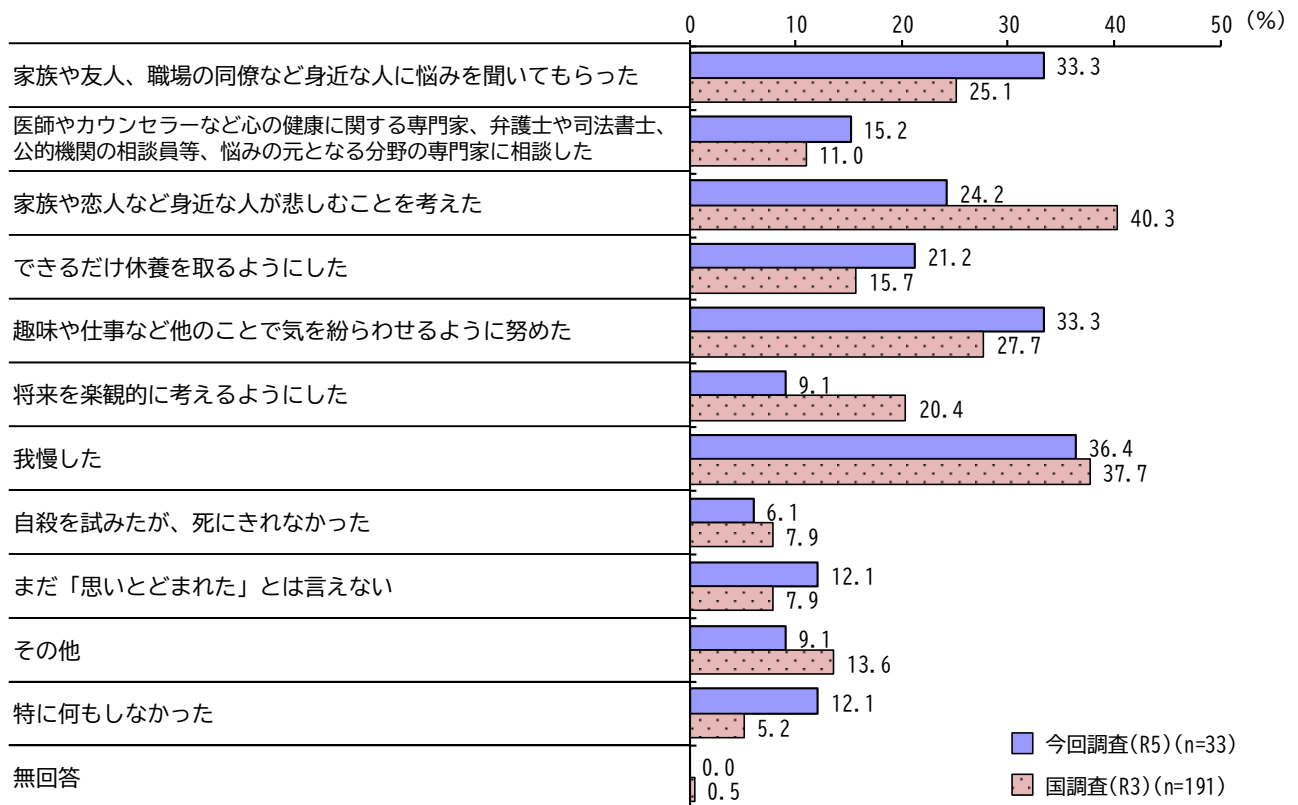
(問 28 で「2. 1年以上前に自殺したいと思ったことがある」
 「3. 最近1年以内に自殺したいと思ったことがある」を回答した方)
 問 28-1 そのように考えたとき、どのようにして自殺を思いとどまりましたか。【複数回答】

自殺を思いとどまった理由について、「我慢した」が43.3%と4割を超えて最も高く、次いで「家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた」(27.6%)、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」(26.0%)、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」(25.2%)が2割半ばを超えて続いています。



【国調査比較】（「3. 最近1年以内に自殺したいと思ったことがある」を回答した方）

国の調査と比較すると、「家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた」が16.1ポイント、「将来を楽観的に考えるようにした」が11.3ポイントと、10ポイント以上国調査よりも低くなっています。反対に、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」「できるだけ休養を取るようにした」「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」は5ポイント以上国調査よりも高くなっており、また、「特に何もしなかった」も6.9ポイント、国調査よりも高くなっています。

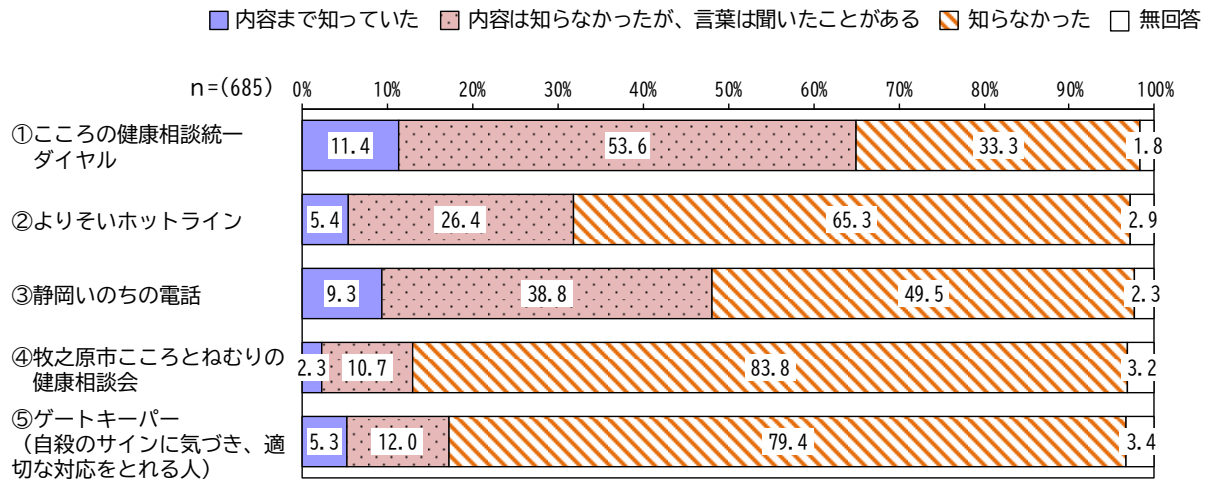


IV 18歳以上の調査結果

(9) 自殺対策の認知状況

問 29 あなたは、自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。

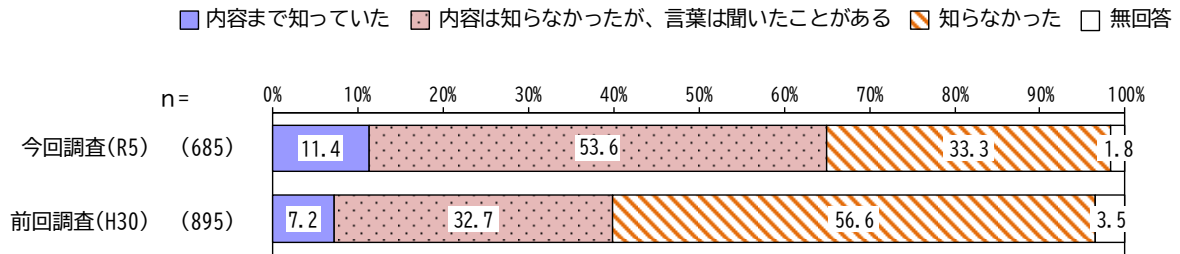
自殺対策の認知状況について、「内容まで知っていた」は、〔こころの健康相談統一ダイヤル〕が11.4%、〔静岡いのちの電話〕が9.3%と1割前後を占めて高くなっています。また、「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」は、〔こころの健康相談統一ダイヤル〕が53.6%、〔静岡いのちの電話〕が38.8%、〔よりそいホットライン〕が26.4%と高くなっています。



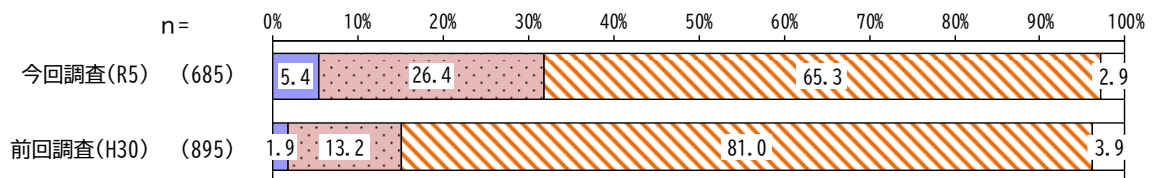
【前回比較】

前回調査と比較すると、いずれの自殺対策でも、認知度が平成30年度より上がっている傾向にあります。

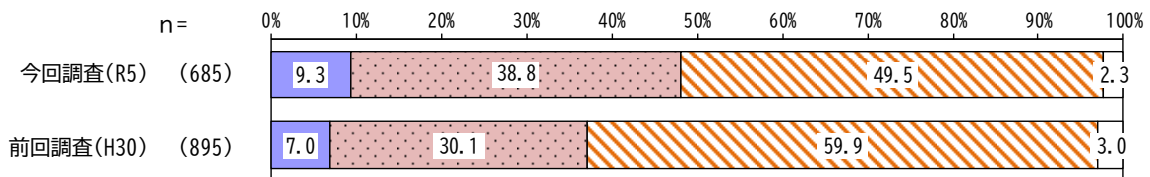
①こころの健康相談統一ダイヤル



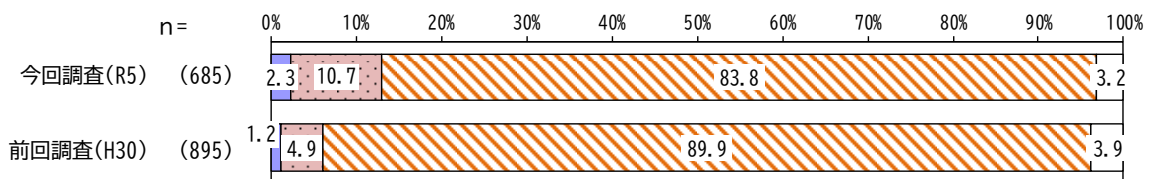
②よりそいホットライン



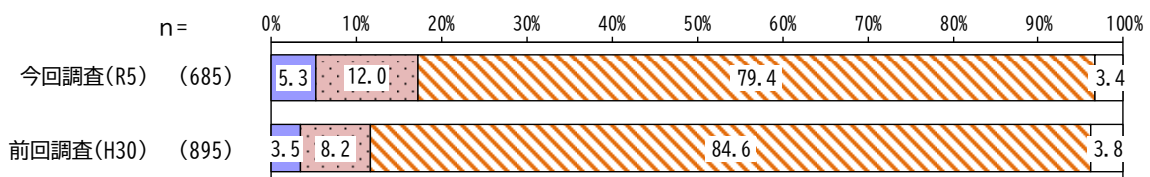
③静岡いのちの電話



④牧之原市こころとねむりの健康相談会



⑤ゲートキーパー（自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人）



5. 日常生活、健康意識などについて

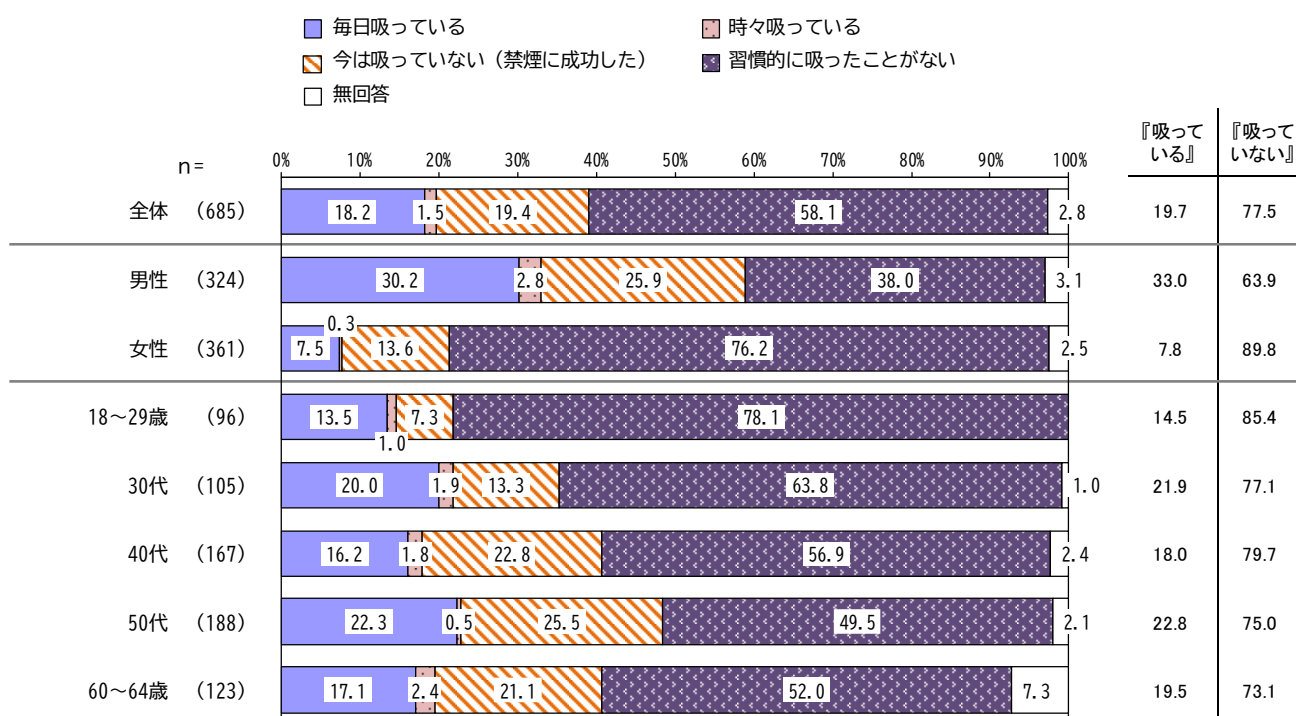
(1) 喫煙の状況

問 30 現在(この1か月間)、あなたは、たばこを吸っていますか。

ここ1か月の喫煙状況について、「毎日吸っている」(18.2%)と「時々吸っている」(1.5%)を合わせた『吸っている』は19.7%と約2割を占めています。反対に、「今は吸っていない(禁煙に成功した)」(19.4%)と「習慣的に吸ったことがない」(58.1%)を合わせた『吸っていない』は77.5%と7割半ばを超えています。

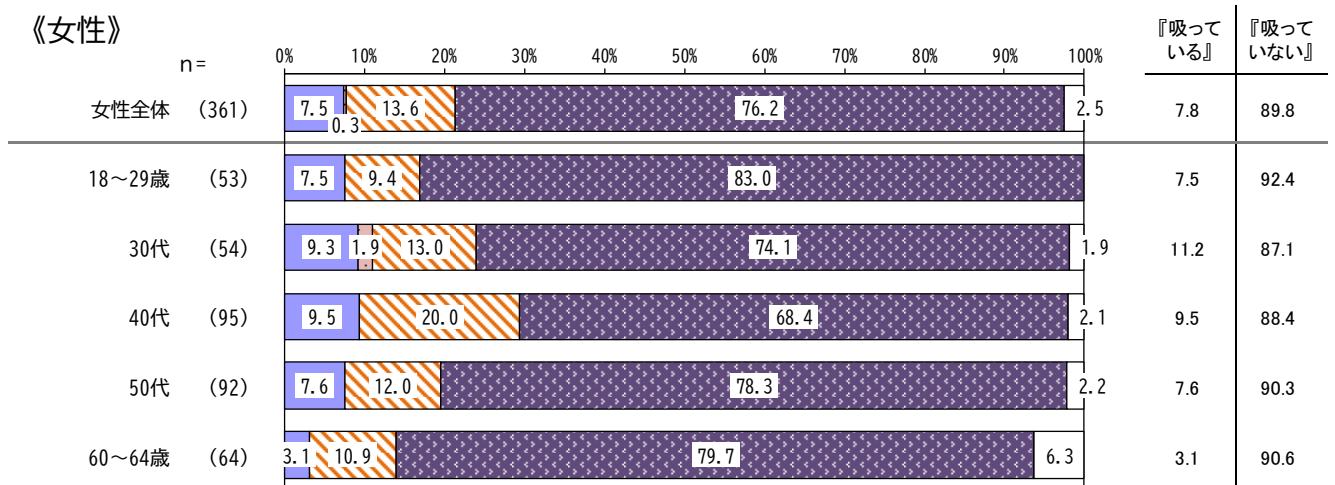
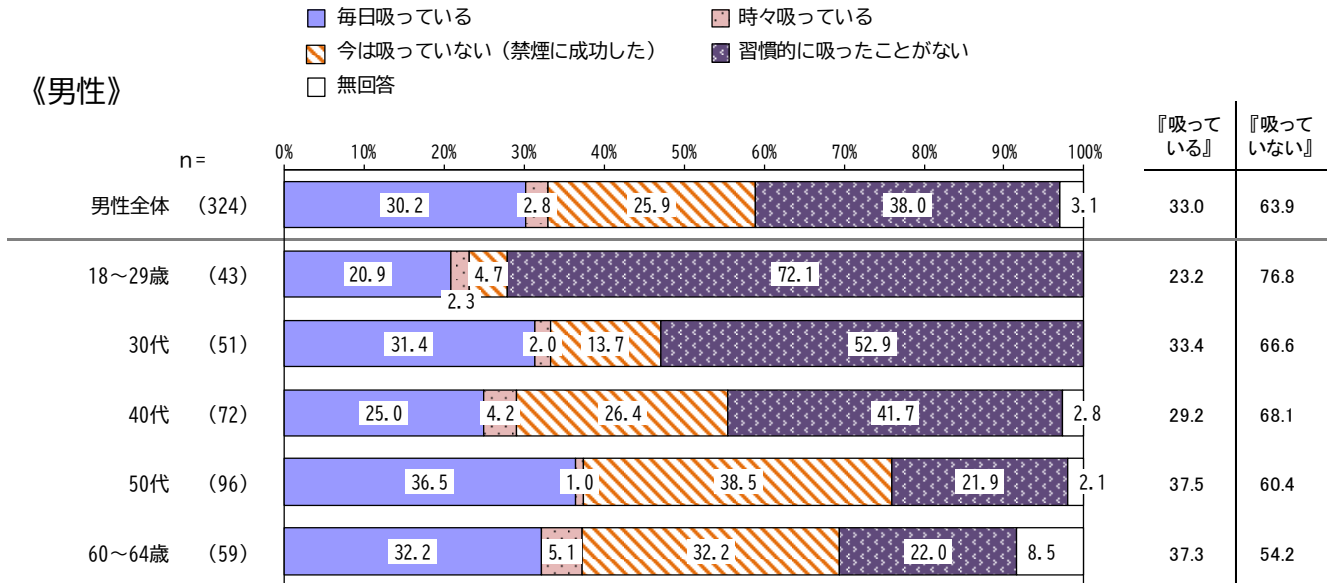
性別でみると、「毎日吸っている」は、〔男性〕が30.2%と3割を占めており、〔女性〕(7.5%)を22.7ポイント大きく上回っています。

年齢別でみると、「毎日吸っている」割合は、〔30代〕と〔50代〕で2割以上となっています。



【性年齢別】

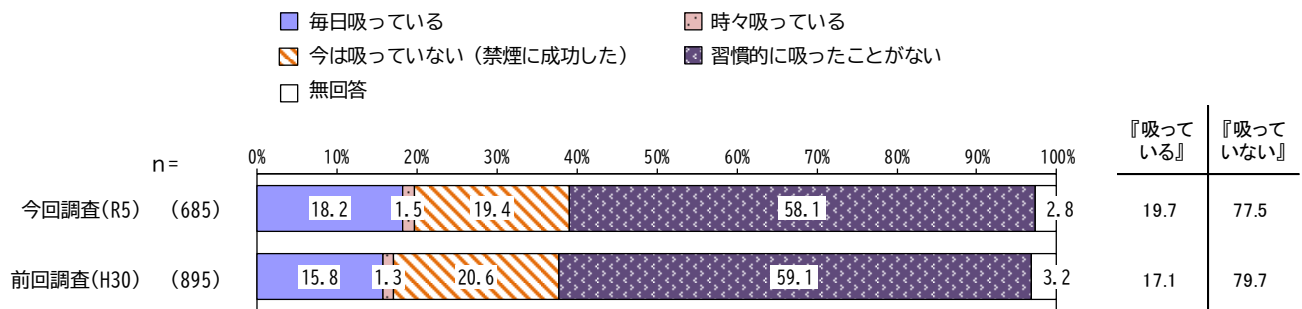
性年齢別でみると、「毎日吸っている」は、いずれの年齢でも《男性》が《女性》を大きく上回っており、特に《男性》の30代以上の年齢では2割半ば以上で高くなっています。一方、「今は吸っていない（禁煙に成功した）」割合は、《男性》の50代以上で3割を超えて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

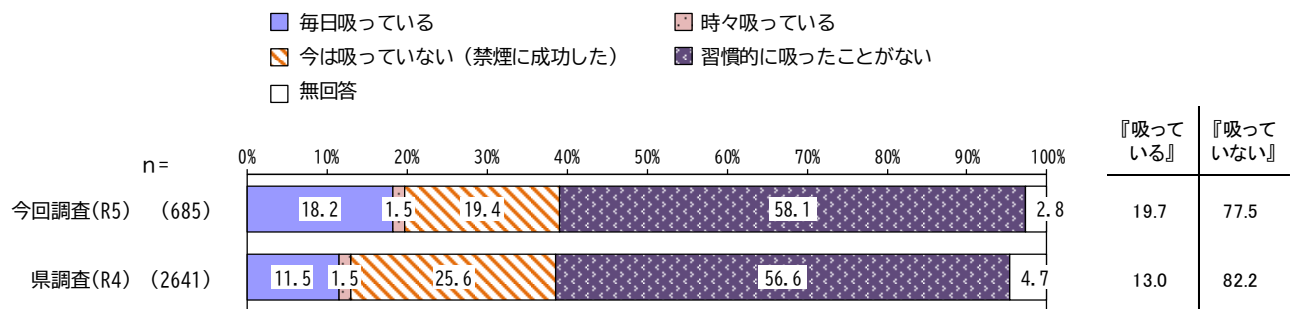
【前回比較】

前回調査と比較すると、「毎日吸っている」は平成30年度より2.4ポイント上がっています。



【県調査比較】

静岡県の調査と比較すると、「毎日吸っている」割合は、静岡県全体よりも6.7ポイント高くなっています。



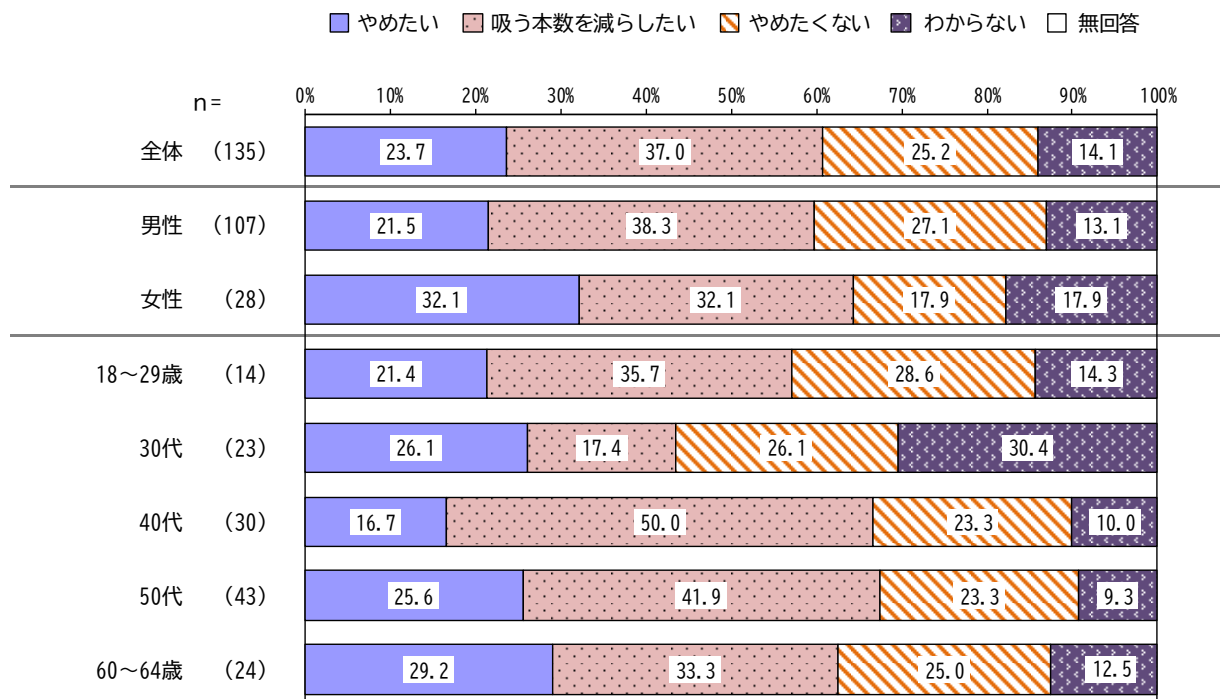
(2) 禁煙意向

(問 30 で「1. 毎日吸っている」「2. 時々吸っている」を回答した方
問 30-1 たばこをやめたいと思いますか。

禁煙をしたいかについて、「吸う本数を減らしたい」が37.0%と3割半ばを超えて最も高く、「やめたい」が23.7%、「やめたくない」が25.2%となっています。

性別で見ると、「やめたい」は、〔女性〕が〔男性〕を10.6ポイント上回っています。反対に、「やめたくない」は〔男性〕が〔女性〕を9.2ポイント上回っています。

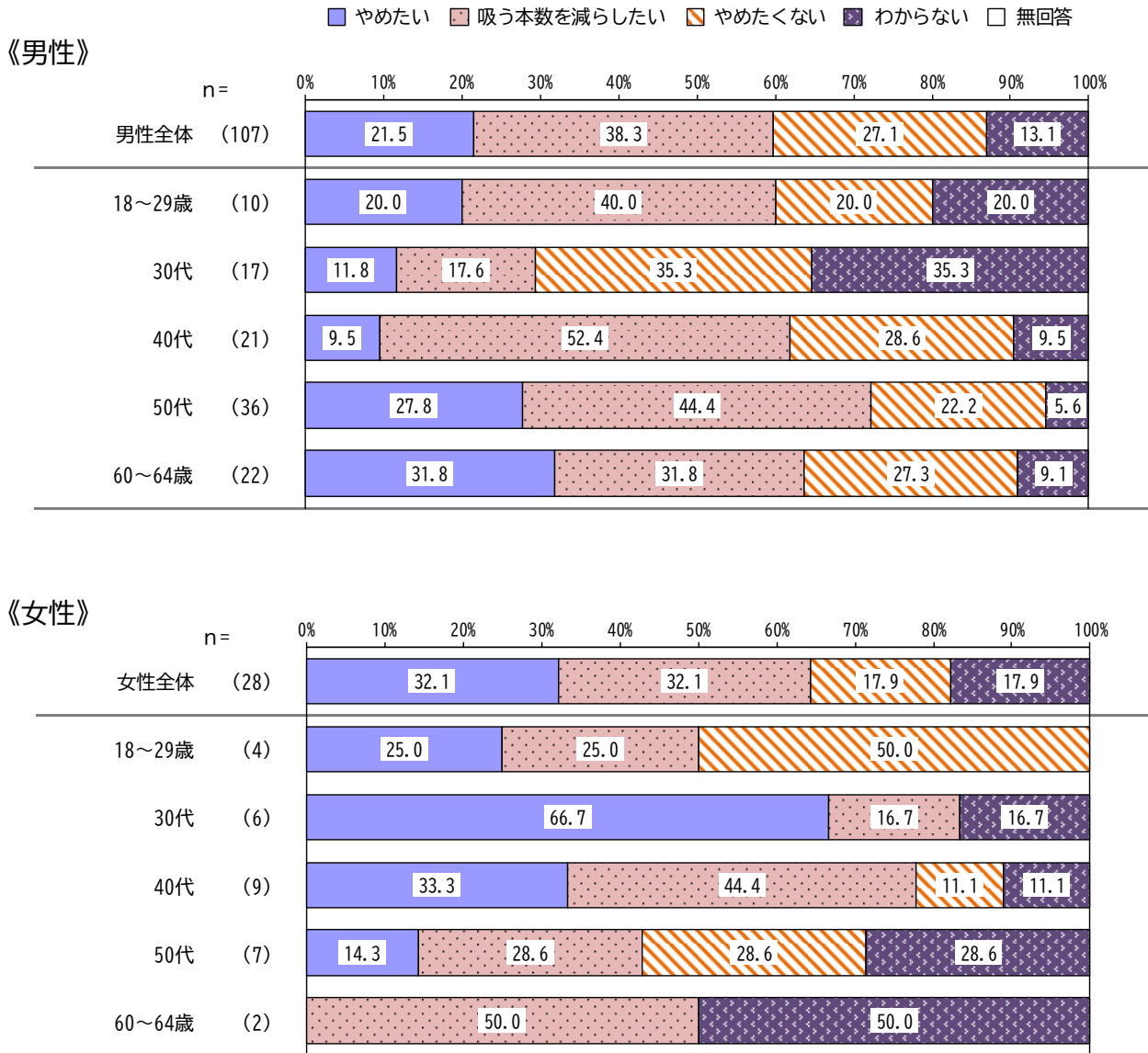
年齢別で見ると、「やめたい」は、〔40代〕を除くいずれの年齢でも2割を超えています。また、〔40代〕では「吸う本数を減らしたい」が50.0%と5割を占めています。



IV 18歳以上の調査結果

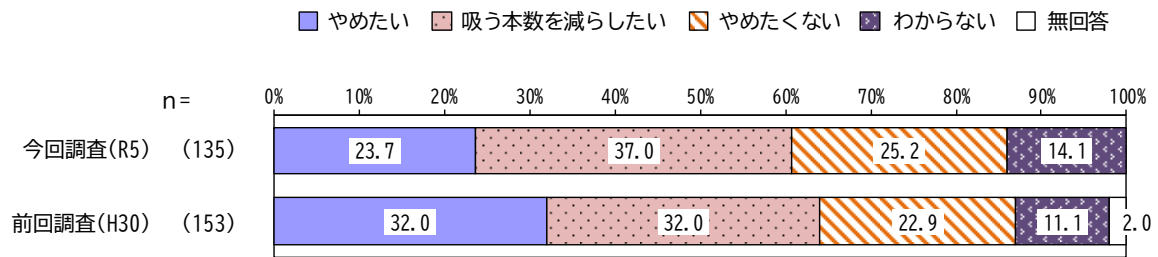
【性年齢別】

性年齢別でみると、《男性》の50代以上の年齢で「やめたい」が3割前後と高くなっています。また、《男性》の〔40代〕では「吸う本数を減らしたい」が52.4%と5割を超えています。



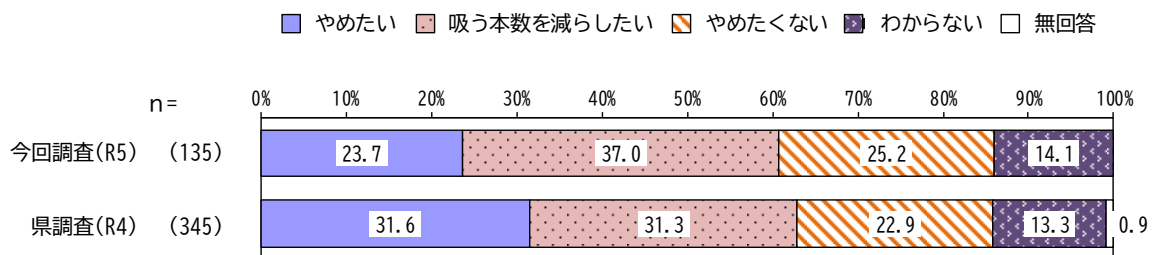
【前回比較】

前回調査と比較すると、「やめたい」は平成30年度より8.3ポイント下がっています。



【県調査比較】

静岡県の調査と比較すると、「やめたい」割合は、静岡県全体よりも7.9ポイント低くなっています。

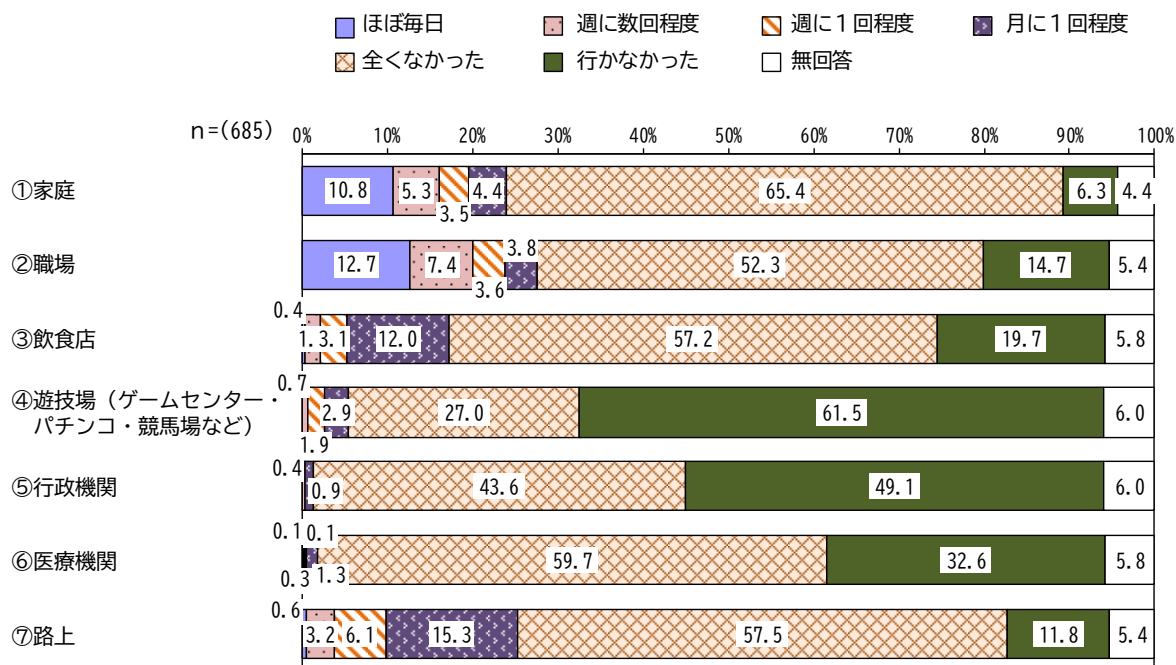


IV 18歳以上の調査結果

(3) 受動喫煙の状況

問31 あなたは、この1か月間、以下のような場所で自分以外の方が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)はありましたか。

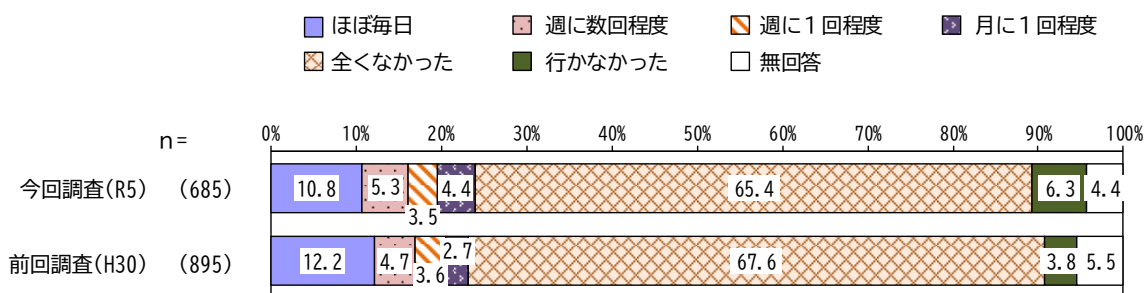
受動喫煙の状況について、「ほぼ毎日」は、「家庭」と「職場」で1割を超えて高くなっています。また、「飲食店」と「路上」では「月に1回程度」が1割を超えて高くなっています。



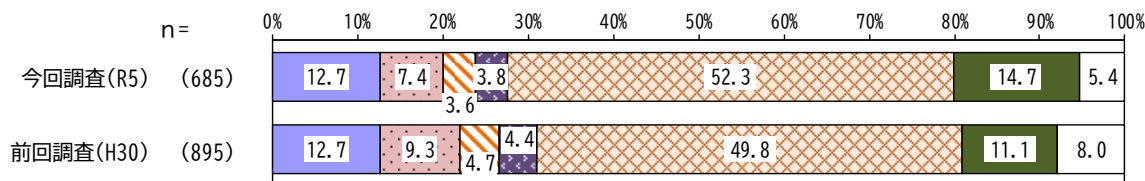
【前回比較】

前回調査と比較すると、「飲食店」と「遊技場」の「月1回程度」の割合が、平成30年度より大きく下がっています。

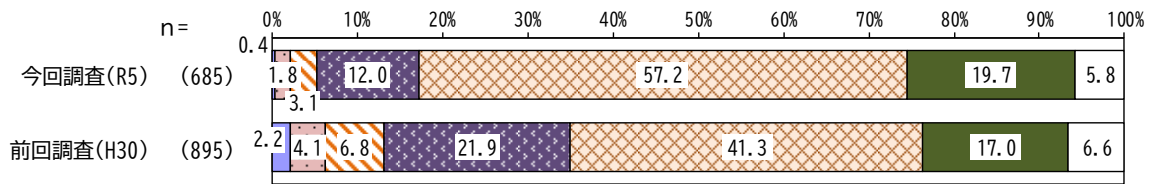
①家庭



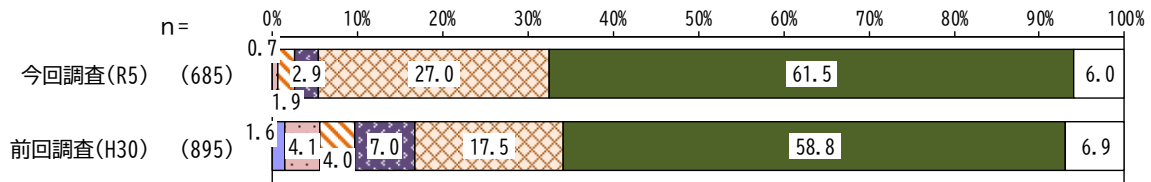
②職場



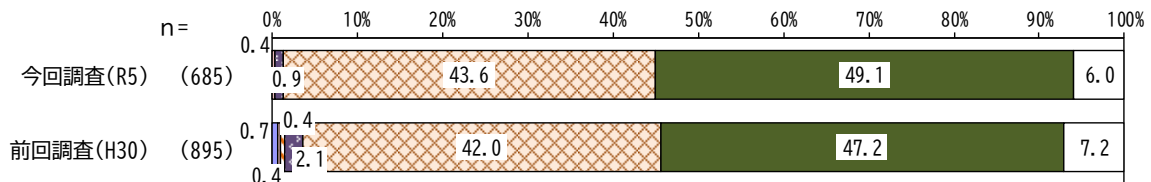
③ 飲食店



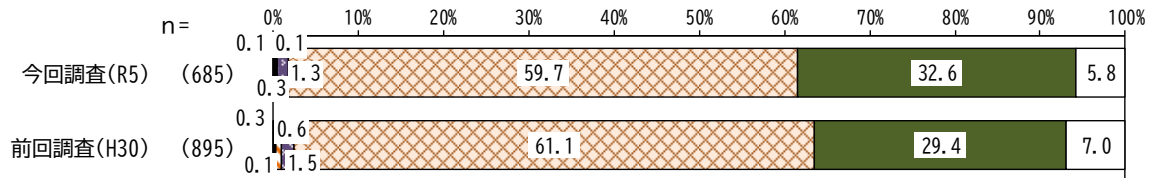
④ 遊技場 (ゲームセンター・パチンコ・競馬場など)



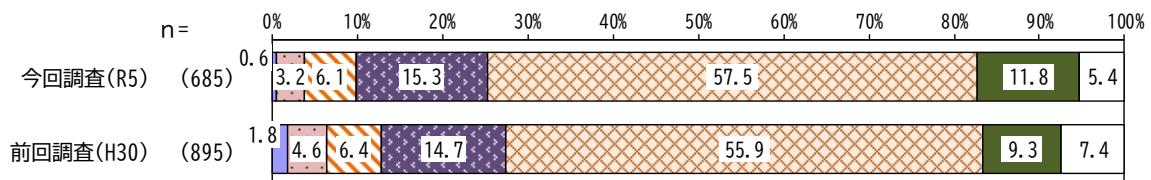
⑤ 行政機関



⑥ 医療機関



⑦ 路上

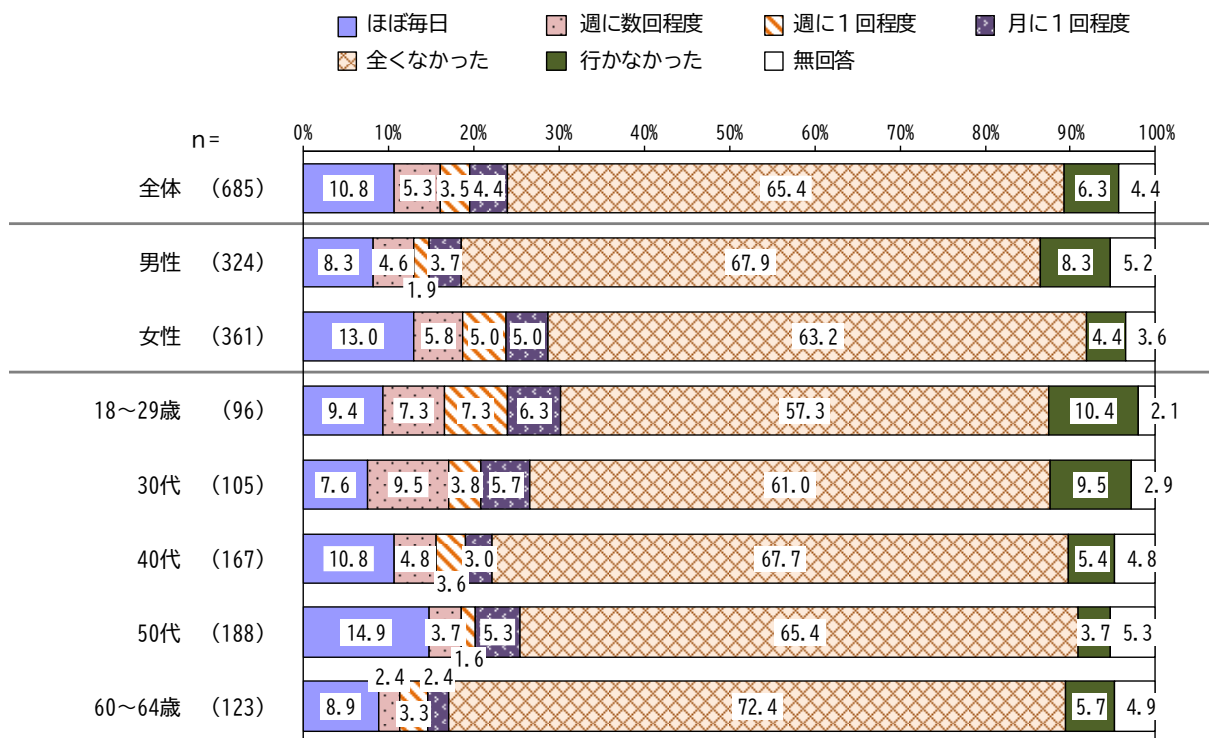


IV 18歳以上の調査結果

①家庭

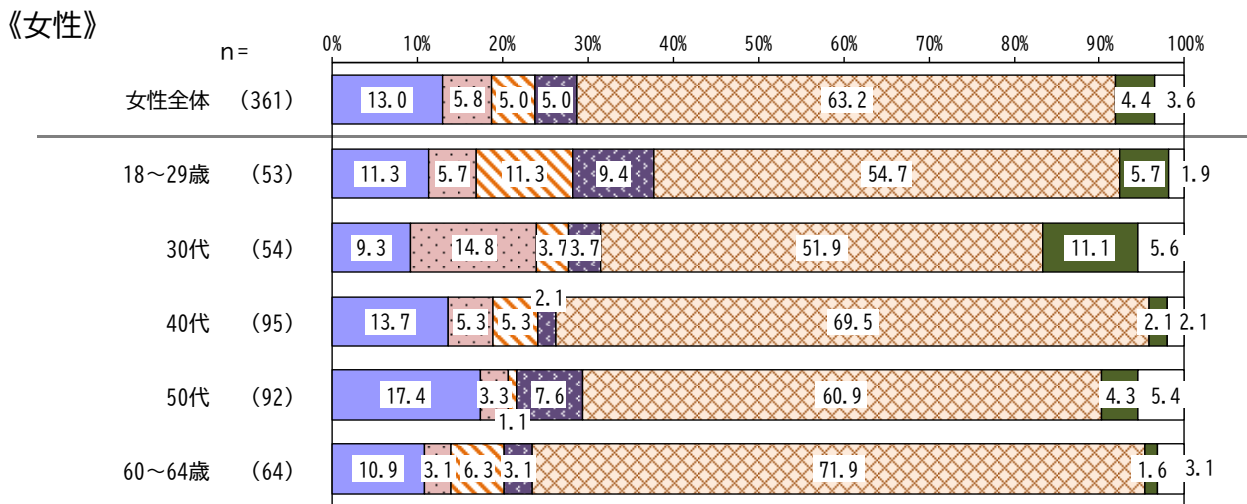
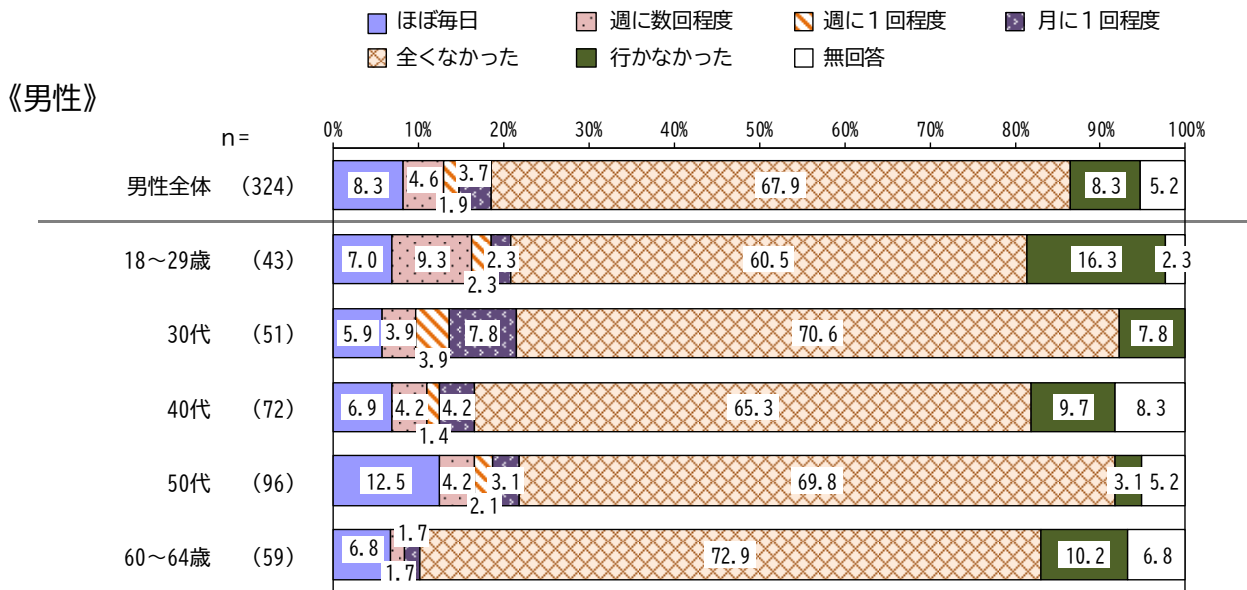
性別でみると、「ほぼ毎日」は、〔女性〕が〔男性〕を4.7ポイント上回っています。

年齢別でみると、「ほぼ毎日」は、〔40代〕と〔50代〕で1割を超えて、他の年齢よりも高くなっています。



【性年齢別】

性年齢別で見ると、「ほぼ毎日」は、男女ともに〔50代〕が最も高くなっています。また、いずれの年齢でも《女性》の方が《男性》よりも受動喫煙の機会が多い傾向にあります。

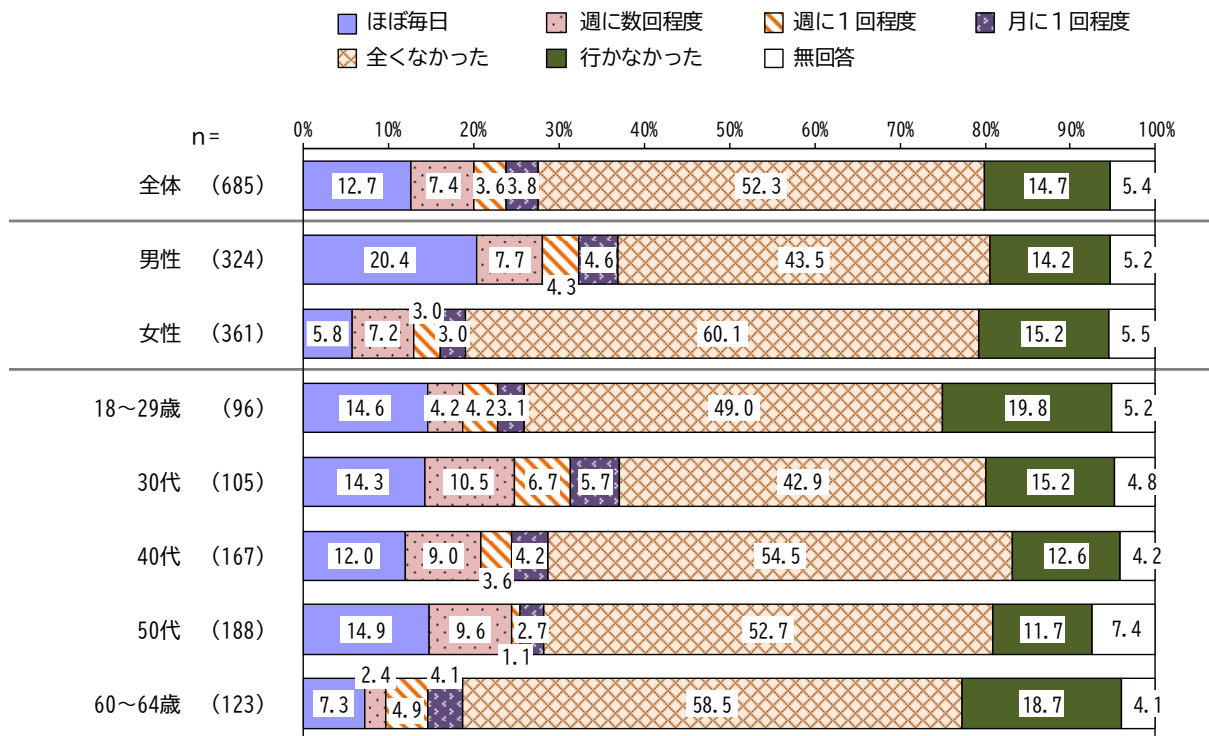


IV 18歳以上の調査結果

②職場

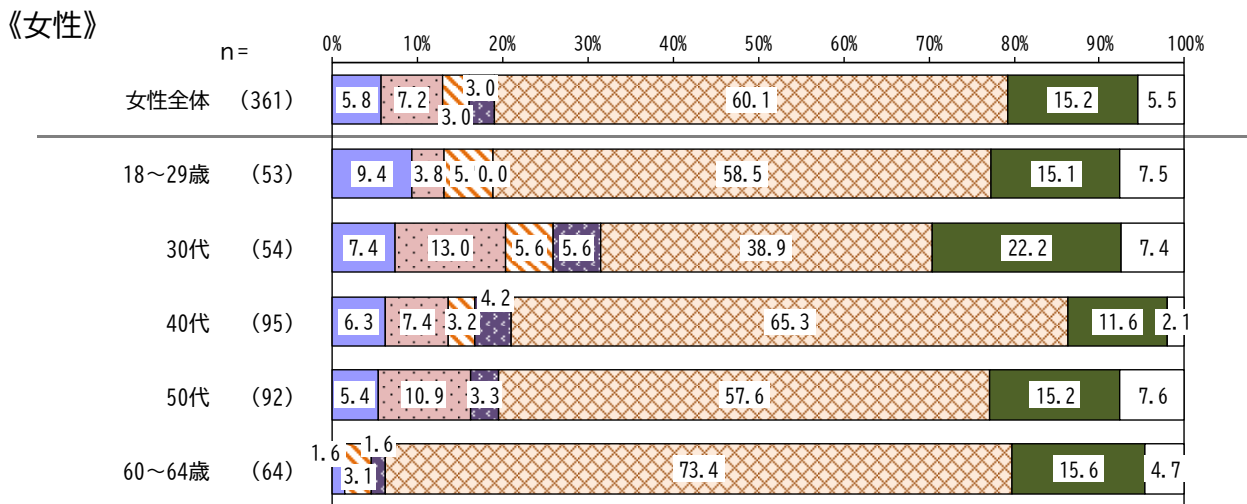
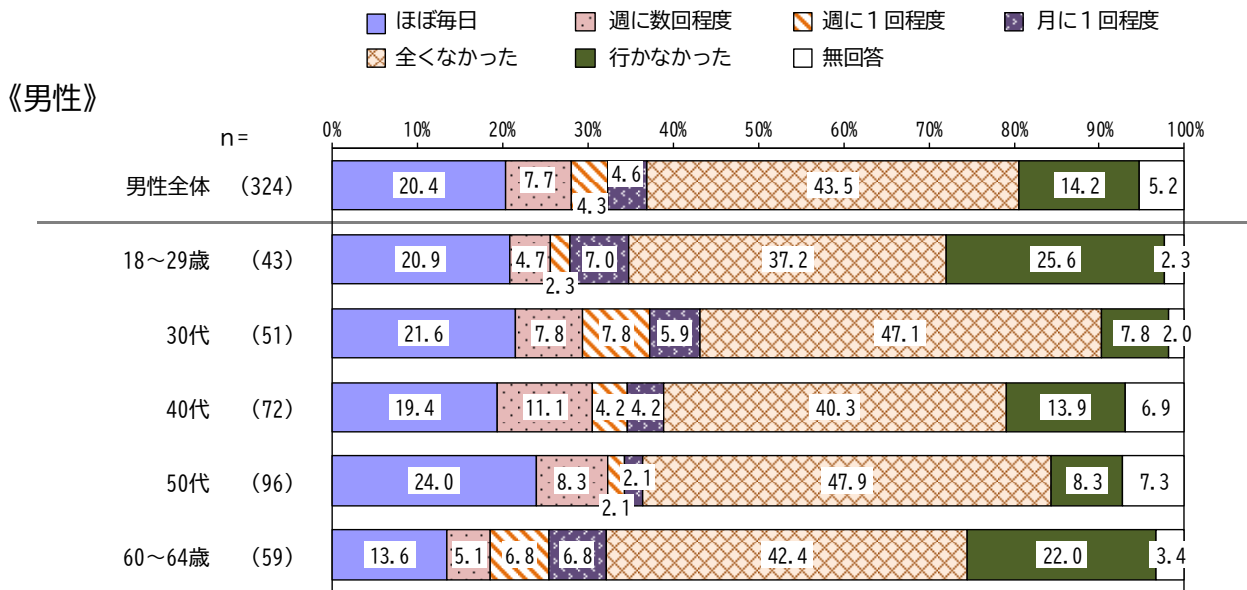
性別で見ると、「ほぼ毎日」は、〔男性〕が20.4%と2割を占めており、〔女性〕を14.6ポイント上回っています。

年齢別で見ると、「ほぼ毎日」は、50代以下の年齢で1割を超えています。また、30～50代にかけて「週に数回程度」が1割前後になっています。



【性年齢別】

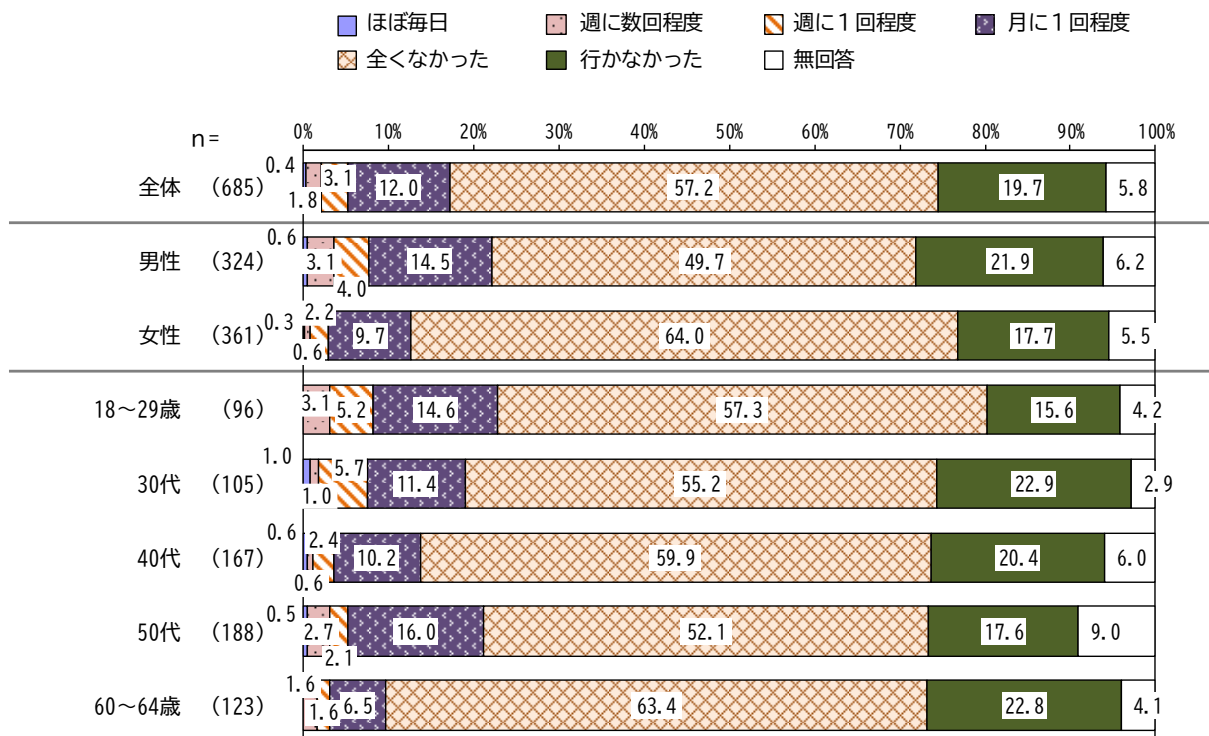
性年齢別でみると、「ほぼ毎日」は、《男性》の50代以下のいずれの年齢でも2割前後と高くなっており、《女性》を大きく上回っています。



IV 18歳以上の調査結果

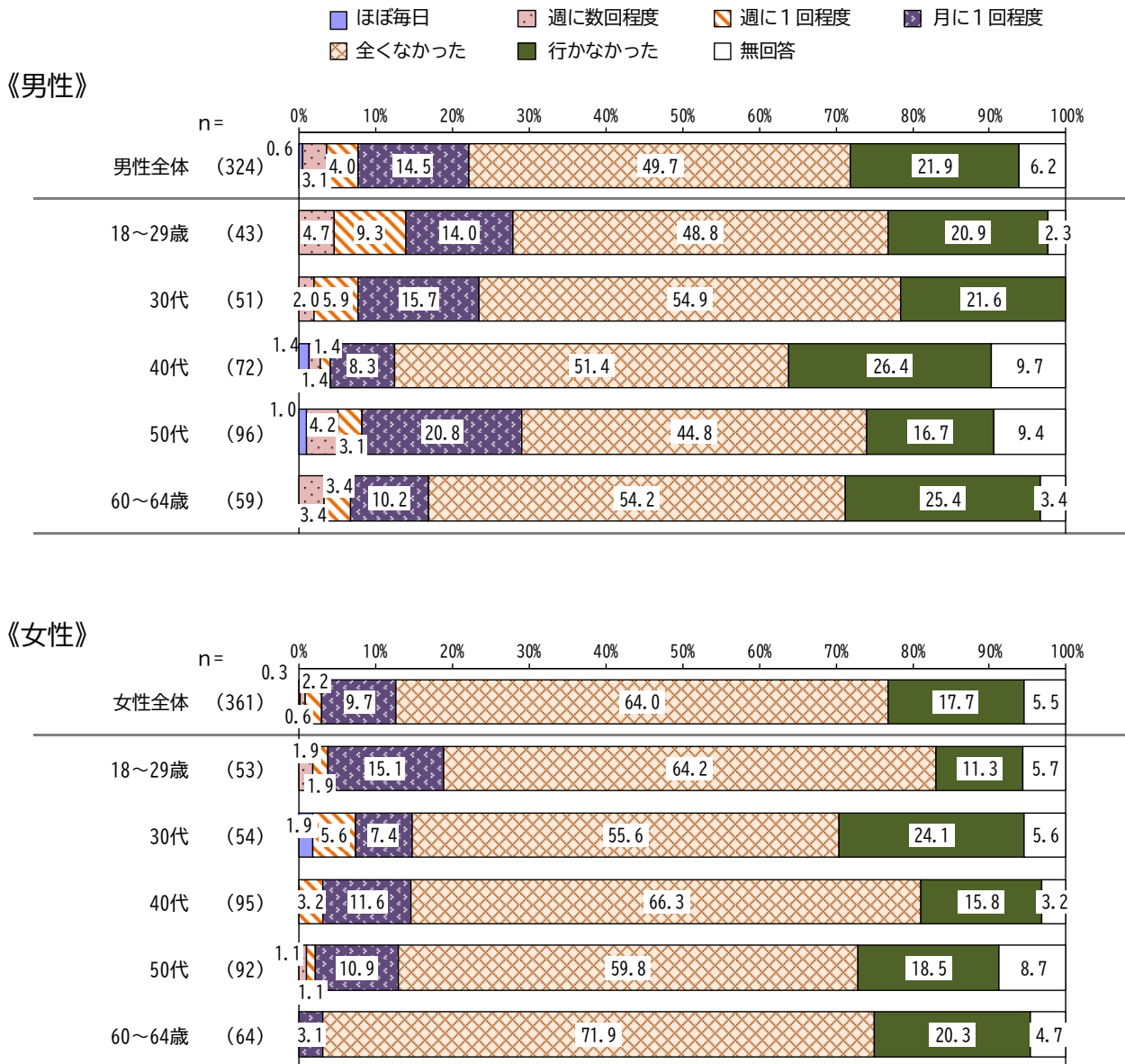
③飲食店

性別でみると、受動喫煙の機会は、男女ともに「月に1回程度」が1割前後で高くなっています。年齢別でみると、「月に1回程度」は、50代以下の年齢でいずれも1割を超えています。



【性年齢別】

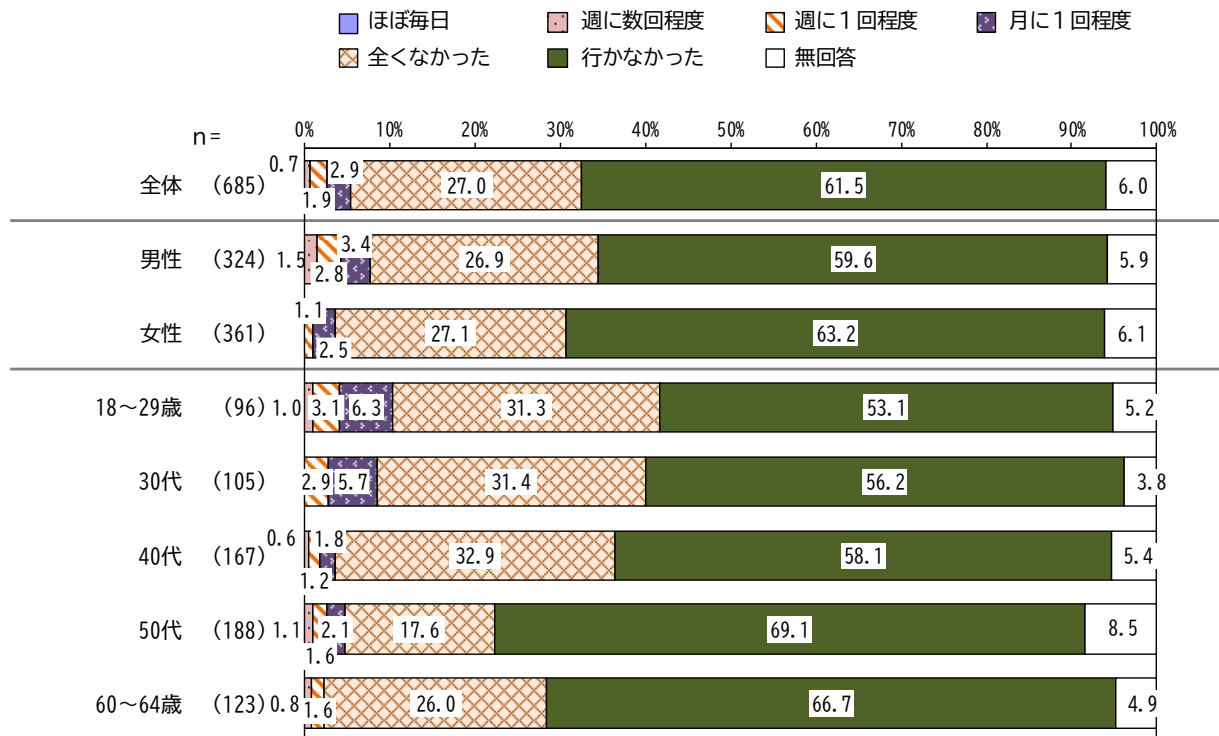
性年齢別でみると、《男性》の〔18～29歳〕で「週に数回程度」が9.3%と、他の年齢よりも高くなっています。また、《男性》の〔50代〕で「月に1回程度」が20.8%と2割を占めて、他の年齢よりも高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

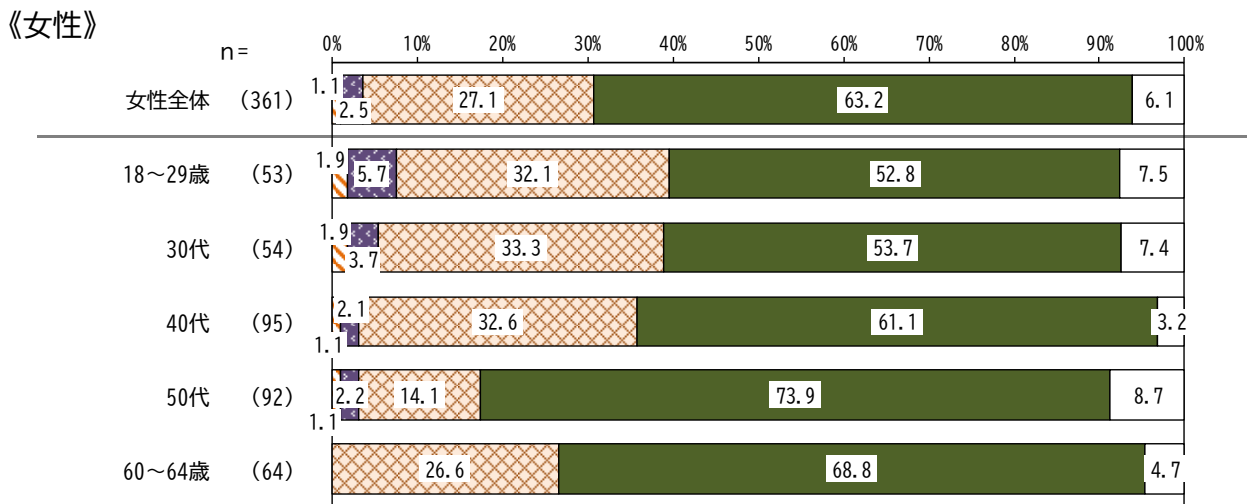
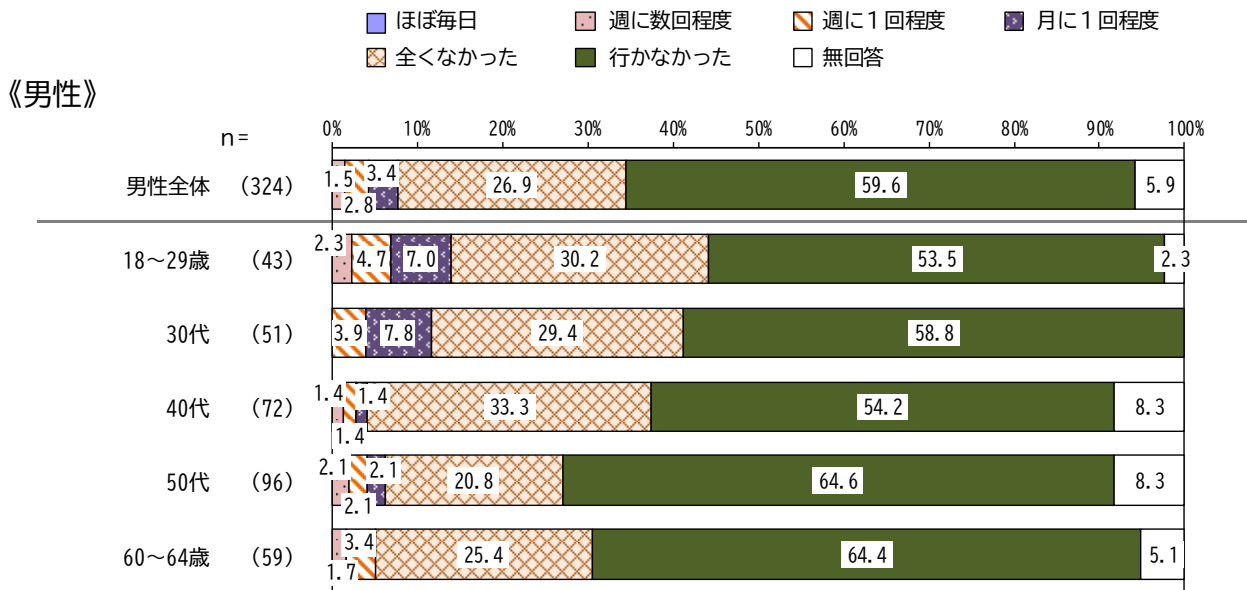
④遊技場（ゲームセンター・パチンコ・競馬場など）

性別でみると、受動喫煙の機会は、〔男性〕が〔女性〕をやや上回っている傾向にあります。
 年齢別でみると、受動喫煙の機会は、年齢が下がるほど、やや高くなる傾向にあります。



【性年齢別】

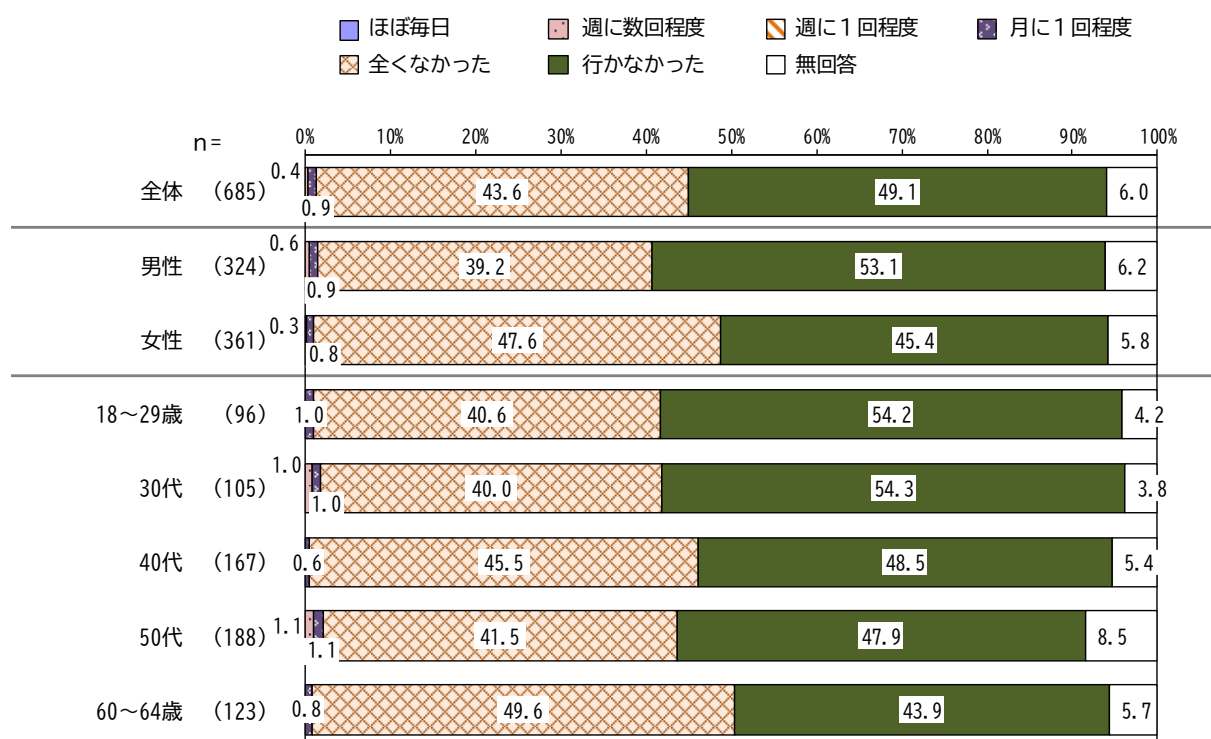
性年齢別で見ると、《男性》の〔18～29歳〕と〔30代〕、《女性》の〔18～29歳〕の若い年齢層では、受動喫煙の機会が他の年齢よりも高くなる傾向にあります。



IV 18歳以上の調査結果

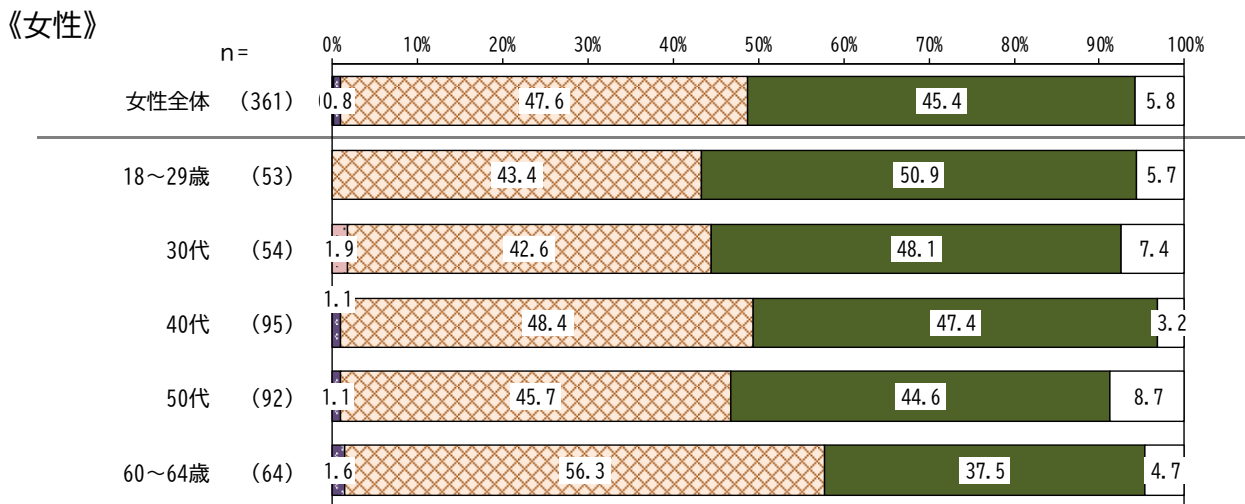
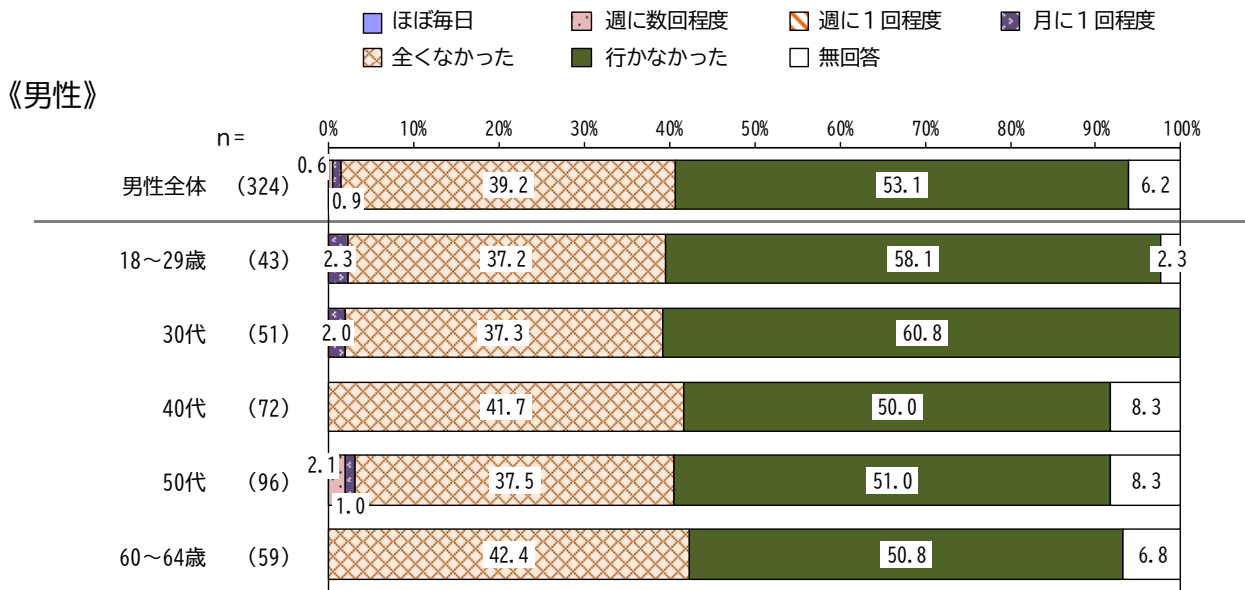
⑤行政機関

いずれの属性も「全くなかった」と「行かなかった」がほぼ全体を占めています。



【性年齢別】

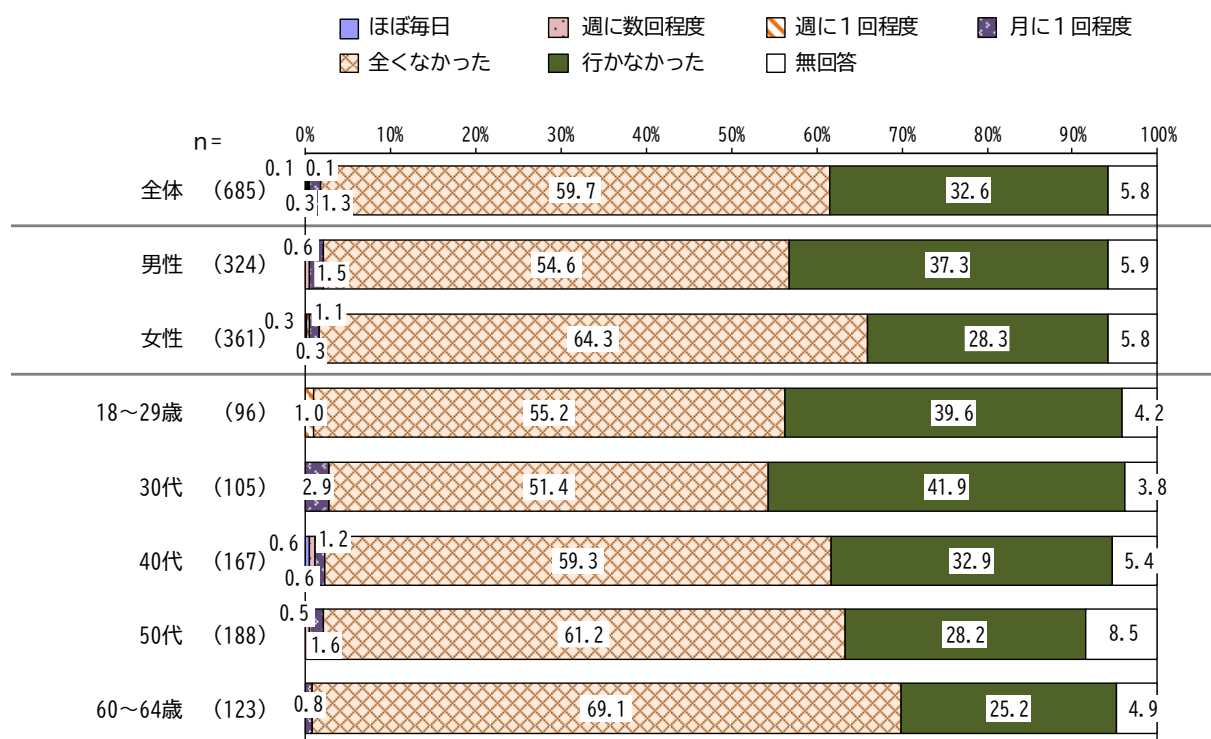
性年齢別で見ると、性・年齢でも「全くなかった」と「行かなかった」がほぼ全体を占めています。



IV 18歳以上の調査結果

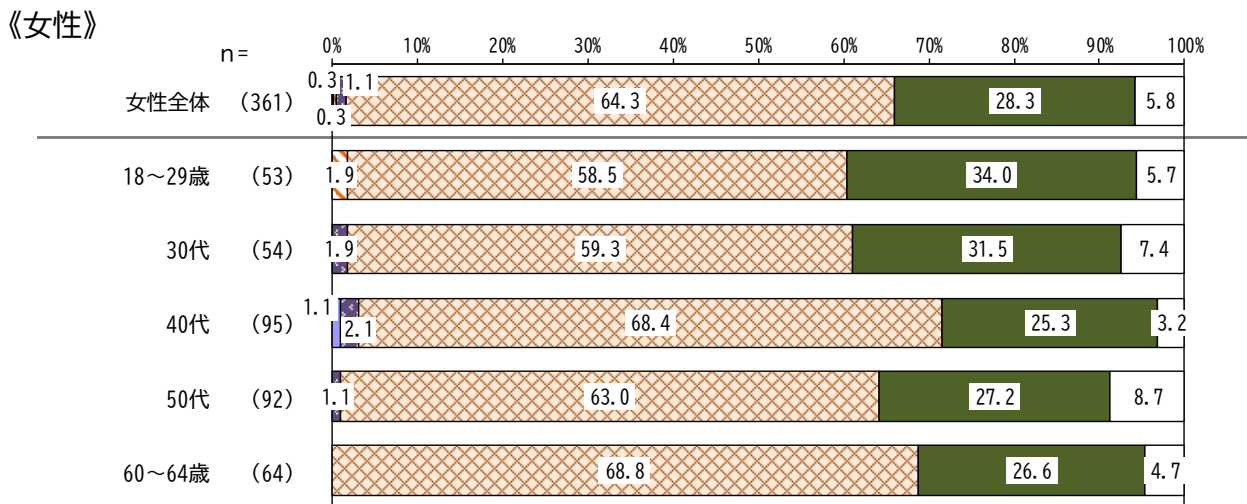
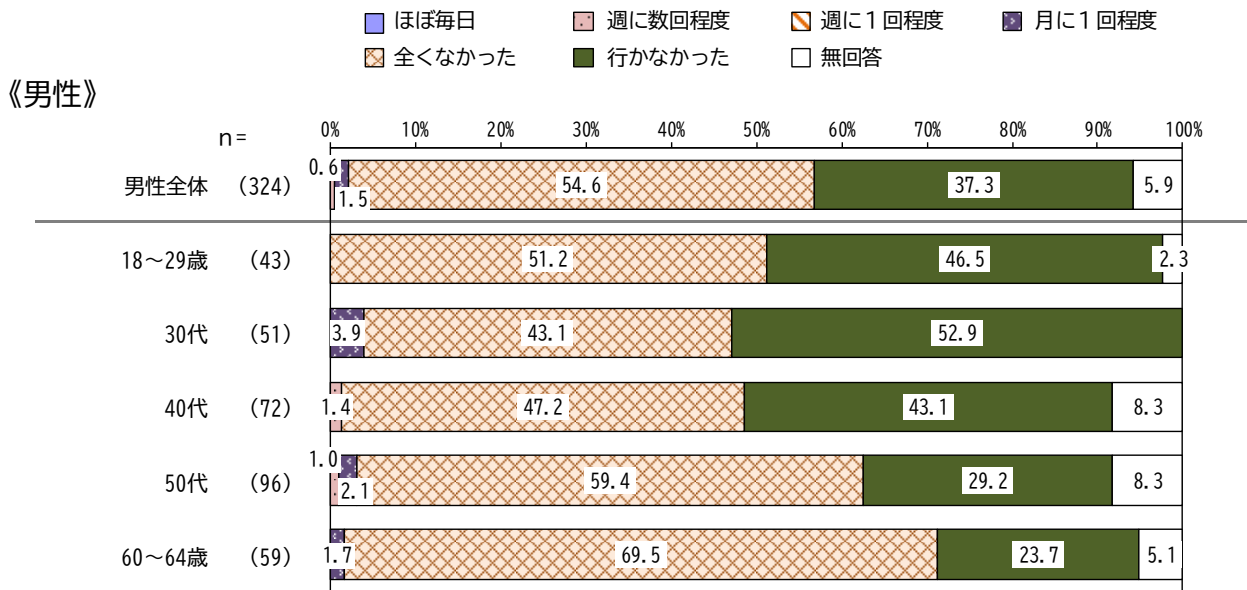
⑥医療機関

いずれの属性も「全くなかった」と「行かなかった」がほぼ全体を占めています。



【性年齢別】

性年齢別で見ると、性・年齢でも「全くなかった」と「行かなかった」がほぼ全体を占めています。

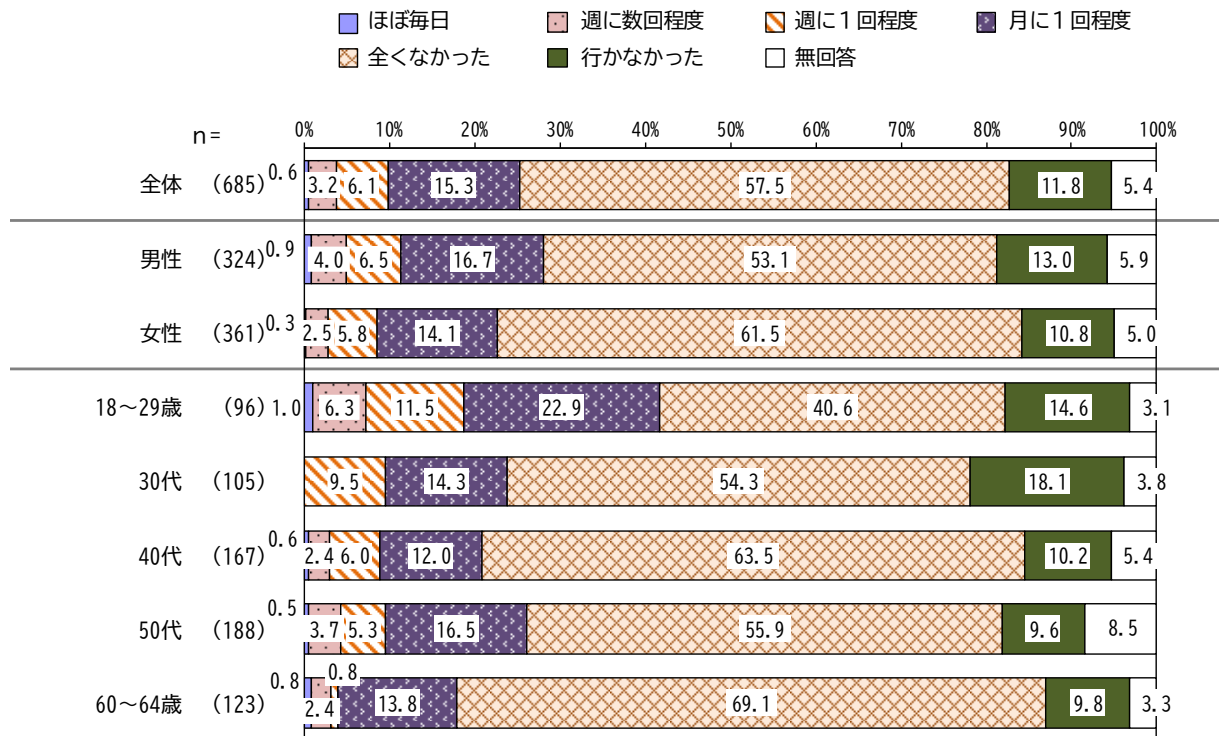


IV 18歳以上の調査結果

⑦路上

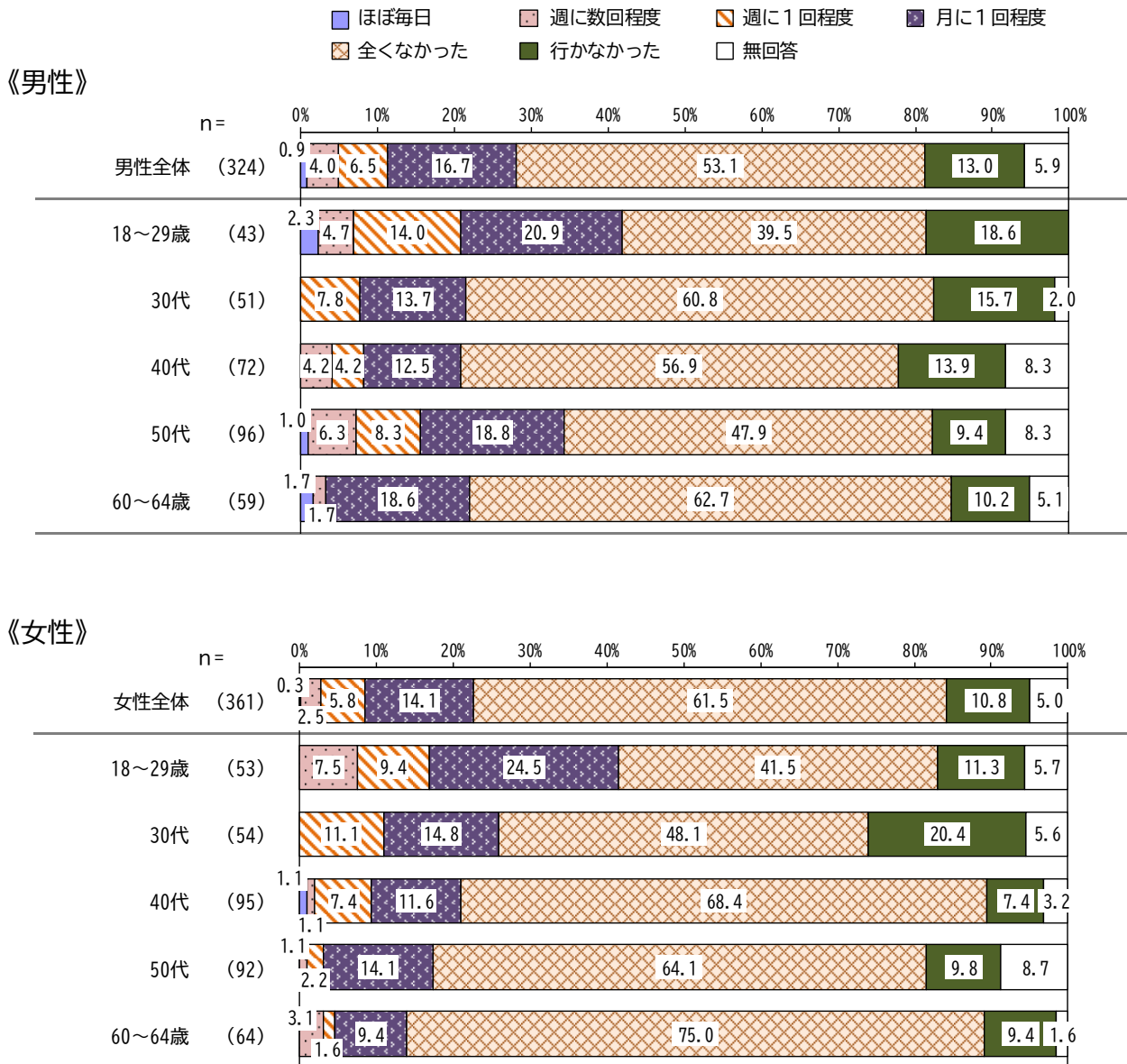
性別でみると、受動喫煙の機会は、男女ともに「月に1回程度」が1割半ば前後で高くなっています。

年齢別でみると、〔18～29歳〕では、「週に数回程度」「週に1回程度」「月に1回程度」がそれぞれ他の年齢よりも高くなっており、特に「月に1回程度」は22.9%と2割を超えています。



【性年齢別】

性年齢別で見ると、受動喫煙の機会は、男女ともに〔18～29歳〕で高くなっており、特に「月に1回程度」は男女ともに2割を超えています。また、《男性》の〔50代〕も受動喫煙の機会が高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

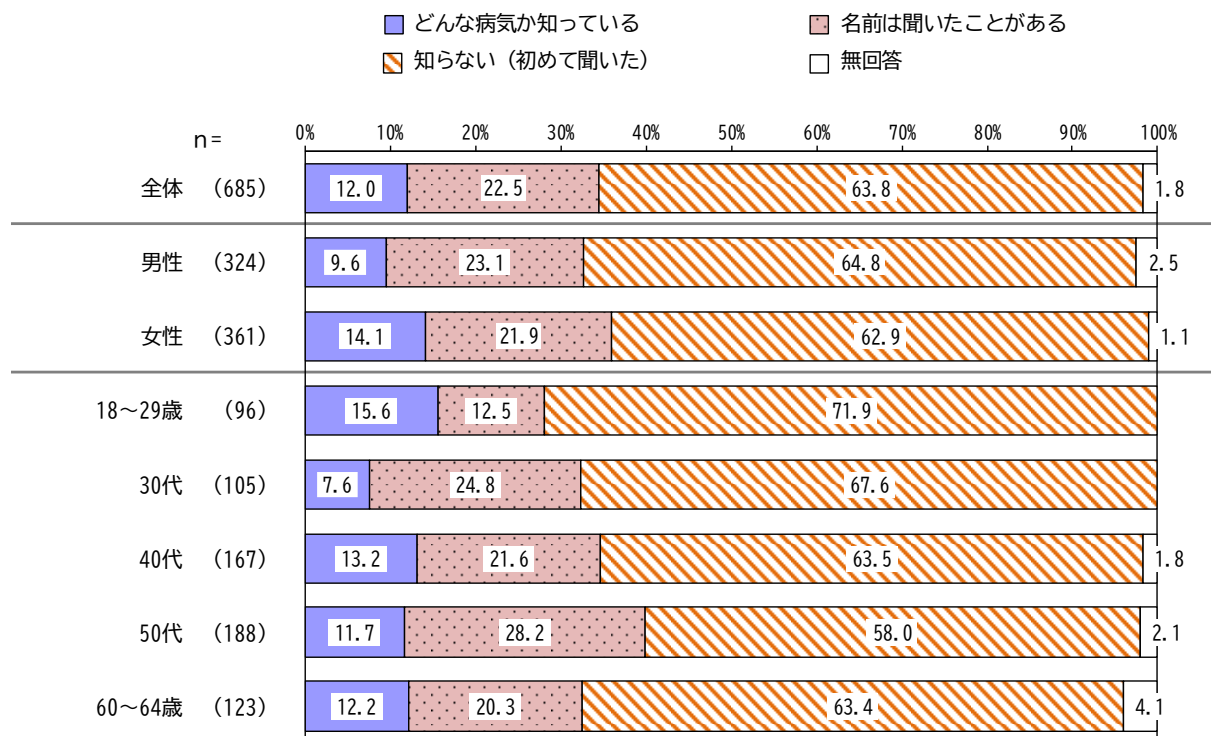
(4) COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知状況

問 32 あなたは、COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っていますか。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知状況について、「どんな病気か知っている」が9.6%、「名前は聞いたことがある」が23.1%、「知らない(初めて聞いた)」が64.8%となっています。

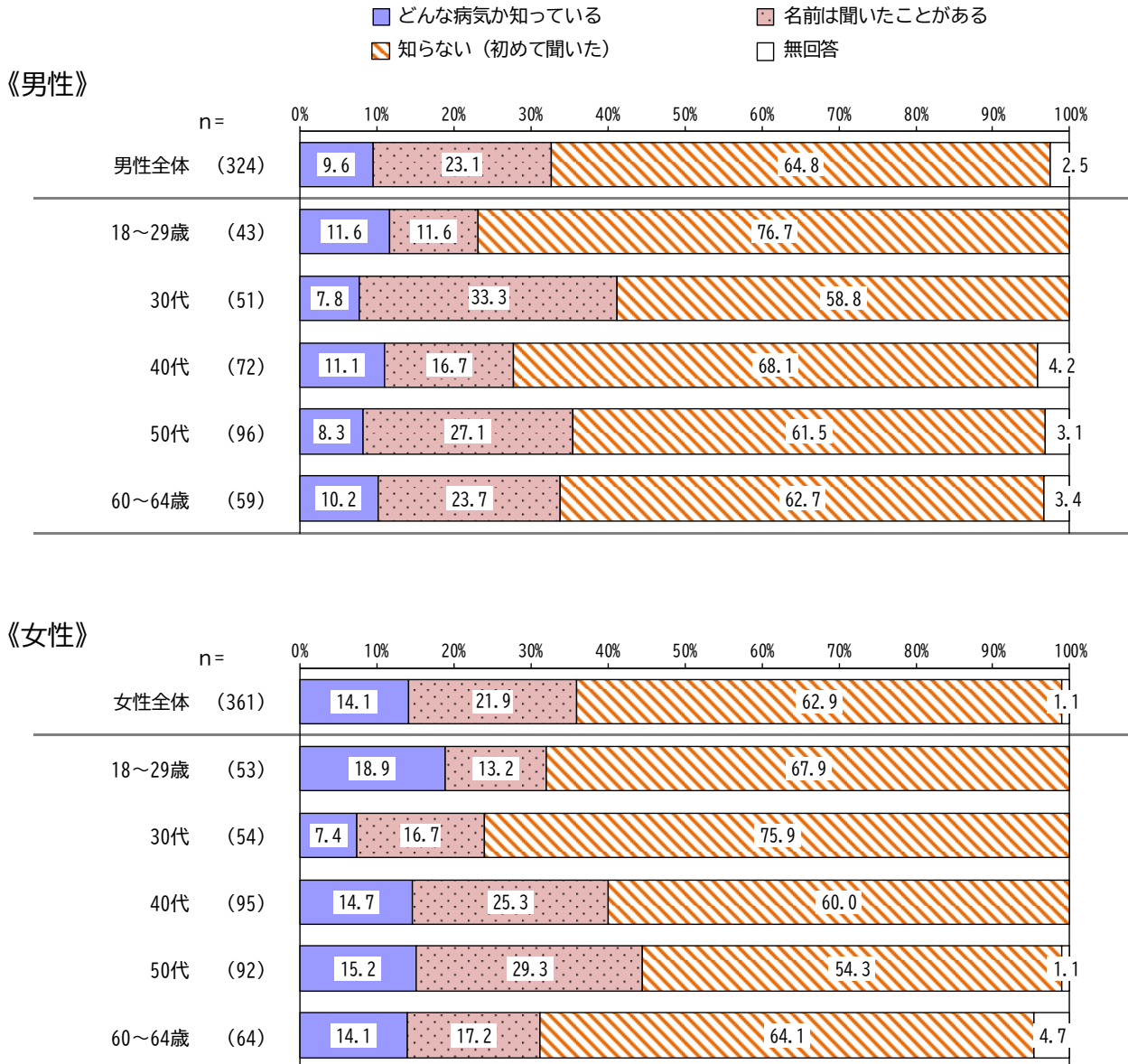
性別で見ると、「女性」の方が「男性」よりもCOPDを知っている傾向にあります。

年齢別で見ると、「どんな病気か知っている」は〔30代〕を除くいずれの年齢でも1割を超えており、「18~29歳」が15.6%と最も高くなっています。



【性年齢別】

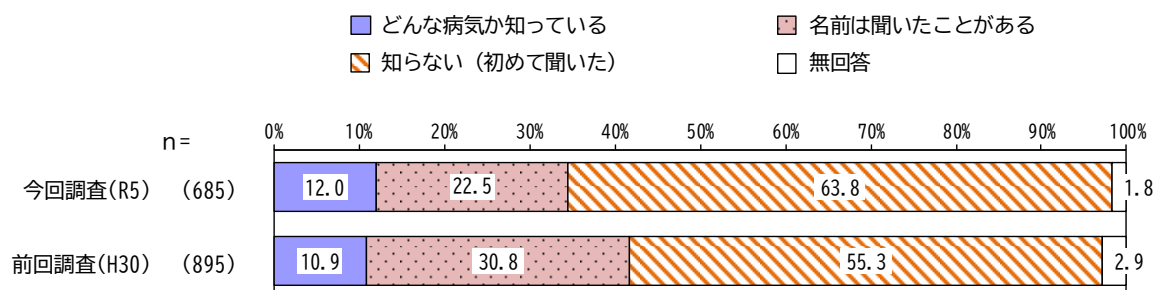
性年齢別で見ると、「どんな病気か知っている」は、男女ともに〔30代〕が1割を切って最も低くなっています。また、〔30代〕を除くいずれの年齢でも、「どんな病気か知っている」割合は《女性》が《男性》を上回っています。



IV 18歳以上の調査結果

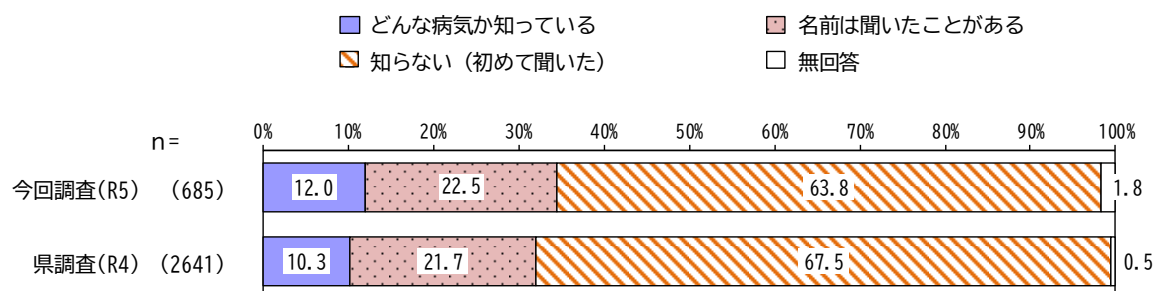
【前回比較】

前回調査と比較すると、「知らない（初めて聞いた）」は平成30年度より8.5ポイント上がっています。



【県調査比較】

静岡県の調査と比較すると、「どんな病気か知っている」「名前は聞いたことがある」ともに、静岡県全体をやや上回っています。



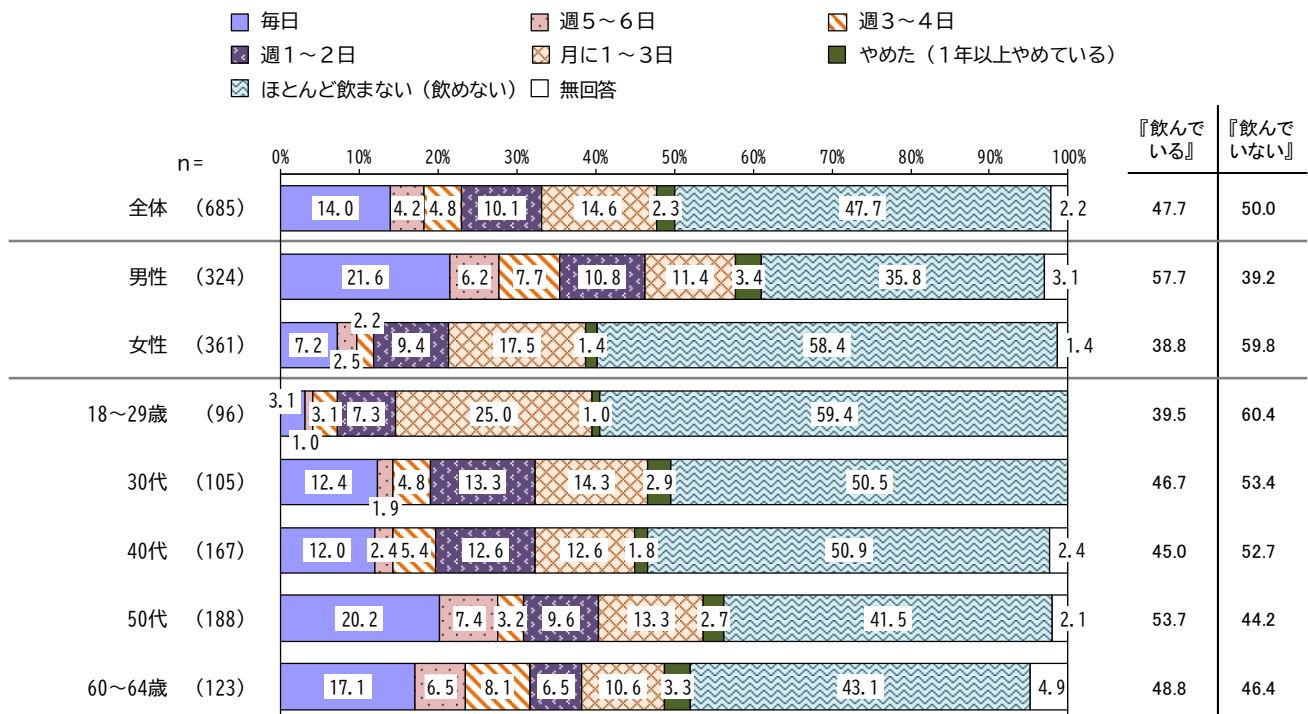
(5) 飲酒の状況

問 33 あなたは、週に何日位お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。

1週間の飲酒頻度について、「月に1～3日」が14.6%、「毎日」が14.0%、「週1～2日」が10.1%と1割をこえており、お酒を『飲んでいる』割合は47.7%と4割半ばを超えています。一方、「やめた(1年以上やめている)」と「ほとんど飲まない(飲めない)」を合わせた『飲んでいない』は50.0%と5割を占めています。

性別でみると、「男性」は「毎日」が21.6%と2割を超えており、「女性」は「月に1～3日」が17.5%と1割半ばを超えて高くなっています。また、『飲んでいる』は、「男性」が57.7%と5割半ばを超えて、「女性」(38.8%)を18.9ポイント上回っています。

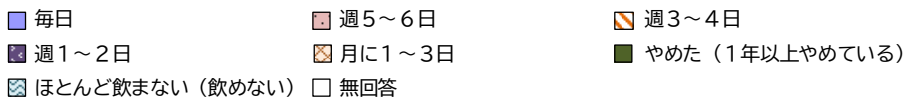
年齢別でみると、「毎日」は、「50代」で20.2%と2割を占めており、『飲んでいる』割合も、「50代」で53.7%と5割を超えて、他の年齢よりも高くなっています。



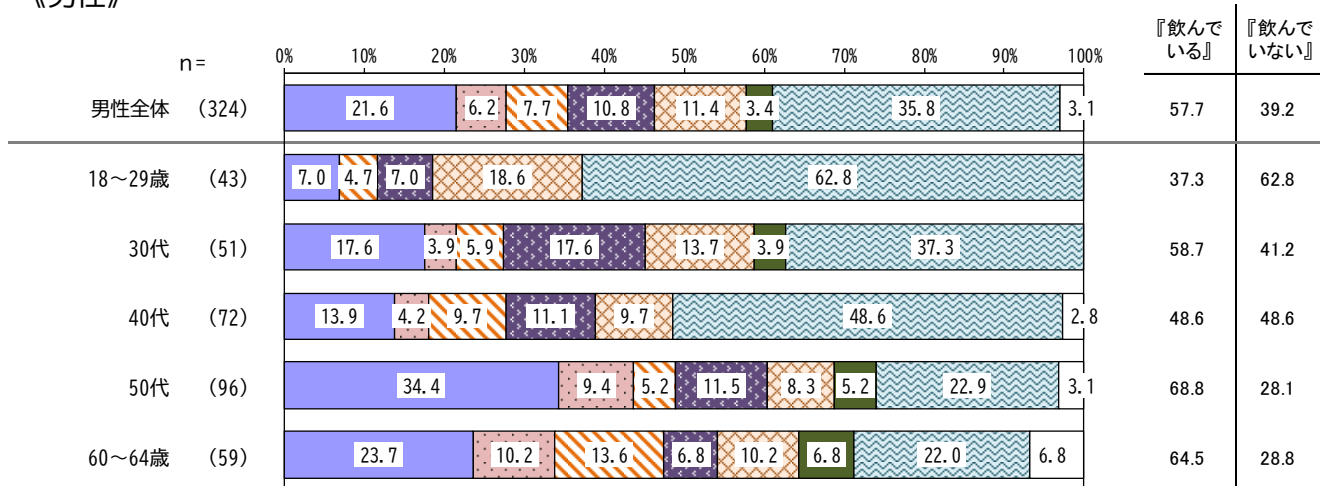
IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

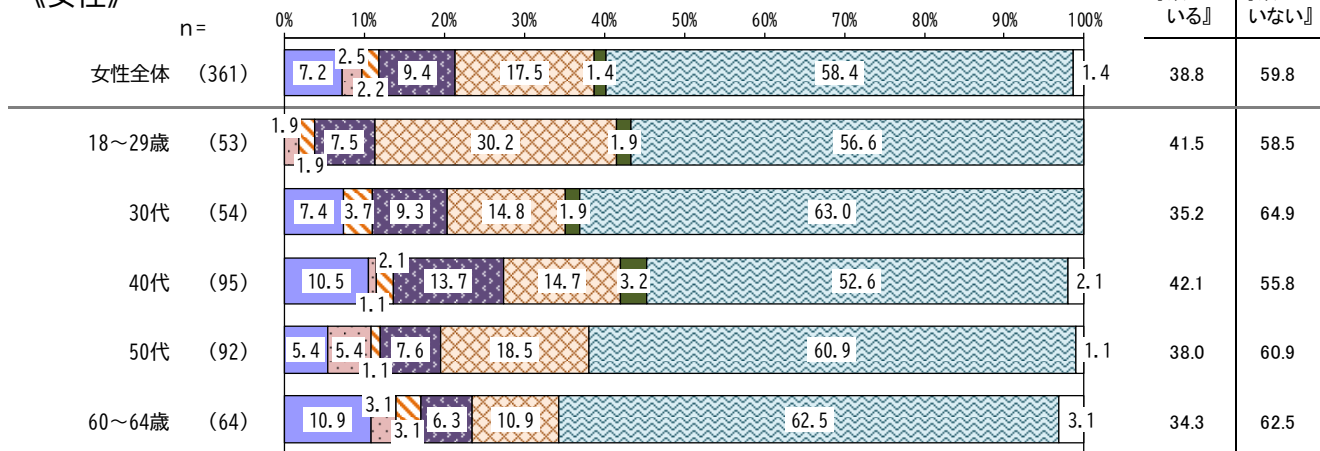
性年齢別で見ると、「毎日」は、いずれの年代も《男性》が《女性》を大きく上回っており、特に《男性》の〔50代〕では34.4%と3割半ば近くを占めて高くなっています。一方、《女性》では、「月に1～3日」飲酒する割合が高く、特に《女性》の〔18～29歳〕では30.2%と3割を占めています。



《男性》

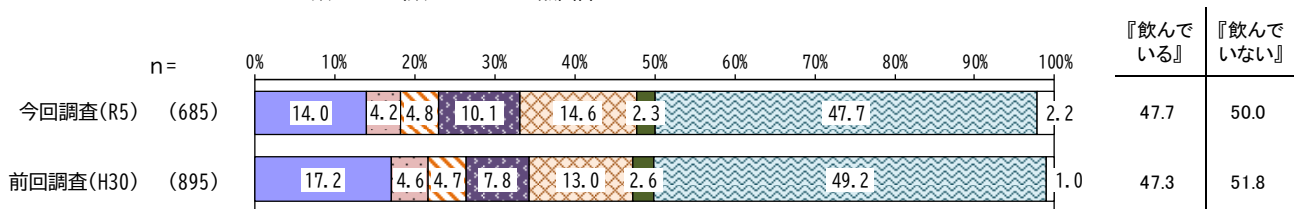
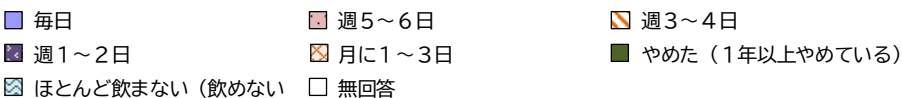


《女性》



【前回比較】

前回調査と比較すると、「毎日」は平成30年度より3.2ポイント下がっています。



(6) 飲酒量

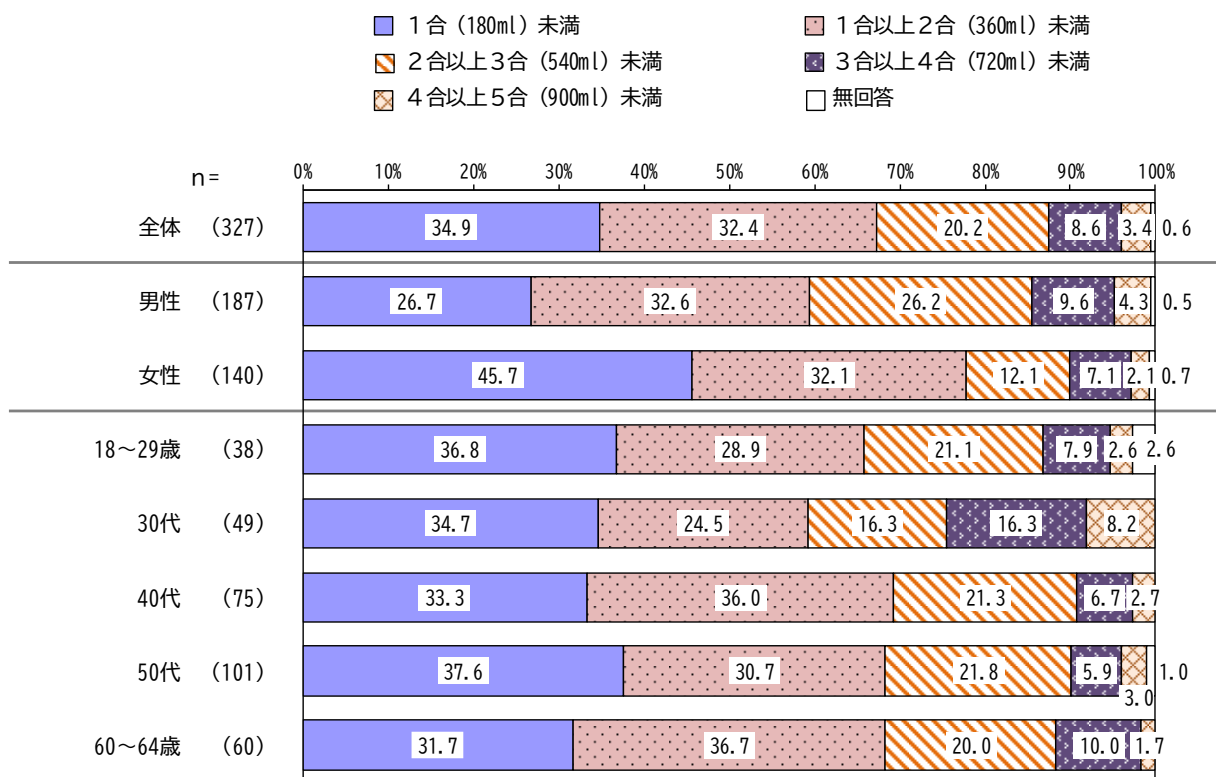
(問 33 でお酒を『飲んでいる』と回答した方)

問 33-1 お酒を飲む日は一日あたり、どれくらいの量を飲みますか。清酒に換算し、お答えください。

1日あたりの飲酒量について、「1合(180ml)未満」が34.9%、「1合以上2合(360ml)未満」が32.4%と3割を超えており、二つ合わせた『2合(360ml)未満』が67.3%と6割半ばを超えています。

性別でみると、「1合(180ml)未満」は、〔女性〕が45.7%と、〔男性〕を19.0ポイント上回っており、それ以上の飲酒量ではいずれも〔男性〕の割合が〔女性〕を上回っています。

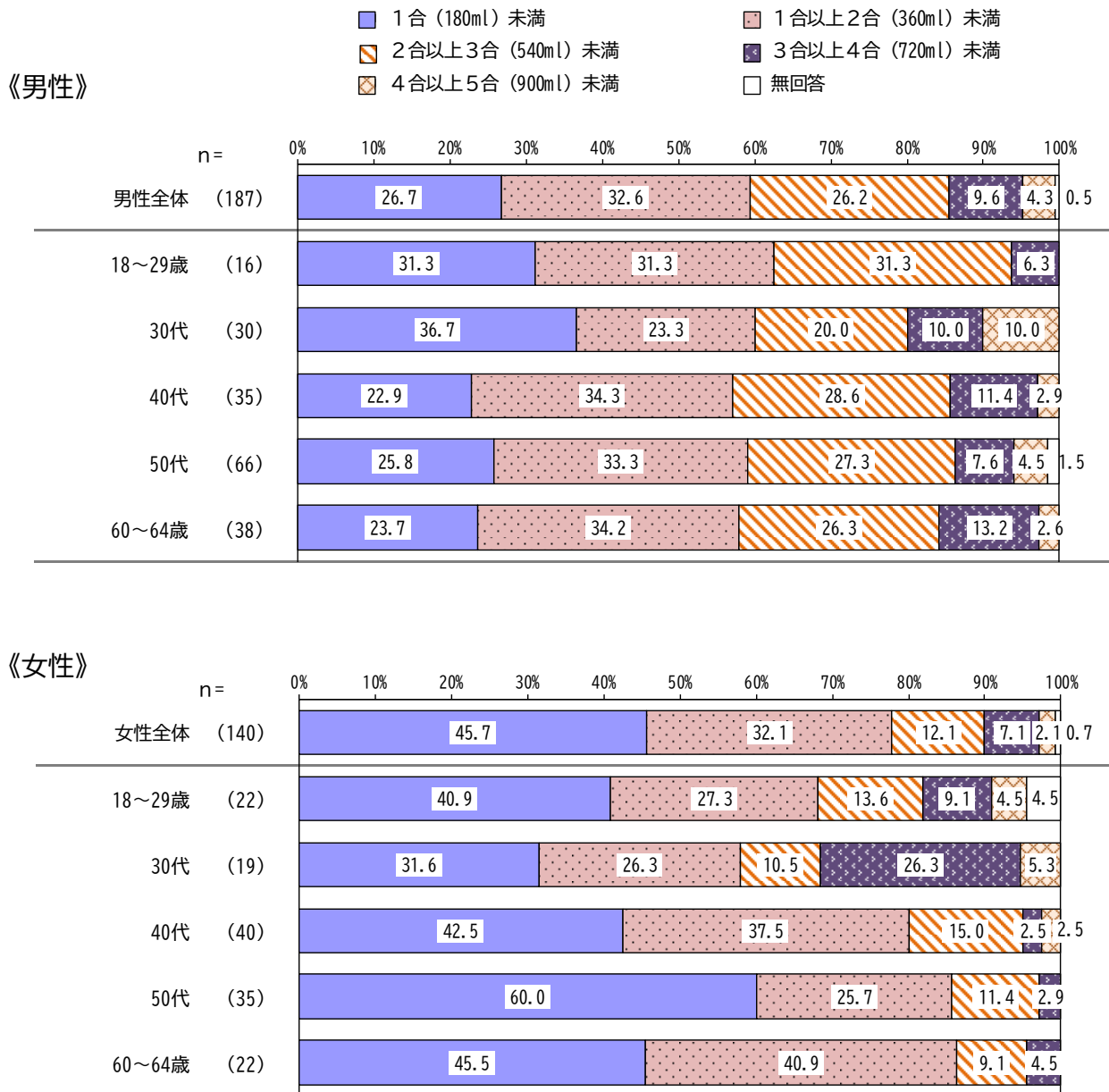
年齢別でみると、「3合以上4合(720ml)未満」と「4合以上5合(900ml)未満」はともに、〔30代〕が他の年齢よりも高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

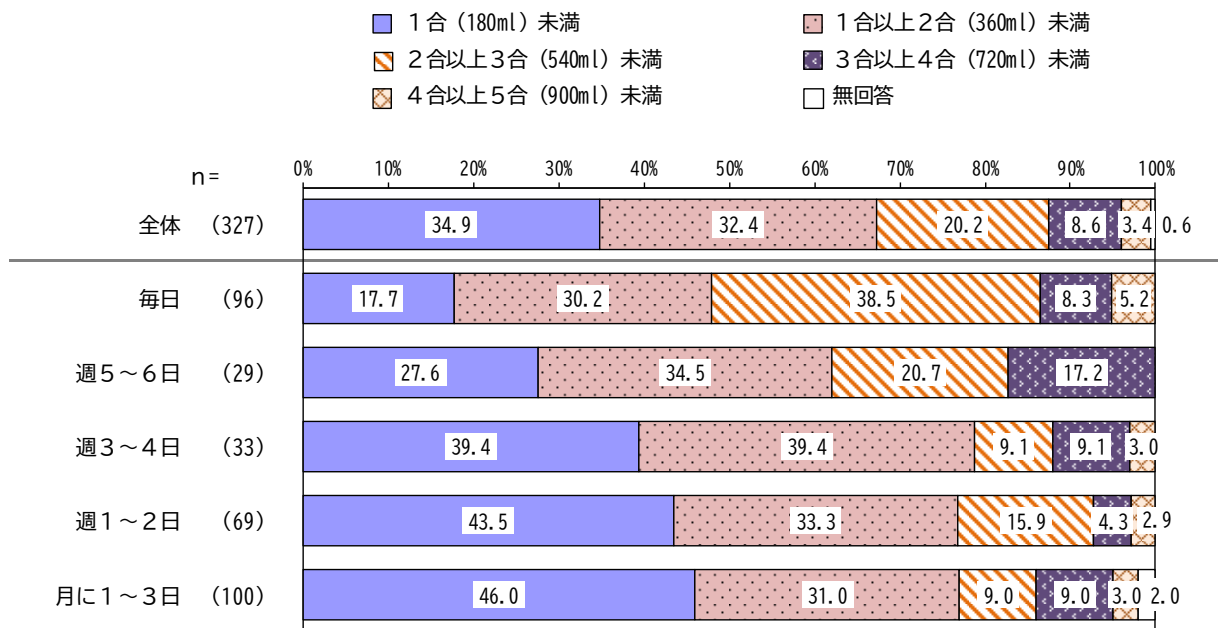
性年齢別で見ると、いずれの年齢も《男性》の方が《女性》より飲酒量が多い割合が高い傾向にあります。《女性》の〔30代〕では「3合以上4合（720ml）未満」が26.3%と2割半ばを超えており、他の年齢よりも高くなっています。



【飲酒頻度別飲酒量】

飲酒頻度別に1日あたりの飲酒量をみると、[毎日]飲酒している回答者は「2合以上3合(540ml)未満」が38.5%と4割近くで最も高くなっています。また、「4合以上5合(900ml)未満」が5.2%と他の飲酒頻度よりもやや高くなっています。[週5~6日]飲酒している回答者では、「3合以上4合(720ml)未満」が17.2%と1割半ばを超えて、他の飲酒頻度よりも高くなっています。

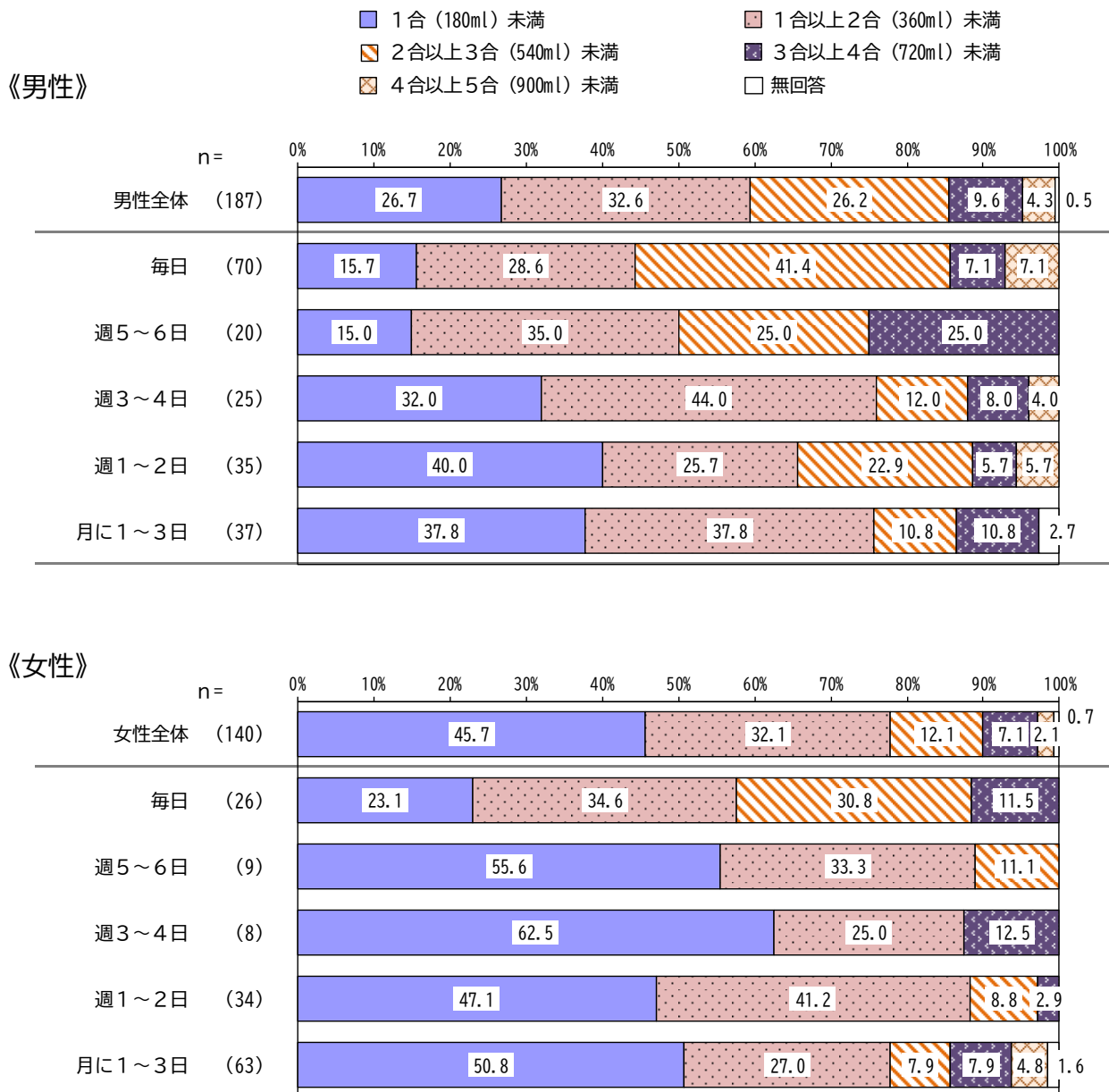
飲酒頻度が週4日以下の回答者では、『2合(360ml)未満』が7割半ばを超えており、特に飲酒頻度が低いほど「1合(180ml)未満」の割合は高くなる傾向にあります。一方、飲酒頻度が高いほど『1合(180ml)以上』の割合が高くなる傾向にあります。



IV 18歳以上の調査結果

【飲酒頻度別飲酒量・性別】

飲酒頻度別飲酒量を性別で見ると、《男性》はいずれの飲酒頻度でも6割以上が『1合（180ml）以上』飲酒しており、特に〔毎日〕と〔週5～6日〕飲酒している回答者の5割以上が『2合（360ml）以上』飲酒しています。一方、《女性》では、〔毎日〕以外の飲酒頻度で「1合（180ml）未満」が最も高く、特に〔週3～4日〕では6割を超えています。〔毎日〕飲酒する回答者では「2合以上3合（540ml）未満」が30.8%と3割を占めて、他の飲酒頻度よりも高くなっています。



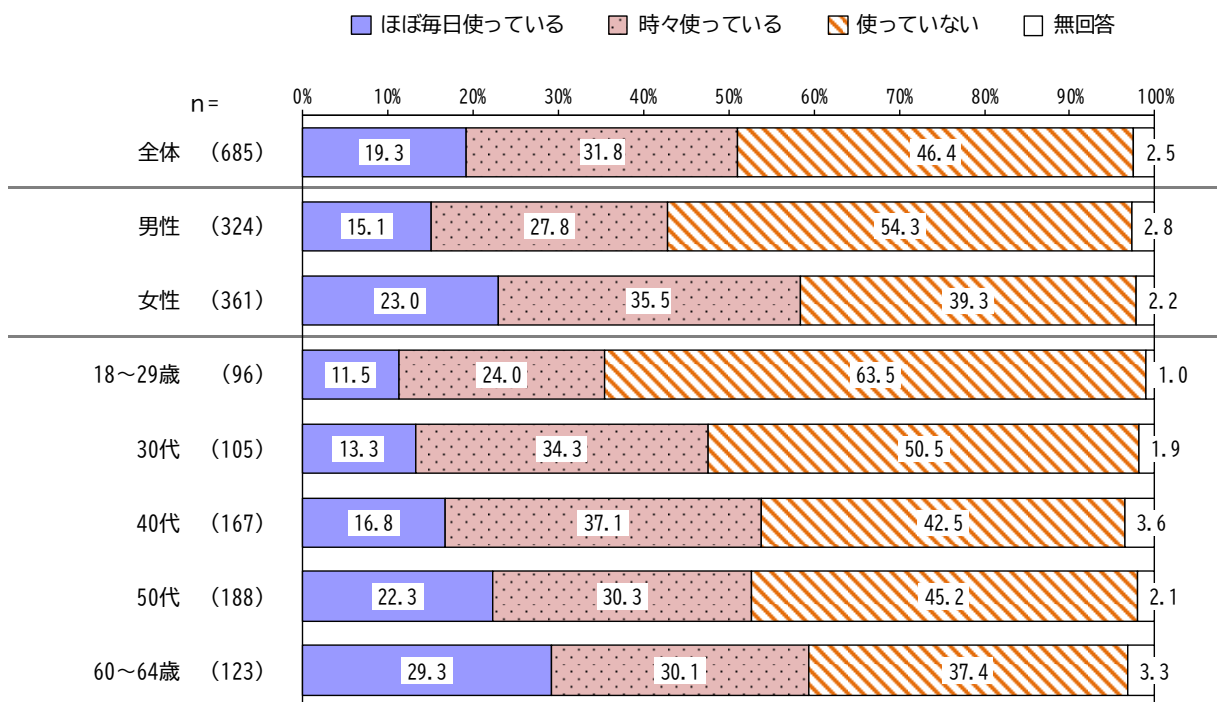
(7) 歯間清掃用具の使用状況

問 34 あなたは、デンタルフロス(糸)や歯間ブラシなど、歯と歯の間を清掃するための器具を使っていますか。

歯間清掃用具の使用状況について、「ほぼ毎日使っている」が19.3%、「時々使っている」が31.8%、「使っていない」が46.4%となっています。

性別でみると、「ほぼ毎日使っている」と「時々使っている」ともに、〔女性〕が〔男性〕を上回っています。反対に、「使っていない」は〔男性〕が54.3%と5割を超えており、〔女性〕を15.0ポイント上回っています。

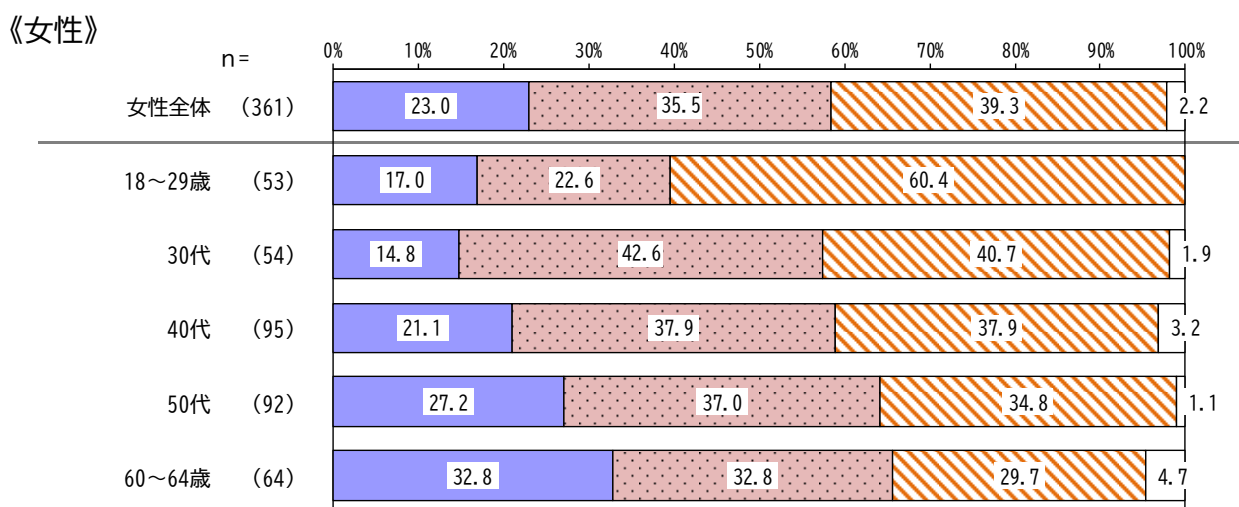
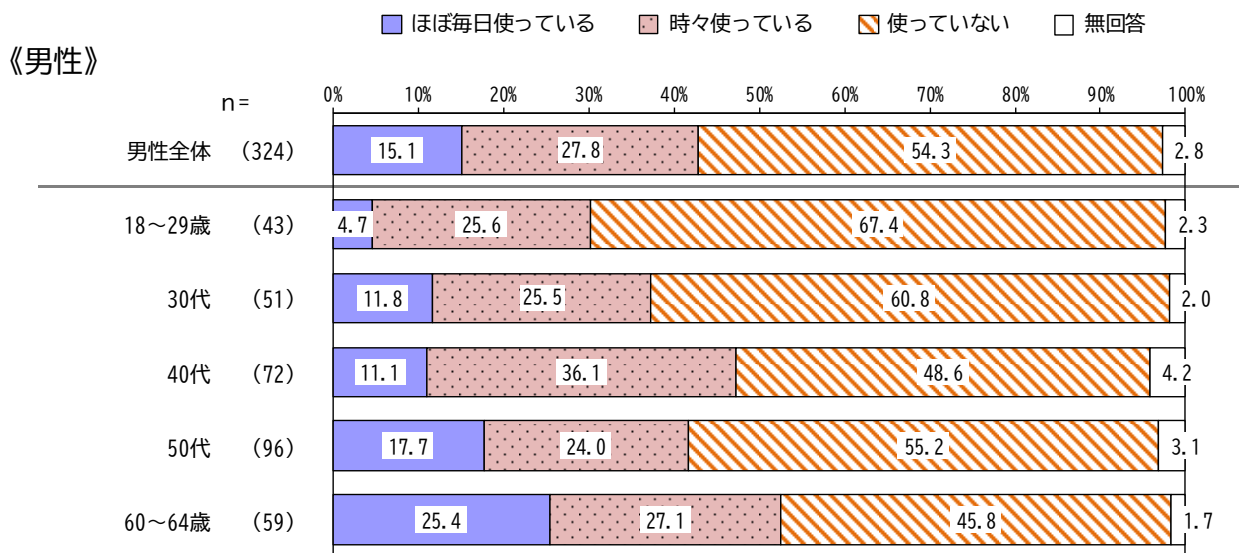
年齢別でみると、「ほぼ毎日使っている」割合は年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、50代以上の年齢で2割を超えています。また、「時々使っている」は30代以上の年齢で3割台となっています。



IV 18歳以上の調査結果

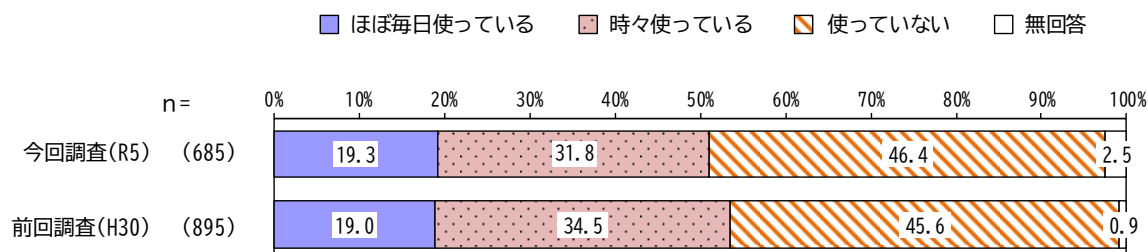
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「ほぼ毎日使っている」はいずれの年齢でも《女性》が《男性》を上回っています。また、「ほぼ毎日使っている」と「時々使っている」を合わせた『使っている』は、《男性》の〔60～64歳〕と《女性》の30代以上で5割を超えて高くなっています。



【前回比較】

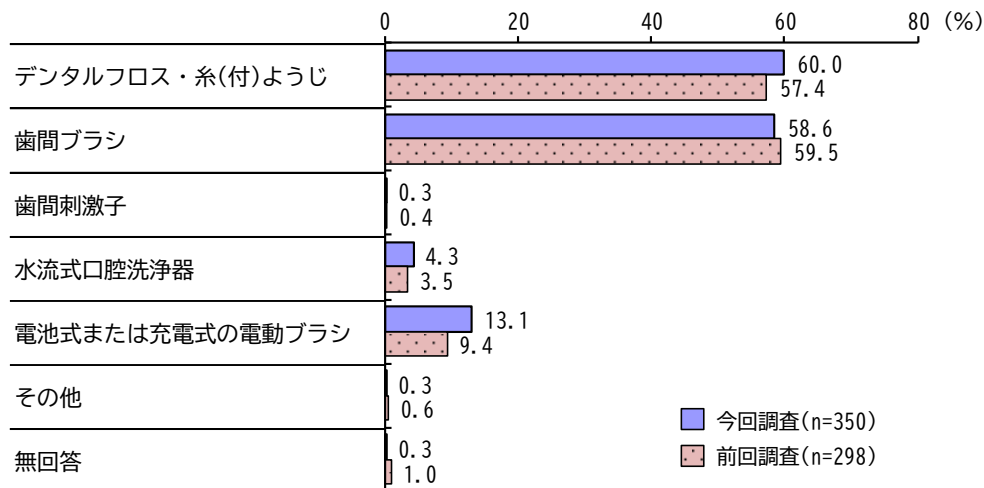
前回調査と比較すると、「時々使っている」は平成30年度より2.7ポイント下がっています。



(問 34 で「1. ほぼ毎日使っている」「2. 時々使っている」を回答した方)
 問 34-1 どんな器具を使っていますか。【複数回答】

使用している歯間清掃用具について、「デンタルフロス・糸(付)ようじ」が60.0%、「歯間ブラシ」が58.6%と6割前後で高くなっており、次いで「電池式または充電式の電動ブラシ」(13.1%)が続いています。

前回調査と比較すると、「料電池式または充電式の電動ブラシ」が平成30年度より3.7ポイント上がっていますが、全体的にあまり差はありません。

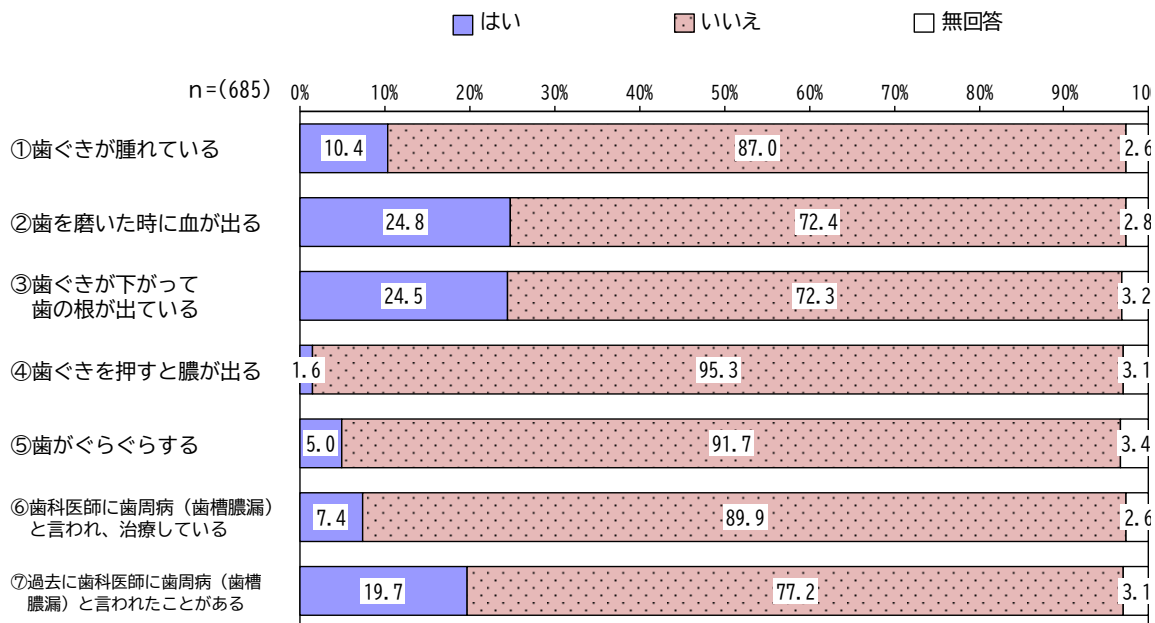


IV 18歳以上の調査結果

(8) 歯ぐきの状態

問 35 あなたの歯ぐきの状態について、お答えください。

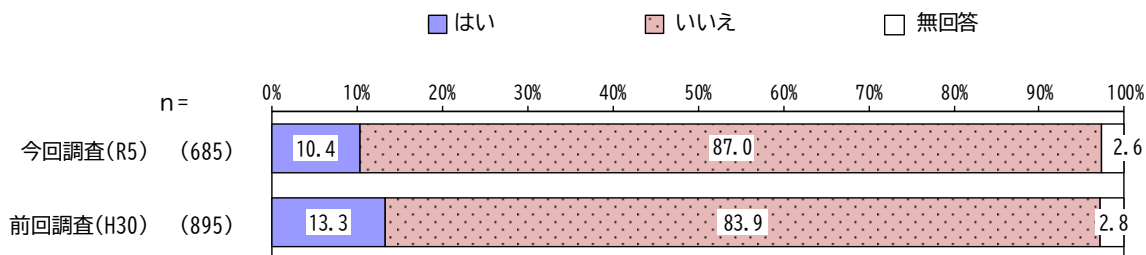
歯ぐきの状態について、〔歯を磨いた時に血が出る〕(24.8%)と〔歯ぐきが下がって歯の根が出ている〕(24.5%)がともに2割半ば近くで高く、〔過去に歯科医師に歯周病(歯槽膿漏)と言われたことがある〕も19.7%と2割を占めています。



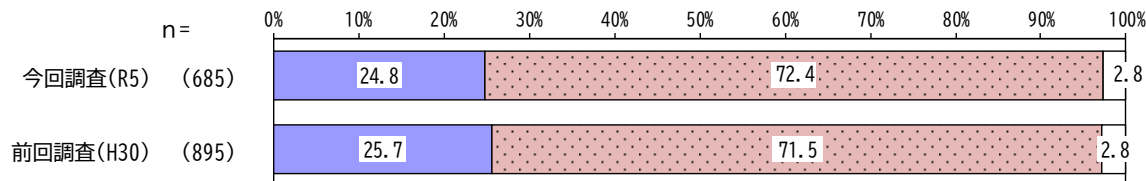
【前回比較】

前回調査と比較すると、〔過去に歯科医師に歯周病(歯槽膿漏)と言われたことがある〕が、平成30年度より5.0ポイント下がっていますが、全体的にあまり差はありません。

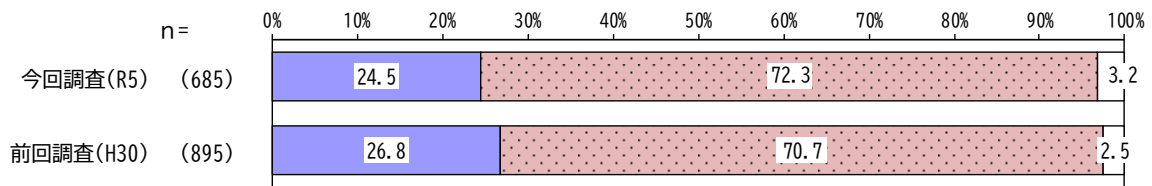
①歯ぐきが腫れている



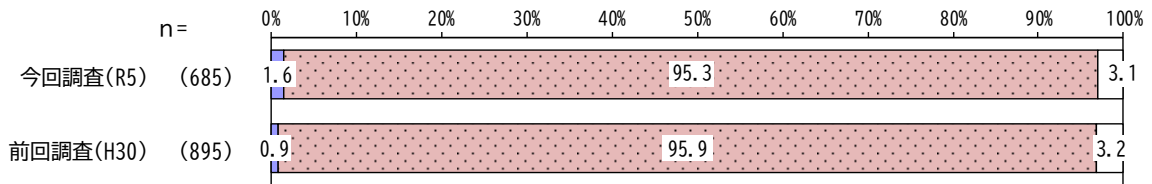
②歯を磨いた時に血が出る



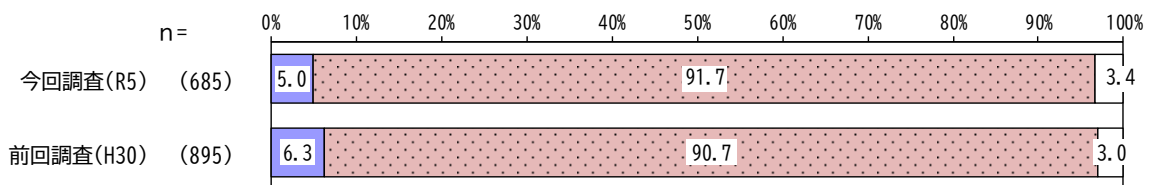
③歯ぐきが下がって歯の根が出ている



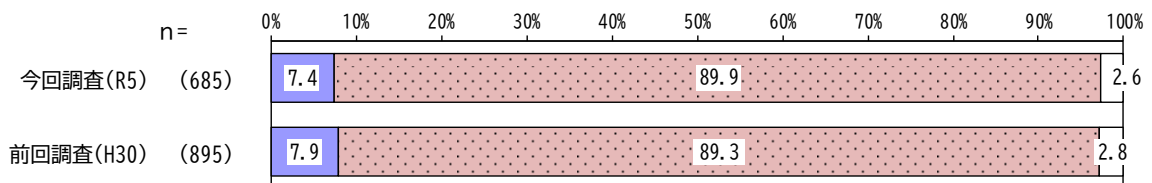
④歯ぐきを押しと膿が出る



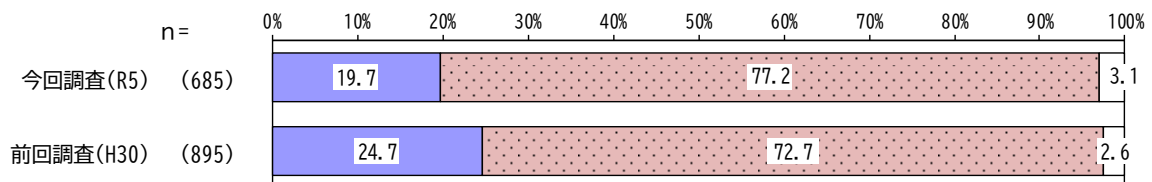
⑤歯がぐらぐらする



⑥歯科医師に歯周病（歯槽膿漏）と言われ、治療している



⑦過去に歯科医師に歯周病（歯槽膿漏）と言われたことがある



IV 18歳以上の調査結果

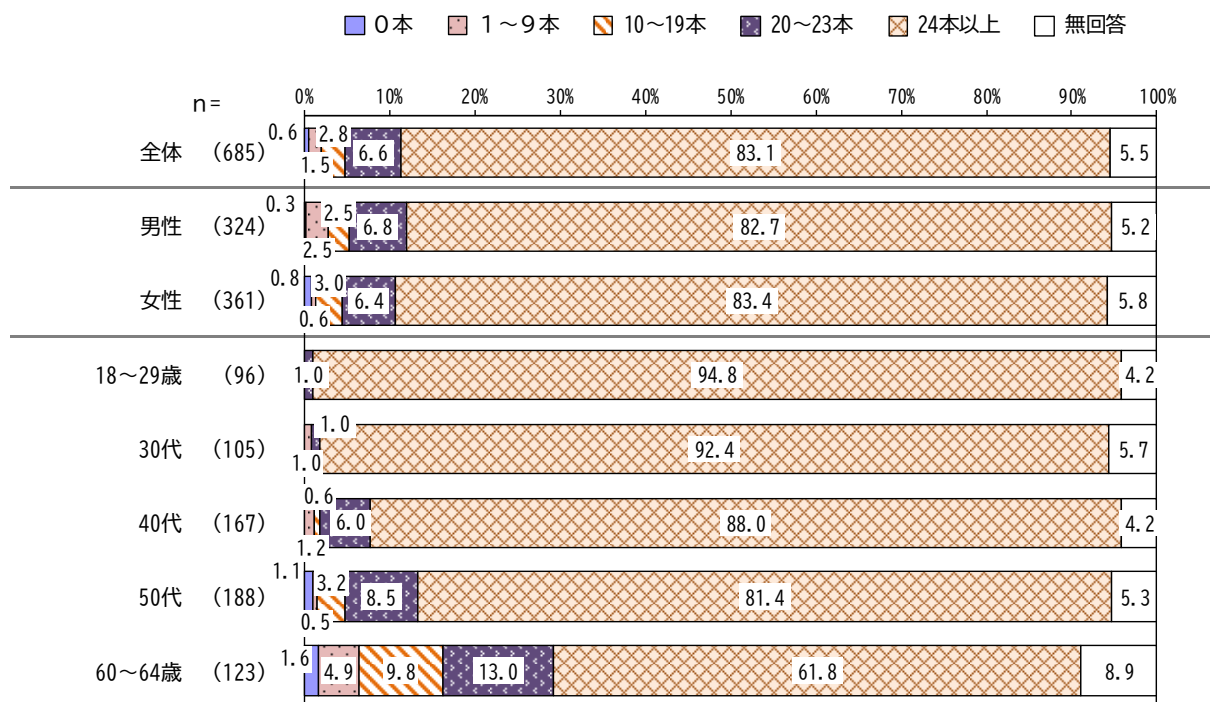
(9) 歯の本数

問 36 あなた自身の歯は何本ありますか。※親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。差し歯は含みます。

現在の歯の本数について、「24本以上」が83.1%と8割を超えて最も高く、次いで「20～23本」(6.6%)、「10～19本」(2.8%)が続いています。

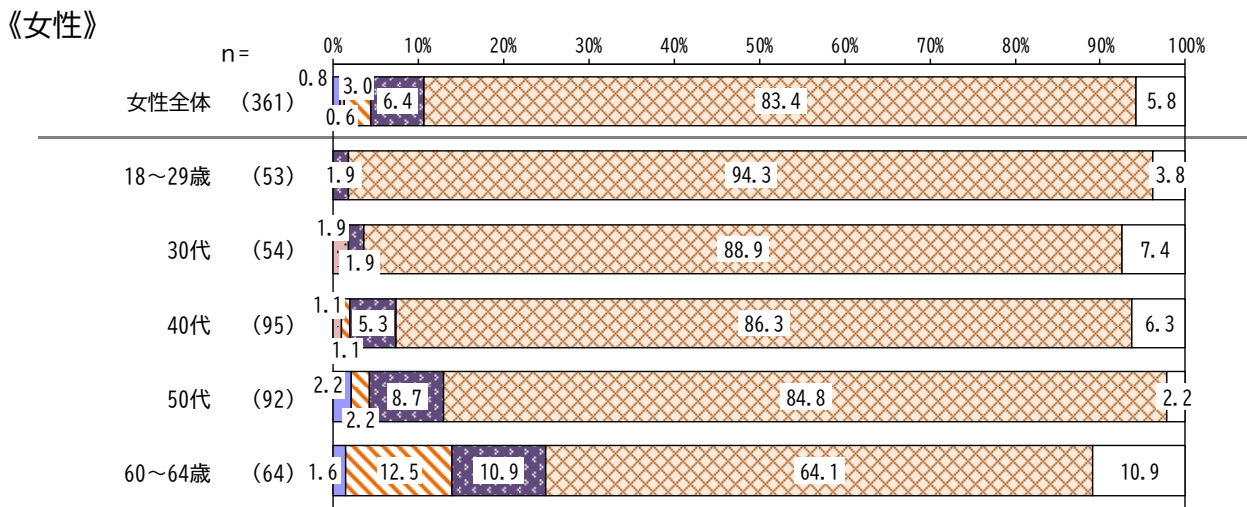
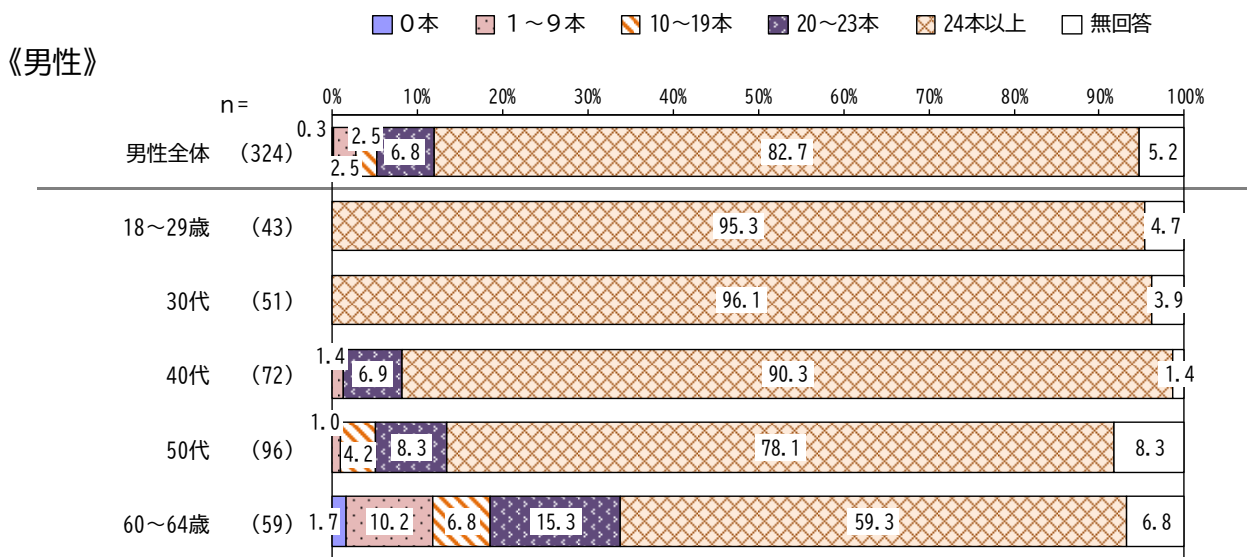
性別で見ると、あまり差はありません。

年齢別で見ると、年齢が上がるほど少ない本数の割合が高くなる傾向にあり、『20本未満』は〔60～64歳〕で16.3%と1割半ばを超えています。



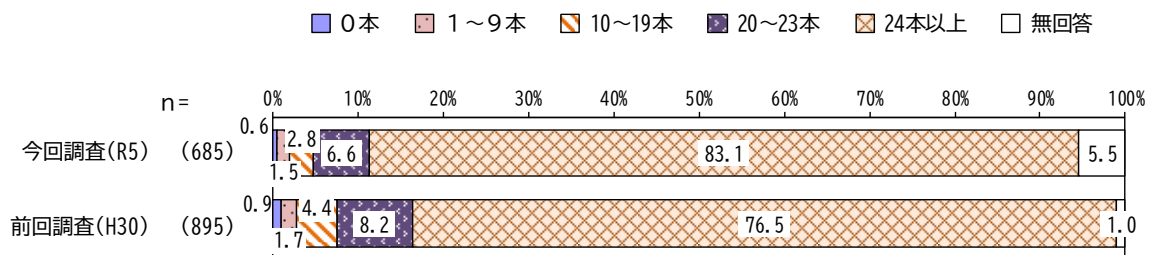
【性年齢別】

性年齢別で見ると、『20本未満』は、『男性』の〔60～64歳〕で18.7%、『女性』の〔60～64歳〕で14.1%と1割台を占めて高くなっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、『20本未満』は平成30年度より2.1ポイント下がっています。



IV 18歳以上の調査結果

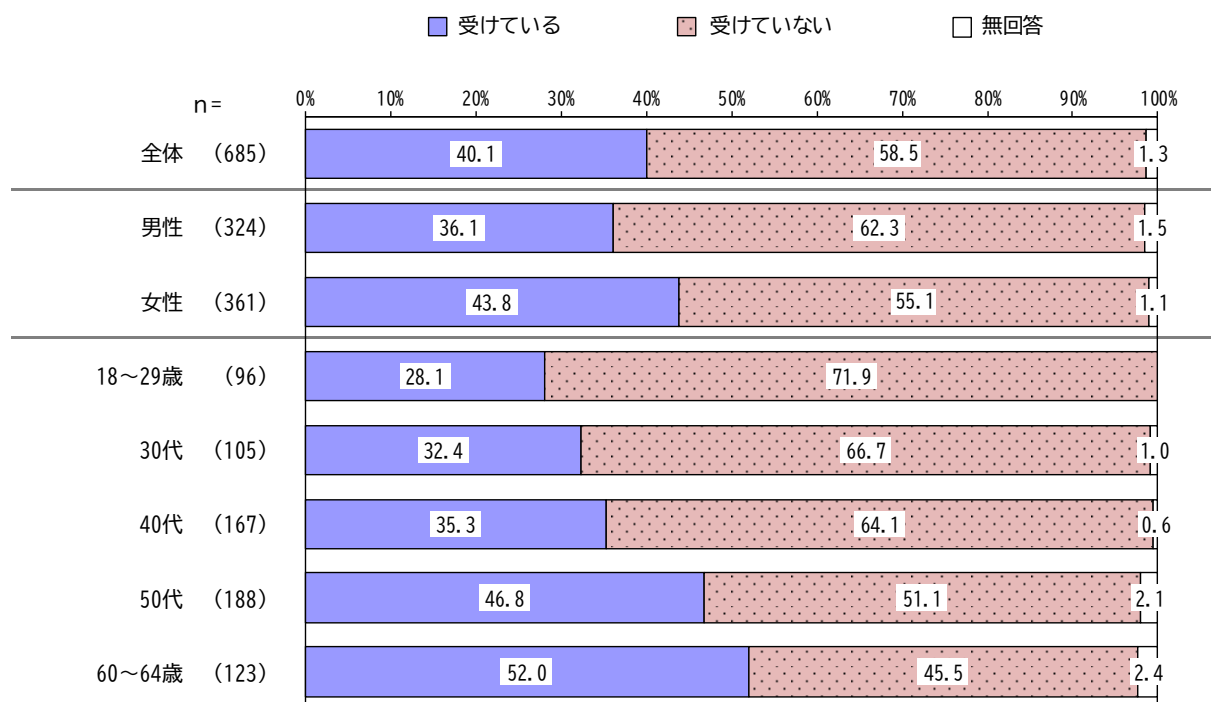
(10) 歯科健診の受診状況

問 37 あなたは、1年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか。

1年に1回以上定期的に歯科健診を受けているかについて、「受けている」が40.1%、「受けていない」が58.5%となっています。

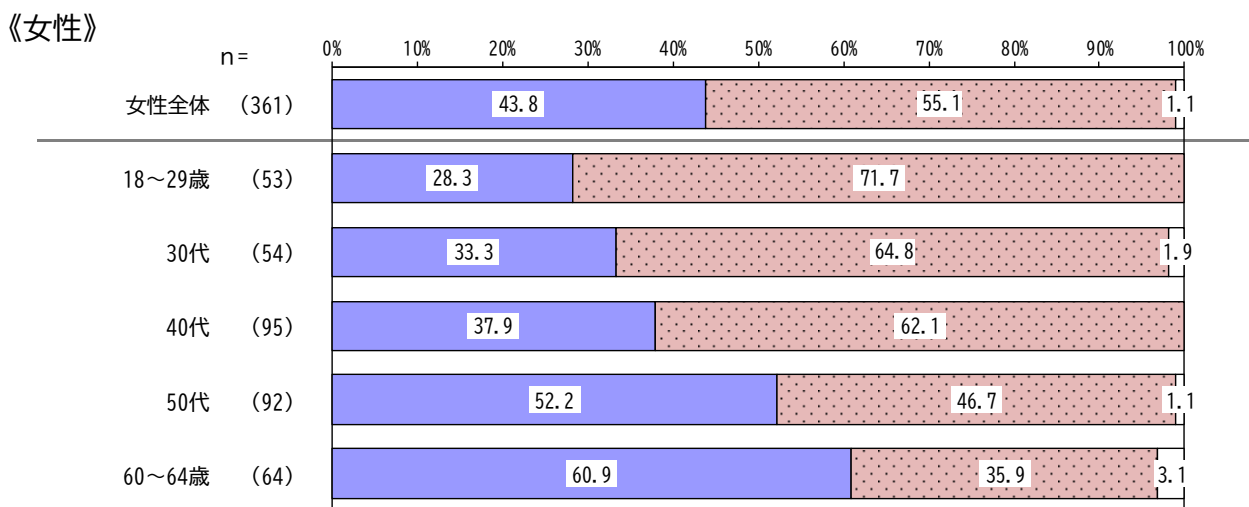
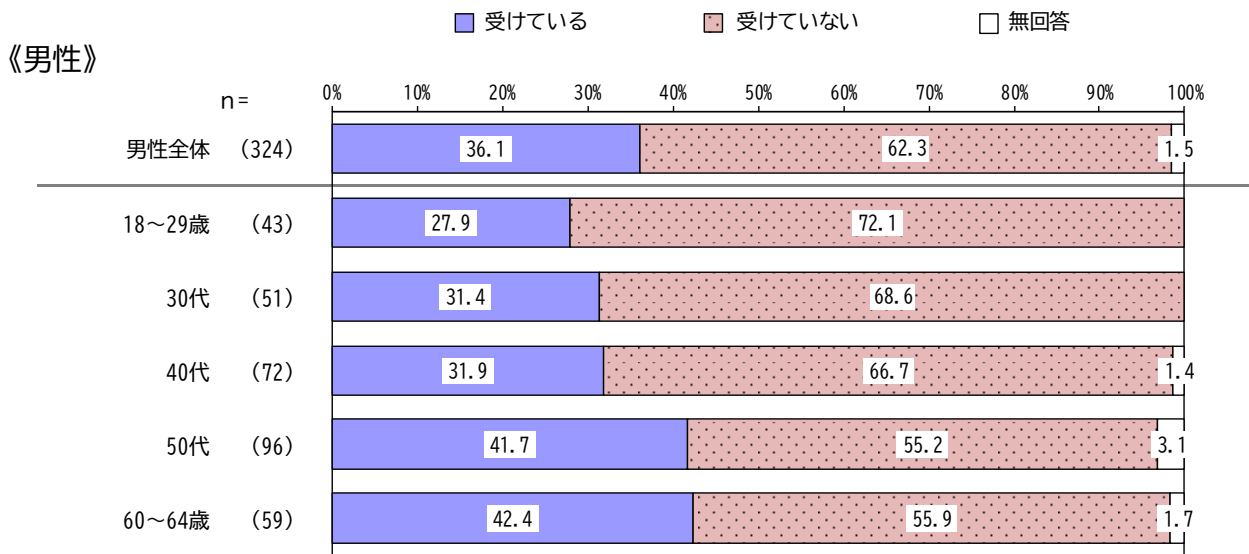
性別でみると、「受けている」は、〔女性〕が43.8%と4割を超えて、〔男性〕（36.1%）を7.7ポイント上回っています。

年齢別でみると、「受けている」は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、〔60～64歳〕では52.0%と5割を超えて高くなっています。



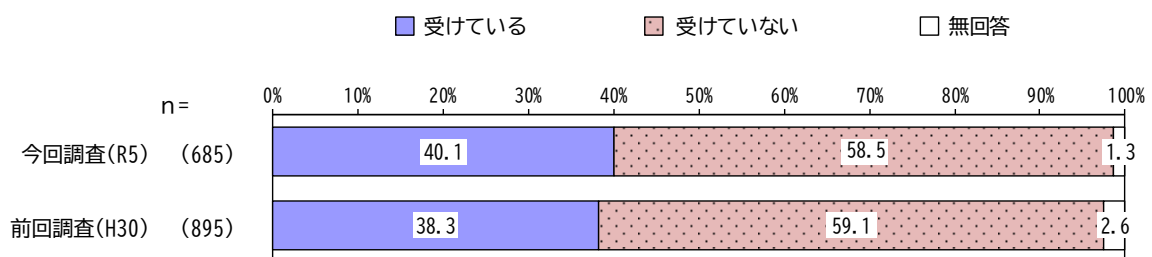
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「受けている」割合はいずれの年齢でも、《女性》が《男性》を上回っており、特に《女性》の50代以上は5割を超えています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「受けている」は平成30年度より1.8ポイント上がっています。

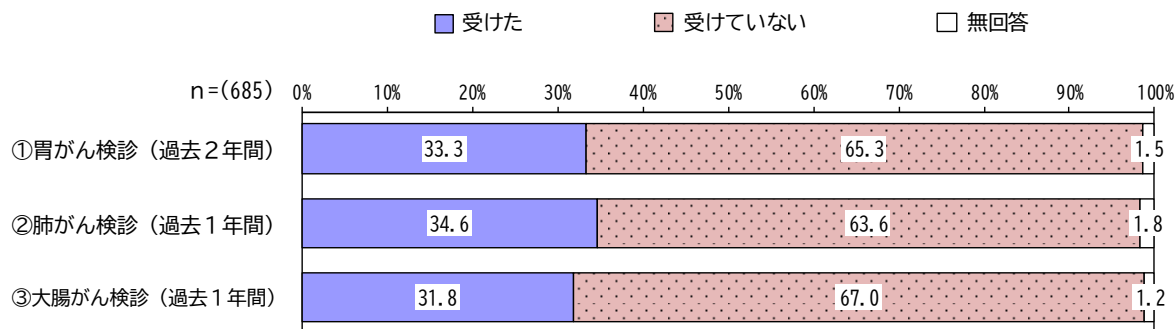


IV 18歳以上の調査結果

(11) がん検診の受診状況

問 38 あなたは、過去1年間(胃がんに限り過去2年間)に胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。

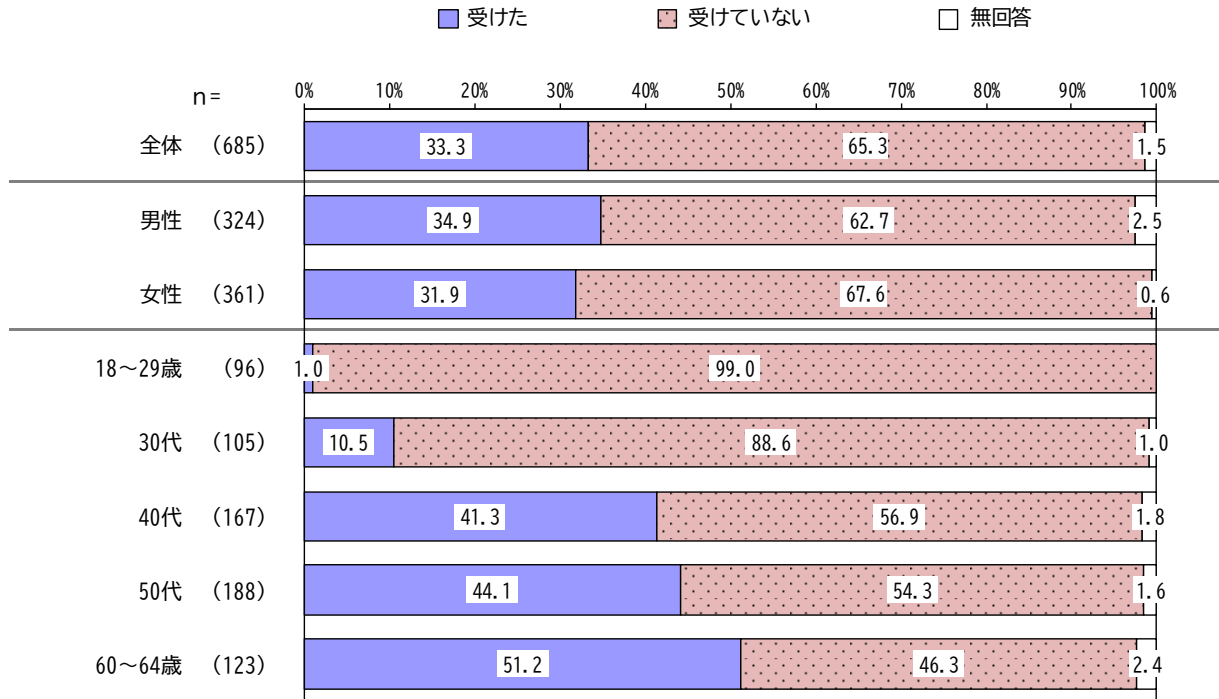
過去1年間(胃がんに限り過去2年間)受けたがん検診について、いずれのがん検診も「受けた」割合が3割台となっています。



①胃がん検診（過去2年間）

性別でみると、「受けた」は、〔男性〕が〔女性〕を3.0ポイント上回っています。

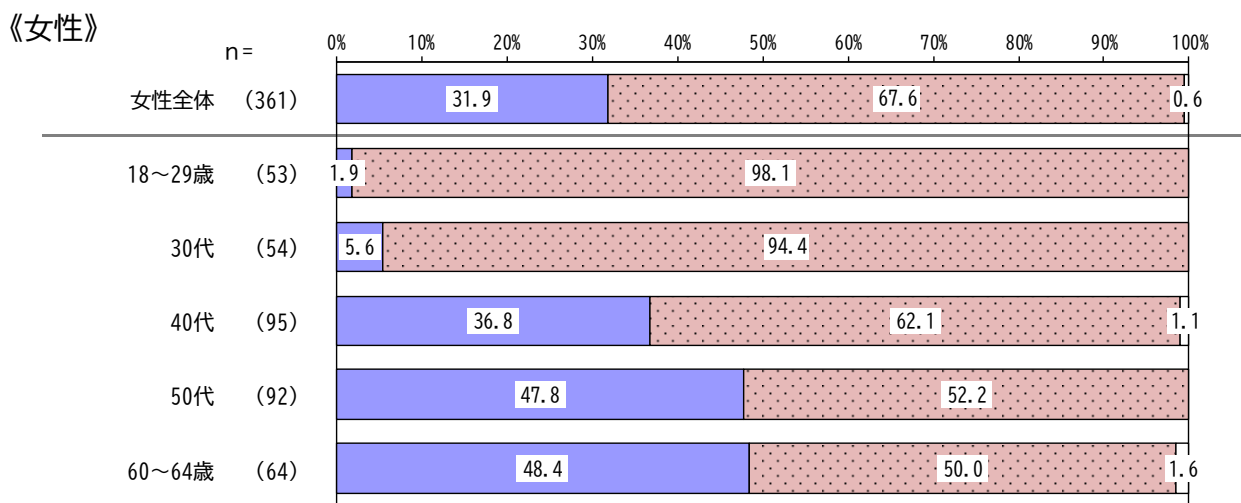
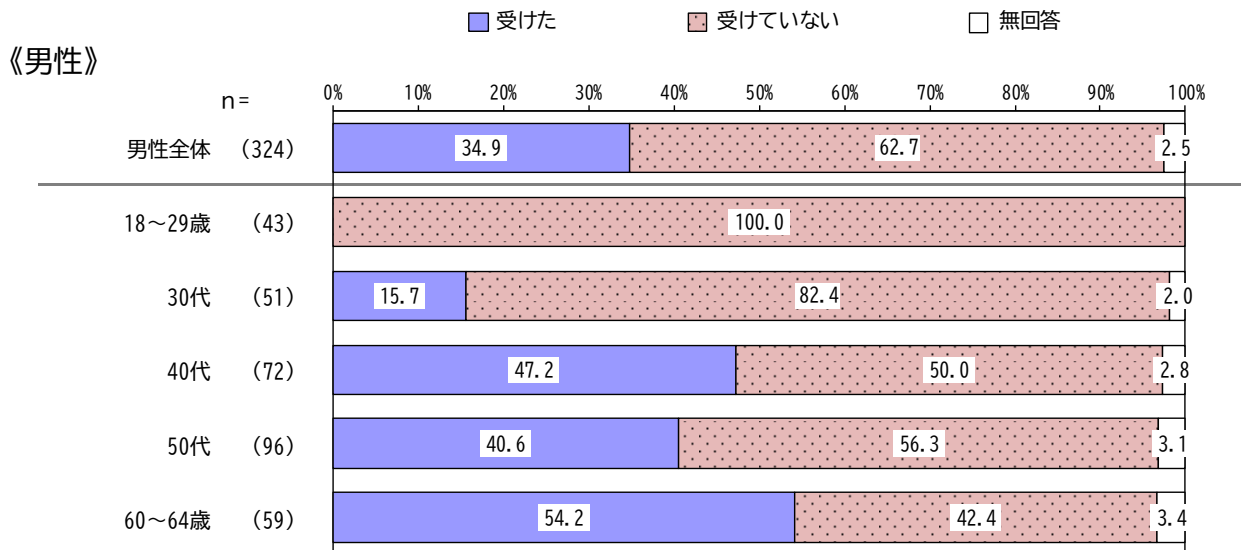
年齢別でみると、「受けた」は、40代以上で4割を超えており、特に〔60～64歳〕では51.2%と5割を超えて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

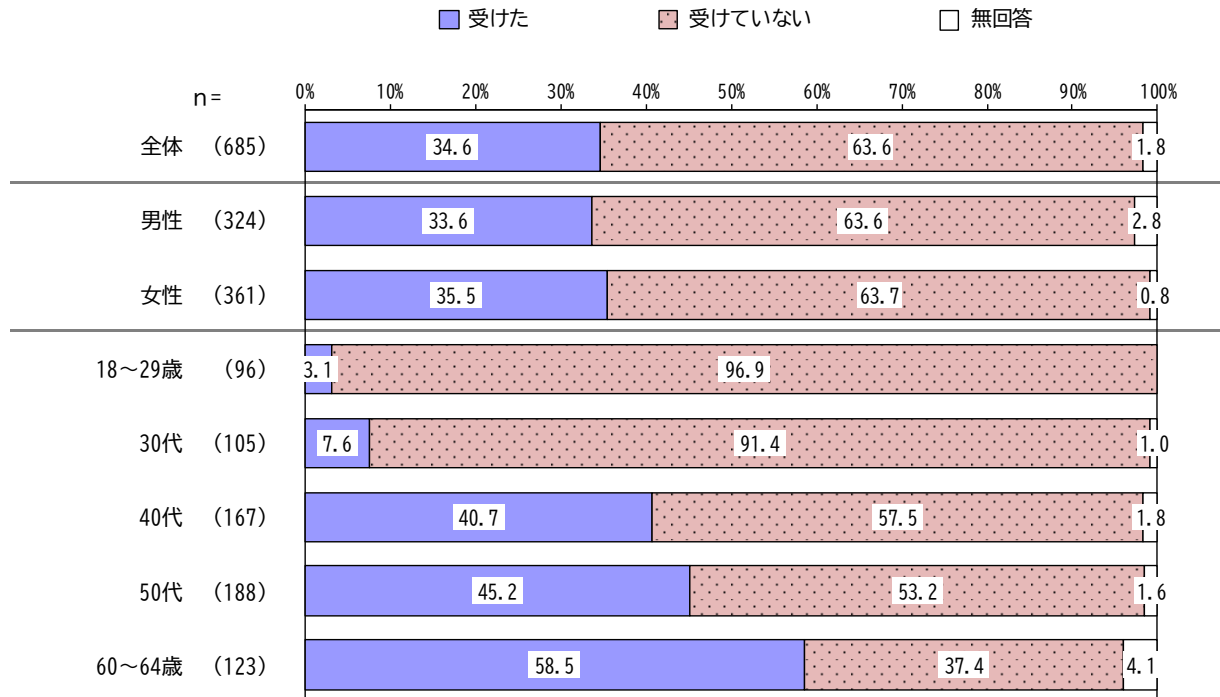
性年齢別で見ると、「受けた」は、男女ともに40代から高くなっており、特に《男性》の〔60～64歳〕で54.2%と5割を超えて、他の年齢よりも高くなっています。



②肺がん検診（過去1年間）

性別でみると、「受けた」は、〔女性〕が〔男性〕を1.9ポイント上回っています。

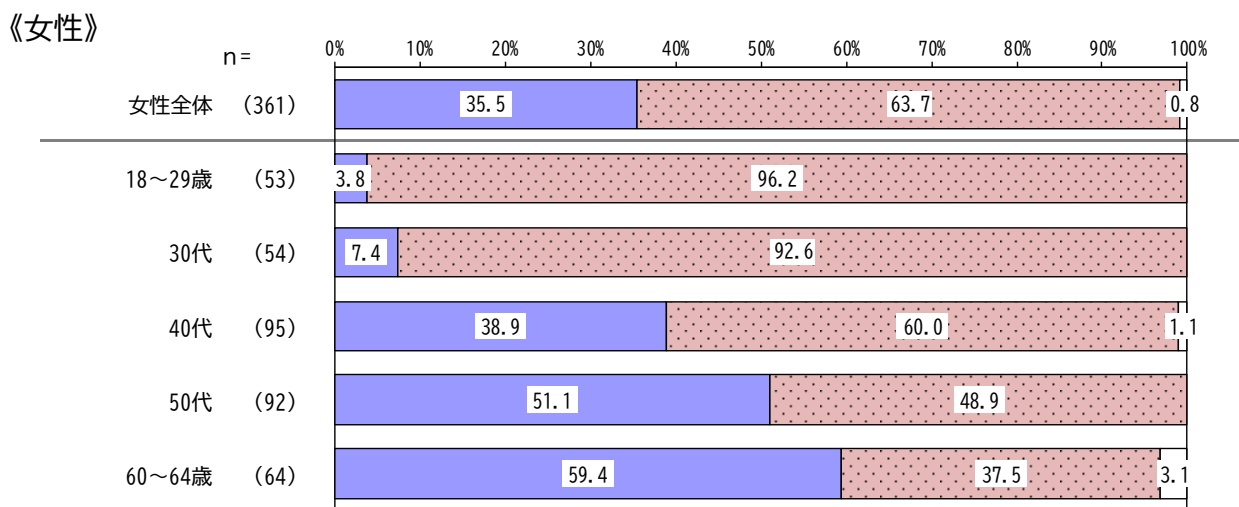
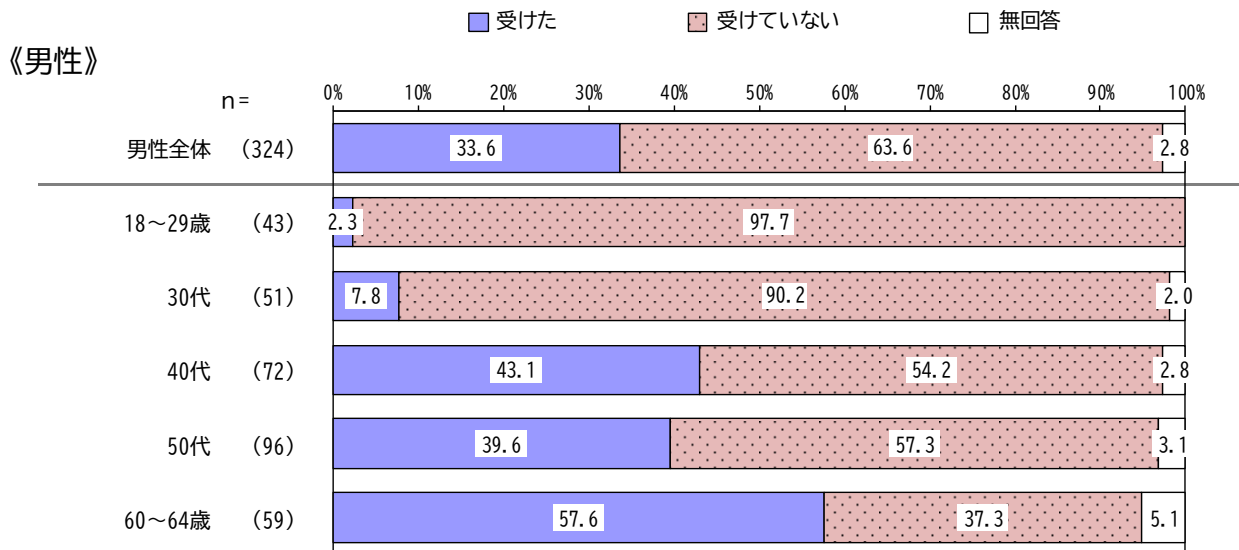
年齢別でみると、「受けた」は、40代以上で4割を超えており、特に〔60～64歳〕では58.5%と6割近くで高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

【性年齢別】

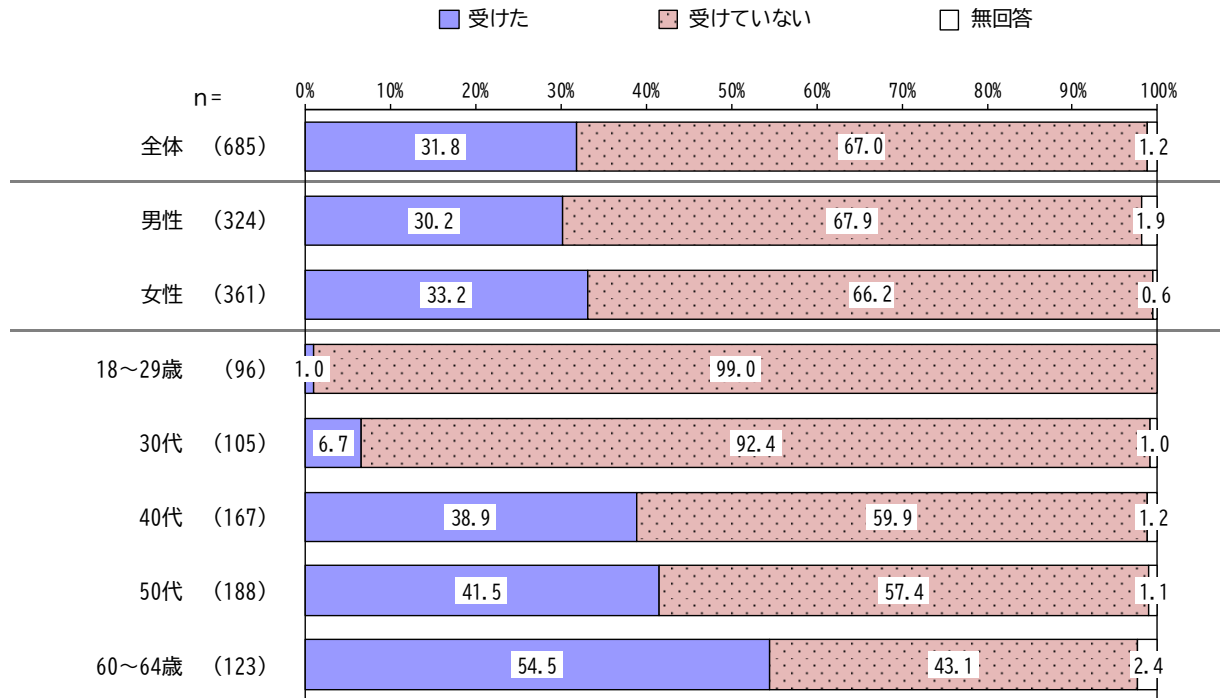
性年齢別でみると、「受けた」は、男女ともに40代から高くなっており、特に《男性》の〔60～64歳〕と《女性》の50代以上の年齢で5割を超えて高くなっています。



③大腸がん検診（過去1年間）

性別で見ると、「受けた」は、〔女性〕が〔男性〕を3.0ポイント上回っています。

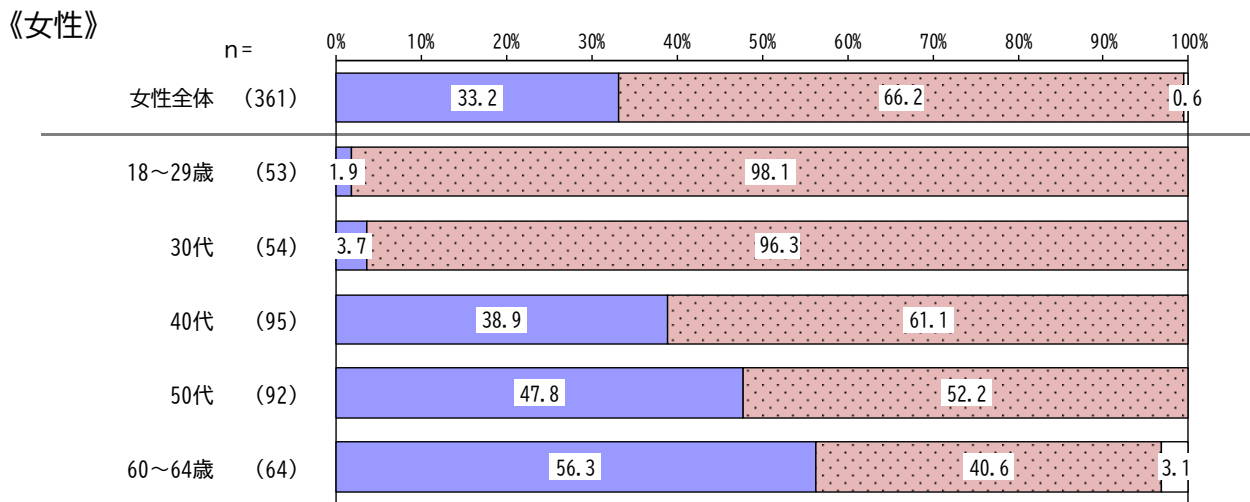
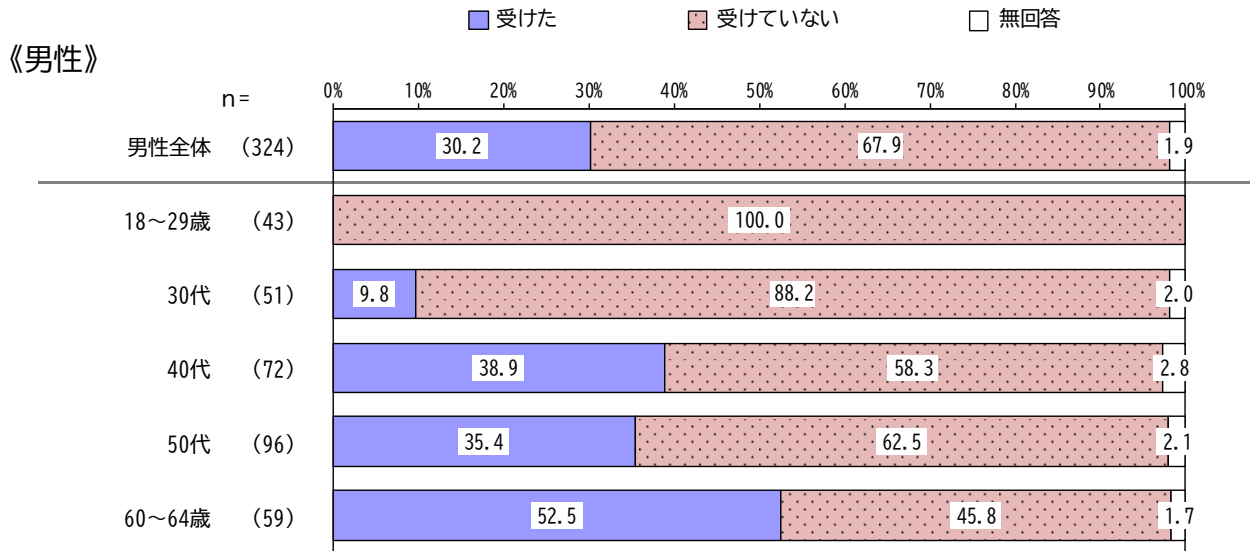
年齢別で見ると、「受けた」は、40代以上で3割半ばを超えており、特に〔60～64歳〕では54.5%と5割半ば近くを占めて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

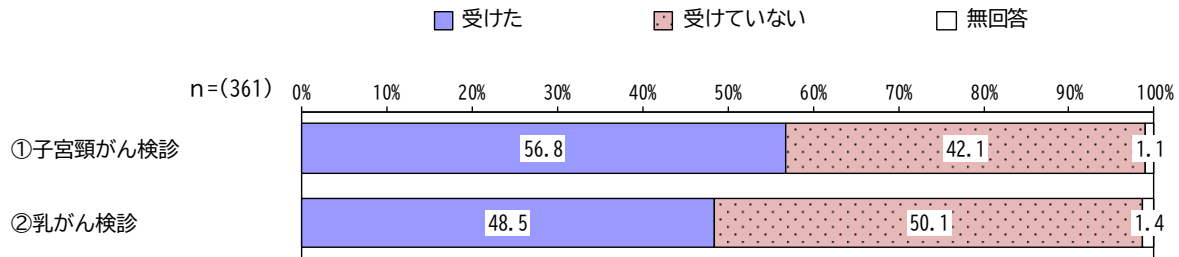
【性年齢別】

性年齢別でみると、「受けた」は、男女ともに40代から高くなっており、特に〔60～64歳〕では男女ともに5割を超えています。



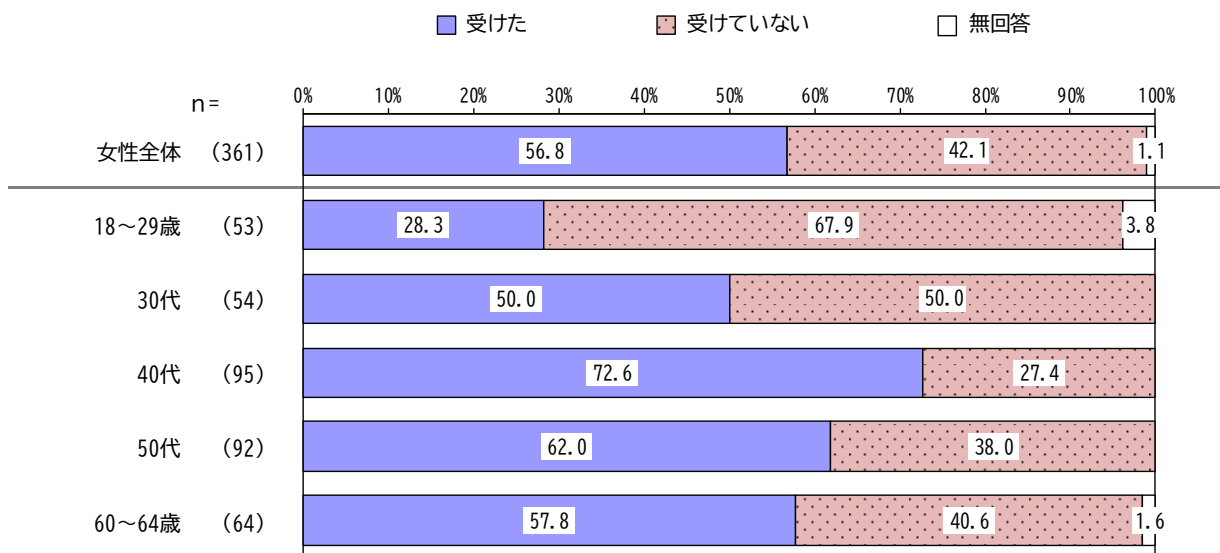
問 39 あなたは、過去2年間に子宮頸がん検診・乳がん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。【女性のみ】

過去2年間受けた子宮頸がん検診・乳がん検診について、「受けた」は、〔子宮頸がん検診〕が56.8%、〔乳がん検診〕が48.5%となっています。



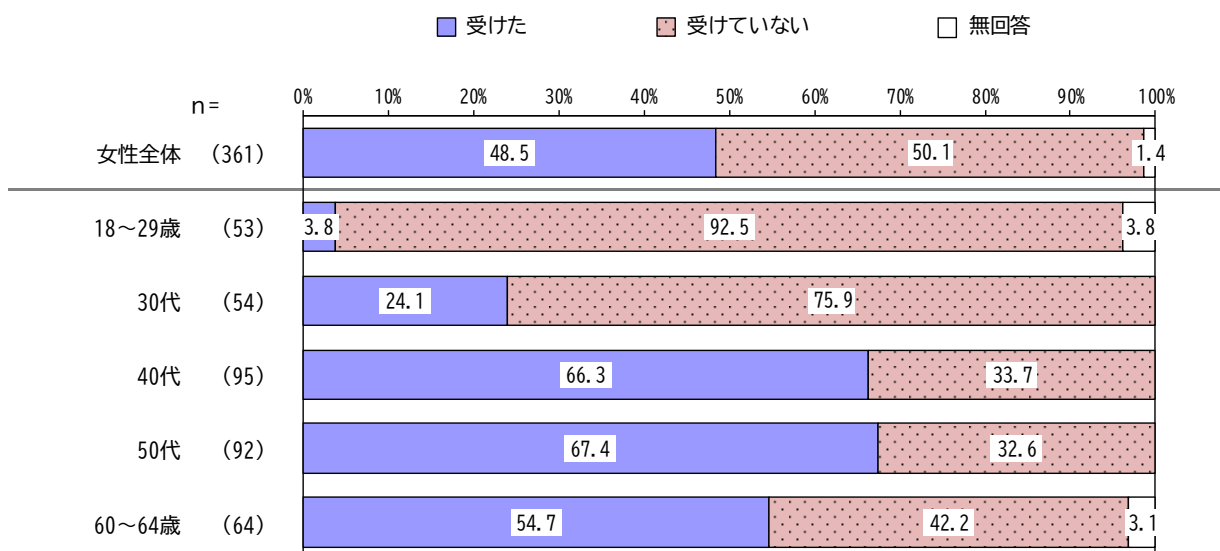
①子宮頸がん検診

年齢別でみると、「受けた」は、〔40代〕で72.6%と7割を超えて最も高くなっています。



②乳がん検診

年齢別でみると、「受けた」は、〔40代〕と〔50代〕で6割半ばを超えて高くなっています。反対に〔18~29歳〕は92.5%が「受けていない」と回答しています。



IV 18歳以上の調査結果

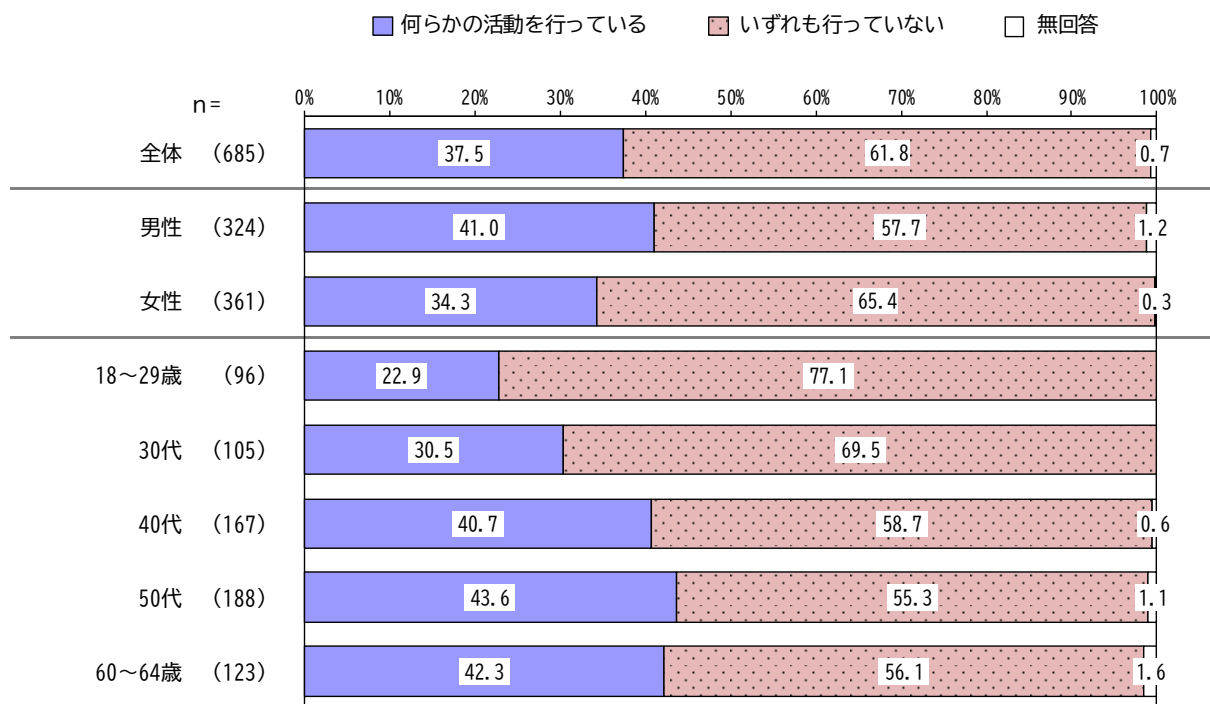
(12) 地域社会活動等の実施状況

問 40 あなたは、地域社会活動(町内会、地域行事)や趣味、おけいこ事などを行っていますか。

地域社会活動(町内会、地域行事)や趣味、おけいこ事などを行っているかについて、「何らかの活動を行っている」が37.5%、「いずれも行っていない」が61.8%となっています。

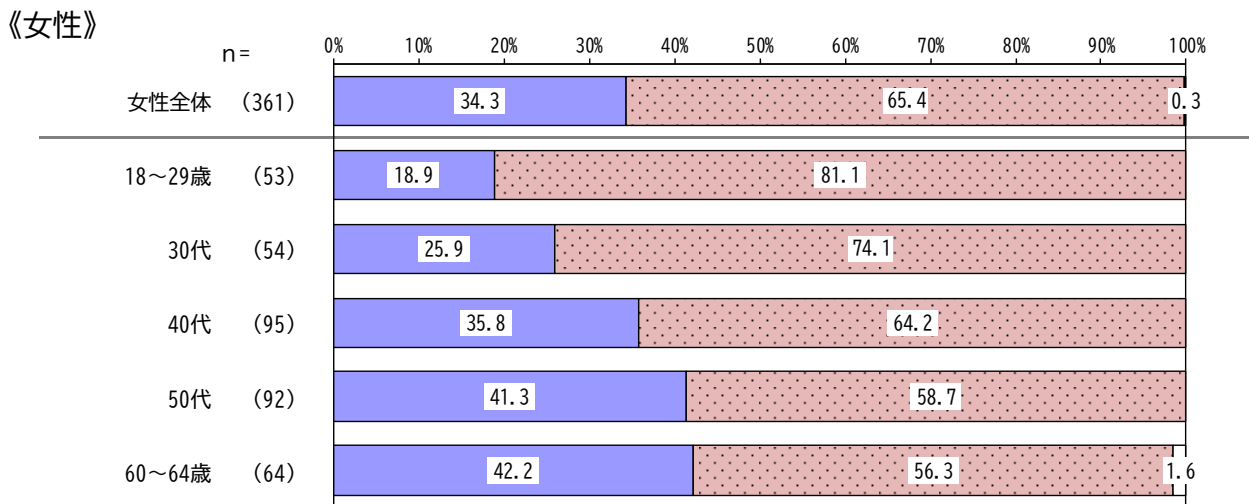
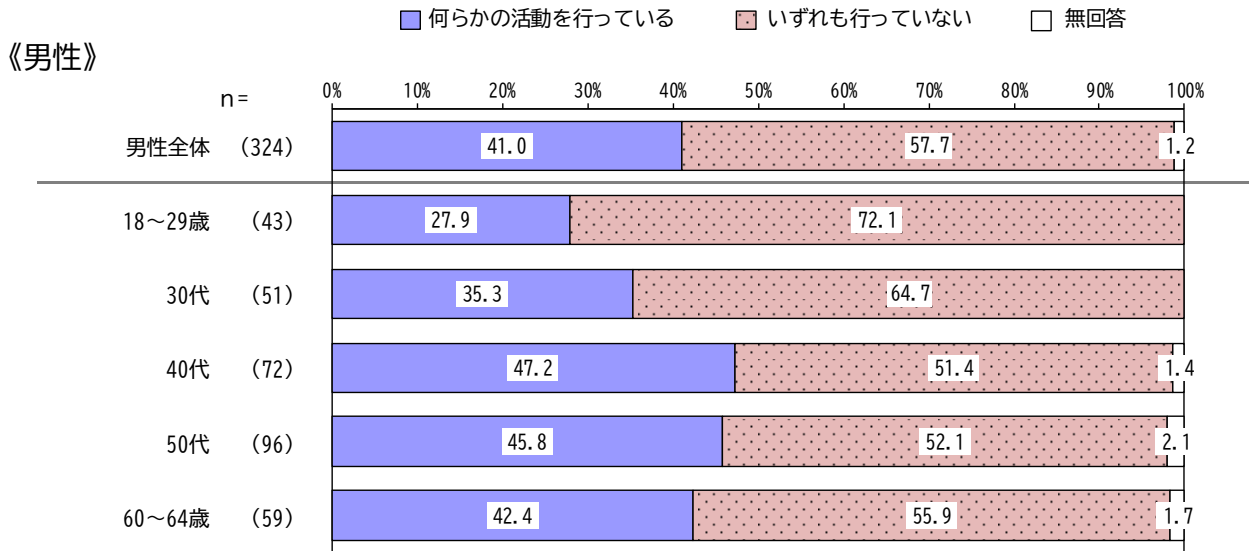
性別でみると、「何らかの活動を行っている」は、[男性]が41.0%と4割を超えて、[女性](34.3%)を6.7ポイント上回っています。

年齢別でみると、「何らかの活動を行っている」は、40代以上で4割を超えています。



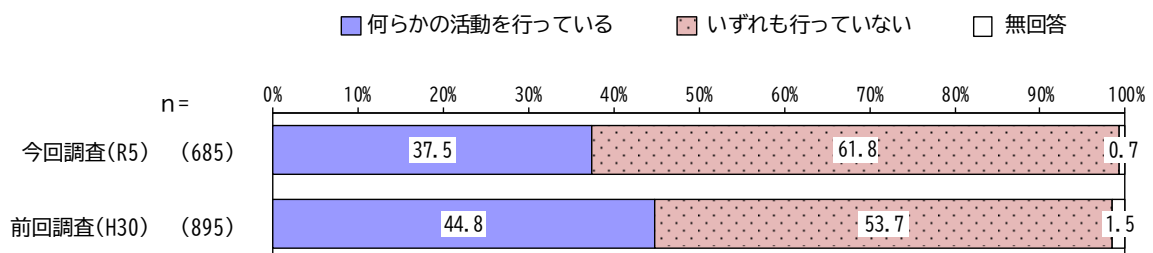
【性年齢別】

性年齢別で見ると、「何らかの活動を行っている」割合はいずれの年齢でも、《男性》が《女性》を上回っています。また、《男性》は40代以上、《女性》は50代以上の年齢で「何らかの活動を行っている」が4割を超えています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「何らかの活動を行っている」は平成30年度より7.3ポイント下がっています。

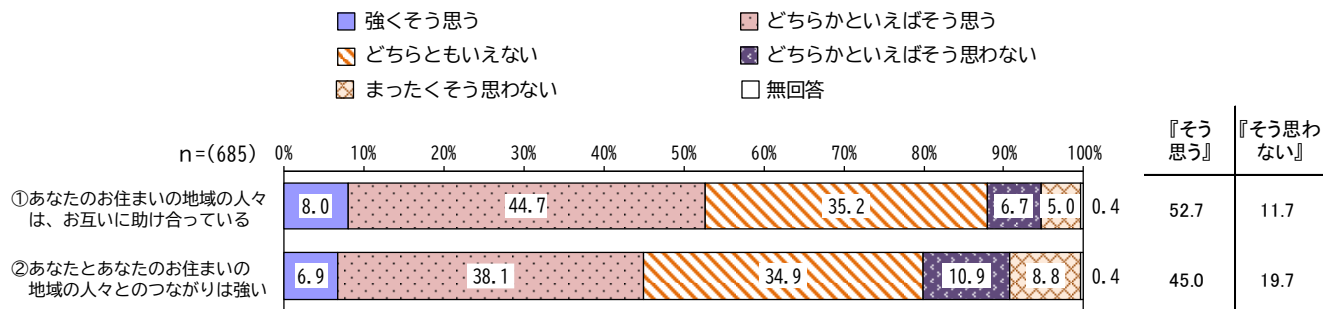


IV 18歳以上の調査結果

(13) 地域の助け合い・つながりの状況

問 41 あなたのお住まいの地域についておたずねします。

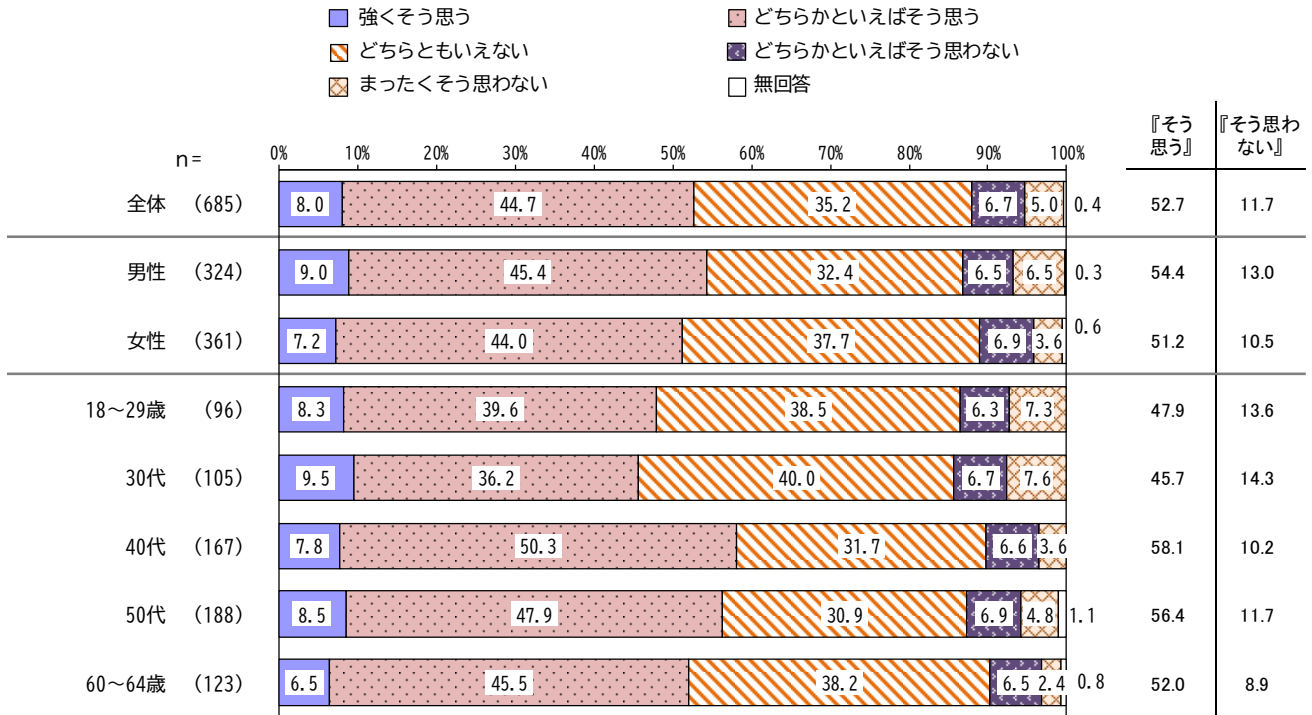
住んでいる地域の助け合い・つながりの状況について、「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、「あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている」が52.7%と5割を超えており、「あなたとあなたのお住まいの地域の人々とのつながりは強い」は45.0%と4割半ばを占めています。



①あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている

性別で見ると、『そう思う』は、〔男性〕が54.4%と5割半ば近くで、〔女性〕を3.2ポイント上回っています。

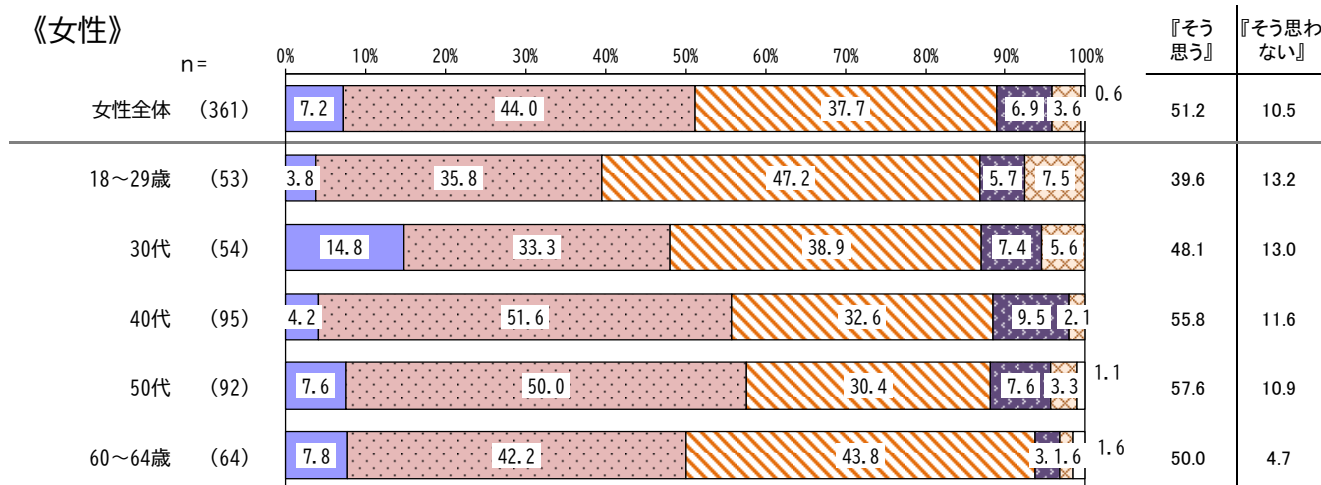
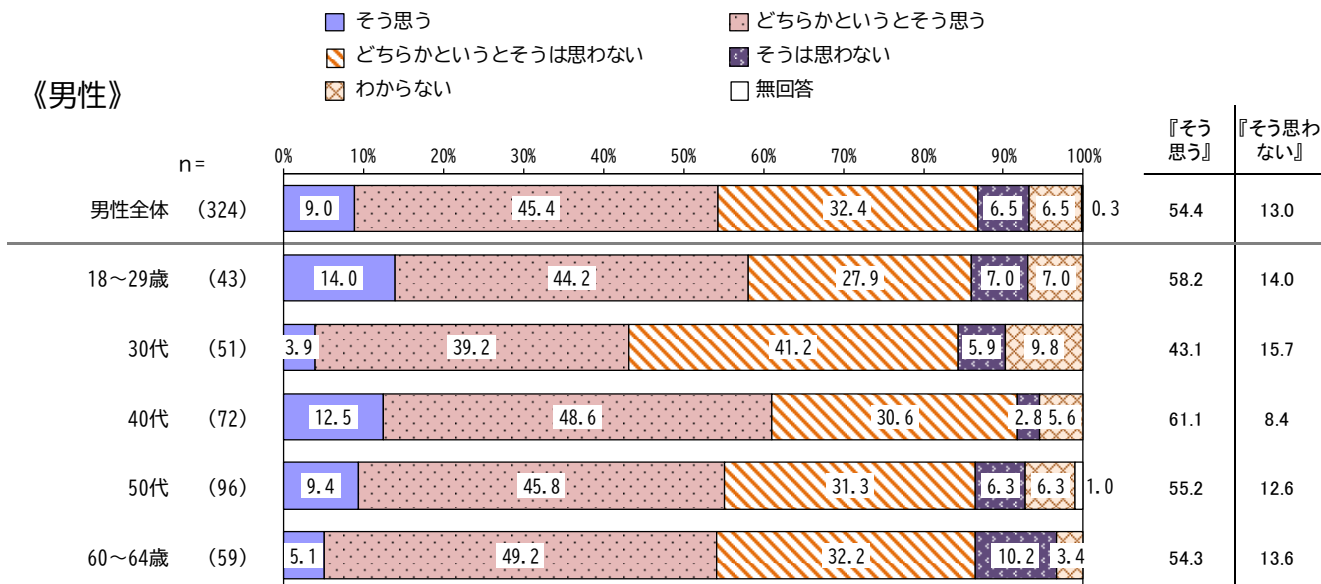
年齢別で見ると、『そう思う』は、40代以上の年齢で5割を超えており、特に〔40代〕では58.1%と6割近くを占めて高くなっています。



IV 18歳以上の調査結果

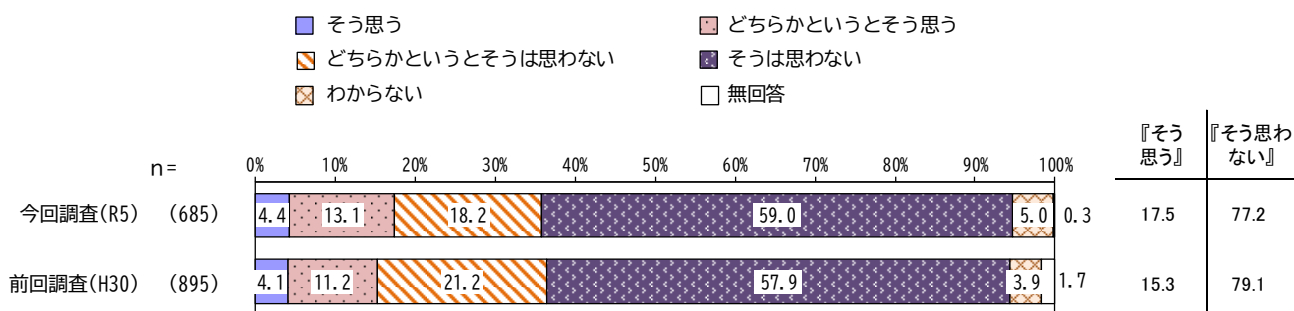
【性年齢別】

性年齢別でみると、『そう思う』は、『男性』の40代で61.1%と6割を超えて、他の年齢よりも高くなっています。また、『男性』の〔18～29歳〕では『そう思う』が58.2%と、『女性』の〔18～29歳〕（39.6%）を18.6ポイント大きく上回っています。



【前回比較】

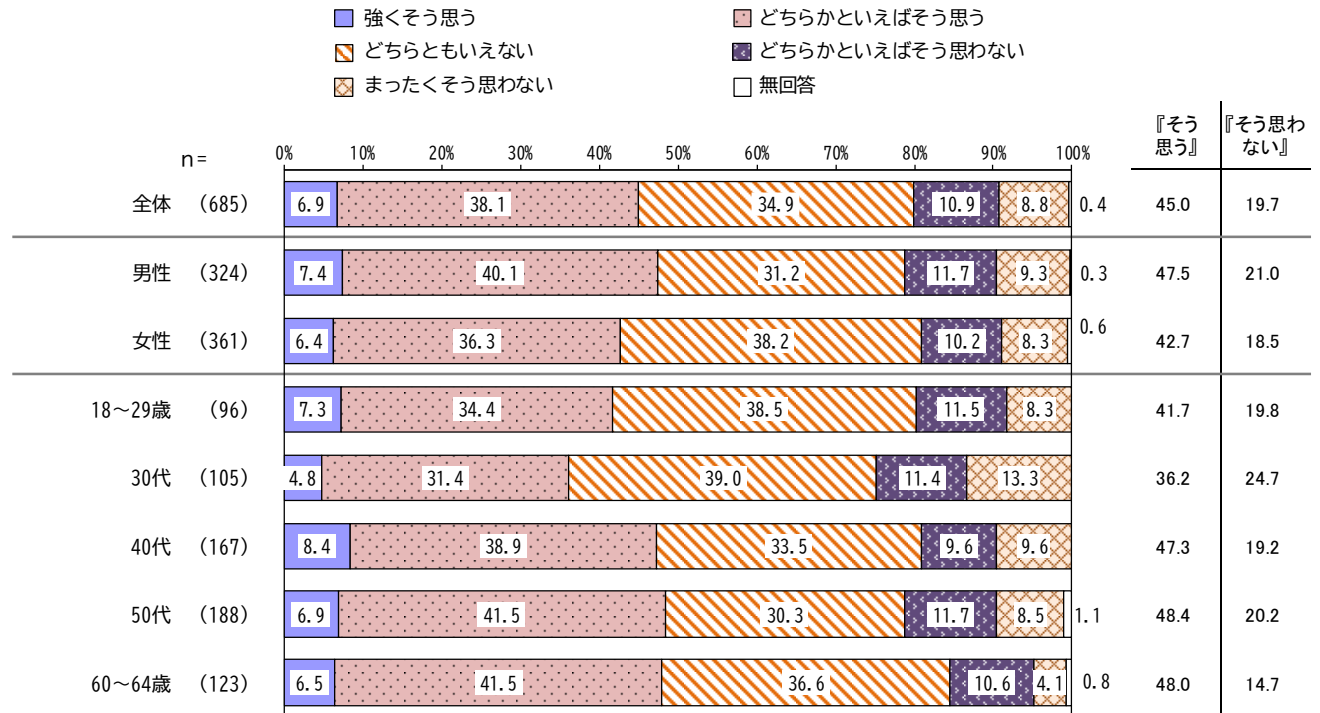
前回調査と比較すると、『そう思う』は平成30年度より2.2ポイント上がっています。



②あなたとあなたのお住まいの地域の人々とのつながりは強い

性別でみると、『そう思う』は、〔男性〕が47.5%と4割半ばを超えて、〔女性〕を4.8ポイント上回っています。

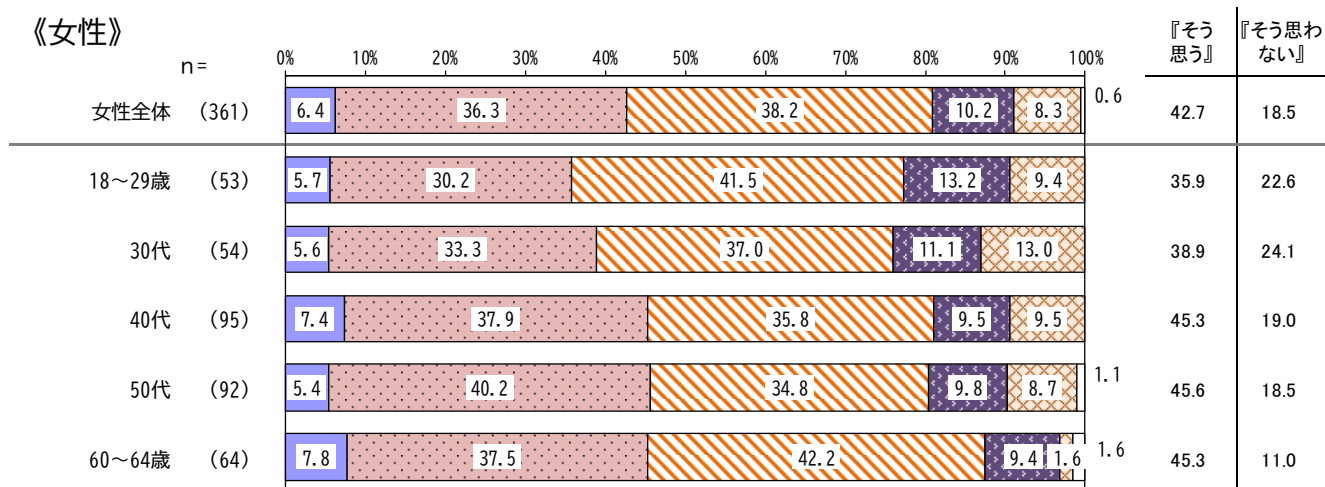
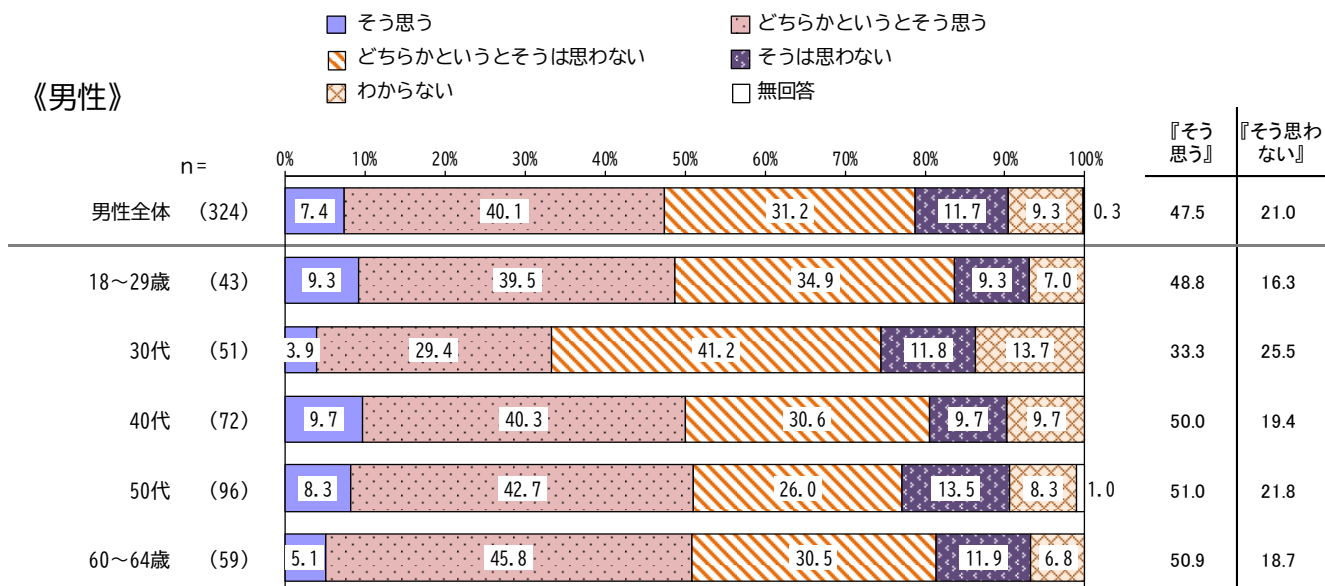
年齢別でみると、『そう思う』は、40代以上の年齢で4割半ばを超えています。



IV 18歳以上の調査結果

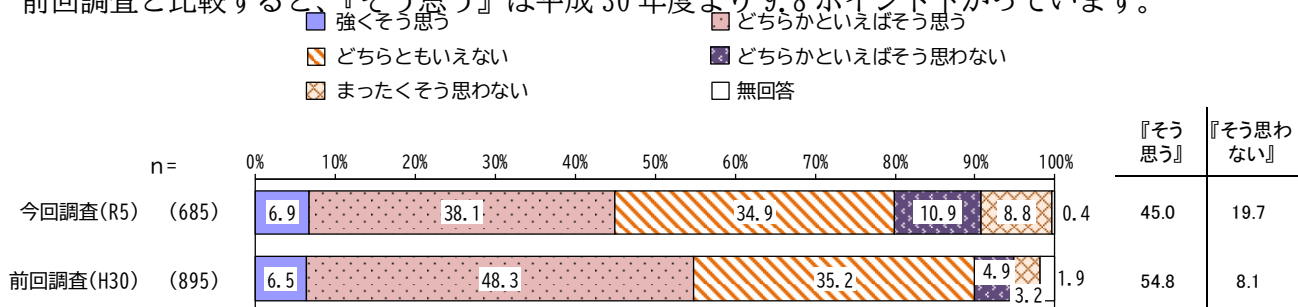
【性年齢別】

性年齢別で見ると、『そう思う』は、『男性』の40代以上で5割を超えて高くなっています。また、『男性』の〔18～29歳〕では『そう思う』が48.8%と、『女性』の〔18～29歳〕（35.9%）を12.6ポイント大きく上回っています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、『そう思う』は平成30年度より9.8ポイント下がっています。



VI 調査票

1. 就学前児童保護者

就学前児童保護者

1 あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 あて名のお子さんの年齢をお伺いします。(数字を入力)

令和5年10月1日時点で 歳

問2 あて名のお子さんの性別をお伺いします。(1つ選択)

1 男 2 女

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。(数字を入力)

 人

問4 あなたと、あて名のお子さんの関係をお伺いします。(1つ選択)

1 母 2 父
3 祖父母 4 その他()

問5 お住まいの小学校区はどちらですか(1つ選択)

1 相良小学校区 2 菅山小学校区
3 萩間小学校区 4 地頭方小学校区
5 川崎小学校区 6 細江小学校区
7 勝間田小学校区 8 坂部小学校区
9 牧之原小学校区(相良地区) 10 牧之原小学校区(榛原地区)
11 わからない(地区名をお書きください:)

問6 お子さんからみた関係で、あて名のお子さんと同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況について、あてはまる番号を選択してください。

(あてはまるものすべて選択)

1 父母同居 2 父同居(ひとり親家族)
3 母同居(ひとり親家族) 4 祖父同居
5 祖母同居 6 祖父近居
7 祖母近居 8 その他()

就学前児童保護者

2 あて名のお子さんの食生活についてうかがいます

問7 お子さんは、朝食を毎日食べますか。(1つ選択)

※あて名のお子さんが1歳未満の方は、問11へお進みください。

- 1 ほぼ毎日食べている
- 2 週に4～5日食べる
- 3 週に2～3日食べる
- 4 ほとんど食べない

問8 お子さんは普段、食事をだれと一緒に食べますか。②昼食については、休日についてお答えください。(それぞれ1つ選択)

	家族全員	大人と一緒に	子どもだけ	ひとりで	食べない
①朝食	1	2	3	4	5
②休日の昼食	1	2	3	4	5
③夕食	1	2	3	4	5

問9 お子さんの朝食は、主食・主菜・副菜がそろいますか。(1つ選択)

※【主食】ご飯、パン、麺類【主菜】肉、魚、卵、納豆など【副菜】野菜、いも類、海藻など

- 1 ほぼ毎日そろう
- 2 週に4～5日そろう
- 3 週に2～3日そろう
- 4 ほとんどそろわない

問10 お子さんは、茶葉で淹れた緑茶をこの1か月間にどのくらい飲みましたか。(1つ選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 毎日飲む | 2 週5～6日飲む |
| 3 週3～4日飲む | 4 週1～2日飲む |
| 5 月1～3日飲む | 6 ほとんど飲まない |

就学前児童保護者

問 11 お子さんが、普段①朝起きる時刻、②夜寝る時刻を教えてください。
(午前か午後を選択して、数字を入力してください)

①起きる時刻

だいたい 午前 ・ 午後 () 時 () 分 頃

②寝る時刻

だいたい 午前 ・ 午後 () 時 () 分 頃

3 あて名のお子さんの歯のことがうかがえます

問 12 歯が生えているお子さんにお伺いします。→まだお子さんの歯が生えていない方は問 13 へ
お子さんのむし歯予防のために行っている(行った)ことはありますか。

(あてはまるものすべて選択)

- 1 甘いおやつを減らす
- 2 おやつの時間を決める
- 3 食後や就寝前の歯みがき
- 4 フッ素入り歯みがき剤の利用
- 5 デンタルフロス(糸ようじ)等の使用
- 6 歯へのフッ素塗布やフッ素洗口
- 7 シーラント(歯の溝をうめる)
- 8 規則正しい食生活
- 9 就寝前の授乳を避ける
- 10 歯科医院での定期検診
- 11 その他()

4 あて名のお子さんの運動についてうかがえます

問 13 お子さんは体を動かす遊びなど(スポーツを含む)を、一日平均してどれくらいしますか。
(1つ選択)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 30分未満 | 2 30分～1時間未満 |
| 3 1～2時間未満 | 4 2時間以上 |
| 5 していない | |

就学前児童保護者

問 14 お子さんが家でテレビやビデオを見る時間、ゲーム機やタブレット等を使用する時間は、平日及び休日について、それぞれ1日に平均どのくらいですか。
(平日と休日それぞれ1つ選択)

	1時間より 少ない	1～2時間	3～4時間	5時間以上	見ない・しない
①平日	1	2	3	4	5
②休日	1	2	3	4	5

5 家庭での性教育についてあなたの考えをうかがいます

問 15 家庭での性教育はいつ頃から行うことが良いと思いますか。(あてはまるものすべて選択)

- | | |
|-------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 歳 | 2 子どもが自分のからだに興味をもったとき |
| 3 家庭での性教育は不要 | 4 わからない |

問 16 5歳～8歳頃のお子さんに向けた性教育は、どのような内容が良いと思いますか。

(あてはまるものすべて選択)

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 からだの名称について | 2 男女のからだの違いについて |
| 3 からだへの興味について | 4 初経・精通について |
| 5 プライベートゾーン(水着で隠れる部分や口のこ)について | |
| 6 その他() | |
| 7 わからない | |

問 17 性に関することをお子さんへ教えるとき、またお子さんから聞かれたときに困ると感じる内容はありますか。(あてはまるものすべて選択)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 妊娠・出産の仕組みについて | 2 性器の呼び方について |
| 3 からだの違い(男女・大人と子ども)の伝え方について | |
| 4 性器の洗い方について | 5 プライベートゾーンを露出したり触ったりすることについて |
| 6 その他() | 7 特になし |

就学前児童保護者

6 子育ての環境についてうかがいます

問 18 あなたのお住まいの地域についておたずねします。(それぞれ1つ選択)

	強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったく 思わない
①あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている	1	2	3	4	5
②あなたのお住まいの地域の人々とのつながりは強い	1	2	3	4	5

問 19 子育てに関する情報はどこから入手していますか。(あてはまるものすべて選択)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 配偶者・パートナー | 2 親族 |
| 3 近所の人・知人 | 4 友人・子をもつ母(父)同士 |
| 5 保育園・幼稚園・こども園 | |
| 6 市役所・市の機関 | |
| 7 市の広報・パンフレット | |
| 8 テレビ・ラジオ・新聞 | 9 子育て雑誌・育児書 |
| 10 インターネット・SNS | 11 その他() |
| 12 入手方法がない | |

問 20 妊娠前～出産後において、あって良かった(あったら良かった)と感じる母子保健サービスは何かありますか。(あてはまるものすべて選択)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 妊婦・新生児訪問や乳幼児健診での育児等の相談 | |
| 2 妊産婦通院費(商品券)助成事業 | |
| 3 妊産婦特定疾病医療費助成事業(R4開始) | 4 不妊・不育症治療助成事業 |
| 5 風しん等ワクチン接種費用助成事業 | 6 産後ケア事業 |
| 7 出産子育て応援交付金(R5開始) | 8 まきたまクラブ(産前両親学級) |
| 9 まぎひよクラブ(産後サポート事業) | 10 その他() |
| 11 特になし | |

就学前児童保護者

問 21 現在、就労している方へお伺いします。 →現在就労していない方は問 24 へ
あなたの職場は市内・市外のどちらですか。(1つ選択)

- | | |
|------|------|
| 1 市内 | 2 市外 |
|------|------|

問 22 子育てに対して、職場の理解は得られやすいですか(1つ選択)

- | | | |
|------------------|------------------|------------|
| 1 得られやすい | 2 どちらかというと得られやすい | 3 なんともいえない |
| 4 どちらかというと得られにくい | 5 得られにくい | |

問 23 子育てをするうえで、職場でどんな配慮をしてもらえると良いと思いますか(あてはまるものすべて選択)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 休暇制度の充実 | 2 勤務時間の短縮(時短勤務)や時差出勤(フレックス)が可能 |
| 3 子育てに関係する相談がしやすい・子育ての理解者がいる | |
| 4 各種制度の説明を受ける機会がある | |
| 5 休暇を取りやすい雰囲気がある | 6 在宅勤務(リモートワーク)体制の整備 |
| 7 残業が少ない部署への配属 | 8 その他() |
| 9 特になし | |

問 24 他に子育てや健康に関してご意見がございましたら、自由にご入力ください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力、ありがとうございました。

2. 中学2年生生徒

ちゅうがく ねんせい
中学2年生

～中学2年生の皆様へ～

健康と食についてのアンケート

【調査へのご協力をお願い】

牧之原市では、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができるまちをめざし、計画づくりを進めています。

そのため、中学生のみなさんの気持ちや考えを聞いて、より良い計画にするために、アンケート調査をすることになりました。この調査は、牧之原市内の中学2年生全員のみなさんをお願いしています。

このアンケート調査は、みなさんのお名前や住所を聞かずに行いますので、誰が何を答えたかはわからないようになっていきます。心配せずに、思ったとおりに答えてください。

下にあるQRコードを読み取り、回答をしてください。

令和5年10月

牧之原市長



認証 ID》

●●●●●	インターネット回答をする際、この番号の入力を求められますのでそのまま入力してください。
-------	---------------------------------------------

回答期限は、令和5年11月14日（火）です。



ちゅうがく ねんせい
中学2年生

※この調査票は、中学生のあなたご自身がお答えください。

1 あなたご自身についてうかがいます

問1 性別を教えてください。(1つを選択)

- 1 男 2 女 3 回答しない

問2 お住まいの小学校区はどちらですか。(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 相良小学校区 | 2 菅山小学校区 |
| 3 萩間小学校区 | 4 地頭方小学校区 |
| 5 川崎小学校区 | 6 細江小学校区 |
| 7 勝間田小学校区 | 8 坂部小学校区 |
| 9 牧之原小学校区(榛原地区) | 10 牧之原小学校区(相良地区) |
| 11 牧之原小学校区(菊川市民) | 12 地頭方小学校区(牧之原市民) |
| 13 わからない(地区名をお書きください) |) |

☆問3 ①身長、②体重を教えてください。(数字で記入)

① 身長 . cm ② 体重 . kg

問4 自分の体型をどう思いますか。(1つを選択)

- 1 太っている 2 少し太っている 3 普通
4 少しやせている 5 やせている

2 食事についてうかがいます

問5 あなたは、1週間に毎日朝食を食べますか?(1つを選択)

- 1 毎日食べる 2 食べる日の方が多い
3 食べない日の方が多い 4 ほとんど食べない

ちゅうがく ねんせい
中学2年生

問6 あなたは1週間のうち、下の図の3種類そろった朝食を何日くらい食べますか。(1つを選択)

- 1 毎日食べる
- 2 食べる日の方が多い
- 3 食べない日の方が多い
- 4 ほとんど食べない

問7 あなたは、茶葉でいれたお茶（緑茶以外の茶葉、ティーバックも含む）をこの1か月間に、どのくらい飲みましたか。(1つを選択)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 毎日飲む | 2 週5～6日飲む | 3 週3～4日飲む |
| 4 週1～2日飲む | 5 月1～3日飲む | 6 ほとんど飲まない |

3 生活リズムについてうかがいます

問8 普段①起きる時間と②寝る時間はだいたい何時頃ですか？①と②それぞれについて、当てはまるものを1つずつ選択してください。

① 朝起きる時刻

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 5時前 | 2 5時～5時半前 | 3 5時半～6時前 | 4 6時～6時半前 |
| 5 6時半～7時前 | 6 7時～7時半前 | 7 7時半～8時前 | 8 8時以降 |

② 夜寝る時刻

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 21時前 | 2 21時～22時前 | 3 22時～23時前 |
| 4 23時～0時前 | 5 0時～1時前 | 6 1時～2時前 |
| 7 2時以降 | | |

ちゅうがく ねんせい
中学2年生

4 歯や口のことについてうかがいます

問9 日頃、歯や口の状態について次のような症状はありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 歯が痛んだりしみたりする | 2 歯ぐきから血が出る |
| 3 歯ぐきが腫れる | 4 口のおいが気になる |
| 5 食べ物が歯と歯の間にはさまる | 6 食べ物がよく噛めない |
| 7 その他 () | 8 症状はない |

問10 むし歯予防について、効果があると思うものはどれですか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 甘いおやつを減らす | 2 おやつのだらだら食べをしない |
| 3 食後の歯みがき | 4 学校でのフッ素洗口 |
| 5 フッ素入り歯みがき剤の利用 | 6 デンタルフロス(糸ようじ) |
| 7 歯科医院でのフッ素塗布 | 8 歯科医院での定期検診 |
| 9 規則正しい食生活 | 10 その他 () |

5 あなた自身に対する考え方などについてうかがいます

☆問11 次のことがらは、どの程度あなたにあてはまると思いますか。(それぞれ1つを選択)

(1) 私には良いところがたくさんある

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 あてはまる | 2 どちらかといえばあてはまる |
| 3 どちらかといえばあてはまらない | 4 あてはまらない |

(2) 私は自分にだいたい満足している

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 あてはまる | 2 どちらかといえばあてはまる |
| 3 どちらかといえばあてはまらない | 4 あてはまらない |

問12 将来のことについて、あなたの考えはそれぞれどれに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

(1) あなたは結婚したいと思いますか

- | | | |
|------|--------|---------|
| 1 思う | 2 思わない | 3 わからない |
|------|--------|---------|

(2) あなたは子どもをほしいと思いますか

- | | | |
|------|--------|---------|
| 1 思う | 2 思わない | 3 わからない |
|------|--------|---------|

ちゅうがく ねんせい
中学 2 年生

問 13 家事や育児は男女問わず協力すべきだと思いますか。(1つを選択)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 14 あなたは、将来の自分のために、今から自分の体を大切にすべきだと思いますか。

(1つを選択)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 15 問 14 の「将来の自分」のイメージに近いものはどれですか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | | |
|----------------|-----------------|---------------|
| 1 お金持ちになっている | 2 自由にのんびり暮らしている | 3 世界で活躍している |
| 4 多くの人の役に立っている | 5 有名になっている | 6 子どもを育てている |
| 7 親を大切にしている | 8 幸せになっている | 9 結婚している |
| 10 出世している | 11 仲間と仲よく暮らしている | 12 当てはまるものはない |

6 心の悩みについてうかがいます。

問 16 あなたが悩んでいるときに悩みを相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 家族(親) | 2 家族(兄弟姉妹) |
| 3 家族(おじいちゃんおばあちゃん) | 4 親戚(おじさん、おばさん、いとこなど) |
| 5 学校の先生 | 6 保健室の先生 |
| 7 塾や習い事の先生 | 8 学校の友だち |
| 9 その他の友だち | 10 その他の人() |
| 11 誰にも相談したくない | 12 誰にも相談できない |
| 13 悩みはない | |

ちゅうがく ねんせい
 中学2年生

☆問17 心の健康の相談場所で知っている場所や機関はありますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 LINE相談(うちあけダイヤル) | 2 若者こころの相談窓口 |
| 3 24時間子どもSOSダイヤル | 4 厚生労働省特設サイト「まもろうよこころ」 |
| 5 こころとねむりの健康相談(市役所) | 6 どこも知らない |

7 性についてうかがいます

と
 問18 あなたは、男女交際や性の相談をできる人がいますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問19 性の悩みの相談先で、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | | | |
|---------------------|-------------|---------------|-------|
| 1 病院(産婦人科) | 2 病院(泌尿器科) | 3 助産院 | 4 保健所 |
| 5 保健センター | 6 しずおか妊娠SOS | 7 静岡県思春期健康相談室 | |
| 8 静岡県性暴力被害者センターSORA | | | |

問20 あなたが現在、性について知りたいこと、相談したいことはありますか?(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1 体の変化(月経、射精等) | 2 妊娠出産の仕組み |
| 3 性的接触(キスやセックス) | 4 避妊方法
(コンドーム、低用量ピル、緊急避妊薬等) |
| 5 自慰(マスターベーション、オナニー) | 6 性感染症、HIV/エイズの知識 |
| 7 人工妊娠中絶 | 8 男女の心の違い |
| 9 性自認やジェンダー等の性の多様性 | 10 男女平等の問題 |
| 11 セクハラ、性暴力や性犯罪の問題 | 12 性の不安や悩みの相談の仕方 |
| 13 性被害について | 14 その他() |
| 15 特に知りたいことはない | |

ちゅうがく ねんせい
中学2年生

8 たばこについてうかがいます

問 21 あなたは、たばこを吸ったことがありますか。(1つを選択)

- 1 吸っている
- 2 吸ったことがある
- 3 吸ったことはない

問 22 たばこを吸うことが、あなたの将来にどんな影響があるか知っていますか。
(あてはまるものすべてを選択)

- 1 成人前(20歳未満のこと)にたばこを吸うと身長が伸びにくい
- 2 老化が早まる(体力低下、しわ・しみ、抜け毛 等)
- 3 小さな子どもが生まれやすい
- 4 口のトラブルになりやすい(歯周病、口臭、歯ぐきの黒ずみ 等)
- 5 がん(肺・口腔・食道・胃・肝臓・膵臓・腸 等)になりやすい
- 6 脳の重い病気(脳梗塞・脳出血)になりやすい
- 7 気管支の重い病気(気管支炎・ぜんそく)になりやすい
- 8 心臓の重い病気(心筋梗塞・狭心症)になりやすい
- 9 肺の重い病気(肺炎・肺気腫)になりやすい
- 10 その他の影響も知っている
- 11 特に知らない

ちゅうがく ねんせい
中学2年生

9 アルコールについてうかがいます

☆問23 あなたは、酒、ビールなどのアルコール類を飲んだことがありますか。(1つを選択)

- 1 飲んだことがあります、現在も飲むことがある
- 2 飲んだことはあるが、現在は飲んでいない
- 3 飲んだことはない

問24 アルコール類を飲むことが、あなたの将来にどんな影響があるか知っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 成人前の飲酒は脳への大きな影響(集中力の低下・記憶力の低下・人格形成のゆがみ)があり、学習能力が低下する
- 2 成人前の飲酒は性機能への発達に影響がある
- 3 アルコールの過剰摂取は老化を早める
- 4 アルコール依存症になり、アルコール中心の生活になりやすい
- 5 がん(口腔・食道・肝臓・膵臓 等)になりやすい
- 6 肝臓の重い病気(肝硬変・肝炎)になりやすい
- 7 心臓の重い病気(心筋梗塞・狭心症)になりやすい
- 8 妊娠中に飲酒すると、胎児の成長や発達に影響がやすい
- 9 その他の影響も知っている
- 10 特に知らない

**これで質問は終わりです。
ご協力、ありがとうございました。**

3. 18歳以上

健康と食についてのアンケート

～ご協力のお願い～

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から牧之原市の健康増進事業に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和6年度に策定を予定しております「第4次牧之原市健康増進計画及び食育推進計画、第2次いのち支える牧之原市自殺対策計画」の基礎資料として、健康と食に関連する調査を実施します。

この調査は、令和5年10月1日現在、牧之原市にお住まいの18歳から64歳までの方の中から無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。

なお、回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的及び施策立案のための関係機関による調査研究以外に使用することはありません。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和5年10月

牧之原市長 杉本 基久雄

【回答にあたってのお願い】

- ◆対象者：令和5年10月1日現在、牧之原市にお住まいの18歳から64歳までの方のうち無作為に抽出した1,400人に郵送しています。
- ◆回答者：回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきます。ご家族の方がご本人から聞き取って回答したり、一緒に回答されてもかまいません。
- ◆回答方法：郵送回答とインターネット回答から選んでご回答ください。
 1. 郵送回答
 - ・各設問について、あなた(あて名のご本人)のお考えに最も近いと思われる回答に○をつけてください。
 - ・質問によっては、「回答は1つ」「あてはまるものすべて」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。
 - ・調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れて**令和5年11月14日(火)までに**ポストに投函してください。(切手は不要です)

調査票・返信用封筒には氏名を記入しないでください。

2. インターネット回答

下記のURL又はQRコードから回答することができます。
パソコン、スマートフォン、タブレット端末を利用して回答ができます。

《URL》

<https://logoform.jp/form/gCEn/380910>

《QRコード》



所要時間はおよそ15分です。

《認証 ID》



インターネット回答をする際、この番号の入力を
求められますのでそのまま入力してください。

認証IDは、個人を特定するものではなく、郵送回答とインターネット回答の重複を防ぐために使用します。

インターネットにてご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。

《回答期限》

令和5年11月14日（火）

この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【お問合せ先】 牧之原市 健康推進部 健康推進課
電話：0548-23-0024 FAX：0548-24-1005
E-mail:kenko@city.makinohara.lg.jp

1. あなたご自身についてうかがいます

問1 性別を教えてください。(どちらかに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 年齢を教えてください。(数字で記入)

令和 5年10月1日現在の年齢 歳

問3 現在のお仕事などを伺います。(主な仕事1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|---------|
| 1. 会社員・公務員 | 2. 自営商工業 | 3. 農林漁業 |
| 4. パート・アルバイト | 5. 専業主婦(主夫) | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () | |

問4 あなたから見て、同居している人をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|---------------|------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 子ども | 3. 孫 |
| 4. 父 | 5. 母 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 祖父母 | 8. いない(一人暮らし) | 9. その他 () |

問5 お住まいの小学校区はどちらですか(1つに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 相良小学校区 | 2. 菅山小学校区 |
| 3. 萩間小学校区 | 4. 地頭方小学校区 |
| 5. 川崎小学校区 | 6. 細江小学校区 |
| 7. 勝間田小学校区 | 8. 坂部小学校区 |
| 9. 牧之原小学校区(相良地区) | 10. 牧之原小学校区(榛原地区) |
| 11. わからない(地区名をお書きください:) | |

2. 食生活についてうかがいます(食育も含む)

問6 あなたは、毎日朝食を食べていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日食べている | 2. 週4~5日食べている |
| 3. 週2~3日食べている | 4. ほとんど食べない |

問7 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日そろう | 2. 週4～5日そろう |
| 3. 週2～3日そろう | 4. ほとんどそろわない |

問8 あなたは、1週間のうちで、次のそれぞれの食べ物をどの程度食べますか。（それぞれ1つに○）

	ほぼ毎日 食べる	週に 3～5回	週に 1～2回	ほとんど 食べない
① 緑黄色野菜 （小松菜、ほうれん草、人参など）	1	2	3	4
② 緑黄色以外の野菜 （大根、キャベツ、きゅうりなど）	1	2	3	4
③ くだもの類	1	2	3	4

問9 あなたは、普段ゆっくりよく噛んで食べていますか。（1つに○）

- | |
|----------------------------|
| 1. ゆっくりよく噛んで食べている |
| 2. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている |
| 3. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない |
| 4. ゆっくりよく噛んで食べていない |

問10 あなたは、朝食や夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。（朝食、夕食それぞれ1つに○）

	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない
① 朝食	1	2	3	4	5
② 夕食	1	2	3	4	5

問11 あなたは、茶葉で淹れた緑茶をこの1か月間にどのくらい飲みましたか。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 毎日飲む | 2. 週5～6日飲む | 3. 週3～4日飲む |
| 4. 週1～2日飲む | 5. 月1～3日飲む | 6. ほとんど飲まない |

問12 あなたは、「消費期限」、「アレルギー表示」などの容器包装に記載されている表示を見て食品を購入しますか。（1つに○）

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|------------|
| 1. いつも見ている | 2. 時々見ている | 3. あまり見ていない | 4. 全く見ていない |
|------------|-----------|-------------|------------|

問 13 日本では年間約1600万トンの食品廃棄物が排出されています。このうち、食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）は約500万トンにもなることから大きな問題となっています。あなたは、こうした「食品ロス」という問題を知っていますか。（1つに○）

- | | |
|------------|------------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない | 4. ほとんど・まったく知らない |

問 14 あなたは、「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|------------------------------------------------|
| 1. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれぬ量を購入する |
| 2. 冷凍保存を活用する |
| 3. 料理を作り過ぎない |
| 4. 飲食店等で注文し過ぎない |
| 5. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限を確認する |
| 6. 残さず食べる |
| 7. 「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する |
| 8. すぐ使用するときは賞味期限や消費期限の近い商品から購入する（てまえどり） |
| 9. 期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を優先して選ぶ |
| 10. どうしても使いきれない食品（贈答品含む）はフードドライブの活用、おすそ分けをしている |
| 11. その他（ ） |
| 12. 取り組んでいることはない |

問 15 あなたは、地元の産物とわかる食品であれば購入したいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 多少高くても購入したい | 2. 同じくらいの価格であれば購入したい |
| 3. 産地のことは気にしない | |

問 16 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか（1つに○）

◇郷土料理や伝統料理とは：その地域に特有の料理や、年越しそばなど古くから受け継がれ伝えられている料理ですが、いわゆる「おふくろの味」など、その家庭で受け継がれてきた家庭料理も含まれます。

◇食べ方・作法とは：「お椀を手を持つ」など、日常の食事の際のマナーや、食事の際の挨拶など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現等も含まれます。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 受け継いでいる ⇒問16-1へ | 2. 受け継いでいない ⇒問17へ |
|--------------------|-------------------|

問 16で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-1 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を地域や次世代に（子どもやお孫さんを含む）に対して伝えていますか（1つに○）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 伝えている | 2. 伝えていない |
|----------|-----------|

問17 あなたは、「食育」に関心がありますか。(1つに○)

◇食育とは：生きる上での基本であって、教育の三本の柱である知育、徳育、体育の基礎となるべきもので、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものとして食育の推進が求められている。規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. どちらかといえば関心がない | 4. 関心がない |

問18 あなたは、今後、どのようなデジタル技術を活用した食育（インターネットを通じた食育に関する情報や体験など）を利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------------|
| 1. 食に関するオンラインセミナーの動画の視聴 |
| 2. 料理レシピ動画など、調理に関する動画の視聴 |
| 3. SNS等での料理レシピ等、食に関する情報の入手や収集 |
| 4. SNS等での農林水産業に関する情報の入手や収集 |
| 5. 食育に関するアプリ（料理レシピ、栄養バランス、フードロス削減など）の利用 |
| 6. 食に関するオンラインセミナーへのリアルタイムでの参加 |
| 7. その他（具体的に： _____） |
| 8. 利用したいものはない |

問19 あなたの世帯は災害時に備えて非常用の食料を用意していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. あり ⇒問19-1へ | 2. なし ⇒問20へ |
|---------------|-------------|

問19で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問19-1 非常用食料としてどんなものを用意していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 主食（レトルトご飯・アルファ化米・乾パン 等） |
| 2. 副食（肉魚等の缶詰、カレー・シチュー等のレトルト食品 等） |
| 3. 飲料（水、お茶 等） |
| 4. その他（ _____） |

3. 運動についてうかがいます

問20 あなたは、1日30分以上の運動をしていますか（ウォーキングを含む）。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 週に2回以上している | 2. 週に1回程度している |
| 3. 月に2～3回程度している | 4. 月に1回程度している |
| 5. ほとんどしていない | |

問 21 あなたは、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っていますか。(1つに○)

1. 言葉も意味もよく知っていた
2. 言葉も知っていて、意味も大体知っていた
3. 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった
4. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
5. 知らなかった(初めて聞いた)

4. 身体の状態・心の健康についてうかがいます

問 22 ①身長、②体重を教えてください。(数字で記入)

① 身長 . cm ② 体重 . kg

問 23 ここ1か月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5時間未満 | 2. 5時間以上6時間未満 |
| 3. 6時間以上7時間未満 | 4. 7時間以上8時間未満 |
| 5. 8時間以上9時間未満 | 6. 9時間以上 |

問 24 あなたは、ここ1か月間、睡眠で休養が十分とれていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 十分とれている | 2. まあまあとれている |
| 3. あまりとれていない | 4. まったくとれていない |

問 25 あなたは、自分なりのストレス解消法がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 26 あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 実際に会って、個人的に相談できる人がいる
2. 電話で、個人的に相談できる人がいる
3. メールやSNS(LINEほか)等で、個人的に相談できる人がいる
4. 対面や電話による相談機関に、相談できる
5. メールやSNS(LINEほか)等による相談機関に、相談できる
6. いない

問 27 あなたは、悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというそう思う |
| 3. どちらかというそうは思わない | 4. そうは思わない |
| 5. わからない | |

国では、電話、SNSなどの相談窓口を紹介している特設サイト「まもろうよ ところ」を設置しております。もし、回答する中で、負担を感じたり、相談したい悩みなどがあれば、ご活用ください。

電話でのご相談の場合（主な電話相談の番号）

- ・ ところの健康相談統一ダイヤル 0570-064-556（有料）
- ・ よりそいホットライン 0120-279-338
（フリーダイヤル・無料）
- ・ 静岡いのちの電話 054-272-4343（有料）

「まもろうよところ」
のQRコードです



5. 日常生活、健康意識などについてうかがいます

問30 現在（この1か月間）あなたは、たばこを吸っていますか。（1つに○）

- 1. 毎日吸っている ⇒問30-1へ
- 2. 時々吸っている ⇒問30-1へ
- 3. 今は吸っていない（禁煙に成功した） ⇒問31へ
- 4. 習慣的に吸ったことがない ⇒問31へ

問30で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問30-1 たばこをやめたいと思いますか。（1つに○）

- 1. やめたい
- 2. 吸う本数を減らしたい
- 3. やめたくない
- 4. わからない

問31 あなたは、この1か月間、以下のような場所で自分以外の人吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）はありましたか。（それぞれ1つに○）

	ほぼ毎日	週に数回程度	週に1回程度	月に1回程度	全くなかった	行かなかった
① 家庭	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 飲食店	1	2	3	4	5	6
④ 遊技場（ゲームセンター・パチンコ・競馬場など）	1	2	3	4	5	6
⑤ 行政機関	1	2	3	4	5	6
⑥ 医療機関	1	2	3	4	5	6
⑦ 路上	1	2	3	4	5	6

問 32 あなたは、COPD (慢性閉塞性肺疾患) という病気を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. どんな病気か知っている | 2. 名前は聞いたことがある |
| 3. 知らない (初めて聞いた) | |

問 33 あなたは、週に何日位お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 毎日 ⇒問33-1へ | 2. 週5~6日 ⇒問33-1へ |
| 3. 週3~4日 ⇒問33-1へ | 4. 週1~2日 ⇒問33-1へ |
| 5. 月に1~3日 ⇒問33-1へ | |
| 6. やめた(1年以上やめている) ⇒問34へ | |
| 7. ほとんど飲まない(飲めない) ⇒問34へ | |

問 33 で、「1」~「5」に○をつけた方にうかがいます。

問 33-1 お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。清酒に換算し、お答えください。(1つに○)

【清酒1合(180ml)は次の量にほぼ相当します。】

ビール・発泡酒中びん1本(500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、焼酎35度(80ml)、
 チュウハイ7度(350ml)、ウイスキーダブル1杯(56ml)、ワイン2杯(240ml)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 1合(180ml)未満 | 2. 1合以上2合(360ml)未満 |
| 3. 2合以上3合(540ml)未満 | 4. 3合以上4合(720ml)未満 |
| 5. 4合以上5合(900ml)未満 | |

問 34 あなたは、デンタルフロス(糸)や歯間ブラシなど、歯と歯の間を清掃するための器具を使っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. ほぼ毎日使っている ⇒問34-1へ | 2. 時々使っている ⇒問34-1へ |
| 3. 使っていない ⇒問35へ | |

問 34 で、「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 34-1 どんな器具を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. デンタルフロス・糸(付)ようじ | 2. 歯間ブラシ |
| 3. 歯間刺激子 | 4. 水流式口腔洗浄器 |
| 5. 電池式または充電式の電動ブラシ | 6. その他() |

問 35 あなたの歯ぐきの状態について、お答えください。(それぞれ1つに○)

	はい	いいえ
① 歯ぐきが腫れている	1	2
② 歯を磨いた時に血が出る	1	2
③ 歯ぐきが下がって歯の根が出ている	1	2
④ 歯ぐきを押すと膿が出る	1	2
⑤ 歯がぐらぐらする	1	2
⑥ 歯科医師に歯周病（歯槽膿漏）と言われ、治療している	1	2
⑦ 過去に歯科医師に歯周病（歯槽膿漏）と言われたことがある	1	2

問 36 あなた自身の歯は何本ありますか。(数字で記入)

※親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。差し歯は含みます。

※親知らずを除くと全部で 28 本が正常ですが、28 本より多かったり、少なかったりすることもあります。

<input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>	本
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

問 37 あなたは、1年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか。(1つに○)

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

問 38 あなたは、過去1年間（胃がんに関し過去2年間）に胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。

	受けた	受けていない
① 胃がん検診（過去2年間）	1	2
② 肺がん検診（過去1年間）	1	2
③ 大腸がん検診（過去1年間）	1	2

問 39 あなたは、過去2年間に子宮頸がん検診・乳がん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。

	受けた	受けていない
① 子宮頸がん検診	1	2
② 乳がん検診	1	2

問 40 あなたは、地域社会活動（町内会、地域行事など）や趣味、おけいこ事などを行っていますか。(1つに○)

1. 何らかの活動を行っている	2. いずれも行っていない
-----------------	---------------

問 41 あなたのお住まいの地域についてうかがいます。(それぞれ1つに○)

	強く そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえ ない	どちらか といえば そう思わ ない	まったく そう 思わない
① あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている	1	2	3	4	5
② あなたとあなたのお住まいの地域の人々とのつながりは強い	1	2	3	4	5

問 42 他に健康や食に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。
切手を貼らずに同封の封筒に入れ、
11月14日(火)までに投函をお願いいたします。

令和5年度
牧之原市健康と食についてのアンケート
調査結果報告書

令和6年3月

発行 牧之原市 健康推進部
健康推進課